株式投資講座　學藝社發行　昭和一〇　一　六六四　二八
　第一篇　株式投資入門（小汀利得、井尻固）
株式投資と賣買の仕方　平田茂生　昭和八　一　六四四　四八
株式投資年鑑　昭和八、九年上、下半期版　經濟情報社編　昭和八、九　三　六五二　四
株式投資の基礎理論と實際知識　井尻固等　昭和一〇　四五七頁　一　六八二　四七
株式投資の實際知識　不破業一郎（基礎經濟學全集第一二卷）　昭和一〇　一　六五四　五四
株式投資の話　横義衛　昭和九　一　六六〇　一三九
株式讀本　栗林正修　昭和七　一　六二一　二三〇
株式讀本　安田與四郎　昭和八　一　六四四　一五一
株式と相場の知識　小汀利得（萬有知識文庫第三五）　昭和九　一　六六四　一
株式取引業を志す人のために　森孫一　昭和八　一　六四四　二七
株式取引の話　文藝社編（萬有文庫第一二）　昭和四　一　五六九　九七
株式ニ關スル判例集　上、下　大阪株式取引所編　昭和八　二　一四、七　六〇三
株式年鑑　昭和二至一〇年度　大阪屋商店調査部編　昭和二至一〇　九　一四四　三七五
株式年鑑　昭和八年版　井上信明編　昭和七　一　五六九　四二八
株式賣買の基礎智識　矢野治　昭和八　一　六三七　七六
株式放資と賣買術　奥村千太郎　昭和六　一　五六五　三二九
株式放資と賣買の基礎知識　井尻固　昭和七　一　五九九　四五三

株式必勝戰術　株式相場講義　株式調査會編　昭和七　一　六〇六　四二八
甲子吟行　山口素堂　昭和七　一　一二〇　一五七
甲子事變始末　元治甲子殉難七〇年記念　靖國神社々務所編　昭和九　一　六六六　三
合志川芥（改訂）　合志芳太郎訂　昭和七（肥後鄉土史第一編）　一　六一八　四六
甲種工業學校教材用　交流理論要綱　大谷元夫編　昭和八　一　六三五　二五三
甲種工業學校教材用　電氣機械要綱　コロナ社發行　昭和七、九　二　六一七　一八九
　第一　直流機篇（宮本茂業編）
　第三　誘導機篇（同）
甲種工業學校教材用　電氣磁氣要綱　阪本捷房編　昭和七　一　三七二　五六四
同　帝國圖書館編　昭和一〇　三〇頁　一　三七二　五六四イ
甲種小學書方手本解說　尋一、二上下、三上　笠井義夫　四　二六三　三四〇
甲戌句鈔　野田別天樓編　昭和一〇　一　六三三　八六
甲信遊草　磯ヶ谷紫江編　昭和一〇　六〇頁　一　三〇一　一二八
合成有機化學　後藤格次　昭和三　一　四七　三一六
合成香料化學　平尾子之吉　昭和五　一　五八一　二三五
合成染料實驗法　村田和也　昭和九　一　六六七　七一
甲仙油田地形及地質圖　臺灣總督府殖產局製　昭和七　一枚　一三　六〇三
懶堂全集　松崎復（懶堂）　昭和二、四　巻八至二八（崇文叢書第一輯第一四至二八）　二三　一五四　六〇

甲東逸話　勝田孫彌　昭和三　一　五七七　六七
甲東先生遺墨集　青山會館編　昭和二　一〇　四二一　一〇九
合同運送之誌　同刊行會編　昭和四　一　五九七　七一
兜町　根本十郎　昭和四　一　五八七　一八〇
甲蟲殺人事件　ヴン・ダイン著　森下雨村、山村不二譯　昭和六　一　五六八　四四一
　一〇　八三八　七三
　一〇　八四二　一〇八
胄山歌集　根岸家編　寫　一　六一六　一四二
胄山歌集　寫　二　二八三　五一
胄山文庫和漢圖書目錄（帝國圖書館所藏）　帝國圖書館編　昭和一〇　三〇頁　一　五九一　五〇
株主總會論　間運吉　昭和四　一　五七五　九五
株主の權利と義務　間運吉　昭和二　一　四七　三一六
甲浦（縱行一六橫行三二圖幅第二四二號）　地質圖　附　同地質說明書（鈴木達夫）　商工省地質調査所製　昭和六　一枚　一二　五八四
　愛知縣工業試驗場編　昭和六　一　五七六　二〇三
匣鉢ノ調査及ビ試驗研究報告　河原三治郎　昭和七　一　六二一　一七三
合法的減稅免稅の實際　河原三治郎　昭和五　一　六〇七　九〇
合法的納稅と其實務　村田和也　昭和九　一　六〇七　一一四
合法的マルクス主義との鬪爭　レーニン著　落合文雄譯　昭和五　一　五四八　五九
株番　小林一茶（一茶叢書第七編ノ内）　昭和三　一三　一五四　六〇

			冊	函	號
合肥詩話	支、李子淵	昭和四	一	一四〇	二八三
歌儛品目	上、下巻 正宗敦夫校 昭和五（日本古典全集第三期第一九）	複製	二	五六九	九四
甲府買物獨案内	明治五		一	一九八	四六九
甲府市制四十年記念誌	同市役所編	昭和三	一	五八〇	一二七
甲府市統計書	大正一四年（第二一回）、昭和元至三年（第二二至二四回）昭和三至五	同市役所編	四	一四、四	二六一
甲府商業會議所統計	第一七、二一回（第二一回ハ同所編計年表トアリ）	昭和二	二	一四、八	五七
甲府商業會議所報告	第一八	同所編 昭和二	一	一四、八	三五
合武三嶋流舟戰要法	森重都由編（海事史料叢書第一〇、一九巻ノ内）	昭和五	五九三		一七
合瓣花區	村越三千男編（内外植物原色大圖鑑第二、三巻）	昭和八	特 二	六三八	八一
同	昭和九（内外植物原色大圖鑑第一至三巻）		特 二	六三八	八一 イ
甲陽軍艦	寫		一〇〇	八三九	一三
甲陽軍大全	〔自巻第二上至巻第一九下〕	元祿七	三七〇	八三九	一四
甲陽生花百瓶圖	是心軒一露（花道古書集成第一期第四巻ノ内）	昭和五	六〇一		一五
株屋町五十年と算盤哲學	佐藤善郎	昭和四	二	五七八	二七五
合理化せるドイツ	塚本義隆	昭和五	一	六〇七	九五
合理化せる獨逸の電力事業	塚本義隆	昭和五	一	五九〇	三九四
合理化と失業問題	ホブソン著 内垣謙三譯	昭和六	一	五九〇	四三八
合理化と勞働青年の狀態	フユルンベルク、ミユラー共著 高尾正之助譯	昭和五	一	五八六	三七三
合理化の理論と實際	エルマンスキイ著 東城只雄譯	昭和五	一	五七二	二五一
合理化への展望	森田恭平	昭和六	一	五九〇	四四〇
合理的小賣經營法	鈴木貞一（能率叢書第三）	昭和六	一	六〇二	二七
合理的桑樹栽培法	岩淵美樹之助	昭和七	一	三七二	五八七
合理的珠算術	（研究と科學的練習） 河部繁一	昭和七	一	六一七	二三四
合理的な販賣計畫	粟屋義純（商店經營全集第三）	昭和一〇	一	六八八	二九
甲麓摘芳	芸香社發行	昭和四	一〇	二三四	二五三
雅文笑話集（校註）	藤井乙男編	昭和三	一	五八二	一八三
可聞老人集	元、張昱 民國二三影印（四庫全書珍本初集ノ内）	四巻	特 四	八四四	二〇八
歌評の精髄 六百番歌合	顯昭陳狀付 能勢朝次編（四九一頁）	昭和一〇	一	六八九	五九
家廟碑	唐、顏眞卿書	拓本	帖 四	二二	三五一
返へらぬ日	吉屋信子	昭和二	一	五一七	六二六
蛙	發生 岡田彌一郎、馬場菊太郎	昭和七	一	六一六	七二
蛙の放逐	澤田正二郎（日本エッセイ叢書第九）	昭和二	一	五四五	四四
貌（詩集）	垂水武雄	昭和五	一	三五七	二七六
河北省察哈爾省東南部歷史地圖					

			枚	函	號
河北年鑑	昭和一一年（東北振興號） 河北新報社編	昭和一〇	一	六五三	二二九
顏見世狂言集	春陽堂編	昭和五（日本戲曲全集第一三巻）	一	一四、四	一〇八一
娥歌加留多	近松門左衞門（近代日本文學大系第六巻ノ内）	昭和二	一	五六六	四七
同	（近代日本文學大系第五巻ノ内）	昭和八		五六〇	九
娥哥かるた	近松門左衞門著 藤井乙男校註（近松全集第一〇巻ノ内）	昭和二		六二九	二八
同				五二〇	四〇
				五二〇	四〇 イ
かまいたち	村上浪六	昭和五	一	五九六	二四二
釜炒製茶ニ關スル研究	第一號 茶業研究所編	昭和六	一	六〇四	五六二
釜ヶ崎（小說ー）	武田麟太郎、（文座書林文學全書第二）	昭和九	一	六五九	一二
釜形寫繪圖	木津三辰編	昭和元	一〇	四一七	三〇
鎌倉	上、下 天沼俊一（日本建築史圖錄第二）	昭和九、一〇	特 二	六五八	九
鎌倉大草紙	（群書類從第二〇輯合戰部ノ内）	昭和四		五八三	一四
鎌倉大草紙	（新校群書類從第一六巻合戰部ノ内）	昭和三		五八四	五
鎌倉懷古展覽會目錄	明治二四（根岸櫪園手記アリ）		一〇	八四三	二一
鎌倉御所（戲曲ー）	氣駕君子	昭和四	一	五九六	四三
鎌倉捜索記	寫（延寶頃同所社寺ノ寶物類捜索記錄ナリ）		特 一〇	り	六〇
鎌倉三代記	紀海音（近代日本文學大系第八巻ノ内）	昭和二		五六〇	九
同	（近代日本文學大系第七巻ノ内）	昭和九		六二九	二八
鎌倉時代史	龍肅（大日本史講座第三巻）	昭和三	一	六二六	七
鎌倉時代史論	日本歷史地理學會編	昭和六	一	五九四	二〇一
鎌倉將軍家譜	林道春	明治一六	一〇	八三八	一〇一
鎌倉社寺めぐり	相澤善三 訂補再版 二二六頁	昭和一〇	一	五三三	三三 イ
鎌倉諸藝袖日記	八文字屋自笑、同其笑（帝國文庫第一篇珍本全集前編ノ内）	昭和三		五八三	一五
鎌倉震災誌	鎌倉町役場編	昭和五	一	五三六	一一
鎌倉圖	八八・五〇×九一・〇〇		一 枚	八四三	五九
鎌倉と江の島	日本名勝研究會編（名勝研究第三）	昭和二	一	五四九	二九三
鎌倉日記	附 伊香保日記	秋山仁三郎（梓月） 昭和三	一	五八二	八八
鎌倉の史蹟概要	松本勘太郎	昭和五	一	六一〇	六一
鎌倉武士と禪	鷲尾順敬	昭和一〇 三二一頁	一	六八八	一〇九
鎌倉室町時代之儒教	足利衍述	昭和七	一	六三六	一六
同			一	六三六	一六 イ
鎌倉持氏記	附 結城戰場 古寫		一〇	八三九	三三
鎌倉夜話	石津寬	昭和八	一	六四三	一三九
かまだ	（近代日本文學大系第二巻ノ内）	昭和三		五六〇	九
同	昭和八			六二九	二八
蒲田區概觀	菊地政雄編	昭和八	一	六三九	一九三

カマタ—カミセ

		冊	函	號
蒲田町史	市郡合併記念　蒲田町史編纂會編　昭和八	一	六三九	一二九
竈將軍勘略卷	時太郎可候（葛飾北齋）（近代日本文學大系第一二卷ノ內　昭和二）		五六〇	九
蒲生氏郷記	（新校群書類從第一七卷合戰部ノ內　昭和五）		五八四	五
蒲生氏郷紀行	（群書類從第一八輯紀行部ノ內　昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷紀行部ノ內　昭和四）		五八四	五
蒲生君平集	同人（大日本思想全集第一三卷ノ內　昭和七）		六〇一	二六
蒲生君平全集（增補校訂）	三島吉太郎編　昭和八	一	三三五	三一六イ
上池田村誌	西村佐太郎編　昭和七	一	六一八	九〇
神を喫ふ	漫筆集　田中貢太郎　昭和五	一	五八二	二九五
神を捜索する科學	カートリ・メイサ著　高垣勘次郎譯　昭和六	一	六〇九	二四四
神を探す黑人娘の冒險	ショウ著　加藤朝鳥譯　昭和八	一	六三三	三三一
神を成就するもの	宮崎虎之助　昭和四	一	三三三	四五〇
上郷村誌	岩手縣上閉伊郡上郷村教員會編　昭和一〇　一六〇頁	一	六八四	九四
上高地	登山と研究　熊澤正夫　昭和五	一	五五六	五〇五
同	昭和九	一	五五六	五〇五イ
上高地	矢澤米三郎　昭和三	一	五七八	一二八
上高地	矢ヶ崎榮次郎　昭和三	一	五七八	一三七
上高地及び梓川水系の水棲動物	附信州の魚類（宮地傳三郎）　上野益三　昭和一〇	一	六五〇	二九一
上高地天然紀念物調査報告	史蹟名勝天然紀念物保存協會（中井猛之進等報）　昭和三	一	五七六	四二
同			五七六	四二イ
神風	校正刷共　土井晩翠　手稿本	二	か別	三
上方色町通	食滿南北　昭和五（通叢書第三八卷）	一	六〇三	一
上方繪一覽	黑田源次編　昭和四	一	五五二	三〇七
上方演劇史	堂本彌太郎（寒星）　昭和九	一	六六七	六三
上方趣味總目錄	上　上方趣味社編　昭和六　大正版	一	一二〇	一二四
上方叢書	上方鄉土研究會發行　昭和八	一	六三一	二四七
	第一篇　大阪夏祭提燈考（藤里好古）			
上方俳星遺芳	三越大阪支店編　昭和七	一	三三二	三八六
神川平助事蹟錄	附　村閭史話　足利角藏　昭和八	一	六五三	一五五
神々の戲れ	佐藤春夫　昭和四	一	五七六	一〇九
神々の復活	（レオナルド・ダ・ヴンチ）第一至四　メレジユコーフスキイ著　米川正夫譯　昭和一〇（岩波文庫一〇八三—一〇九〇）	一	五六九	一四
神々のへど	室生犀星　昭和一〇	一	六一七	二六一
上加茂織の概念	青田五良　昭和九（港屋染織叢書卷二）	一	六七二	七八
紙屑拾ひ（バタヤ）調査	昭和一〇年七月局編　昭和一〇　東京市社會局編　五三頁	一	六八四	七六
紙芝居に關する調査	東京市社會局編　昭和一〇　六六頁	一	六五三	三六二
紙芝居の實際	今井よね編　昭和九	一	六五七	一二四
紙製作の新研究	上卷　林成子（叡子）　昭和八	一	六五〇	一九
上高井郡古文書目錄	第一輯　信濃教育會上高井教育部會編　昭和五	一	六〇四	三七七
「神」「月日」及び「をや」について	中山正善　昭和一〇	一	六七二	一七二
カミツレ之花（抒情詩集）	大木惇夫　昭和九	一	六五六	一二九
神と永遠への思慕	賀川豐彦　昭和六	一	六〇九	三一四
神と共同社會	中島重　昭和四	一	三三三	四五二
神と苦難の克服	賀川豐彦　昭和七	一	六一九	一〇九
同	バクーニン著　本荘可宗譯（改造文庫第一部第一四篇）　昭和四	一	五六九	一四二
神と資本家	ブラウン著　神近市子譯　昭和五	一	六〇七	一六一
神と人	（人格的存在に關する四つの研究）ブルンナー著　菅園吉譯　昭和九（基督教叢書第四）	一	六七七	四
神に語る	高橋正雄　昭和五	一	五九五	二四六
神に憬動する心	小野村林藏　昭和八	一	六四五	二三
神に跪く	（その日その日の祈）賀川豐彦　昭和七	一	六一九	一三七
神に導かるる祕訣	マイヤー著　一粒社編輯部譯　昭和八	一	六四五	二一〇
神による信仰	賀川豐彦　昭和三	一	五七〇	一八七
紙人形春の囁き	田中榮三　昭和三	一	五七一	一九二
神・人間・自由	木下尚江　昭和九	一	六六〇	一七四
神の恩寵に對する證明の最要部	中島新藏　昭和九	一	六六三	二〇七
神の國建設者	（現代に於ける基督教徒の任務）モット著　齋藤惣一譯　昭和八	一	六四五	一六三
神の國の縱走	（山上垂訓講演）川俣義一　昭和四	一	五九五	一三六
神の言と世界	ブルンネル著　菊地雄一譯　昭和七	一	六〇九	三七九
神の大路	カールトン著　須貝止譯　昭和四	一	五九五	一三〇
神野信一講演集	神野信一　昭和七	一	六二〇	二〇
神の宣言	今成曇禪　昭和四	一	五九五	六八
神の認識	手島文倉　昭和三	一	五九八	一〇五
上山鄉土史	澁谷光雄　昭和二	一	一七〇	一二九
神への飢渴（說教集）	マヤス著　昭和八	一	六四五	一七三
神へのテオーリア	富田光行　昭和七	一	三七三	五八七
神まうで	鐵道省編　昭和五	一	五五六	四五三
同	昭和八	一	五五六	四五三
同		一	五五六	四五三ロ
上村將軍言行錄	淺野常瑞、渡邊盛衞　昭和五	一	六一三	五八
神谷內膳	清水沖一郎　昭和二	一	一八八	六一〇
神よりの恩赦	スキート著　佐々木鎭次譯　昭和四	一	五九五	九〇
かむながらの神道の研究	田中義能　昭和八	一	六三六	九五
勘察加事情	外務省通商局編　昭和四	一	六〇〇	九三
カムチヤツカ大觀	長永義正　昭和五	一	五七八	三三三
カムチヤツカ探檢旅行記	ベルグマン著　中垣虎兒郎譯　昭和一〇　三〇二頁	一	六八七	一三

カミタ—カムチ

		冊	函	號
堪察加半島	水路部製　昭和七　九六・九〇×六六・四〇	一枚	露	五八イ
嘉村礒多全集	同人　昭和九	三	六五五	六五
第一卷	業苦		崖の下	
	父となる日		生別離	
	孤獨		足相撲	
	曇り日		牡丹雪	
	不幸な夫婦		七年目に	
	秋立つまで			
第二卷	丸橋とのこと		滑川畔にて	
	七月二十二日の夜		途上	
	來迎の婆		神前結婚	
	移轉		父の家	
	冬の午後			
第三卷	感想隨筆			
	先生の墓に詣でて		フジ	
	戀文		父の手紙	
	一日		七月の日記	
	寫眞		故郷に歸りゆくこころ	
	日記抄		伊藤君とフジとに	
	ひとりごと		日記抄など	
	再び故郷に歸りゆくこころ			
	ある晩		春雨の頃	
	久野さんの印象		螢火	
	古手帳から		土浦の町を歩く	
	夜がたり		夏近し	
	晩秋雜感		「上ケ山」の里	
	クリスマスの晩		山田一等兵	
	柿		短い感想	
	追憶		魍魎	
	肘を張りつゝ		私の處女作	
龜田藩戊辰戰記	吉田潛藏編　細谷則理校（秋田叢書第四卷ノ內　昭和四）			五八四　一四
龜田鵬齋稿本	同人　手稿本	特一〇	別三	二九
龜の尾の記	柴野美啓著　日置謙校　昭和七	一	三七二	五二七
龜山仇討石井實記	石井熊之丞（源藏）著　中山正二編　昭和九	一	六六九	八二
龜山院御葬禮記	（群書類從第二三卷雜部ノ內　昭和七）		五八四	五
同	（群書類從第二九輯雜部ノ內　昭和九）		五八三	一四
龜山鄉志料	第一輯　田村實編　昭和三	一	二二一	二五七
龜山殿五首御歌合	（文永二年九月十三夜ノ一）			
	（新校群書類從第九卷和歌部ノ內　昭和五）		五八四	五
龜山殿七百首	（群書類從第一一輯和歌部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第八卷和歌部ノ內　昭和三）		五八四	五
龜山殿御幸記	源雅言（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）		五八四	五
カメラ社會相	片岡昇　昭和四	一	五八七	八八
カメラ・ハイキング	吉川逓男　昭和一〇　三〇一頁	一	六八七	九一
カメラ・眼×鐵・構成	堀野正雄　昭和七	一	六二八	九
假面を剝いだ憧憬の都	伊藤博　昭和八	一	六四三	一六
假面を剝いだ憧憬の都	大西吉雄（春翠）　昭和二	一	五六五	二五二
假面を剝いだソヴエート露西亞	ドウイエー著　田中けい譯　昭和六	一	六〇七	三三三
假面譜、奈良人形	寫	一〇	八四一	一四六
賀茂皇太神宮記	（群書類從第一輯神祇部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同	（群書類從第一輯神祇部ノ內　昭和六）		五六六	六一
同	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內　昭和七）		五八四	五
賀茂御幸記	（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）		五八四	五
賀茂齋院記	（群書類從第四輯補任部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二卷補任部第一ノ內　昭和四）		五八四	五
加茂氏系圖	（新校群書類從第三卷系譜部ノ內　昭和五）		五八四	五
加茂大神緣起解	附　賀茂縣主遠祖略譜　戶田保遠　昭和九	一	六七二	六七
鴨長明集	（新校群書類從第一二卷和歌部ノ內　昭和五）		五八四	五
鴨長明叢書	鴨長明學會發行　昭和八、一〇　謄寫版	〇三	二四九	二六四
	第一輯　第一編　長享本方丈記			
	異本方丈記			
	第二編　同　斷簡　解說付			
	第四編　眞字本方丈記　解說付			
	異本			
鴨長明發心集攷	岡本保孝（未刊國文古註釋大系第一四冊ノ內　昭和九）			六五四　四〇
賀茂眞淵翁傳新資料	（眞淵傳への新資料による補正論）　荷田信眞　昭和一〇　一三〇頁	一	六七九	一四〇
賀茂眞淵集	賀茂眞淵　複製（日本古典全集第二回ノ內　昭和二）		五五〇	一七三
賀茂眞淵集	賀茂眞淵（大日本思想全集第九卷ノ內　昭和六）		六〇一	二六
賀茂眞淵全集（增訂）	賀茂眞淵著　賀茂百樹校　佐佐木信綱監修　昭和二至七	一二	四四	三一イ
卷一	萬葉集大考			
	萬葉考　一至六			
卷二	萬葉考別記　一至六			
卷三	萬葉考　七至一一			
	萬葉考　一二至一七			
	萬葉考別記　一四			
卷四	萬葉考　一八至二〇			
	柿本朝臣人麻呂歌集之歌			
	萬葉集遠江歌考			
	萬葉集竹取翁歌解			
	萬葉集新採百首解　三卷			
	萬葉解通釋並釋例			
卷五	冠辭考　一〇卷			
	延喜式祝詞解　五卷			
	祝詞考　三卷			
卷六	續萬葉論　二〇卷			
卷七	古今集序表考			
	古今集序別考			
	古今和歌集打聽　二〇卷			
	三代集惣說			
卷八	源氏物語新釋			
卷九	同			
卷一〇	日本紀和歌略註　三卷			

カモノ—カモヤ

古事記和歌略註			
神樂歌考			
催馬樂考			
神遊考			
風俗歌考			
國歌論臆說			
再奉答金吾君			
爾比末奈禮			
歌意考			
文意考			
書意考			
語意考			
國意考			
宇比麻奈備	三卷		
伊勢物語古意	六卷		
卷一一 大和物語直解・三卷			
日本紀訓考	五卷		
久邇門致考			
上古男子髻辨			
古冠考			
古器考			
かさねのいろあひ			
三部假名鈔言釋			
縣居雜錄			
縣居問答書			
雜問答考			
答問遺草			
老木の花			
卷一二 賀茂翁家集	五卷、拾遺一卷		
賀茂の川水			
龍のきみへ問ひ答へ			
賀茂のまふち			
あかたゐすさみくさ			
賀茂翁遺草			
かりの行きかひ			
荷田春滿家歌合			
さき草			
うめあはせ			
古事記神代			
縣居集言錄			
岡部家譜並考證	(村田春海)		
賀茂眞淵翁家傳	(小山田與清)		
縣居門人錄 附 縣居誓詞			
縣居書簡 並續編			
ふふくろ			
賀茂御祖皇大神宮御幸記	(新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四)	五八四	五
鴨御祖社詞合(建永二年三月七日)	(新校群書類從第九卷和歌部ノ內 昭和五)	五八四	五
賀茂社御願書	後伏見院 (群書類從第一輯神祇部ノ內 昭和四)	五八三	一四
同	(新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七)	五八四	五
賀茂祭繪詞	(群書類從第一輯神祇部ノ內 昭和六)	五六六	六一
賀茂社櫻會緣起	大江佐國 (群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三)	五八三	一四
同	(新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七)	五八四	五
かもめ	石原松十 昭和四	一 五九〇	二五
かもめ・伯父ワーニヤ	チエホフ著 中村白葉譯 昭和七 (世界名作文庫第三〇八)	一 六三〇	一
加茂保憲女集	(新校群書類從第一二卷和歌部ノ內 昭和五)	五八四	五

賀茂別雷社歌合	(新校群書類從第九卷和歌部ノ內 昭和五)	五八四	五
家門の分裂(歌集)	筒井巖 昭和八 (短歌文學シリイズ第一編)	一 六三〇	一二
萱	瀧春一 昭和一〇 (馬酔木叢書第一〇篇)	一 六〇三	三一
賀陽院水閣歌合	(新校群書類從第八卷和歌部ノ內 昭和三)	五八四	五
萱野家と室谷家	室谷鐵腸 昭和五	一 六〇四	五〇
賀陽宮殿下御在隊間の御盛德	騎兵第三聯隊編 昭和七	一 三七八	三三八
萱原(歌集)	山本康夫 昭和三 (燭臺叢書第一編)	一 五八三	一
茅原華山文集(箱晦以後)	茅原廉太郎(華山) 昭和四	一 三三三	四五一
特別高壓回路自働遮斷器の研究	可鎔片を主體とする 阿部清 昭和八	一 六三八	七八
通鳧寢子の美女(善光寺御利生)	南陀伽紫蘭 (近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和三)	五六〇	九
馭戎慨言	「ギョジ」ヲ見ヨ		
韓草(歌集)	君島夜詩(遠山芳子) 昭和一〇 (ポトナム叢書第一九編)	一 五一五	六七
唐崎常陸介	村上英 昭和八 (巻頭ニハ「贈正四位唐崎常陸介先生」トアリ)	一 六二五	三四八
唐崎松記	尊朝法親王 (新校群書類從第二一卷雜部ノ內 昭和五)	五八四	五
から騷ぎ	シエークスピヤ著 坪內逍遙譯 (世界名作文庫第三) 昭和七	一 六三〇	一
鴉	關口次郎 昭和二	一 五六八	二〇七
からす(隨筆集)	山川均 昭和一〇 四二〇頁	一 六八八	二八
ガラス	杉江重誠 昭和八	一 六四一	一三二
硝子	上田清、太田廣太郎 昭和九 (日本工學全書ノ內)	一 六五〇	二六七
硝子及同製品の輸出取引事情	商工省商務局編 昭和四	一 三六三	一五三
からすかご(隨筆)	關根正直 昭和二	一 五七〇	四三
からす貝(歌集)	下村照路 昭和一〇 二三二頁	一 六七九	三〇
からす組	前、後篇 大佛次郎 昭和四、五	二 五九六	二〇三
硝子工藝	中西健治 昭和五	一 五九七	二七三
硝子工業	大日本窯業協會編 大正六 (日本近世窯業史第四編)	一 五〇九	一八
ガラス細工	杉江重誠 昭和八	一 六五〇	一七一
硝子戸と硝子欄間	附硝子の心得 今村政吉 昭和三 (建具雛形圖案全集卷之五)	一 五八一	六八
硝子戸の中	夏目漱石 昭和八 (岩波文庫九二六)	一 五六九	一四
烏山町誌	下野史談會編 昭和二	一 一八八	六一
からたちの苔(歌集)	影近澄子 四版 昭和二	一 五六八	二四九
からたちの實	藤原義江 昭和二	一 五六八	二三〇
カラチ地方事情梗概	外務省通商局編 昭和四	一 五七九	三六九
唐津市勢要覽	昭和一〇年 同市役所編 昭和一〇	一 一四四	一〇六九
空手研究叢書	興武館發行 昭和九	一 六七七	一五
	第二篇 攻防自在セイバイ十八の研究 空手拳法 附祕書「武備誌」(摩文仁賢和)		
唐手拳法	陸奥瑞穗編 昭和八	一 六四二	一六九

カモノ—カラテ

		冊	函	號
唐手術の研究	糸洲盛信　昭和九	一	六六	五一
空手道教範	富名腰義珍　昭和一〇　三〇二頁	一	六二七	三〇〇
空手獨習講義錄	興武館發行　昭和一〇 第一卷　空手道門入（別名空手獨習の手引） （摩文仁賢和　仲宗根源和）	一	六九〇	四五
ガラテヤ書講解	黒崎幸吉　昭和一〇　二〇七頁	一	六八七	九二
ガラテヤ書講解	ブウセット著　國岡泰樹譯　昭和五	一	六〇九	一一三
ガラテヤ書講解	ルツター著　佐藤繁彦譯　昭和三	一	五七〇	一五六
ガラテヤ書註解	畔上賢造　昭和八	一	六四五	一四七
ガラテヤ書、テサロニケ前後書	日高善一　昭和四 （新約聖書註解第六）	一	五七〇	一九四
栄大門屋敷	錦文流　（近代日本文學大系第四卷ノ内　昭和三）		五六〇	九
樺太アイヌ叢話	千徳太郎治　昭和四	一	五七九	三九八
樺太要覽	圖付　昭和二年　樺太廳編　昭和二	一	六三	二〇六ニ
同	昭和三年　昭和三	一	六三	二〇六ホ
同	昭和四年　昭和四	一	六三	二〇六ヘ
同	昭和六至一〇年　樺太廳編　昭和六至一〇	五	六三	二〇六
樺太概要	昭和八年　樺太廳編　昭和八	一	六三一	三四七
樺太教育の變遷と私の生活記錄	室岡三代吉　昭和七	一	三五一	一〇一
〔樺太〕國勢調査報告	昭和五年　樺太廳編　昭和九	一	一四四	五五〇

		冊	函	號
〔樺太〕國勢調査結果表	昭和五年　樺太廳編　昭和九	一	一四四	五三七イ
樺太材要覽	附極東露材要覽　關西木材通信社編　昭和八	一	六五七	二四
樺太森林開發事情	中牟田五郎　昭和六	一	六〇六	二六九
樺太水產團體大觀	鈴木太代治　昭和一〇　三四四頁	一	六八六	九
樺太拓殖計畫の全貌	中央情報社編　昭和九	一	六七一	三八
樺太地誌	大野東雲　昭和一〇　二〇九頁	一	六八一	八九
同		一	六八一	八九イ
樺太廳治一斑	第一八至二〇回　樺太全圖付　昭和元、三 同廳編	三	一四四	四二九
樺太廳治要覽	第六回、昭和九、一〇年刊　同廳編 昭和二至一〇	二枚	三二九	一〇六六
樺太廳統計書	昭和四至一〇年　同廳編　昭和五至一〇	七	一四四	四二九イ
樺太廳博物館案內	同館編　昭和八	一	二七八	二〇八
樺太廳博物館土俗室、歷史參考室、考古室陳列品目錄	同館編　昭和八	一	六二五	三九八
樺太廳臨時森林作業所	官行斫伐事業誌　同所編　昭和三	一	五七六	七七
樺太廳臨時森林作業所寫眞帳	同所發行　大正一五	一〇	四一七	三四
樺太鐵道法規	上、中、下卷　樺太廳鐵道事務所編 昭和六	三	一四七	五三九
樺太と漁業	佐野一郎編　昭和六	一	六〇八	二六八
樺太とはどんな處か	福家勇　昭和八	一	六三九	一六五
樺太年鑑	昭和七至九年　樺太敎育時報社編　昭和七至九	三	六一三	七九

		冊	函	號
樺太農業植民問題	高岡熊雄　昭和一〇	一	六六二	一七〇
樺太の森林及林業	帝國森林會編　昭和五	一	六〇四	三六
樺太・北海道	改造社編　昭和八 （地理講座日本篇第一卷）	一	六五四	三
樺太北部諸分圖	水路部製　昭和六 九六・〇〇×六四・二五	一	日	三八八
樺太土產	秋宇常太郎　昭和四 （樺太領有之先驅者　旅行叢書第三）	一	六〇三	三
樺太旅行日記	附　現在及び將來の樺太（講演） 昭和二	一	六一八	一〇七
樺太論	山下龍門　一〇版　昭和四	一	五七八	二九
カラマーゾフの兄弟	上、中、下卷　ドストエーフスキー著　矢口達監修　昭和二、三 （萬有文庫第五、三〇、三一卷）	一	五五六	四一四
同	第一至四卷　ドストエーフスキー著　米川正夫譯 昭和三（岩波文庫一八五—一九九）	三	五四五	五三
搦手から	長谷川萬次郎（如是閑）　昭和五	四	五六九	一四
唐様でかめろん	尺仙秀譯　昭和八	一	五九九	二一六
伽藍護法神龍穴社	荒木良仙　昭和四	一	六三三	一八九
假舵航走論	新納嘉一　昭和六	一	五七九	三五六
就狩詞少々覺悟之事	狩詞記（群書類從第二三輯武家部ノ内　昭和五）	一	六〇四	五四一
同	（新校群書類從第一八卷武家部ノ内　昭和七）	一	五八三	一四
假差押及假處分手續	谷井辰藏　昭和七	一	六三七	三三
ガリシスムの研究	井上源次郎　昭和五	一	五一七	六六五
假住宅事業報告	同潤會編　昭和四	一	三八三	一四七

		冊	函	號
ガリバアの旅	スキフト著　鈴木彦次郎譯　昭和五 （世界大衆文學全集第五〇卷）	一	五六九	六一
カリビアン海沿岸諸國事情	加藤實　昭和七	一	六二七	九
「カリフオルニヤ」に於ける桃の栽培	オーバーホルザー、ダルヅ共著　志賀岩雄、山本行常譯　昭和一〇　〔扉等ニハ「米國加州に於ける桃の栽培」トアリ〕	一	六七三	二五五
カリホルニア開化祕史	河村幽川　昭和八	一	六三九	一八八
狩谷棭齋全集	第七至九　正宗敦夫編 （日本古典全集第二回ノ内　昭和二）	一	五五〇	一八五
刈谷町誌	同編纂會編　昭和七	一	六一〇	一六一
歌林尾花末	ガリラヤより出でし無產者への福音　ステッド著　竹中勝男譯 昭和二　繪入　植山梅之等編　元祿一六	一	五七〇	九七
歌林樸樕	松永貞德著　正宗敦夫校　複製 （日本古典全集ノ内　昭和六）	五〇	二一五	三四一
輕井澤と附近の名所	泉貫夫　昭和二	一	五六九	三七
輕井澤別莊案內圖	中山隆爾製　昭和一〇 五九・九〇×五七・七〇	一枚	六六六	三五六
カルヴアン研究	第一卷　佐藤繁彦 （神學叢書第二輯）　昭和七	一	六〇四	三六六
カルヴキニズム	カイパア著　上田丈夫譯　昭和七	一	六三六	二四
カルヴイン神學概要	神觀・基督論・年譜　郷司慥爾　昭和一〇 三九〇頁	一	六八二	一七七
カルーソーの教室	聲樂入門　附錄付　カルーソー著　服部龍太郎譯　昭和三	一	五七一	三三九
カルカツシギター教則本	大國舒光譯編　昭和一〇 一六五頁	一	六七四	五三
輕口大矢數	稀書複製會編　昭和四	一〇	一九九	四三七
ガルシン全集	第一、三卷　ガルシン著　高崎徹譯　昭和 八、九（世界名作文庫第三三四、三三八）	二	六三〇	一

	冊	函	號
カルテル・トラスト・コンツエルン 上、下 有澤廣巳、美濃部亮吉 昭和六（經濟學全集第四七卷上、下）	二	五六七	三三
カルテル、トラストに關する各國立法例 其の一 臨時產業合理局編 昭和九	一	一四七	六五三
カルメン メリメ著 生田長江譯 昭和七（世界名作文庫第一一四）	一	六三〇	一
同 メリメ著 杉捷夫譯 昭和四（岩波文庫五〇〇）	一	五六九	一四
同 メリメ著 布施延雄譯 昭和一〇（新潮文庫第一二七編）	一	六三〇	八
カルメン・コロンバ メリメ著 宇高伸一譯 昭和五（世界大衆文學全集第四四卷）	一	五六九	六一
苅藻草 六面會編 昭和五	一帖	一五二	八七
枯木に花咲せ親仁 稀書複製會編 昭和五	一〇	一五六	二〇
枯木のある風景 宇野浩二 昭和九	一	六五五	四七
彼と彼女は斯うして就職した（應用就職戰術） 讀賣新聞社會部編 昭和六	一	六〇七	三五
彼は如何にして今日の地位を得しか 榎本法令館編輯部編 昭和三	一	五七八	七四
彼れは斯くして就職せり 尾崎定一 昭和五	一	五八二	二九八
枯麥 大石一二編 昭和九	一	五六八	四六五
彼等甦らば 小川未明 昭和二（解放群書第二〇編）	一	五四八	二七
カロッサ全集 建設社發行 昭和一〇	一	六八一	二一
簡易天測用表 水路部編 昭和三	一枚	一四六	二八八
簡易土地測量及異動地整理便覽 名古屋財務研究會編 昭和八	一	六五〇	二六
簡易にして經濟的なる穀物の乾燥法 上島與三次 昭和七	一	五八七	二四八
簡易に出來る罐詰と壜詰製造法 齋藤錠一 昭和九	一	六六六	七一
簡易保險局統計年報 大正一四至昭和八年度 同局編 昭和二至一〇	九	一四四	四九七
簡易保險實務解說 高島榮次郎 昭和一〇 五二六頁	一	六四〇	三一四
簡易保險實務講話 米田清吉 昭和八	一	六四九	四三
同 再版	一	六四九	四三イ
簡易保險者福祉施設要覽 昭和二、五（第三回）年度 簡易保險局編 昭和三、五	二	一四五	二三四
簡易鋪裝道 道路改良會編 昭和三（道路構造調査書第一編）	一	五七六	七三
簡易和漢洋生藥全集 小出良夫編 昭和八	一	五〇	三七一
閑院左大將朝光卿集 藤原朝光（群書類從第一〇卷和歌部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
同（新校群書類從第一四輯和歌部ノ內 昭和五）	一	五八四	五
看雲鈔 晉馬實藏 昭和一〇 二〇二頁	一	六八二	一四五
漢英考證 老子の新研究 井上秀天 昭和三	一	五三六	三五一
簡要外科總論 茂木藏之助 昭和八	一	五四	一〇三
寒葉齋建部綾足 濱館貞吉 昭和四	一	五九四	二二四
感應錄 橫關繁太郎（大愚知人） 昭和九	一	五九四	一二四イ
漢音吳音の研究 大島正健 昭和六	一	六一二	二五一
漢學者傳記及著述集覽 小川貫道編 昭和一〇 七八一頁	一	六七九	九六
漢學者傳記集成 竹林貫一編 昭和三	一	五七七	七〇
漢、韓史籍に顯はれたる日漢古代史資料 太田亮編 昭和三	一	五七七	六五
柑橘 高橋郁郎 昭和六	一	五六三	五三〇
柑橘栽培講習錄 高橋郁郎 昭和八	一	六二五	二八三
柑橘作の經濟調査 和歌山縣農會編 昭和五	一	六〇四	一四六
柑橘病害蟲防除法 田中顯三 昭和五	一	五九〇	三四二
柑橘文獻目錄 一八八二年至一九三四年 櫻會編 昭和一〇 一五五頁	一	六七二	三〇九
眼機能學 第一、七篇 中村文平等 昭和八、九（大日本眼科全書第六卷第一、三冊）	二	五五	一四九
鑑鏡 大場磐雄編 昭和四（日本考古圖錄大成第二輯）	一	五五三	三一〇
眼鏡學 中村康 昭和一〇（大日本眼科全書第七卷第二冊）	一	五五	一四九
眼鏡學講座 中村康、淺見賢一編 昭和一〇 卷一 基礎光學 第一	一	五五	一六二
眼鏡處方解說 中村康 昭和七	一	五五	一四四
同 再版 昭和一〇 一五〇頁	一	五五	一四四イ
眼鏡と眼の常識 小川守三 昭和六	一	五五	一三九

		冊	函	號
鑑鏡の研究	梅原末治　大正一四	一	五六三	一五〇
閑却されたる臺灣	コイエット著　谷河梅人譯　昭和五	一	五九五	二七七
感興處々	伊藤熊三　昭和二	一	五七〇	四八
間居問語（射山居士）	小川平吉（射山）　訂再版　昭和一〇	一	六一二	二八二
閑居慰草	上、下　日透　昭和六　複製	一	二一三	五九七
閑吟集（校註）	附　狂言小歌集、室町小歌拾遺集　藤田德太郎校註　昭和七	一	五六九	一四
巖窟王	上、下卷　黑岩涙香　昭和六（世界大衆文學全集第六九、七〇卷）	二	五六九	六一
感激	鏡保之助　昭和五	一	六〇四	一〇五
感激實話全集	金星堂發行　昭和一〇	一〇	六七三	一三
第一卷	皇國に身を捧げて（同堂編）			
第二卷	世のため人のため（同）			
第三卷	この父この母（同）			
第四卷	孝貞のかゞみ（同）			
第五卷	友情はかくも美し（同）			
第六卷	七ころび八起き（同）			
第七卷	母なればこそ（同）			
第八卷	義の人、情の人（同）			
第九卷	この忍耐この努力（同）			
第一〇卷	何が彼を發奮させたか（同）			
寒月餘影	淡島寒月　昭和六	一	二一三	六〇一
寒峽（歌集）	關德彌　昭和八（自然叢書第二編）	一	六五一	一〇
眼科暗室檢查法	石原忍、土谷巖郎　昭和一〇　八一頁	一	五五	一五九
感光色素	尾形輝太郎　昭和八	一	六五〇	一〇九
眼科學	石原祐著　石錫祐譯　昭和七	一	五五	一四三
感化教育に於ける諸問題	第一輯　菊池俊諦　昭和九	一	二九八	三三
感化教育の重要性	淺野成俊　昭和八	一	二九八	二九
感化教育 不良少年の研究	飯島三安　昭和六	一	二九八	二三
感化事業回顧三十年	社會局編　昭和五	一	二九八	二二
眼花集（詩集）	高島宇朗　昭和二	一	五六九	二〇八
間花集（詩集）	三好達治　昭和九	一	六六六	四八
眼科診療指針	附　全身諸病ト眼症狀　小柳美三　三版　昭和二	一	五九	一二八
眼科診療新書	小柳美三　昭和一〇	一	五五	一五五
眼科診療ノ實際	庄司義治　昭和六	一	五五	一三八
同	再版　昭和一〇	一	五五	一三八
漢畫圖式	大川新吉　明治一九	一	八四〇	六一
眼科ノ領域ニ於ケル新智識	〔第一〕編　日本眼科學會　昭和四	一	五五	一三六
眼科豫防學	第一篇　河本重次郎、石原忍監修（大日本眼科全書第三卷第一册）　昭和八	一	五五	一四九
乾繭法指針	生絲の國社編輯局編　昭和一〇　七三頁	一	六六六	三六五
刊誤引得	侯毅編　燕京大學圖書館校　民國二三年（引得第二三號）	一	五七六	一九八
漢口貿易	昭和三年度　商工省商務局貿易課編　昭和五	一	六〇四	一〇〇
看護學	上卷　佐藤邦雄監修　千葉醫科大學附屬醫院同仁會編　昭和一〇	一	六一	四五四
寒山詩	太田悌藏譯註　昭和九（岩波文庫一〇五六—一〇五七）	一	六二五	二八
閑散無双	德川夢聲（福原駿雄）　昭和九	一	五八六	三二八
漢字一元論稿抄錄（易原（闇明））	青井貝次郎　昭和八	一	五八六	三二八イ
ガンジーとタゴール	福永渙　昭和一〇　三三九頁	一	五八六	三二八ロ
漢字要覽	國語調查委員會編　三一版　昭和一〇　八四頁	一	五八七	一二三
漢詩を探る（隨筆）	伊藤松雄　昭和一〇　三三五頁	一	六一三	六四
閑古鳥（歌集）	熊谷武雄　昭和九（詩歌叢書第一二篇）	一	六〇	一三〇四
看護の仕方上手とされ方上手	遠藤繁清　昭和七	一	六一	四五八
看護の實際	西川義方　昭和一〇　九八四頁	二	五六九	三八六
感想　其一至一〇、一一	大倉邦彥　昭和七至一〇	一	五八二	二六九
感想集	江原小彌太　昭和五	一	六四三	八三
感想私錄（ボオドレエル）	ボオドレエル著　堀口大學譯　昭和八	一	五三六	三〇三
漢藏對照國譯維摩經	河口慧海譯　昭和三	一	六五八	八
贋造通貨	山鹿義教　昭和八	一	六八二	一四一
感想と回顧	沈默の疑問　得能文　昭和一〇　二九五頁	一	六八四	四七
監察制度考察	滿洲國監察院編　康德二　一五二頁	一	六五〇	二三九
かんざはだにト其の防除法	附　殺菌殺蟲劑ト蠶兒中毒ト關係　山梨縣立農事試驗場編　昭和二	一	三三七	四六〇
漢三國六朝紀年鏡集錄	梅原末治　昭和六	一	六一四	八七
韓國時代の露西亞活躍史	廣江澤次郎　昭和七	一	五八六	三二八
監獄法概論	正木亮　昭和五	一	五八六	三二八
同（全訂改版）	昭和七	一	五八六	三二八イ
同（新訂增補）	訂補四版　昭和九	一	五八六	三二八ロ
監獄法提要	辻敬助　昭和三	一	五八七	一二三
閑古鳥（歌集）	熊谷武雄　昭和九（詩歌叢書第一二篇）	一	六一三	六四
看護の仕方上手とされ方上手	遠藤繁清　昭和七	一	六〇	一三〇四
看護の實際	西川義方　昭和一〇　九八四頁	一	六一	四五八
感想　其一至一〇、一一	大倉邦彥　昭和七至一〇	二	五六九	三八六
感想集	江原小彌太　昭和五	一	五八二	二六九
感想私錄（ボオドレエル）	ボオドレエル著　堀口大學譯　昭和八	一	六四三	八三
漢藏對照國譯維摩經	河口慧海譯　昭和三	一	五三六	三〇三
贋造通貨	山鹿義教　昭和八	一	六五八	八
感想と回顧	沈默の疑問　得能文　昭和一〇　二九五頁	一	六八二	一四一
監察制度考察	滿洲國監察院編　康德二　一五二頁	一	六八四	四七
かんざはだにト其の防除法	附　殺菌殺蟲劑ト蠶兒中毒ト關係　山梨縣立農事試驗場編　昭和二	一	三三七	四六〇
漢三國六朝紀年鏡集錄	梅原末治　昭和六	一	六一四	八七

カンコ—カンシ

		冊	函	號
寒山詩	太田悌藏譯註　昭和九（岩波文庫一〇五六—一〇五七）	一	六二五	二八
閑散無双	德川夢聲（福原駿雄）　昭和九	一	五八六	三二八
漢字一元論稿抄錄（易原（闇明））	青井貝次郎　昭和八	一	五八六	三二八イ
ガンジーとタゴール	福永渙　昭和一〇　三三九頁	一	五八六	三二八ロ
漢字要覽	國語調查委員會編　三一版　昭和一〇　八四頁	一	五八七	一二三
漢詩を探る（隨筆）	伊藤松雄　昭和一〇　三三五頁	一	六一三	六四
閑古鳥（歌集）	熊谷武雄　昭和九（詩歌叢書第一二篇）	一	六〇	一三〇四
漢字起原の研究	（國定讀本に據りて）　語言研究會編　昭和九	一	六五五	三四
同		一	六五五	三四イ
日本佛教美術の研究	福田喜三郎（無染）　昭和九	一	六五〇	二三九
漢詩作法	坂井松梁（草堂詩閣）　昭和八	一	六五五	三
漢詩作法要義	西澤道寬　昭和六	一	六一一	九五
漢字三音考	本居宣長著　同豐穎校　同清造再校（增補本居宣長全集第九ノ内　昭和二）	四一	九八イ	
漢字三音考	本居宣長著　同豐穎校　同清造再校（增補本居宣長全集第九ノ内　昭和二）	一	五六八	五二七
漢詩絶句作法と鑑賞	細貝香塘　昭和九	一	六七九	六
漢詩絶句作例百講	細貝香塘　昭和一〇　四六六頁	一	六三三	一一九
漢詩大要	附　平仄春秋　田村禎祐　昭和七	一	五五	一四九
眼疾患ト他疾患トノ關係	第二篇ノ下　中村康　昭和九（大日本眼科全書第八卷第三册）	一	五七九	四一六
乾濕計使用法と其用途	渡邊溫行　昭和四	一	五九六	二七二
漢詩入門	鷹取岳陽　昭和六			

	冊	函	號
漢詩入門　松崎覺本　昭和五　二三四頁	一〇	六〇三	一九
同　昭和七　四〇六頁	一	六二〇	九二
漢詩入門講座　第一、二輯　小松謙堂　昭和八	二	六三一	二九七
漢字の音變化　大島正健　昭和八	一	六四三	二四九
漢字の起原と支那古代の文化　高田忠周（竹山）　昭和三	一	五四九	四八八
漢詩の興味　坂井松梁（草堂詩閣）　昭和九	一	六五五	七三
漢字ノ四隅番號化檢字法　附　檢字一覽表　王雲五著　間宮不二雄譯　昭和五（圖書館研究叢書第八篇）	一	二七八	九九
漢字排字法　杜定友　民國一四（上海圖書館協會叢書二）	一	二七八	一三一
韓集擧正　附外集擧正、敍錄　宋、方崧卿　民國二三　影印　一二卷（四庫全書珍本初集ノ内）	四〇	八四四	一一五
漢詩文作法概說　寺内淳二郎　昭和九	一	六五五	四二
漢字保存論　山中秀男　昭和四	一	五九〇	七一
甘蔗糖及び其製造　（アリッヒ著　田中賤夫譯）　草鹿砥祐吉、昭和四	一	五五八	一五八
甘蔗糖工場試驗法　製糖研究會編　昭和八（糖業便覽第二卷）	一	五二八	一五三
感謝と法悅の生涯　谷口茂壽　昭和五	一	六〇九	六二
鑑賞を主としたる高一、二の唱歌教育　草川宣雄　昭和五	一	二六三 三	二六二
鑑賞を主としたる尋五の唱歌教育　草川宣雄　昭和五	一	二六三 三	二七〇
鑑賞を主としたる尋三の唱歌教育　草川宣雄　昭和五	一	二六三 三	二五九
鑑賞を主としたる尋四の唱歌教育　草川宣雄　昭和五	一	二六三 三	二六四

	冊	函	號
鑑賞を主としたる尋六の唱歌教育　草川宣雄　昭和五	一	二六三 三	二六九
鑑賞畫選　昭和二、三年版　藤村耕一編　昭和二	二	五五三	一七
感情教育（フロオベエル）（或る青年の話）第一部　フロオベエル著　北原由三郎譯　昭和一〇	一	六八二	一〇八
鑑賞指導國語教育論叢　宮川菊芳　昭和六	一	二六三 二	三一七
鑑賞指導兒童自由詩集成　北原白秋編　昭和八	一	六二三	一九八
鑑賞に立脚せる唱歌教授細目　山口縣玖珂郡麻里布小學校編　昭和三	一	二六三 三	二四五
感傷の春　生田春月　昭和九（新潮文庫第一二五編）	一	六三〇	八
鑑賞評釋愛吟詩百篇　西條八十　昭和三	一	五八九	二六
鑑賞美術史考　美育振興會編　昭和二	一	五六四	二六五
韓昌黎詩抄（賴山陽全書全集下卷ノ内　昭和七）		五五四	二三三
同		五五四	二三三 イ
感情論　デカルト著　三宅茂譯（世界大思想全集第一ノ内　昭和三）		五四五	五九
痼癖玉（浮世哲學）　眞鍋儀十　昭和二	一	五七〇	一五
眼腫瘍學　山本守部　昭和九	一	五五	一五二
癌腫の放射線療法　中泉正德　昭和一〇（臨牀醫學講座第一四輯）	一	六〇	一三六四
漢書音義　東京文化學院京都研究所發行　昭和一〇（拜經堂叢書ノ内）	一〇	三二一	一九
甘藷切干の調査及研究報告　第一輯　靜岡縣立農事試驗場編　昭和二	一	一四、二イ	五九〇
漢書藝文志より本草衍義に至る本草書目の考察（藥窓誌第四六號附錄）　中尾萬三　昭和三	一	五〇	三一〇
漢書食貨志　第一至三回　昭和二、三（國寶眞福寺本）	三	一三九	三〇六

	冊	函	號
甘藷と馬鈴薯の加工法　菊地久一郎　一七〇頁　昭和一〇	一	六六六	三五三
甘薯申上其外書付　加藤又左衞門　第三卷ノ内（近世地方經濟史料　昭和七）		六〇〇	二八〇
鑑眞和尚東征傳繪卷（紙本着色）　東方書院編　昭和三（日本繪卷全集第二輯）	一〇	四三三	三三三
閑人閑想（ヂエローム・K・ヂエローム）　上、下　ヂエローム著　宮田峯一譯註　昭和九	二	六五六	一〇六
顏眞卿全集（第一、四、五）　顏眞卿書　複製（名碑帖選第三）　昭和九、一〇	三〇	二一六	一五六
間人雜記　服部武喬（南部叢書第一〇册ノ内　昭和四）		五七四	七
函數概論　竹内端三　昭和九（輓近高等數學講座第一三卷）	一	六五四	九
函數漁況論　第一、二輯　小安正三　昭和七、一〇	二	六二七	五
函數生物學　八木誠政、小泉清明　昭和四	一	五五八	一六九
函數論　上、下　竹内端三　昭和七	二	五五二	四四 ロ
眼性神經衰弱　前田珍男子　昭和二	一	五五	一三〇
漢籍を語る叢書　大東出版社發行　昭和一〇	八	六六四	二〇
第一卷　漢籍を觀る（德富猪一郎）　思想を觀る（宇野哲人）			
第二卷　論語・大學・中庸（田中貢太郎）			
第三卷　孟子・孝經（内野台嶺）			
第五卷　易經（山口察常）			
第六卷　老子（長谷川如是閑）			
第七卷　莊子（室伏高信）			
第八卷　墨子（武者小路實篤）			
第九卷　近思錄（飯島忠夫）　傳習錄（山田準）			
岩石鑑定實驗書　上治寅次郎　昭和九	一	六三一	三九四

	冊	函	號
岩石鑛物物理化學試驗表　上治寅次郎編　昭和九	一	六六六	三四
寒石草堂所藏台州書目　項士元編　一九頁（民國二四）	一	六七二	二七八
岩石と鑛物　渡邊萬次郎　昭和六（萬有科學大系正篇第七卷）	一	六一四	一一
間接國稅犯則者處分法釋義　藤塚林平　昭和七	一	六三四	四六
閑是非　遠山椿吉　昭和九	一	六〇	一三一四
鑒禪畫適　安西雲煙（於菟）（岩波文庫八二八ノ内　昭和七）		五六九	一四
潤泉集　宋、韓淲　民國二三　影印　二〇卷（四庫全書珍本初集ノ内）	特 二〇	八四四	一七〇
敢然頂角を往く　二荒芳德　昭和四	一	五九五	八二
艦船並港灣電氣設備調査委員會報告　電氣協會關西支部發行　昭和八、九	二	六三八	四〇
第一回　船舶素質改善助成法ト電氣工業（同支部編）			
第二回　繫留船舶ニ對スル電力供給ノ研究（同委員會編）			
眼前に迫る世界大戰と英米赤露の襲來　SOSの日本　後藤誠夫　昭和七	一	六三一	二一
閑窻撰歌合（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ内　昭和四）		五八四	五
閑窓錄　耕雲堂灌圃編　文化元〔化石ヲ集メシモノ〕	特 一〇	京	三八六
神田　武藏野會編　昭和一〇（武藏野叢書第一輯）	一	六九七	六三
韓退之詩集　下　久保天隨譯　再版　昭和四（續國譯漢文大成文學部第八卷）	一	五八四	一
艦隊送葬曲　ロレンツ著　千葉靜一譯　昭和五	一	五一七	六六〇
簡堂遺文　羽倉用九（簡堂）著　羽倉信一郎編　昭和八	一	二四九	二七五
漢蕩陰令張遷碑　寧樂書道會編　昭和一〇　複製（昭和新選碑法帖大觀第一輯第三卷）	一〇	三〇〇	四四
甘棠集　佐々木克子編　昭和一〇〔佐々木味津三追悼錄〕	一〇	二三一	二

		冊	函	號
鑑刀必携(改版)	近藤周平(鶴堂) 昭和九	一	三三九	五一イ
間島問題	東亞經濟調査局編 昭和六(東亞小册第一〇)	一	五五三	九四
神田區史	神田公論社編 昭和二	一	五七七	三五
神田區勢要覽	昭和一〇年 東京市同區役所編 昭和一〇	一	一四四	一〇七一
雁塔聖教序	褚遂良書 複製(和漢名家習字本大成第七卷ノ内) 昭和八	二	四九	二八三
神田文化史	中村薫 昭和一〇 四七二頁	一	六八六	一八
カンタベリー物語	序歌 チョーサー著 亘理俊雄譯註 昭和九	一	六六五	八七
神田明神誌	附 平將門論贊 小松悦二 昭和六	一	五八七	一九六
菌菅居印粹	中井兼之(敬所)纂	二	八四一	一八二
閑談の閑談	吉野作造著 木村毅編 昭和八	一	六四五	二八
閑談半日	佐藤春夫 昭和九	一	六五五	八六
ガンヂーさんの絲車	金子健二 昭和六	一	五九九	二八四
ガンヂー全集	高田雄種譯 昭和二五	五	五四五	六三
第一篇	無抵抗篇			
第二篇	人格篇			
第三篇	非物質文明及肉體篇			
第四篇	自敍傳(眞理探究者の手記) 上	一	五四五	六三イ
第五篇	同 下			
同 第四篇	自敍傳(眞理探究者の手記) 上			
ガンヂーの革命運動と宗教	アンドリユース著 福永湲譯 昭和五	一	六〇九	九一
ガンヂーは叫ぶ	福永湲 昭和五	一	五九九	二一二
同 補	昭和八	一	五九九	二一イ
寒竹(歌集)	平福百穂 昭和一一(アララギ叢書第三〇篇)	一	三五七	一三九
勘定	武田麟太郎 昭和九(文藝復興叢書第八)	一	六五九	二一
勘定學說研究	畠中福一 昭和七	一	六三七	四〇
勘仲記 第二	勘解由小路兼仲著 矢野太郎校 昭和一〇(史料大成第二七)	一	六五四	五〇
鷹治郎自傳	中村鷹治郎 昭和一〇	一	六七五	一九七
寒椿(歌集)	宇津井都留世 昭和七	一	六三三	三七
ガンヂイと其思想	佐野甚之助 昭和二	一	五三六	二六五
眼底圖譜	石原忍 昭和七	一	五五	一四三
鑑定必携	篤	一	八四一	一三四
含める裁縫の仕方覺え方	稻庭卯吉編 昭和三	一	五七一	二五四
閑田耕筆	伴蒿蹊 享和元	一	八三七	七三
閑田次筆	伴蒿蹊 文化三	一	八三七	三九
漢篆千字文	大島孟龍 寛政八	一	八三七	六三
乾電池製作法と其の特性並に試驗法	橫尾榮 昭和二	一	五七二	一二
寒天の製造法(冬期の副業)	菖蒲治太郎 昭和八(農産製造叢書第二輯)	一	六五九	二五
カント	杉村廣藏 昭和一〇(社會科學の建設者人と學說叢書第八)	一	六七七	一六
寒燈(歌集)	坂梨未明(武行) 昭和九(青虹叢書第三)	一	五〇五	七四
寒燈集	晉馬實藏 昭和六	一	六〇七	三六二
カントからヘーゲルへ	鐵塔書院發行 昭和六	一	六〇九	二五六
判斷力批判第一序說	(カント著 小川一譯)			
知識學或は所謂哲學の概念について	(フィヒテ著 佐藤道太郎譯)			
哲學一般の形式の可能性について	(シエリング著 同譯)			
現象學序說	(ヘーゲル著 岡田隆平譯)			
「カント」算式の一考察	後藤宇太郎 昭和九	一	六七一	六
カント著作集	岩波書店發行 昭和四至一〇	八	五五五	三八
第一、二	イマーヌエル・カント純粹理性批判 上、下卷(天野貞祐譯)			
第四	判斷力批判(大西克禮譯)			
第五	宗教哲學(安倍能成譯)			
第九	イマヌエル・カント法律哲學(恆藤恭、船田享二譯)			
第一〇	論理學(田邊重三譯)			
第一二	可感界竝に可想界の形式と原理とに就いて(武田信一譯)			
第一四	神の現存在の證明の唯一可能なる證明根據(松岡義和譯)			
	自然神學及び道德學の原理の判明性に關する研究(田中經太郎譯)			
	或る視靈者の夢(長島喜三譯)			
カント哲學物語	文藝社編 昭和三(萬有文庫第一)	一	五六九	九七
カントとゲエテ	ジムメル著 谷川徹三譯 昭和三(岩波文庫四六二)	一	五六九	一四
カントとフッサアル	エーアリヒ著 齋藤晌譯 昭和三	一	五五八	一三九
カントに於ける哲學の概念	山口論助 昭和六	一	五五三	三三九
カントの宗教論	佐野勝也 昭和五	一	六〇九	五
「カント」の設定に關する研究	白石茂美 昭和八	一	六四八	五〇
カントの哲學	西山庸平 昭和五	一	六〇九	一〇一
カントの哲學(哲學大系)	松永材 訂一二版 昭和九	一	五〇八	二七イ
カントの平和論	朝永三十郎 昭和六(改造文庫第一部第五三篇)	一	五六九	一四三
カント「判斷力批判」の研究	大西克禮 昭和六	一	五五二	三三八
「カント」より「ヘーゲル」へ	ロイス著 小倉好雄譯 昭和七	一	六〇九	三六八
カント倫理の批判	藤井種太郎 昭和九	一	六三六	二一〇
ガントレット式日本語速記術	森上富夫 昭和九	一	六六五	一八七
廣東から上海へ	支那革命記 アジアチクス著 別府重夫譯 昭和四	一	五九九	四九
「廣東建設廳農林局」研究叢書	廣東建設廳農林局發行 民國二三	一	六七一	六三
第一號	荔枝椿象之研究(陳夢七)			
廣東十三行圖說	武藤長藏 (昭和六)	一	六七二	五六
廣東貿易概況	民國一五年 大阪市役所産業部調査課編 昭和三	一	五二四	七六八
神ながらの修養	田中治吾平 昭和九	一	六六三	二三
神ながらの道	筧克彥 訂再版 昭和九	一	五一一	二一〇
神ながらの道	メーソン著 今岡信一良譯 昭和八	一	六四五	一六四
香貫山	茂野染石 昭和七	一	六三三	一〇九
勘の研究	黒田亮 昭和八	一	六三六	九八
癌の自己診斷と家庭療法	シエルトン著 ケート、戸川篤二譯 昭和一〇	一	五三	三五九
漢方醫學入門	鮎川靜 昭和一〇 一六三頁	一	六〇	一三七〇
漢方醫學の新研究	中山忠直 昭和二	一	六〇	八五七
同 訂三版	昭和六 普及版	一	六〇	八五七イ
漢方醫學餘談	中山忠直 昭和四	一	六〇	九八三

		冊	函	號
同		一	六〇	九八三イ
漢方醫藥全書	栗原廣三編 昭和四	一	六〇	九六八
漢方治療の實際的効果	馬場和光 昭和八	一	六〇	二七五
漢方藥術	栗原廣三 再版 昭和七	一	五〇	三六〇
漢巴四部四阿含互照錄	略稱「赤沼目錄」赤沼智善、昭和四	一	五九二	七八
間伐に就て	河田杰 昭和八	一	六五三	九五
癌は治る、手後れするな	今裕等 昭和五	一	五三	三〇三
蒲原有明集	蒲原有明 昭和一〇 (新潮文庫第一四三編現代詩人全集(五))	一	六三〇	八
神原泰畫集	神原泰畫 昭和九	一	四二八	四三
岩磐鄉土史	第一、二卷 佐藤彥彌 昭和四	二	五九〇	六一
韓非子	吉田義成譯 昭和四 (現代語譯支那哲學大系第二卷)	一	五九五	四一
韓非子新釋	上、中、下卷 平澤東貫 昭和六 (昭和漢文叢書第一三、一四、一六卷)	三	五六八	三五八
韓非子國字解	上、下 松平康國 昭和二、三 (漢籍國字解全書第二一、二二卷)	二	五五五	一
同	昭和七、八	二	五五五	一イ
漢碑集	興文社編 昭和一〇 複製 (名碑帖選第七)	一〇	二一六	一五六
漢碑之研究	上、下 中村不折 昭和一〇 (法帖書論集第九)	二〇	二一六	八四
眼病圖譜	上卷 石原忍 昭和一〇	一	五五	一五七
眼病理學	上、下卷 菅沼定男 昭和七、八	二	五五	一四一
漢文音讀論	岡田正三 昭和七	一	六五五	一五
漢文解釋法	附 練習問題 久保天隨 昭和三	一	五六八	二八七
漢文講義	第一、二卷 (點字)	二	點一	二

		冊	函	號
漢文講座	弘道館編 昭和八、九	八	六一〇	一九八
第一	論語(宇野哲人)			
	中庸 (同)			
	孝經 (鹽谷溫)			
	小學 (飯田傳一)			
第二	孟子 (內野合嶺)			
	大學 (諸橋徹次)			
第三	老子 (小柳司氣太)			
	莊子 (坂井喚三)			
	荀子 (山口察常)			
	韓非子 (平澤東貫)			
第四	左傳 (飯島忠夫)			
	十八史略 (鹽野新次郎)			
	史記 (中山久四郎)			
第五	文章軌範 (高田忠風)			
	古文眞寶 (近藤正治)			
第六	唐詩選 (佐久節)			
	白樂天詩選 (小野機太郎)			
	晋唐小說 (內田泉之助)			
	元曲梧桐雨 (鹽谷溫)			
第七	日本外史 (頼成一)			
	本朝名家詩文 (福原龍藏)			
第八	漢學 第一至一一號			
	時文 (竹田復)			
漢文學史概論	寺內淳二郎 昭和六	一	六一一	一三五
漢文作法要義	附 助字略解 高於菟三 昭和三	一	五三一	一四三
漢文指針	竹內松治、寺內淳二郎 昭和五	一	五八五	一三六
漢文叢書(詳解一全譯一)	至誠堂發行 昭和元、二、四	三	五四五	四八

		冊	函	號
第一、二卷	日本外史 上、下 (大町桂月等譯評)			
第三卷	日本政記 (大町桂月譯、公田連太郎補註)			
	日本樂府 (大町桂月譯)			
第六卷	續文章軌範 (友田宜剛評解)			
第七卷	唐詩選 (川上天山譯解)			
第八卷	論語 (大町桂月譯評)			
	大學 附古本大學 (高田忠風詳解)			
中庸	(同)			
第九卷	孟子 (山內計作譯)			
第一〇卷	老子 (西田長左衞門譯)			
	莊子 上 (同)			
第一一卷	莊子 下 (同)			
漢文叢書	有朋堂發行 昭和二、三	一一	三七五	四三
第一二	史記 第三至五			
第一七	禮記			
第一八	詩經、書經、易經			
第一九	四書			
第二〇	小學、孝經、孔子家語			
第二一	古列女傳、女四書			
第二二	唐宋八大家文 上、中、下			
第二三	古文眞寶、楚辭			
第二四	春秋左氏傳 下			
第二五	日本外史 下			
同	大正八、昭和二	七	三七五	四三イ
第三	國語			
第一二	史記 第六			
第一五	戰國策			
第二二	唐宗八家文讀本 上、中卷			
漢文の訓讀によりて傳へられたる語法	山田孝雄 昭和一〇 三八〇頁	一	六一七	三二
漢文副詞の位置に關する通則	岩垂憲德 昭和七	一	六三三	九
刊謬正俗	伊藤長胤 寫	二〇	八三七	四六
寒木	菊池ゆき 昭和三	一	五八九	五五
翰墨行脚	後藤朝太郎 昭和六	一	六〇六	三八三
咸北合水附近ノからふとまむし再報	土居寬暢 昭和一〇 三頁	一	五六七	一二六
翰墨談	後藤朝太郎 昭和四 五三三頁	一	五九七	七四
同	昭和一〇 三五七頁	一	六八一	四一
間步集	尾上柴舟 昭和五 (水甕叢書第二一篇)	一	五一五	六八
簡明醫學叢書(教科一用)	金原商店發行 昭和五至八	一〇	六〇	六八四
第四輯	小衞生學 六版 (宮路重嗣、及川周)			
第五輯	小耳鼻咽喉科學 (赤松純一)			
第六輯	小組織學 (森於菟)			
第七輯	小精神病學 (杉田直樹)			
第九輯	小神經病學 (植松七九郎、大森憲太)			
第一〇輯	小局所解剖學 (二村領次郎、西成甫)			
第一一輯	小外科總論 (青山徹藏)			
第一二輯	小病理學總論 上、中卷 (木村男也)			
第一三輯	小內科診斷學 (加藤義夫)			
同	金原商店發行 昭和五至一〇	九	六〇	六八四イ
第一輯	小解剖學 同附圖 六版 (西成甫)			
第二輯	小眼科學 (石原忍)			

		冊	函	號
第三輯	小細菌學（竹内松次郎）			
第五輯	小耳鼻咽喉科學（赤松純一）			
第六輯	小組織學（森於菟）			
第七輯	小精神病學　八版（杉田直樹）			
第一〇輯	小局所解剖學　七版（二村敏次郎、西成甫）			
第一一輯	小外科總論　三版（青山徹藏）			
第一三輯	小内科診斷學（加藤義夫）			
同	昭和九、一〇	五	六〇	六八四ロ
第一輯	小解剖學　訂一〇版（西成甫）			
第二輯	小眼科學（石原忍）			
第三輯	小細菌學　八版（竹内松次郎）			
第六輯	小組織學　五版（森於菟）			
第一三輯	小内科診斷學　訂三版（加藤義夫）			
簡明衞生學	綿引朝光　昭和八	一	六一	四一八
簡明を主とした	御大禮の御話　川上愛二　再版　昭和三	一	一〇	二四九　二一〇
簡明解剖學	伊澤好爲　昭和四	一	四九	八九
同	三版　昭和六	一	四九	八九イ
同	四版　昭和七	一	四九	八九ロ
同	五版　昭和一〇　四八六頁	一	四九	八九ハ
簡明眼科學	茂木宣　昭和八	一	五五	一四七
簡明看護學	前、後編　石川信男　昭和三	二	六〇	九一一
簡明看護學教科書	下巻　星川長之助　昭和四	一	六〇	九四九
同	上、下巻　星川長之助　一〇、一一版　昭和九、一〇	二	六〇	九四九イ
簡明外科各論	上巻之一、二、下巻　小川菴　昭和五、六	三	五四	九二
同	再版　昭和七至九	三	五四	九二イ
同	上巻之二　再版　昭和九	一	五四	九二ロ
同	上、中巻　訂三版　昭和一〇	二	五四	九二ハ
簡明國民道德要領	大元茂一郎　昭和九	一	六三六	一八五
簡明産科學	上、下巻　川添正道　昭和四、五	二	五六	二七二
同	再版　昭和五、七	二	五六	二七二イ
同	下巻　昭和八	一	五六	二七二ロ
簡明助産婦學	白木正博　七版（昭和九「受驗用助産婦學」ノ改題）	一	五六	二四八ロ
簡明鍼灸醫學	（一名　鍼灸醫學試驗問題詳解）　訂三版　昭和三　辰井文隆	一	六〇	六九七イ
同	（一名　系統的鍼灸試驗問題詳解）　訂補七版　昭和七	一	六〇	六九七ロ
同	訂補九版　昭和一〇　一〇五二頁	一	六〇	六五七ハ
簡明尋五理科教育の實際	橋本爲次　昭和五	一	二六三七	一五一
簡明新商事要項	緒方清　昭和八	一	六二七	二一三
簡明人體解剖圖	西成甫、浦良治　昭和四	一	四九	九三
簡明生理學	北村直躬　昭和八	一	四八	一〇八
簡明小學國語讀本指導の實際	尋常科第一學年　田中武烈　昭和一〇　四六六頁	一	二六三二	四六一
簡明小眼科學	講醫會編　昭和七	一	五五	一四五
簡明小外科學	講醫會編　昭和八	一	五四	一〇〇

		冊	函	號
簡明小細菌學	講醫會編　昭和七	一	五九	八五
簡明小産科學	講醫會編　小牧久夫訂　昭和九	一	五六	三四四
簡明小神經病學	講醫會編　坂本秀夫訂　訂三版　昭和一〇	一	五三	三五三
簡明小整形外科學	講醫會編　昭和八	一	五四	一〇三
簡明小組織學	講醫會編　訂三版　昭和九	一	四九	一〇九
簡明小胎生學	講醫會編　犬串菊太郎、加藤信一訂　昭和七	一	五六	三一九
簡明小内科學	下巻　講醫會編　昭和八	一	五三	三三〇
簡明小兒科學	中村政司　昭和三	一	五六	二六七
簡明小皮膚科學	講醫會編　昭和六	一	五七	八三
簡明小病理解剖學	各論　上巻　昭和一〇　講醫會編	一	五一	七〇
簡明小病理學總論	講醫會編　昭和七	一	五一	六〇
簡明小病歷文集	講醫會編　昭和九	一	六〇	一三八〇
簡明小藥理學	講醫會編　昭和四	一	五〇	三一八
同	講醫會編　久保田實校　一〇版　昭和九	一	五〇	三一八イ
簡明小レントゲン學	講醫會編　昭和一〇	一	六〇	一三四〇
簡明組織學	堀泰二　昭和六	一	四九	九八
同	再版　昭和七	一	四九	九八イ
簡明胎生學	伊澤好爲　昭和二	一	四九	八四
同	四版　昭和六	一	四九	八四イ
簡明地形學概說	小野寺太郎　昭和九	一	六五七	一三七
簡明内科學	中、下巻　額田豐、額田晋　昭和二	二	五三	二三九
同	上巻　三版　昭和三	一	五三	二三九イ
同	上、下巻　六版　昭和六	二	五三	二三九ロ
同	上、下巻　七版　昭和七、九	二	五三	二三九ハ
簡明尿診學	木内幹　昭和五	一	五三	二九一
簡明農業經營要覽	井納等、川崎甫　昭和八	一	五六九	四四八
簡明皮膚科學	賀川哲夫　昭和六	一	五七	八六
同	三三六頁	一	五七	八六イ
簡明病理學總論	柏木正俊　三版　昭和八	一	五一	六七
簡明婦人科學	後藤直　昭和四	一	五六	二八三
同	再版　昭和八	一	五六	二八三イ
簡明佛語獨習	林一　昭和三	一	五八二	八二
簡明内科診斷治療學	野村佐一郎　昭和八	一	五三	三三一
簡明藥理學	原三郎　四版　昭和七	一	五〇	三五八
簡明臨床細菌學	小林六造　昭和三	一	五九	七七
同	三版　昭和八	一	五九	七七イ
感銘錄	明魂　蓮沼門三　昭和九	一	六六二	九三

			冊	函	號
簡明	和漢方	藥方編　津間駿齋　昭和九	一	六〇	一三〇五
	漢洋醫學鬪爭史	舊藩と醫學社發行　昭和九 政治鬪爭篇　上卷　溫知社時代（深川晨堂編）	一	六〇	一三一六
	漢藥の話	中尾萬三　昭和三 （東亞研究講座第二一輯）	一	三九三	七五六
	雁來紅	小野實人　昭和四	一	五九五	一五四
	漢老女人經·魏譬諭經·晉王獻之地黃湯帖	中村丙午郎編　昭和九　複製	一帖	三〇〇	五
	楡檀山上疑問の錦旗	酒井勝軍　四版　昭和三	一	五三六	四一四
	楡檀樹	第二輯　第一高等學校校友會文藝部編　昭和一〇	一	六六四	一四
	楡檀叢書	楡檀社發行　昭和三、六、九 第二編　くさはら（吉植庄亮） 第三編　歌交響（佐野翠坡等） 第五編　松田景三家集（同人）	三	五二九	二五四
	顏料及び染料の色彩	織田經二　昭和二	一	五六三	一三
	顏魯公三表眞蹟	唐、顏眞卿書　拓本	一帖	八四一	三三
甘露堂文庫	稀覯本攷覽	尾崎久彌編　昭和八	一〇	二一四	三〇五
漢和中一	漢和新辭典（掌）	幸田露伴監修　昭和元	一	三七四	一〇九
漢和	新大辭典	教文社編輯部編　昭和四	一	五九六	八九
漢和	新大辭典（芳賀一）	芳賀剛太郎　昭和七	一	六三〇	七三
漢和	大自習字典	普通教育研究會編　昭和八	一	六三三	一四一
	漢和大辭典（久一）	久保得二（天隨）編　昭和四	一	六八	四〇三
漢和對照	教行信證	附　字解索引　宗教書院編　昭和五	一	五九五	二五七
	漢和法式	（群書類從第一七輯連歌部ノ內　昭和三）	五八三	一四	
	同	（新校群書類從第一三卷連歌部ノ內　昭和四）	五八四	五	

【キ】

	キアンデイド	ヴオルテール著　高沖陽造譯　昭和九 （世界名作文庫第一七五）	一	六三〇	一
紀伊有田郡	先賢傳記	第一輯　和歌山縣有田郡教育會編 昭和九	一	六六	四五
	癸酉句鈔	野田別天樓（要吉）編　昭和九	一	六三一	四六〇
	〔義勇財團〕海防義會一覽	同會編　昭和二	一	五二四	五九六
	紀伊北牟婁郡誌	三重縣北牟婁郡誌編纂會編　昭和七	一	六一六	三五
	紀伊詩集	胡麻政和編　昭和五	一	五八五	一四一
	紀伊陶磁器史	貴志貞善（文泉堂主人）著　和歌山浮巢會 編　再版　昭和一〇　三五頁	一〇	三〇二	一〇四
	木苺と影	山川柳子　昭和七	一	六二〇	一〇六
	鬼一法眼三略卷	松田和吉、長谷川千四（近代日本文 學大系第八卷ノ內　昭和二）		五六〇	九
	同	（近代日本文學大系第七卷ノ內　昭和九）		六二九	二八
	生絲格付研究概要	農林省生絲檢查所編　昭和二	一	五二四	六二五
	生絲恐慌對策史	森本宋　昭和六	一	六〇八	二五三
	生絲檢查所關係法規	橫濱生絲檢查所編 昭和四、六年 昭和四七	二	一四七	四六九
	生絲檢查所事業成績報告	昭和二年　橫濱生絲檢查所編 昭和三	一	四	二六六
同			一	四二	二六六
	生絲檢查所調查報告	昭和元、二年　橫濱生絲檢查所編　昭和三	二	四二	二六六
	生絲檢查所調查報告	下卷　昭和五年　神戶市商工課編　昭和七	一	四二	七三
	生絲檢查成績	昭和六年　京都府生絲檢查所編　昭和七	一	四二	六一〇
	生絲市場論	志村茂治　昭和八 （蠶絲問題研究第二卷）	一	六二七	一〇八
	生絲商戰史	一戶正俟　昭和二	一	五六三	一四九
	生絲生產調節經過要錄	昭和四年度　生絲生產調節事業會編　昭和五	一	四二	六八二
	生絲清算取引の理論と實際	松浦積　昭和七	一	六三一	一一九
	生絲と人絹の知識	福本福三　昭和九 （萬有知識文庫第一八）	一	六六四	一
	生絲と其貿易	早川直源　改版　昭和三	一	五〇七	一三
	生絲の格付	附　檢查方法　米國絹業協會編　森田三郎、志賀寬譯　昭和四	一	五七九	四〇八
	生絲の格と取引	附　製絲法　細川幸重　昭和二	一	五七三	六一
	生絲の正量取引と其檢查法	服部八三郎　昭和三	一	五八一	四七
	生絲販賣統制に關する制度調查審議經過概要	日本中央蠶絲會編　昭和八	一	六四一	一五二
	生絲品位檢查竝に格付	農林省生絲檢查所編　昭和六 二三頁	一	六〇四	四三〇
同		橫濱生絲檢查所編　昭和一〇　二九頁	一	六〇四	四三〇
	生絲品位檢查並に格付の實際	吉村定雄　昭和八	一	六四三	二三七

キイト—キウア

	生絲品位標準檢查方法	農林省生絲檢查所編　昭和三	一	五七九	七一
特	紀伊國古文書纂	本居內遠編　寫	一〇	二五	ね 四三
	紀伊國造家譜	天保一一　一七丁 本居內遠著　同豐穎校　同清造再校	一〇	三三九	一二〇
	紀伊國造職補任考	（增補本居宣長全集第一二本居內遠全集ノ內　昭和二）		四一	九八イ
	紀伊國名所圖會	後編第一至六卷　如納諸平、神野易興編　嘉永四	六〇	八三九	八〇
	紀伊國名所圖會	第一至三集　高市志友編　西郷中和等畫　文化八至天保九	一七〇	八三九	八〇
	紀伊國屋パンフレット	紀伊國屋出版部發行 昭和一〇	五	六六六	三〇七
	生絲販賣統制に關する制度調查審議經過概要	第一輯　能動精神パンフレット（田邊茂一編）	一枚	八四一	一八七
		第二輯　ダイヴイング（舟橋聖一）	一	六八四	一四〇
		第三輯　純文學のために（田邊茂一編）	一	六八四	一四〇イ
		第四輯　弔花（豐田三郎）			
		第五輯　行動主義文學論（小松清）			
	紀伊國輿地全圖	寫　一三五・〇〇×一二四・〇〇	一	六〇三	一五五
	キイランド短篇集	キイランド著　前田晁譯　昭和九 （岩波文庫九八三）	一	五六九	一四
	ギールケの團體法論	石田文次郎　昭和四	一	五八七	一五一
	黃色い窓	細田民樹　昭和五	一	六〇三	一五五
	議院法改正資料	ジエニングス著　國政研究會譯編 昭和一〇　一一三頁	一	六八四	一四〇
同		橫濱生絲檢查所編　昭和一〇　二九頁	一	六〇四	四三〇イ
	求愛術	マゾツホ著　木村毅譯　昭和六 （世界獵奇全集第二卷）	一	六一三	二四
	久安六年御百首	（群書類從第一一輯和歌部ノ內 昭和四）		五八三	一四

書名	冊	函	號
同　（新校群書類從第八卷和歌部ノ内　昭和三）		五八四	五
九院佛閣抄　（群書類從第二四輯釋家部ノ内　昭和三）		五八三	一四
同　（新校群書類從第一九卷釋家部ノ内　昭和七）		五八四	五
鳩翁遺稿　道話及自傳　柴田寅三郎編　昭和四	一	三四一	五二四
鳩翁道話　柴田鳩翁著　石川謙校　（岩波文庫一〇七八—一〇七九）　昭和一〇	一	五六九	一四
鳩翁道話　柴田鳩翁　（日本道話全集第一卷ノ内　昭和二）		五六〇	三
舊刊影譜　日本書誌學會編　昭和七	一	六二八	七七
同	特 一	六二八	七七イ
救急皇漢醫方　石原保秀譯註　昭和八　〔多紀桂山著「救急選方」ヲ和解シ註ヲ加ヘタルモノ〕	一	六〇	一三七〇
救急療法と應急手段　富永哲夫　昭和五	一	六〇	九九二
九經辨字瀆蒙　清、沈炳震　民國二三　影印　（四庫全書珍本初集ノ内）　一二卷	特 七〇	八四四	五五
舊金銀貨幣價格表　造幣寮編　明治七	一〇	八四二	三七
舊黒田家江戸上屋敷表長屋實測圖　（現外務省附屬建物）	特 一〇	七別	五四九
救荒二物考　高野長英　（海表叢書卷二ノ内　昭和三）		五六六	一五
同　（南蠻紅毛史料第一輯ノ内　昭和五）		五六六	一五イ
救荒百種　東方籌編　昭和一〇　（篤農協會叢書第九）	一	六五三	八五
救荒便覽　前集一帖、後集二帖、續集一帖　遠藤泰通　天保中	四帖	ち二	六〇
九華集　宋、員興宗　民國二三　影印　（四庫全書珍本初集ノ内）　二五卷附錄一卷	特 八〇	八四四	一五三

書名	冊	函	號
舊慣制度調査書　社還米制度　麻生武龜　昭和八	一	六四九	七
毬闕變形草　關孝和編　昭和九　謄寫版	一〇	三〇二	二七
休業銀行の法律問題　附錄付　銀行研究社編　昭和七	一	六二一	六四
丘言　川越篇・熊谷篇　大川貞作（鳥堂）　（常盤叢書第二編）　昭和八	一	六二九	一五
舊工部大學校史料　同史料編纂會編　昭和六	一	二九二	八八
救護事業指針　（救貧の理論と實際）　小澤一　昭和九	一	六四九	一四一
求古圖譜　織文之部　高島千春編	一帖	八四一	七七
救護法と失業保險　山岡龍次　昭和八	一	六三七	一六三
救護法に依る救護統計　第一卷　昭和一〇　神戸市社會課編	一	一四、四	一〇四七
救護法の說明　社會局社會部編　昭和六	一	三七三	五四五
舊御寮織物司三上家略史　佐々木信三郎　昭和一〇　三六頁	一〇	六八二	四六
球根草花の話　吉津良恭　昭和二　（花卉叢書第二編）	一	五六四	一八八
球根類の栽培　松原秀雄　昭和七	一	六二二	一一八
弓材考　寫	一〇	八四一	一六二
救濟の宗教　新宅博雄　昭和五	一	三八七	二五九
舊佐賀藩の均田制度　小野武夫　昭和三	一	三九七	三八三イ
牛山方考　香月啓益（牛山）　昭和一〇　謄寫版　二六一頁	一〇	三〇二	二〇五
久氏遺稿　天、地之卷　澤村寫本堂發行　昭和九　謄寫版	二〇	二一五	二七四
九州醫學會會誌　第三一、三二、三四回　昭和三至七　同會編	三	雜 二八	九

書名	冊	函	號
九州沿岸水路誌　追補第一、二共　昭和五至七　水路部編	三	水	五三
九州交通大觀　九州時論社編　昭和四	一	五五三	六九
九州九ヶ國之繪圖　文化一〇　五八・〇〇×八六・〇〇	一枚	八四二	五三
九州繪畫大鑑　永田勝馬（竹碧）編　昭和三	一〇	一七三	一四三
九州齒科醫學專門學校要覽　同校編　昭和三	一	二八七	二七
九州帝國大學一覽　〔附第八臨時教員養成所一覽〕　昭和二至一〇年　同大學編	九	二八一	一二
九州帝國大學要覽　昭和三至五、七至一〇年　昭和三至一〇　同大學編	七	二八一	一六
九州帝國大學醫學部學位論文審査要旨　第一至五輯　同大學醫學部編　昭和二至六	五	六〇	八九五
九州帝國大學醫學部耳鼻咽喉學教室廿年史　第一卷　同室員編　昭和二	一	五八	一五七
九州帝國大學醫學部二十五年史　記念祝賀會編　昭和三	一	六〇	九二三
九州帝國大學圖書目錄　第一卷（アーソ）、第二卷（ターワ）、補遺增加篇　同大學附屬圖書館編　昭和七至一〇	三	六三八	三九
九州帝國大學農學部演習林報告　同部附屬演習林編　昭和六至一〇	三	一四、二イ	七〇九
第一號　樺太演習林に於ける植物生態調査　（植村恒三郎、田中祐一）			
第二號　邦領樺太北部原生林に於けるエゾマツ、トドマツの更新及び根系に關する研究　（同）			
第三號　臺灣演習林植物調査（豫報）　（初島住彥）			
第四號　糟屋演習林植物調査（豫報）　（同）			
第五號　南鮮演習林植物調査（豫報）　（同）			
第六號　邦領樺太北部幌登山に於けるエゾマツ、トドマツ一齊林の成立に關する考察　（田中祐一）			
第七號　演習林氣象報告（第一回）　（田瀬壽雄等）			
糟屋演習林地形圖　（梶木治郎、樋口勝）			
交互式架空索道の索線の曲線、長さ及び張力に關する靜力學的研究　（渡邊治人）			
海岸砂丘に生立する黑松林の構成狀態　（田中祐一）			

書名	冊	函	號
九州のみちの記　木下勝俊　（群書類從第一八輯紀行部ノ内　昭和三）		五八三	一四
同　（新校群書類從第一五卷紀行部ノ内　昭和四）		五八四	五
九州の山々　時間記錄と費用概算　昭和七　北田正三　再版	一	五八七	三〇二
九州方言關係資料　吉町義雄編　昭和一〇　一五丁	一	六七二	三三四
九州萬葉手記　（九州萬葉地理考）　三松莊一　昭和四	一	五九六	一五三
九州みちの記　細川幽齋　文政六	一〇	八三九	九三
九州道の記　細川幽齋　（群書類從第一八輯紀行部ノ内　昭和三）		五八三	一四
同　（新校群書類從第一五卷紀行部ノ内　昭和四）		五八四	五
九十五點主義（青嵐隨筆）　永田秀次郎　昭和一〇	一	六一九	二八九
九十三年　ユーゴー著　早坂二郎譯　（世界大衆文學全集第一七卷）　昭和四	一	五六九	六一
宮城内御寫眞圖集　建築寫眞研究社編　昭和四	一	四二四	三三
宮城（江戸城址）附近巡見略引　松本勘太郎（露影）　昭和一〇	一	六七二	二〇四
髹飾錄　明、黃成著　楊明註　（大正一五）	一〇	二〇三	一七六
同	一	五二四	七八七
舊神學の沒落　新創造の神學　尾島眞治　昭和一〇　三五三頁	一	六九六	一六

				冊	函	號
求人戰術	（採用詮衡と給料の決定）	矢持輝治	昭和五	一	六〇七	五九
舊新約聖書	引照付	米國聖書協會編	昭和五	一	六〇九	一三〇
同	昭和九			一	六〇九	一三〇イ
舊新約聖書（引照）		米國聖書協會發行	大正一五	一	五五三	八
九成宮醴泉銘	唐、歐陽詢書	拓本		特 一	幅 八四一	二一五
同	昭和九 複製（和漢名家習字本大成第二三卷）			幅 一	八四二	一〇六
				一	二四九	二八二
救世軍人の力	ブース夫人	昭和四		一	三四一	五二六
救世軍大將制定軍令及軍律	士官の卷	上、中、下	救世軍日本本營編 大正一五至昭和五	三	五三三	八七
救世軍の過去現在及び將來	山室軍平編	昭和四		一	五九〇	一七六
救世主の旗の下に（戯曲）	楠田敏郎	昭和六		一	五八二	三三一
舊鈔卷子本莊子殘卷校勘記	狩野直喜	昭和七		一	三三三	三四一
舊抄本古文孝經	同解説（永山近彰）昭和一〇・三・丁	育德財團編		特 一	二〇 三〇一	一一九
同				特 二	三〇一	一二九イ
舊蹟異聞	三輪秀福等（南部叢書第七册ノ内）	昭和四）			五七四	七
弓箭圖式	武林法量編	天保一四		一	八四三	九四
九大病理年報	第一號	九州帝國大學醫學部病理學教室編	昭和九	一	五一	六九
舊鳥取藩の租法と明治初期の改革	鳥取縣內務部編	昭和四		一	五七九	三一三
舊長岡藩再興の英主牧野忠精公の百年祭を迎へて	福島甲子三	昭和五		一	六〇四	五
牛乳及加工學	高屋銳 訂三版	昭和二		一	三八〇	二五ロ
牛乳及び乳產品	澤村眞	昭和二		一	五六四	二四七
牛乳檢查法	津野慶太郎 昭和三（「題簽等ニハ「乳肉檢查法實驗」トアリ）			一	五八一	一四四
牛乳讀本	沖本佐一	昭和三		一	五九〇	一四
牛乳と細菌	池田錫	昭和六		一	六〇六	二一五
牛乳問題	第一輯 里正義	昭和二		一	五七一	一三七
窮忙小記	鄧慶時（白堅）	民國一七		一〇	三三七	四〇
九棚背斜軸地形及地質精查圖	臺灣總督府殖產局製 昭和七 四〇・九〇×二六・一五			一枚	一三	六〇一
舊法集	第二分册 昭和五 舊民法	早稻田法政自由大學編		一	一四七	五一四

				冊	函	號
同	訂補一四版 昭和六			一	五八六	一一七イ
求道	稻田邦彥 昭和一〇（日本文化小輯第四）			一	六六六	二〇一
弓道	村尾圭介 昭和四（日本體育叢書第二二篇）			一	五〇五	二七
弓道及弓道史	浦上桑、齋藤直芳 昭和一〇（武道全集第四卷）			一	六五三	一三
弓道講義	本多利實著	根矢鹿兒訂	昭和四	一	五〇七	一二〇イ
弓道指南歌詳解	上卷 村河清	昭和三		一	五六九	六六
弓道・新射法	竹內尉	昭和九		一	六七五	九五
弓道一日一善	上、下卷、トルストイ著 原久一郎譯 訂 昭和九、一〇			二	六六三	一七三
同	上卷			一	六六三	一七三イ
九中を中心としたる史蹟名勝	（創立落成式記念） 東京府立第九中學校三五會編 昭和七			一	六三五	一二五
宮中勤務提要	神宮司廳編	昭和六		一	五九〇	四五四
同	昭和九			一	三九七	三三一イ
紀氏系圖	（新校群書類從第三卷系譜部ノ內 昭和五）				五八四	五
木內前京都府知事事件を論ず	附 鶴助集 花井卓藏 昭和五（訟庭論草第一）			一	五九一	六五ロ
舊津藩國校有造館史	梅原三千 昭和九			一〇	二五五	一二〇
舊條記	日置謙校 昭和八			一	六五三	一五二
舊條約彙纂	外務省條約局編 昭和五			三	一四五	二六一
第一卷	第一部					
第一卷	（各國之部）第二部 昭和九					
第三卷	（朝鮮及琉球之部） 昭和九					
舊典類纂	皇位繼承篇 卷一至一〇、附錄 編 昭和七	横山由清、黑川眞頼 複刻		〇六	一五三	九〇
舊鳥取藩の租法と明治初期の改革	鳥取縣內務部編	昭和四		一	五七九	三一三
同						
舊藩と山方	第一輯（福岡縣山林會臨時號） 福岡縣山林會編	昭和五		一	六〇四	一四四
屎肥生產利用講演錄	山口縣內務部編 昭和八（有畜農業經營指針第二輯）			一	六三五	三七三
救貧法制要義	山崎嚴	昭和六		一	五九一	二四五
救貧法制概要	木村忠二郎 昭和九（社會行政第一輯）			一	六六六	九四
舊聞日本橋	長谷川時雨	昭和一〇		一	五六八	五四五
九峰詩鈔	高島京江編	昭和三		一〇	一七〇	一三九
鳩民邇言	平山貞（近世地方經濟史料第六卷ノ內 昭和七）				六〇〇	二八〇
球面三角法	新宮恒次郎	昭和二		一	三三三	四八九
球面三角法	臨時公立商船學校教科書編纂委員會編 昭和八			一	六三五	三三九
球面天文學	日下部四郎太、菊田善三 訂	昭和九		一	六六二	一七
牛門漫筆	（名高い人と私） 松波仁一郎	昭和一〇		一	六六一	二〇八
球陽	鄭秉哲等編 宮里榮輝校	昭和四 謄寫版		三	一四〇	二七九

	冊	函	號
球陽外巻遺老説傳　島袋盛敏譯　昭和一〇	一	六一七	二七三
舊約史要　中　浦川和三郎譯　昭和八	一	六一九	二一一
舊約釋義　上巻　イデルシャイム著　ハインド譯　訂　昭和九	一	三一九	九二イ
舊約書の由來　渡邊善太（基督教思想叢書第一輯第三巻）　昭和四	一	五九二	九八
舊約聖書　引照附　米國聖書協會發行　昭和一〇　一六一〇頁	一	六九六	八三
舊約聖書概論　關口熊吉　昭和六	一	六〇九	三四六
舊約聖書講解（律法と歴史）（詩歌と預言）　米田豐　昭和八、一〇	二	六一九	二〇九
舊約聖書綱目　黒田惟信　昭和八	一	六四五	八
舊約聖書研究（發展的に見たる舊約文學）　松田明三郎　昭和九（日本メソヂスト宗教教育叢書第四巻）	一	六〇九	三三九
舊約聖書續篇　舊約聖書續篇飜譯委員（アポクリファ）　昭和九	一	六四五	二〇三
舊約聖書農業考　石川武彦　昭和六	一	六〇九	三三五
舊約聖書の梗概　森渓川　昭和九	一	六四五	一九四
舊約聖書の教育思想　平塚益徳　昭和一〇	一	六一二	二六七
舊約地誌（概説）　河邊滿甕　昭和八（基督教教程叢書第八編）	一	三七三	五五五
舊約女性物語　田中龜之助　昭和七	一	六〇九	三八九
舊約に於ける豫言の進展　村尾昇一　昭和三	一	五七〇	一八六
舊約の話　ネアン著　八代斌助譯　昭和九　四〇九頁	一	六八一	三九
舊約の律法　小林喜一　昭和九	一	六六〇	一四〇
舊約文學概論　カーブ（同志社神學叢書第二）	一	六一五	一〇
舊約文學序説　都留仙次　昭和八（基督教教程叢書第一〇編）	一	三七三	五五五
舊約文學の二大潮流　渡邊善太　昭和八（基督教モノグラフ叢書第一編）	一	六三一	二七一
舊約文學のユートピヤ思想　渡邊善太　昭和五（基督教思想叢書第三輯第一巻）	一	五九二	九八
舊約物語（こども聖書）　中村星湖編　昭和七	一	六三六	二六
舊吉田新田の今昔　古圖付　石野瑛　昭和三	一	五七六	四一
九老畫譜（近江一燕村）　九老（紀時敏）畫　恩賜京都博物館編　昭和九	一	三〇〇	三五
キウリー夫人傳（科學界の女王一）　石井悦朗　昭和七	一	五八七	二一九
丘陵スキー術　吉井修七　昭和五	一	五九七	三九〇
鳩嶺雜事記（新校群書類從第二〇巻雜部ノ内　昭和四）	五	八四	五
鳩嶺年代記（新校群書類從第一九巻雜部ノ内　昭和七）	五	八四	五
灸療要穴辭典　富永勇　再版　昭和一〇　三一三頁	一	六〇	一四八五
歸依三寶の精神　金子大榮　昭和一〇（日本文化小輯第三）	一	六六六	二〇一
キエルケゴール選集　同人　昭和一〇	三	六九〇	一三
第一巻　不安の概念（伊藤郷一譯）			
現代の批判（三木繁譯）			
死に至る病（辨證法的人間學）（菅圓吉、大村晴雄譯）			
第二巻　基督教に於ける訓練（彼の基督教觀の精髄）（桑田秀延譯）			
懼れとをのゝき（辨證法的抒情詩）（鬼頭英一譯）			
誘惑者の日記（神保光太郎譯）			
第三巻　アイロニーの概念について（三木清、桝田啓三郎譯）			
反覆（實驗的心理學の試み）（桝田啓三郎譯）			
瞬間（藤本正高譯）			
宜園叢書　運命大學院發行　昭和二	二	五五五	九
第二編　昭和革政の豫言（小林宣國）			
第三編　對支出兵と財界豫言　再版（同）			
同　第二編	一	五五五	九イ
きおひさくら　稀書複製會編　昭和七　複製	一	昭一二五	一四六
祇園會御見物御成記（群書類從第二二輯武家部ノ内　昭和三）	一	五八三	一四
同（新校群書類從第一七巻武家部ノ内　昭和五）	一	五八四	五
祇園しぐれ　長田幹彦　昭和九（情話新集第一）	一	六四七	一三五
祇園執行日記（新校群書類從第二〇巻雜部ノ内　昭和四）	一	五八四	五
祇園十二夜　渡邊均　昭和二	一	五六八	一九一
氣温報告　第一巻其ノ一、二　中央氣象臺編　大正五至一四年昭和六	二	一四、六	三〇九
祇園囃子　長田幹彦　昭和九	一	六五六	一七九
祇園風景　渡邊均　昭和四	一	五九六	一六二
機械　横光利一　昭和六	一	六一一	八一
同　昭和一〇	一	一〇	三一
機械音樂の理論と構造　ウエイス著　小松耕輔、秋山峰三郎譯　昭和一〇　二九二頁	一	六八〇	六
機械學　宮城音五郎　昭和四（近世機械學第三巻）	一	五八一	三三
機械學會論文集　同會發行　第一巻第一號（昭和一〇年二月）ヨリ	一	昭一二五	一四六
機械學通論　丸善發行　昭和二	一	五四三	一五一
第二編　材料强弱學（宮城音五郎）			
喜界島生活誌調査要目　岩倉市郎　昭和一〇（アチックミューゼアムノート第六）	一	六八四	一二四
機械簡易表　竹村勘悉　昭和六	一	五六九	三四五
機械藝術論　「新興藝術」編（新藝術論シリーズ第五巻）　昭和五	一	六〇三	二三
機械減摩法　三井調喜　訂補再版　昭和三	一	五四二	一七イ
機械工學要項　附圖付　吉木一朗　昭和二	一	五七二	一三
機械工學大要　附圖付　菅原菅雄編　昭和三	二	五八一	一七〇
機械工學圖集　山本次男編　昭和七	一	六三二	四
機械工學年鑑　昭和九、一〇年版　機械學會編　昭和九至一〇	二	一四、五	三八五
Kikai-kôgaku no arumashi　古賀邦夫　昭和一〇	一	六三八	一三五
機械工學便覽　機械學會編　昭和九	一	六四七	五五
同　昭和九	一	六四七	五五イ
同　再版	一	六四七	五五ロ
同　三版　昭和一〇	一	六四七	五五ハ
機械工業　中央職業紹介事務局編（職業別労働事情三）　昭和二	一	一四、五	一九七
機械工業通覽　第一回　最新工學普及會編　昭和四	一	五五三	三七
機械工作法　岡田成實　昭和一〇（電機學校機械科叢書第一〇巻）	一	六三五	三三

キエル—キカイ

		冊	函	號
機械工作法	矢板豐一 昭和四	一	五五八	一五九
機械工作法講話	藤野準等 昭和五至九	五	五六二	三三七
第一卷 第一編 木型				
第二編 鑄造				
第二卷 第三編 鍛冶、板金工及製鑵				
第三卷 第四編 手仕上、組立及測定				
第五編上 機械仕上				
第四卷 第五編下 同				
附錄 圖工作機械				
同 第一至三卷 訂五、六版	昭和八、九	三	五六三	三七イ
同 第一、三卷 訂五、六版	昭和八、九	二	五六三	三七ロ
機械工作法實習指針(圖解)	附日本標準製圖規格並解說 高谷善一郎 昭和一〇	一	六二七	二四一
機械工師必携	桝田喜一郎 昭和四	一	五六九	一九〇
機械工場作業計畫並原價計算	星子勇編 昭和九	一	六七五	六一
機械工場實習講座		二	六九五	一
甲篇 第一二卷 電弧鎔接實習法	(磯部義彥、横田清義)			
乙篇 第五卷 旋盤と其作業	(稻葉實)			
機械工場精密測定法と其要具	松村光亨 昭和一〇 四六三頁	一	六八〇	一二六
機械工場用算術	田島義造 昭和九	一	六六七	一〇九
機械採炭と切羽片盤の運搬	中久木潔 昭和九	一	六六七	五五
機械材力學	杉村伊兵衛 昭和二	一	五七三	四一
機械材料	山岡敬二 昭和八 (電機學校機械科叢書第二卷)	一	六三五	三三

		冊	函	號
機械材料	金屬學初步 中野弘策 昭和二	一	五六三	一四六
機械時代	上、下 アルス編 (最新科學圖鑑第六、七)	二	五六七	七九
機械時代の戀愛	デル著 中島幸子、田村とし子譯 昭和七	一	六〇七	四四三
機械信號機及聯動裝置	藤原孝一 昭和六	一	五八一	二六一
機械製圖解說	商工省臨時産業合理局編 昭和九 (日本標準規格第二)	一	六六二	七九
同		一	六六二	七九イ
機械設計	坪井道三、藤井義信 昭和六	一	六一四	五九
機械設計	三宅文次郎 昭和八 (電機學校機械科叢書第四卷)	一	六三五	二二
機械設計學	下卷 杉村伊兵衛 再版 昭和三	一	五四二	九三ロ
機械設計法	エンヂニヤリング社編 昭和二	一	五七二	五五
機械設計法	(機素と其設計) 上卷 小川義朗 昭和一〇	一	六八九	三八
己亥叢說	井上賴圀 明治三二 (下卷一〇一、一〇二頁缺)	二	八三八	三八
機械獨逸語解釋研究	坪井道三、岡部昇 昭和一〇 三九九頁	一	六八七	二〇四
機械と藝術革命	フオツクス等著 木村利美譯編 昭和五	一	五九七	三五五
機械と藝術との交流	板垣鷹穗 昭和四	一	五九七	二一三
機械と其作用	竹内時男 昭和二 (最新科學の驚異第一〇卷)	一	七二三	三六
機械捺染法	金子酉三 昭和七	一	六二七	八二
機械圖面の讀方	野津正忠 昭和二	一	五七二	九四
機械の計畫と設計	桝田喜一郎 一三九二頁	一	七二一	九一

		冊	函	號
機械の父ワット正傳	スマイルス著 伊澤梅吉譯補 昭和八	一	六三九	一七三
機械の舞踏	オブライエン著 日吉早苗譯 昭和六	一	六〇九	一六三
機械の素	淺川權八 訂補六版 昭和六	一	三三七	七五ロ
機械破壞者	トラア著 田村俊夫譯 昭和八 (世界名作文庫第二二六)	一	六三〇	一
棋界祕話	矢野由次郎 昭和四	一	五八六	二〇八
機械部分設計	川田正秋 昭和一〇 一七五頁	一	六三七	三〇三
機械部分之設計	山下仙之助 昭和五	一	六〇八	七
同 訂再版	昭和六	一	六〇八	七イ
機械標準用語	資源局編 昭和一〇 二一七頁	一	六七九	四九
機械論的に觀たる動物學精粹	北屋淳一郎 昭和五	一	六〇八	一六三
機械論と辯證法的唯物論	ストリヤーロフ著 笹川正孝譯 昭和五	一	六二	五四
揮毫大觀	楠瀨日年 昭和六	一	六〇八	二〇八
紀行對話 樺太の旅	阿部悅郎 昭和一〇 二六二頁	一	六八七	三四
機巧圖彙	細川賴直 再版 文化五	三	二一五	一七一
魏高貞碑	櫻井灌一編 昭和二	一	八	五七
紀行と隨筆	田部重治 昭和九	一	六六一	六四
紀行文集	柳田國男訂 昭和五 (帝國文庫第二二編)	一	五八三	一五
幾何學基礎論	中松幸四郎 昭和九 (最近高等數學講座第二六卷)	一	六五四	九
幾何學教科書	東京物理學校編 昭和八	一	六四一	八一

		冊	函	號
幾何學辭典	平面 附 問題索引表 集文館編 昭和五	一	六〇六	一六三
幾何學史物語	清水英一 昭和七	一	六三三	一三〇
姬岳句集	新渡戸姬岳 (南部叢書第八册ノ内 昭和四)		五七四	七
其角研究	上 寒川鼠骨、若林樹編 昭和二	一	五〇六	一三ロ
其角七部集	宇田久校 昭和九 (改造文庫第二部第二三六篇)	一	五六九	一四三
規格統一及び單純化	鈴木久藏 昭和五 (産業合理化講座第二卷)	一	六〇八	一三
其角俳句集	小澤武二編 大正一五 (俳人叢書第二編)	一	五五〇	五五
器樂名曲解說	(ヴイクターレコード引照) 藤井夏人 昭和五	一	五九七	二三六
其角名句選集	(季題—類別—) 工藤淳(靜波)編 大正一五 (俳諧文庫第五編)	一	五五〇	一三五
幾何光學	山田幸五郎 昭和六 (最近物理學叢書第四)	一		四六
飢餓線上を行く	(浮浪者の種々相) 高木武三郎 昭和九	一	六六〇	一一七
飢渴信	武林無想庵 昭和五	一	五九五	二三六
幾何と代數との語源に就いて	林鶴一 昭和八	一	六三一	三三九
熙洽論	今村俊三 昭和七 (滿洲問題重要案件叢書第七)	一	六二五	二〇四
歸雁	中村伊太夫 (南部叢書第六册ノ内 昭和二)		五七四	七
旗艦叢書	旗艦發行所發行 昭和一〇	一	六七七	二五
第一 句集新しき雲	(日野克修編)			
記紀歌謠集	武田祐吉校註 昭和八 (岩波文庫九四七—九四八)	一	五六九	一四
聽方教育の原理と實際	奥野庄太郎 昭和三	一	二六三	二六六

聽き方話し方解說　内田治三郎　昭和三　冊一　函二五二　一五九
黄菊白菊　細田民樹　昭和一〇　冊一　函三五七　三一五
記紀對照批判　岸一太　昭和八　冊一　函六四〇　一三三
枳橘易土集　同附卷　慧晃　寫　冊一六〇　函一五三　八四
危機に於ける科學叢書　政經書院發行　昭和八、九　冊二　函六三一　二八四
第一　個性の心理學（レエマン著　細谷德三郎譯）
第二　危機の日本經濟（前芝確三）
危機に於ける人間の立場　三木清　昭和八　冊一　函六四五　三四
危機に立てる日本の蠶絲業　加藤知正　昭和六　冊一　函六〇四　四三〇
危機の神學　ブルンネル著　岡田五作譯　昭和六　冊一　函六〇九　三一〇
危機の神學者バルト及びバルトの神學　マツコナツキー著　岸千年、藤原藤男譯　昭和七　冊一　函六一九　一四二
危機の宣言（其の後に來たるもの）　室伏高信　昭和八　冊一　函六四五　一四〇
危機の文化と宗教　今中次麿　昭和一〇　二九九頁　冊一　函六八八　七
聽耳草紙　佐々木喜善　昭和六　冊一　函六一一　六八
同　新版　昭和八　冊一　函六二一　六八イ
歸鄕（裏服はエレクトラに相應し）第一部　オニール著　阪倉篤孝等譯　昭和七（世界名作文庫第四三八）　冊一　函六三〇　一
戲曲・演劇評論叢書　大阪P・C會發行　昭和九、一〇　冊二　函六六八　一六

第二編　郊外生活者の朝（豐岡作一郎）
戲曲原論入門　ニコル著　清野暢一郎、菅原太郎譯　昭和六　冊一　函六二一　七〇
戲曲資本論　阪本勝　昭和六　冊一　函六〇三　二七五
戲曲の生んだ傳說の都　石井琴水　昭和二　冊一　函五二九　二一五
戲曲の作法　中村吉藏　昭和八　冊一　函六四三　四三
戲曲の本質（劇藝術及び演劇の原理）　島村民藏　再版　大正一四　冊一　函五四四　二一九イ
箕居叢書　第一篇　河原萬吉編　昭和二　冊一〇　函一七三　一一七
奇魚珍魚　田中茂穗　昭和九　冊一　函六五七　三三一
歸去來（詩集）　池永治雄　昭和八　冊一　函六三三　一八二
歸去來帖（川島睦山先生）　川島睦山（舟三）書　昭和八　帖一　函亥二　一三八
紀記論究　松岡靜雄　昭和六、七　冊一四　函五九五　二八八
神代篇　卷之一　創世記
卷之二　諸册二尊
卷之三　高天原
卷之四　出雲傳說
卷之五　國讓
卷之六　高千穗時代
建國篇　卷之一　神武天皇
卷之二　大和鋏史時代
卷之三　師木宮
卷之四　日代宮
卷之五　國內統一
卷之六　外藩歸伏
外篇　古代歌謠　上卷

紀記論究　神代篇　創世記　松岡靜雄　昭和五　冊一　函六〇九　六七
貴金屬圖案　前田泰山　昭和四　冊一〇　函一五七九　二二三
貴金屬の展覽會出品圖錄　造幣局東京出張所編　昭和一〇　一一六頁　冊一　函六八六　五六
菊　附　四君子　河井荃廬等監修　（支那南畫大成第二卷ノ內）　昭和一〇　特　冊一〇　函三〇〇　六三
菊川英山傑作集　彰美會編　昭和六　冊一〇　函六一四　一二
規矩鑑集木匠圖錄　天保四　寫　冊一〇　函八四一　二七
企救郡誌　伊東尾四郎編　昭和六　冊一　函六一〇　八四
菊月集　（千代尼百五十年祭記念協讚會編）　昭和七　千代尼百五十年祭記念集冊　冊一〇　函二三三　四〇七
菊五郎格子　子母澤寬　昭和七　冊一　函六三三　八四
規矩術　附　社寺建築の大要　山本一次　昭和九　冊一　函六五八　四九
麴生帖　卷菱潮書　弘化四　冊一〇　函八四一　五八
菊池幽芳全集　同人　昭和八　冊一四　函三三八　三九九
第一卷　己が罪　若き妻
月魄　家なき兒
第二卷　百合子　小ゆき
毒草　受難華
第三卷　女の生命　お夏文代
須磨子（一名呪はれたる戀）　同
妻の祕密　明眸禍
第四卷　戀を裏切る女　女の行方
白蓮紅蓮　忘れがたみ

同　第一至四卷　冊一四　函三二八　三九九イ
菊池香一郎詩集　同人　昭和三　冊一　函五七六　四五
菊池九郎先生小傳　菊池九郎先生建碑會編　昭和一〇　冊一　函六六九　一二
菊池寬集　同人　昭和四　冊一　函三四二　五〇〇
菊池寬集（新選）　同人　昭和三　冊一　函五二九　二五三
同　續篇　昭和五　冊一　函六〇三　一三一
菊池寬全集　同人　昭和六、七　冊三　函三二八　三九三
第一卷　長篇小說　慈悲心鳥
眞珠夫人（前、後篇）　火華
新珠　赤い白鳥
受難華
第二卷　同　新女性鑑
明眸禍　第二の接吻
陸の人魚　結婚二重奏
東京行進曲　壞けゆく珠
不壞の白珠
第三卷　短篇小說（現代物）　ゼラール中尉
身投救助業　大島が出來る話
勳章を貰ふ話　海の中にて
若杉裁判長　敵の葬式
無名作家の日記　青木の出京
父の模型　盜人を飼ふ
愛嬌者　第一人者
由良之助役者　晩年
海鼠　我鬼
葬式に行かぬ譯

たちあな姫	ある抗議書	
まどつく先生	友と友の間	
簡單な死去	小説「灰色の檻」	
臭付の印	勝負事	
出世	神の如く弱し	
死床の願ひ	盜者被盜者	
M侯爵と寫眞師	祝盃	
慣ましき配偶	マスク	
從妹	啓吉の誘惑	
妻の非難	島原心中	
流行兒	R	
將棋の師	天の配劑	
ある青年	肉親	
特種	墨	
自證	戀愛結婚	
歡待	敵藥	
江戸っ子	道を訊く女	
惡魔の弟子	病人と健康者	
盜みをしたN	義勇	
寫眞	おせつかい	
齒痛	姉の覺書	
中傷者	僞軍國美談	
父、母、妻、子	惡因緣	
或日來た人達	盜み	
ある記錄	微苦笑	
不幸	愛兒不死	
安樂椅子	鯛フライ	
敗北	盛岡にて	
母子	噂の發生	
妻の感傷		

		冊	函	號
短篇小說（時代物）	三浦右衞門の最後			
ある敵打の話	忠直卿行狀記			
恩を返す話	藤十郎の戀			
恩讐の彼方に	極樂			
ある戀の話	名君			
笑ひ	形			
義民甚兵衞	入れ札			
蘭學事始	仇討三態			
亂世	俊寬			
類綸り上人	信康母子			
船醫の立場	石本撿校			
遊女の天國	羽衣			
法律	新太郎光政			
仇討出世譚	返り討			
武家廢絕錄				
家光と正盛				
同　第一至三卷		三	三二八	三九三イ
菊池寬全集　同人　昭和四、五		一〇	五八九	六四
第一卷　短篇小說集　現代篇				
第二卷　短篇小說集　時代篇				
第三卷　戲曲集　現代篇				
第四卷　戲曲集　時代篇				
第五卷　眞珠夫人、慈悲心鳥				
第六卷　新珠、火華				
第七卷　受難華、赤い白鳥				
第一〇卷　東京行進曲、結婚二重奏				
第一一卷　不壞の白珠、短篇小說戲曲				
第一二卷　評論、隨筆				

菊池寬讀物選集　同人　昭和六		一	六〇三	三四
木口小平　長岡常男　昭和七		一	一一〇	一六九
菊池塾作畫展覽會畫集　第六至八輯　菊池塾編　昭和五至七		三	二一三	五八六
菊池塾〔圖案集〕　菊池節三編　昭和七		一	二一五	一三八 帖
菊池塾展覽會畫集　第九回　菊池塾編　昭和八		一	二一三	五八六
菊池武朝申狀　（新校群書類從第一七卷合戰部ノ內　昭和五）			五八四	五
木靴　久米正雄　昭和二		一	五六八	一〇一
菊通　丸山雄二　昭和五（通叢書第三一卷）		一	六〇三	一
菊名　橫濱市土木局製　昭和四　八三・一五×六三・四〇		一	五五三	九一 枚
規矩軒廻り　渡邊虎一等編　昭和四（大島盈株氏遺作日本建築圖譜第一集）		一	四二三	三七二
菊の栽培十二ヶ月　東京重陽會編　昭和四		一	五九七	一六八
菊の生態と細胞遺傳　下斗米直昌　昭和一〇（遺傳・育種學叢書第七輯）		一	六五八	五八
菊の根分　其一（日支經濟上の施設に就て）　勝田主計　再版　昭和八		一	三八二	一〇 イ
菊の話　牧野富太郎　昭和八（通俗植物講演集第三卷）		一	三七二	五一三
菊の籬架　稀書複製會編　昭和九　複製		一	三〇二	一二
議會解散と普選　文藝社編　昭和三（萬有文庫第一三）		一	五六九	九七
議會常識讀本　松田一郎　昭和九		一	六六〇	六七
議會政治年鑑　遠山景福　昭和六		一	五六九	三三四
議會政治の檢討　美濃部達吉　昭和九		一	六六〇	八六
議會政治は失敗か？　フオツクス著　小池四郎譯　昭和七		一	六三一	九四
議會政治論　馬場恒吾　昭和八		一	六三四	一六三
議會・政黨・選擧　蠟山政道　昭和一〇　二七〇頁		一	六八七	一一三
議會制度改革論　馬場恒吾　昭和三（民衆政治講座第一卷）		一	五八七	一一〇
議會先例私議　齋藤巖　昭和四		一	五六九	一三八
議會讀本　大日本國民修養會編　昭和三		一	五八〇	八
議會の內幕　坂東幸太郎　昭和二		二	五七三	四六
汽罐　森下德光　昭和八		一	六四二	一九〇
機關學　附圖付　長崎三菱職工學校編　昭和四		二	五七九	三五六
汽罐・汽機　飛永甚治　昭和一〇		一	六六三	一八六
汽罐材料の強弱と其性質　栗原敏三　昭和一〇　二一七頁		一	六一七	二〇一
汽罐雜話　平岩庄一　昭和六		一	六八七	三六
機關算法　臨時公立商船學校教科書編纂委員會編　昭和八		一	六〇六	二六三
船舶發動機講義　片山清吉　昭和三（機關士受驗用）		一	六四一	一一三
氣管枝喘息　附　其外科的治療法　柳壯一　昭和八		一	五八一	七五
機關車運轉論　山內三郎　昭和四		一	五三	三三八
同　補訂三版　昭和六		一	五六三	三〇一
機關車綱要　東洋書籍出版協會編　訂補　昭和五		一	五六三	三〇一イ
		一	六〇八	三三

機關車乘務員教範　田中三郎治　昭和五　一　五九七　二五三
機關車弁運轉理論難問詳解　青木慶宗　昭和二　一　五七三　九六
機關車の給油と運轉作業　松野仙松　昭和六　一　六一七　七
機關車名稱用語辭典　鐵道省工作局編　昭和二　一　四三三　二八一
機關士用海事法令類聚　海事教育振興會編　再版　昭和七　一　一四、七　三六〇イ
機關設計附圖　吉利巖　昭和三　一　三三七　五一五
汽罐設備　前、中、後篇　和佐田金義　賴俊一　昭和一〇　三　六八四　一一〇
（最新發電所工學第五）
機關通論　附圖　第三　吉利巖　昭和三　一　三三七　四九〇
機關通論　第一　吉利巖　昭和四　一　五七九　三三一
汽罐取締令　社會局編　昭和一〇　一　一四、七　七〇三
汽罐取締令解說　警視廳汽罐係編　昭和一〇　三四九頁　一　六八二　三
汽罐燃料焚燒法　內藤游　昭和八　一　六五〇　三八
汽罐の損傷と其修繕　渡邊清太郎　昭和二　一　五七一　一五五
義經記　三教書院編輯部編　昭和一〇　三〇二頁　一〇　六七　四三一
伎藝天女（詩集一）　柳木一良　昭和三　一　五八二　二二六
喜劇全集　上、中、下之卷　大日本雄辯會講談社編　昭和五、六　三　五八二　二八九
喜劇の研究　メレヂイス著　外山卯三郎譯　昭和三　一　五七一　一九三
喜劇論　メレヂイス著　相良德三譯　昭和一〇　一　五六九　一四
（岩波文庫一一五一）
企業合同法の研究　大隅健一郎　昭和一〇　一　六七八　一四七

企業經營研究　鐵鑛業と株價の檢討　中川元治郎　昭和一〇　一　六三三　二三三
企業經營叢書　昭和八　一　五七三　九六
第一　有望投資株の研究　炭礦編　（勝田貞次）　一　六一七　七
第二　聯盟脫退後の財界と株式　（同）　一　四三三　二八一
企業形態論　增地庸治郎　昭和五　一　一四、七　三六〇イ
（商學全集第六卷）
企業財政の比率分析　一　三三七　五一五
（決算報告書のウオール式見方）　ウオール、ダニング　共著　野本悌之助　野瀨新藏譯　昭和九　三　六八四　一一〇
企業地としての上海　大阪市役所産業部調査課編　昭和三　一　三三七　四九〇
企業地としての上海　大阪市役所產業部編　昭和六　一　五七九　三三一
（貿易經濟叢書第三九輯）
企業統制の諸問題　目崎憲司　昭和一〇　二六七頁　一　一四、七　七〇三
企業と租稅　勝正憲　昭和五　一　六八二　三
（商學全集第三一卷）
企業の目論見と經營の仕方　矢野治一　昭和一〇　一　六五〇　三八
二五三頁
企業の理論　ヴエブレン著　稻森佳夫譯　昭和六　一　五七一　一五五
起元解　一名員理乾坤書　曆算書複刻刊行會編　昭和八　一〇　六七　四三一
技研雜報　海軍技術研究所發行　昭和二、三　一　五八二　二二六
第一一號　ヘリウムの簡單な定量裝置　（同所編）　三　五八二　二八九
第二三號　「ロシヤ」中央航空流體力學研究所に就て　（片岡正治）　一　五七一　一九三
第二四號　飛行中の馬力測定　（永江晋）　一　五六九　一四
第三一號　發動機の裝備に就て　（同）　一　六七八　一四七
第三二號　「ライトアロイ」に就て　（松山寬慈）

危險思想と其の批判　千葉命吉　昭和四　一　三四一　五一八
戲言集（詩文一）　高橋新吉　昭和九　一　六三一　四四二
鬼言冗語　岡鬼太郎　昭和一〇　一　六三三　二六九
危險信號（詩集一）　大木篤夫　昭和五　一　六二一　三五
「危險線」を前にして　朝日新聞社編　昭和九　一　六三一　三九六
危險なる知己　上　コーテルロ・デイ・ラクロ著　國際文獻刊行會譯　昭和四　一　五八九　一三三
（猟奇叢書第一卷）
紀元二千六百年記念日本萬國大博覽會　日本萬國博覽會協會編　昭和一〇　三七頁　一　六二六　二二八
危險品及其他に依る大災　第八輯　吉田謹平　昭和五　一　六〇八　五
戲言養氣集　（未刊隨筆百種第八ノ內　昭和二）　一　五六〇　二九
機構學　丹羽重光　訂補一三版　昭和七　一　三六五　四ロ
機構學　三宅文次郎　昭和八　一　六三五　二三
（電機學校機械科叢書第三卷）
機構學附圖　吉利巖編　昭和三　一　三三七　五一七
義公史蹟行脚　弓野國之介　昭和四　一　五五六　三三一
義公生誕三百年記念講演集　義公生誕三百年記念會編　昭和六　一　六一〇　七五
義公史蹟三百年記念講演集　稀覯圖書展覽目錄　靜岡縣立葵文庫編　昭和三　一　五六八　二八一
先賢遺墨　一〇　二四九　一九八
氣候と歷史　中目覺　昭和七　一　一四五　一〇四
（亞細亞研究第一〇號）
聞える音・聞えぬ音　小幡重一　昭和九　一　六一三　八九
（鐵塔科學叢書第一〇）
擬古文新釋　市毛保家　昭和七　一　六三三　一〇三

疑齋　日下部勝美著　加藤玄智等補訂　昭和四　一　五七九　四七〇
義濟會沿革史（財團法人一）　同會編　昭和四　一　五九九　一五七
飢歲懷覺錄　高橋正作　（近世地方經濟史料第八卷ノ內　昭和七）　特三〇　八四四　二一八
毅齋集　明、王洪、民國二三　影印　八卷　（四庫全書珍本初集ノ內）
歸哉嘆　鄧完白書　複製　（和漢名家習字本大成第九卷ノ內　昭和八）　二四九　二八三
僞裝された個性　吉田信夫　昭和九　一　六五五　一五九
義倉圖書館報（私立一）　第四回　同館編　昭和二　一　二七八　六一
きさらぎ　大井廣　昭和七　一　六三〇　三七
きさらぎ　和田山蘭（直衛）　昭和五　一　六〇三　一〇〇
きさらぎ（歌集一）　三田谷啓　昭和八　一〇　一八〇　一四五
如月敏シナリオ集　同人　昭和五　一　六〇三　一五八
箕山遺稿　靈城卓爾（箕山）　昭和四　一　五九五　三五
磯山集　松本靜史　昭和八　一　六四三　二〇六
箕山勝遊詩文集　林田炭翁（翠）編　昭和四　一〇　二〇五　三一三
龜山人家妖　喜三二　（近代日本文學大系第一二卷ノ內　昭和二）　五六〇　九
曦山人蘭譜　出野曦山　昭和三　帖　り二　四八
（寶研齋叢書第二集）
旗山南西部油田地質圖　臺灣總督府殖產局製　昭和六　枚一　三七二　四二四
義士遺墨　常陽堂編　昭和三　帖一　へ二　五八
紀州　鐵道省編　昭和一〇　一　六六一　二一三

		冊	函	號
紀州有田柑橘發達史	中西英雄編 大正一五	一	五三七	一八六
紀州郷土藝術家小傳	續編共、貴志康親(學葉)編 昭和五、九	二〇	一四一	三三九
紀州植物誌	宇井縫藏 昭和四	一	五六三	二四四
紀州道成寺(節付音譜竝三味線譜入)	吉住小十郎編 昭和二(長唄新稿古本第四五編)	一〇	一一	二九五イ
紀州徳川家藏品展觀目錄	高木文編 昭和二	一〇	二〇三	一七四
紀州の地震と安政大地震洪浪之記	山下竹三郎編 昭和六	一	三七二	四八三
紀州方言 音韻篇	上山景一 昭和九	一	六七二	一二五
紀州文化讀本	南紀土俗資料刊行會編 昭和二	一	五六八	三三
貴衆兩院要覽	千田信行編 昭和五	一	六〇〇	一〇四
己巳句鈔	野田別天樓編 昭和五	一	六〇三	九八
岸清一訴訟記錄集(故辯護士法學博士)	岸同門會編 昭和一〇	二	六九〇	一三
第一 民事篇 第一輯	ビー・エル事件(岸清一編)			
	ビー・エル事件 プレストン名譽毀損事件(同)			
第二輯	海難救助事件(同)			
同		二	六九〇	一三イ
第一 民事篇 第一輯	ビー・エル事件(岸清一編)			
	プレストン名譽毀損事件(同)			
第二輯	解難救助事件(同)			
岸田國士集(新選)	同人 昭和五	一	六〇三	四三
岸根栗栽培の要訣	吉村荒治 昭和七	一	五九七	四二九

		冊	函	號
雉の飼育に就て	ハンター編 昭和一〇	一	六七二	二〇七
擬集古錄	(圖入り)(考證ニ關スル漫錄ナリ) 井河永編 寫	特一〇	り 六三	
義士篇(戯曲)	後篇 高野辰之訂 昭和二(新型紬珍名著文庫第一七)	一	五五〇	六九
汽車	前編 趣味篇・吉川速男 昭和五	一	六〇六	一一六
氣象應用屋外條桑育蠶法	野中幸兵衛、田口惣一郎 昭和四	一	五五二	二五三
氣象學	岡田武松 昭和二(科學叢書第五編)	一	五〇八	二イ
同 上下卷	再版 昭和九、一〇	二	五〇八	二イ
氣象學一斑	國富信一 昭和二	一	五七一	三五
同 再版		一	五七一	三五イ
氣象學講話	岡田武松 昭和三	一	五八八	九四
同 增訂改版	昭和七	一	五八八	九四イ
氣象學的社會觀	藤原咲平 昭和八(民衆文庫第八二篇)	一	五六 雜	五七
氣象機械學	岡田武松 昭和六(科學叢書第七編)	一	五〇八	二
氣象觀測法	中央氣象臺編 再版 昭和四	一	三五一	八五イ
氣象五年報	大正一〇至一四年(一九二一至一九二五)埼玉縣熊谷測候所編 昭和二	一	一四六二	二〇九イ
氣象常用表	大日本氣象學會編 九版 昭和二	一	一四六二	一二ロ
氣象常用表鈔	大日本氣象學會編 昭和二至一〇	三	一四六二	二七〇
妓娼精子(契情奇談)	鷲蛙山人著 小泉畫	特二〇	み 一一四	
机上大辭典	內海弘藏編 昭和一〇(「新式辭典」ノ改題) 一四九四頁	一	六三二	二三七

		冊	函	號
氣象と人生	藤原咲平 昭和五	一	五九七	二三一
同 昭和七	普及版	一	五九七	二三一イ
同 再版 昭和一〇	二五八頁	一	五九七	二三一ロ
氣象二十年報	明治三九年至大正一四年 韓太廳觀測所編 昭和二	一	一四六二	二二九イ
氣象の觀測と計算の仕方	谷本勇造 昭和一〇 一一一頁	一	六六三	一六七
氣象の話	大阪朝日新聞社編 昭和九	一	六六六	一一一
氣象無線通報取扱規程	海洋氣象臺編 訂六版 昭和五	一	一四六二	二一八イ
著尺落合圖案	落合萬水編 昭和二至七	八〇	四三三	三三一
着尺作品集	(秋冬向) 田中吉之介、落合萬水 昭和六	一〇	二一五	一二〇
着尺作品集(吉之助翠鳳)	田中吉之介、松村翠鳳編 昭和三	一〇	五七六	一〇三
義釋第一私鈔	天台宗典刊行會編(天台宗全書第七ノ內) 昭和一〇		六一五	四七
着尺圖案集	落合萬水、田中吉之助編 昭和七	一〇	二二五	一二〇
着尺圖案集(六之介百助)	中村六之介、安田百助編 昭和三	一〇	一七六	五八
着尺圖案集(六之介香鳳)	第一回 昭和五 中村六之介、梅原香鳳	一〇	二三八	三八〇
着尺展 第四	津むじ會編 昭和三	一〇	一八三	五五三
汽車ノ「スピード」ト其ノ危險	汽車電車 成瀨京 昭和六	一	五九〇	四五九
騎射祕抄	(群書類從第二三輯武家部ノ內 昭和五)		五八三	一四
同	(新校群書類從第一八卷武家部ノ內 昭和七)		五八四	五

		冊	函	號
寄宿舍食堂の食物を調査して	小島博 昭和一〇 一七頁	一	六八四	一六八
騎手教程	(草案) 帝國競馬協會編 昭和八	一	六五〇	三三
技術家用製圖要鑑	眞隅隆介編 昭和五	一	四三三	四〇五
技術社會學	教文堂編 昭和九	一	六七二	六一
技術・社會・人生	宮本武之輔 昭和九	一	六六二	七五
技術者ノタメノ科學的管理	井上好一 昭和二	一	五七二	二九
同		一	五七二	二九イ
記述的分析的心理學	デイルタイ著 三枝博音、江塚幸夫譯 昭和七	一	六三六	八
技術と經濟	ゾムバルト著 山口修二郎譯註 昭和一〇(獨逸小論文對譯叢書第六篇)	一	六三一	三〇六
技術の哲學	戸坂潤 昭和八	一	六三一	三五八
技術論	相川春喜 昭和一〇(唯物論全書第一四)	一	六四六	六
技術論と唯物辯證法	哲學研究會譯編 昭和一〇 三二二頁	一	六八六	一五
鬼手佛心	和泉青則(泉清剌) 昭和四	一	五八九	一〇四
基準有機化學	久保田勉之助 昭和五	一	四七	六一
基準有機化學實習法	森武雄 昭和一〇 二七三頁	一	四七	七二
基準色 第一、二	東天含編 昭和七	二 帖	一四三	二三三
基準獨逸文法	權田保之助 昭和六	一	五九六	三三一

		冊	函	號
基準獨文和譯法	權田保之助 昭和八	一	六四三	一七二
倚松庵隨筆	谷崎潤一郎 昭和七	一	六三〇	四〇
稀書解說（稀書複製一）	第五至八編 稀書複製會編 昭和三至九	五〇	一五	三九四
岸和田志	相澤正彥編 昭和六	一	五五四	三三五
岸和田市勢要覽	昭和六、九年版 同市役所編 昭和六、九	二	三七三	五六五
岸和田市統計書	昭和七年版 同市役所編 昭和七	一	一四、四	九三一
岸和田市風水害概要	同市役所編 昭和一〇	一〇	六六六	三三六
義人生田萬の生涯と詩歌	相馬御風 昭和四	一	五九六	五八
義人群像	本山荻舟 昭和七	一	五八六	四〇五
義人謝花昇傳	親泊康永 昭和一〇 四一三頁	一	六八二	二九
鬼神新論	平田篤胤（新註皇學叢書第一〇巻ノ内 昭和二）		五五五	四五
義人全集	田中翁遺蹟保存會編 昭和二	一	五三九	五四
	第四編 鑛毒事件 下巻（田中正造）			
魏晉唐小楷の研究	中村不折 昭和九（法帖書論集第三附錄）	一〇	二六	八四
魏晉唐小楷法帖	中村不折編 昭和九 複製（法帖書論集第三）	一帖	二六	八四
魏晉唐小楷法帖ノ續	中村不折編 複製（法帖書論集第四ノ内 昭和九）	二	二六	八四
魏晉南北朝通史	岡崎文夫 昭和七	一	六一八	一一〇
畸人百人一首	綠亭川柳著 葛飾爲齋等畫 嘉永五	一〇	八三九	一三一
己身本尊論	澁谷文英 昭和八	一	六二九	二二五

		冊	函	號
黃水仙事件（靈奇祕話一）	ウオレス著 吉田甲子太郎譯 昭和六	一	五九六	三六四
璣水論叢	鈴木千代吉 昭和二至五	七	五四九	二六〇
	第一輯 肥料問題 第一巻			
	第二輯 土地問題 第一巻			
	第三輯 作物問題 第一巻			
	第四輯 經濟問題 第一巻			
	第五輯 農村問題 第一巻			
	第六輯 肥料問題 第二巻			
	第七輯 青年問題 第一巻			
同	第四輯 昭和三	一	五四九	二六〇 1
歸趨	一名「國民讀本」 内藤三次（孤山） 昭和四	一	五九五	五八
疵高倉（戲曲一）	長谷川伸 昭和五	一	六〇三	一七六
傷だらけの歌	藤澤桓夫（昭和五 新鋭文學叢書第五編）	一	五九六	二五四
犧牲	デュアメル著 木村太郎譯 昭和一〇 三〇八頁	一	六九二	三五
議政官日錄	（維新日誌第二期第三巻ノ内 昭和九）		二三四	二七一
記靑洲先生療乳嵓	圖入 野村鄂篤（文化七）	一〇	二三	五七二
既成政黨撲滅論	板倉勝憲 昭和二	一	五二四	六二九
寄生蠕蟲學	後篇 横川定、森下薰（人體寄生蟲學第二巻） 昭和八	一	五一	五二
歸省贈言錄		一〇	二三七	五三
議政壇上を直視して	附 第五六帝國議會の演說集 渡邊貫知郎編 昭和四	一	五九七	一九〇
寄生蟲學提要	南山堂發行 昭和七	一	五九	八四

寄生蟲國日本	小泉丹 昭和四（學藝叢書第六）	一	五六〇	四三
寄生動物學	南山堂發行 改、再版 昭和二	一	五六二	六七
	第一巻 人體寄生蟲篇（小泉丹）			
奇抄百圓	河邨羽積 寬政元	一〇	八四二	三三
龜告遺稿	山村芳堂編 昭和三（「題簽等ニ「島龜告翁遺稿」トアリ）	一	五五八	一四〇
其磧自笑傑作集	水谷不倒訂 昭和四（帝國文庫第八篇）	一	五八三	一五
奇蹟的征病法	河原寬 昭和四	一	六〇	九七七
軌跡と作圖の講義	白井傳三郎 昭和五	一	六〇八	三三
奇蹟の處女	大下宇陀兒 昭和一〇	一	六三二	九四
季節金融に關する調査	日本勸業銀行調査課編 昭和三	一	五七九	三九
季節と詩心（隨筆一）	堀口大學 昭和一〇 三四八頁	一	六八二	一三二
季節と犯罪	吉岡一行 昭和一〇（民衆文庫第一〇〇篇）	一	五六（雜）	五七
季節並學年別小學校の球技指導	小野寺永藏 昭和三	一	二七六	四六三
季節の登場者	新居格 昭和二（日本エッセイ叢書第五）	一	五四五	四四
季節標	恩地孝四郎 昭和一〇 九五頁	一	四二六	一三四
黃瀨戶	加藤唐九郎 昭和八（茶わん叢書第二篇）	一	六二六	三
貴賤上下考	（未刊隨筆百種第一九ノ内 昭和三）		五六〇	二九
機船底曳網漁業取締規則解說	木村武 昭和一〇 三二二頁	一	六九六	五二

機船底曳網漁業取締規則並關係通牒	農林省水產局編 昭和八	一	六二五	三四三
汽船トロール漁業及機船底曳網漁業關係法規	共同漁業株式會社編 昭和九	一	一四、七	六八二
汽船「トロール」漁業ノ沿革及概況	農林省水產局編	一	六〇四	三九二
汽船「トロール」漁業ノ現況	農林省水產局編 昭和九	一	六七二	一五八
奇僧風外道人	松本雲舟 昭和一〇 一五〇頁（「奇僧風外の事蹟」ノ改題）	一	六二五	二（ロ）
奇僧風外の事蹟	松本雲舟 昭和七	一	六二五	二二
同		一	六二五	二（イ）
徽宗幕張萱搗練圖	美術研究所編（美術研究資料第三輯）	特 一（軸）		亥（ニ）一七
木曾街道板橋之驛	池田英泉畫	特 一（枚）		わ 六九
木曾街道六十九次	第七至二四輯 歌川廣重、池田英泉畫 昭和二、三	一八	四一七	二一
木曾街道蕨之驛戶田川渡	池田英泉畫	特 一（枚）		わ 六九
木曾川運河計畫調查報告書	木曾川開發協會編 昭和三	一	五八八	四三
木曾川探勝案內（日本八景一）	同刊行會編 昭和二	一	五七八	二五
木曾川と飛驒川と合流する美濃の河合	川瀨巴水畫 昭和一〇	特 一（枚）		七（別）三〇八
基礎技法	アトリエ社編 昭和八（日本畫新技法講座第一）	一	六四一	一四八

			冊	函	號
貴族院要覽	（乙）訂	昭和三	一	七一	三七ネ
同	（甲）訂	昭和四	一	七一	三七ナ
同	（乙）訂	昭和四	一	七一	三七ハ
同	（乙）昭和五年十二月增訂	昭和五	一	七一	三七ヲ
同	（乙）訂	昭和六	一	七一	三七ハ
同	（甲、乙）訂	昭和七	二	七一	三七ハ
同	（乙、丙）	昭和八年一二月增訂 昭和八	二	七一	三七ハ
同	（丙）	昭和八	一	七一	三七ハ
同	昭和九年一二月增訂	甲、乙、丙 昭和九	三	七一	三七ハ
同	（乙、丙）	昭和一〇年一二月增訂 昭和一〇	二	七一	三七ハ
貴族院改革問題	（朝日新聞社政治經濟部編 朝日政治經濟叢書第一二）	昭和六	一	五〇五	六七
貴族院衆議院議員肖像	（改進新聞附錄）	明治二三、二四	特 八枚	別 七	二〇九
貴族院判決錄	同院事務局編	昭和四	一	一四七	四二九
貴族、資本家、勞働者	龜井貫一郎	昭和六	一	六〇七	三二
貴族の家	ツルゲネーフ著 熊澤復六譯（世界名作文庫第三〇五）	昭和七	一	六三〇	一
木曾願書	（近代日本文學大系第二卷ノ內	昭和三）		五六〇	九
同	昭和八			六二九	二八
基礎經濟學全集	東洋出版社發行	昭和九、一〇	八	六五四	五四

第四卷	貨幣と物價（荒木光太郎）				
第五卷	外國爲替・金・銀（金原賢之助）				
第六卷	貿易及貿易統制（竹內謙二）				
第九卷	日本主要產業論（飯田清三）				
第一〇卷	世界經濟の基礎知識（高橋正雄）				
第一一卷	產業統制政策（小島精一）				
第一二卷	株式投資の實際知識（不破棄一郎）				
基礎工	第一、三至七卷 ローマイヤー著 太田尾廣兒等譯（最近土木工學名著飜譯第五）	昭和八至一〇	六	六四八	六〇
基礎工及土木施工法	谷口三郎（高等土木工學第五卷）	昭和七	一	六〇八	一八一
支蘇路ノ驛 浦和宿淺間山遠望	池田英泉畫		特 一枚	わ	六九
基礎唱歌法	澤崎定之	昭和九	一	六六二	二二四
基礎圖案法	アトリエ社編（圖案新技法講座第一卷）	昭和七	一	六二七	四〇
木曾傳記	（路原拾葉第一輯ノ內	昭和一〇）		三〇二	一九八
基礎內科學	藤井尙久	昭和一〇		三	五三 三五五
第一	神經系疾患				
第二	內分泌篇				
第三	泌尿系疾患・循環器疾患・血液疾患				
基礎日本語	土居光知	昭和八	一	六二三	一二三
同			一	六二三	一二三イ
同	昭和九 普及版		一	六二三	一二三ロ
基礎日本料理法	恒松榮雲	昭和四	一	五八八	一六〇
木曾福島關所	家高荒治郎	昭和九	一	六六二	一二

基礎より應用の全般を網羅せる	最新子供服と婦人服	松村豐	昭和七	一	六一七 一七五
ギター敎本	古賀政男	昭和八		一	四二三 一五九
北安曇郡鄉土誌稿	信濃敎育會北安曇部會編	昭和五至八		五	五五六 四九七
第一輯	口碑傳說篇（第一）				
第二輯	口碑傳說篇（第二）				
第三輯	年中行事篇				
第四編	俗信俚諺篇				
第五輯	民謠童言葉集				
ギターの奏法	大河原義衛（西洋音樂技法入門第四）	昭和七		一	三七三 五八〇
北海部郡敎育史	北海部郡敎育會編	昭和七		一	二五五 一〇三
ギタア名曲集	門馬直衛編（世界音樂全集別卷）	昭和一〇		一	八三 四四一
北アメリカ	改造社編（地理講座外國篇第八卷）	昭和九		一	六五四 三
北亞米利加州ニ於ケル刷子狀況	商工省貿易局編	昭和七		一	三七八 三三二
北亞米利加西岸亞剌斯加—アレグザンダー諸島	アイシー角至ウインダム灣		枚 一	洋	四四一
北亞米利加西岸亞剌斯加	ステヘンス水道及リン水道 六五・七五×九八・六〇	水路部製	昭和七		
北亞米利加西岸亞剌斯加	ウニマラ島至コヂヤック島	水路部製	昭和六	枚 一	洋 四〇五
北亞米利加西岸亞剌斯加及英領格倫比亞	オムマネー岬至バンクス島	水路部製	昭和七		六六・〇〇×九九・〇〇
北亞米利加西岸バンクス島至英領格倫比亞	晩香坡島			枚 一	洋 四五八

北亞米利加西岸晩香坡島—ワシントン海峽及ロサリオ海峽	水路部製	昭和七		一	六六・〇〇×九九・〇〇
	水路部製	昭和一〇		九八・二〇×六六・〇〇	
北アメリカ年鑑	昭和一〇年版 日本國際問題調査會編	昭和一〇		一	一四五 四六八
北アルプス	小笠原勇八等	昭和九		一	六五七 一九七
義太夫狂言時代物集	春陽堂編（日本戲曲全集第二八卷）	昭和三		一	五六六 四七
義太夫狂言世話物集	春陽堂編（日本戲曲全集第二九卷）	昭和五		一	五六六 四七
義太夫全集	上、下卷 中內蝶二、田村西男編（日本音曲全集第二、一〇卷）	昭和二		二	五四五 六一
義太夫作淨瑠璃註釋	第一卷 吉村重德	昭和四		一	五八九 六三
義太夫論	副島八十六	昭和六		一	三三六 四〇〇
氣體製法化學	四方敬一	昭和七		一	六一七 八五
北伊豆地震概報	中央氣象臺編	昭和五		一	一四六 三〇一
北伊豆地震報告	昭和五年一一月二六日 中央氣象臺編	昭和五		一	一四六 三〇三
北伊豆地震報告	靜岡縣沼津測候所編	昭和六		一	一四六 三〇三
氣體分析化學	四方敬一	昭和七		一	四七 六三七
季題例句俳諧歲事記	高木蒼梧編	昭和五		一	五六九 一九七
祈禱	窪川いね子	昭和七		一	六二〇 一三七
軌道一覽	昭和二年七月一日（鐵道省監督局調）編	鐵道同志會 昭和二		一	四二三 二九〇
伎道一夕話	五十澤二郎	昭和三		一	一七〇 一四〇

軌道をめぐる星　ジーンス著　鐙田研一譯　昭和一〇　一冊　函　一六三　二五七

綺堂戯曲集　岡本綺堂　昭和二至五　四　五二七　一六

第一一巻　黄門記　權三と助十
勘平の死　お化師匠
風鈴蕎麥屋　筑摩の湯
第一二巻　五衛門の釜　正雪の二代目
牡丹燈記　三河萬歳
水野十郎左衛門　時雨ふる夜
第一三巻　新宿夜話
相馬の金さん　水滸傳
厩金文七　長柄の人柱
おさだの仇討　雷火
江戸子の死
第一四巻　天保演劇史　篠原合戦
朝鮮屏風　維新小話
直助權兵衛　長崎の兄弟
湯屋の二階　蛇を賣る女

棋道清談　管谷要(北斗星)　昭和一〇　三二五頁　一　六八二　一七六

祈禱と默想　ジョンソン著　鈴木二郎譯　昭和八　一　六四五　二〇

祈禱の精神　フオルサイス著　菟原八郎譯　昭和八　一　六三一　三二一

棋道祕話　管谷要(北斗星)編　昭和八　一　六四二　一七九

軌道、無軌條式電車　佐藤利恭　昭和四　一　五五二　三二一

綺堂讀物集　岡本綺堂　昭和二、三　二　五三九　四〇

北蝦夷秘聞　(樺太アイヌの足跡)　能仲文夫　昭和八　一　六三一　二五七

北大路家蒐藏古陶磁圖錄　秦秀雄編　昭和九　一　六七四　六

北を征く　櫻井忠溫　昭和一〇　二〇一頁　一　六八二　三七

喜多川歌麿　野口米次郎　昭和七　特　一　六一六　六三
(六大浮世繪師決定版ノ内)

北河内郡史蹟史話　平尾兵吾編　昭和六　一　五九五　三七八

北川信從　山崎在編　昭和三　一　五七八　二一六

北樺太東海岸石油試掘地域調査報告　一　五七九　一〇一
北樺太石油株式會社編　昭和三

北九州及瀬戸内海沿岸地方旅行の栞　野田清壽編　昭和四　一　五九〇　一〇七

北九州に住みて　高田賢次郎　昭和五　一　五七八　三〇七

北九州の山ところどころ　竹内亮　昭和九　一　六六一　一三七

木、竹の工藝　小泉吉兵衛　昭和五　一　六〇七　二四一

喜多研究叢書　喜多實　昭和五　一　六一三　三五

第一編　抑〻節の扱ひ方

北巨摩郡勢一斑　同郡聯合教育會編　昭和五　一　六一〇　三四

北佐久郡口碑傳說集　信濃教育會北佐久部會編　昭和九　一　六六五　一六一

北里柴三郎傳　宮島幹之助、高野六郎編　昭和七　一　六一八　一〇五

北澤雪嶺遺稿　北澤雪嶺先生彰德會編　昭和一〇　一　三〇二　七三

北支那經濟概論　田中忠夫　昭和一〇　一　六八三　七九
(最近北支事情叢書卷之一)

北支那事情　滿洲事情案內所編　昭和一〇　一四〇頁　一　六八四　二四八

北支那とソヴエート・ロシア　長谷川了　昭和一〇　一　六八三　七九
(最近北支事情叢書卷之六)

北支那の外國貿易と列國の商勢　細見健三　昭和一〇　一　六八三　七九
(最近北支事情叢書卷之三)

北支那の天然資源　五十子宇平　昭和一〇　一　六八三　七九
(最近北支事情叢書卷之二)

北支那の藥草　石戸谷勉　昭和六　一　六一　三八八
(同仁會支那衞生叢書第四輯)

北支那貿易年報　大正一四至昭和二、四、五年　滿鐵總　八　一四四　四六四
務部調査課編　昭和二至六

北太平洋東部　コヂヤック島至コリエンテス岬　水路部製　一枚　洋　四七三
北太平洋東部　昭和八　一〇三・七〇×六六・三〇

水路部製　昭和五　一〇二・八五×六六・五〇　改　一枚　洋　三九三

北太平洋布哇諸島　水路部製　昭和六　六三・八〇×九六・八〇　一枚　洋　四三三
北太平洋東カロリン諸島トラック諸島及ローソップ島

水路部製　昭和六　九八・一〇×六四・〇〇　一枚　洋　四三一

北太平洋マーシャル諸島中部諸分圖

水路部製　昭和三　六〇・六五×九七・〇〇　一枚　洋　一八三イ

北太平洋マーシャル諸島南部諸分圖

水路部製　昭和三　六〇・六五ゝ九六・一五　一枚　洋　三七六

北太平洋マーシャル諸島北部諸分圖

水路部製　昭和四　九六・一五×六二・〇〇　一枚　洋　一九七イ

北太平洋マーシャル諸島ヤルート島　水路部製　昭和六　九六・
四〇×六三・四五

北丹後震災誌　井藤龜太郎　昭和三　一　五七九　五
(題簽ニハ「北丹後大震災遭難記並ニ大震災ニ對スル實感錄」トアリ)

木太刀年刊句集　都鳥(昭和九年)　木太刀社編　昭和一〇　一　六五六　一三九

木太刀俳句選　稻田黃洋等編　昭和七　一　六二〇　一八六

北豐島郡神社誌　北豐島神職會編　昭和八　一　六三六　一二四

北豐島郡總覽　昭和五、六年度版　大正毎日新聞社編　二　六二四　二
昭和六、七

北日本の石器　小倉倉之助編　昭和七　一　三二八　五五五

木谷實・吳清源全集　木谷實、吳清源　昭和一〇　二　六二七　二三八

第一卷　細木谷對吳清源爭覇戰譜　上卷
第五卷　解近世名局批判

北野緣起　(新校群書類從第一卷神祇部ノ内　昭和七)　五八四　五

北野緣起　(別本)(新校群書類從第一卷神祇部ノ内　昭和七)　五八四　五

北野大茶湯之記　(群書類從第一九輯飲食部ノ内　昭和八)　五八三　一四

同　(新校群書類從第一五卷飲食部ノ内　昭和四)　五八四　五

北野藁草圖書　(繪入)　久松宗淵　【天保一〇】　八四一　一八

北野假字緣記　(群書類從第一輯神祇部ノ内　昭和六)　五六六　六一

北野宮歌合(元久元年十一月十一日當座)　(新校群書類從第九卷和歌部ノ内　昭和五)　五八四　五

北野元峰禪師說法集　細川道契編　昭和八　一　六三六　五三

		冊	函	號
北の工藝	杉山壽榮男　昭和九	一	六一四	一五四
北野古緣記	（群書類從第一神祇部ノ內　昭和六）		五六六	六一
北野天神緣起	建久本、弘安本　北野神社編　昭和五　勝寫版	二	二〇五	三二六
北野天神緣起	雄山閣編　昭和七　（日本繪卷物集成第二〇卷）	一	五五三	四六
北の人	金田一京助　昭和九	一	六六〇	九〇
北の山	伊藤秀五郎　昭和一〇　二一一頁	一	六四〇	二六九
北畠親房	中村直勝　昭和七　（「北畠親房、顯家兩卿の研究」ニ同ジ）	一	六一八	二五
北畠親房、顯家兩卿の研究	中村直勝　昭和七	一	六一八	二八
北濱と兜町	島本得一　改版　昭和四	一	三六一	五
北原白秋集（新選）	詩歌篇　同人　昭和三	一	五八二	一三三
北原白秋集	同人　昭和一〇　（新潮文庫第一四七編現代詩人全集（九））	一	六二〇	八
北原白秋地方民謠集	同人　昭和六	一	三九六	三八一
北滿洲と東支鐵道	上、下　滿鐵調査課編　昭和三　（露亞經濟調査叢書第五〇、五一編）	二	五五五	一二
北見郷土史話	米村喜男衞　昭和八	一	六三九	一八一
北見禮文島植物概說	館脇操　昭和九	一	六七一	二四
北武藏考	一名北武藏名跡志　富田永世編　寫	一	八三九	七三
北村小松	同人　昭和九　（新選大衆小說全集第二卷）	一	六二九	三三
北村小松シナリオ集	同人　昭和五	一	三五七	二五八
北村透谷集	北村透谷著　島崎藤村編　昭和二　（岩波文庫七五―七六）	一	五六九	一四

		冊	函	號
北村透谷選集	島崎藤村編　昭和四　（改造文庫第二部第三五篇）	一	五六九	一四二
北村彌一郎窯業全集（工學博士）	第一至三卷　大日本窯業協會編　昭和三、四	三	五八一	二三九
北山院御入內記	（群書類從第二九輯雜部ノ內　昭和九）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二二卷雜部ノ內　昭和七）		五八四	五
北山殿行幸記	一條經嗣　（新校群書類從第二卷帝王部ノ內　昭和四）		五八四	五
喜多流謠ひ方講座	第一至八、一〇輯　喜多六平太　昭和八至一〇	九	六五〇	一四
喜多流謠本	第一至三七卷　喜多六平太　昭和三至四	三七	二四九	二〇九
喜多流四季之友	秋、冬　喜多六平太　昭和一〇	二	一八〇	一五二
來るべき世界の姿	茂木惣兵衞　昭和九	一	六六〇	三〇
希濟園詩集	明、虞堪　民國二三　影印　三卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 二	八四四	二六
奇談クラブ	野村胡堂　昭和六	一	五九六	二八八
奇談笑話辭典	三井晶史、菅原法溢編　昭和九　（布教百科大辭典第五）	一	六五四	六
奇談全集	現代、歷史篇　田中貢太郎　昭和四	二	五九六	五九
吉事次第	（群書類從第二九輯雜部ノ內　昭和九）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二二卷雜部ノ內　昭和七）		五八四	五
吉事略儀	（群書類從第二九輯雜部ノ內　昭和九）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二二卷雜部ノ內　昭和七）		五八四	五
吉祥圖案解題	支那風俗の一研究　野崎誠近　昭和五	一	八二一	二七
〔吉祥天女畫像〕	（大和藥師寺藏）	軸一	二ノ内	四五

		冊	函	號
吉祥錄	鄙寶珍（道源）　宣統元	一	二三七	三五
議長學、座長學會員學、議事學會議の仕方と要領	附　各科教育の鳥瞰と批判　大橋太郎　昭和九			
議定官日記	（維新日誌第二期第三卷ノ內　昭和九）		二三四	二七一
記帳の栞	產業組合簿記　產業組合中央會編　一二版　昭和一〇　二一四頁	一	六八六	一
貴重美術品調查報告	日本美術協會編　昭和五	一	八三	四七九
歸除新論	石川新次　昭和七	一	三一八	五七三
歸朝して觀る我ホテル界	福田德二郎　大正一五	一	五二四	五六五
歸朝隨筆	菅虎太郎　昭和一〇　二四三頁	一	六九三	八〇
吉續記	藤原經長著　矢野太郎校　（史料大成第二三ノ內　昭和一〇）	一〇	四二四	二五
契丹古傳	耶律羽之著　濱名寬祐譯　昭和八	一	六三六	一〇
契丹古傳詳解	耶律羽之編　濱名寬祐譯解　昭和九	一	六〇四	四四四
喜津禰乃草子	土佐光信原圖　寫	三	六四	二三八
橘品	（繪入）　弄花亭　寬政九		六五四	五〇
橘浦記	卷上、下　九皐會編　昭和四	特 一	一五六	一〇六
木津用水史	木津用水普通水利組合編　昭和三	軸一 別七	五六四	二九三
吉林省產業の現狀	峯旗良充編　昭和二	一	五五八	六四
吉林圖幅地質說明書	南滿洲鐵道株式會社地質調查所編　昭和七	一	六〇二	一
軌條の波狀磨耗理論	概論編　高橋俊一　昭和七	一	八四一	一六〇

		冊	函	號
吉祥錄	鄙寶珍（道源）　宣統元	一	二三七	三五
議長學、座長學會員學、議事學會議の仕方と要領	附　各科教育の鳥瞰と批判　大橋太郎　昭和九			
議定官日記	（維新日誌第二期第三卷ノ內　昭和九）		二三四	二七一
記帳の栞	產業組合簿記　產業組合中央會編　一二版　昭和一〇　二一四頁	一	六八六	一
貴重美術品調查報告	日本美術協會編　昭和五	一	八三	四七九
歸除新論	石川新次　昭和七	一	三一八	五七三
歸朝して觀る我ホテル界	福田德二郎　大正一五	一	五二四	五六五
歸朝隨筆	菅虎太郎　昭和一〇　二四三頁	一	六九三	八〇
吉續記	藤原經長著　矢野太郎校　（史料大成第二三ノ內　昭和一〇）	一〇	四二四	二五
契丹古傳	耶律羽之著　濱名寬祐譯　昭和八	一	六三六	一〇
契丹古傳詳解	耶律羽之編　濱名寬祐譯解　昭和九	一	六〇四	四四四
喜津禰乃草子	土佐光信原圖　寫	三	六四	二三八
橘品	（繪入）　弄花亭　寬政九		六五四	五〇
橘浦記	卷上、下　九皐會編　昭和四	特 一	一五六	一〇六
木津用水史	木津用水普通水利組合編　昭和三	軸一 別七	五六四	二九三
吉林省產業の現狀	峯旗良充編　昭和二	一	五五八	六四
吉林圖幅地質說明書	南滿洲鐵道株式會社地質調查所編　昭和七	一	六〇二	一
軌條の波狀磨耗理論	概論編　高橋俊一　昭和七	一	八四一	一六〇
喫茶養生記	榮西　（群書類從第一九輯飲食部ノ內　昭和八）		五八三	一四
喫茶南方錄	〔缺本〕	一	六〇三	一
喫茶とケーキ通	門倉國輝　昭和六　（通叢書第四三卷）	一	五五八	三四
喫茶去	尾崎敬義　昭和四	一	五七二	三四
喫茶往來	玄惠　（群書類從第一九輯飲食部ノ內　昭和八）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷飲食部ノ內　昭和四）	二	五八四	五
喫茶話法	寫	二	八二九	一三六
接吻	チェーホフ著　原久一郎譯　（岩波文庫八九ノ六ノ內　昭和八）		五六九	一四
キッスとダンスと自殺の學說	赤神良讓　昭和五	一	三八七	二六三
キッスリング	外山卯三郎　昭和八	一	六二五	三五九
橘川文集	小林橘川（海音）　昭和九	一	六六三	一七七
同	上、下　（新校群書類從第一五卷飲食部ノ內　昭和四）		五八四	五
喫茶往來	玄惠　（群書類從第一九輯飲食部ノ內　昭和八）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷飲食部ノ內　昭和四）		五八四	五
喫茶話法	寫	二	八二九	一三六
接吻	チェーホフ著　原久一郎譯　（岩波文庫八九ノ六ノ內　昭和八）		五六九	一四
キッスとダンスと自殺の學說	赤神良讓　昭和五	一	三八七	二六三
キッスリング	外山卯三郎　昭和八	一	六二五	三五九
橘川文集	小林橘川（海音）　昭和九	一	六六三	一七七

		冊	函	號
汽笛	（句集）勝峯晉風　昭和九（黃橙叢書第一編）	一	六三一	三九七
木戸孝允公傳	木戸公傳記編纂所編　昭和二（題簽等ニハ「松菊木戸公傳」トアリ）	二	五五四	一八六
木戸孝允日記	第一至三　妻木忠太編　昭和七、八	三	六四	二六九
木戸孝允文書	第一至八　木戸公傳記編纂所編　昭和四至六	八	六四	二五四
木戸松菊公遺芳集（維新史蹟但馬出ノ）	兵庫縣出石郡教育會編　昭和七	一	四二五	五八
木戸松菊先生	德富猪一郎　昭和三	一	五七八	二五三
城戸武男作品集	同人　昭和九	一	六五八	九九
稀土類元素の應用	松野吉松　大正一五	一	四七	二八八
キナに關する座談會速記錄	星一編　昭和九	一	六六六	五三
指造ひ人形劇の製作と演出（ギニヨール）	内山憲堂　昭和八	一	六四二	一七三
木に凭りて	吉田絃二郎　昭和九（新潮文庫第一〇五編）	一	六三〇	八
義認と聖化	バルト著　松尾相譯　昭和七	一	六三六	二一
絹編物とヘヤピン及びビーズ編	岸本菊子　昭和二	一	三三七	四五四
絹織の基礎智識	上編北陸機械鐵工新聞社編　昭和九（「織物讀本」ノ改題）	一	六五七	一五七
絹織物ノ海外市場ト新方針	柳田美津造　昭和二	一	五三四	六七七
絹新製品ニ關スル調査	昭和八至一〇年　日本中央蠶絲會編　昭和八至一〇	三	一四三	七二四
絹製織法	丸善發行　昭和二　第二編　計算編（飯野知次）	一	五四二	七七
同	再版　昭和二　第一編　織物分解及設計篇（同）	一	五四二	七七
砧村隨筆	加藤武雄　昭和七（玉川文庫第八）	一	六四六	一
絹の泥靴	佐藤紅綠　昭和一〇（昭和長篇小說全集第一一卷）	一	六七七	二
絹紡織學	大住吾八　訂再版　昭和四	一	五〇七	六八
木下川藥師佛像緣起	義純（群書類從第二四輯釋家部ノ内　昭和三）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一九卷釋家部ノ内　昭和七）	一	五八四	五
キネマ企業	有賀長穀　昭和六	一	六〇六	三三五
キネマの人々	朝島黎吉　昭和二	一	五七一	一〇八
紀念繪葉書聚錄	第二卷　金田晴正、藤井榮次郎編　昭和二	一	五四九	九七
歸農始末	中田のぶ實（維新日誌第二期第五卷ノ内　昭和九）	一	三二四	二七一
機能心理學	エンゼル著　大伴茂等譯　昭和二	一	五一〇	五三（イ）
紀海音並木宗輔淨瑠璃集	黒木勘藏　昭和四（帝國文庫第一〇編）	一	五八三	一五
義の神乃木大將	渡邊龍聖　昭和七（民衆文庫第六七篇）	一	五六（雜）	五七
木下產科婦人科叢書	南山堂發行　昭和七至一〇	一四	五六	三二
木下杢太郎詩集	同人　昭和五	一	五九六	二三三
木下利玄を描く	岩淵兵七郎　昭和七	一	六三五	二一
紀貫之集	（群書類從第一一輯和歌部ノ内　昭和四）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一一卷和歌部ノ内　昭和三）	一	五八四	五
乙寺（オット）緣起	水野忠央編（丹鶴叢出第一〇册）	一〇	八四一	六四
紀友則集	（群書類從第一一輯和歌部ノ内　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一一卷和歌部ノ内　昭和三）		五八四	五
其梅	帶原重厚（南部叢書第一〇册ノ内　昭和四）		五七四	七
樹は如何に自ら發測と天に伸びるか	（文指導の靜觀）久米井東　昭和四	一	二六三（ニ）	二七九
希望	昭榮會編　昭和一〇	一〇	六七四	四九
希望に充ちて（隨筆）	八波則吉　昭和六	一	六〇七	四一八
希望の人生	（唯物史觀より唯電史觀へ）田中龍夫　昭和九	一	六四五	二一九
希望論、人生問答	石丸梅平　昭和六（創造生活パンフレット第一輯）	一	六一三	四八
黄八丈	秦秀雄　昭和六（郷土叢書第一編）	一〇	二一四	三〇三
揮發油安全燈によるメタンガスの測定に就て	石炭坑爆發豫防調査所編　昭和八（エチソン帽上燈の安全度試驗（同所等編）ト合綴）	一	六五八	九七
技法研究	實文館發行　昭和六　第一　洋畫基礎（足立源一郎）　第二　人物（長谷川昇）	二	五八二	三四六
技法用語解說	アトリエ社編　昭和九（日本畫新技法講座第六）	一	六四一	一四八
規範經濟學	岡本利吉　昭和四	一	五九一	一七四
規範的行政法學	中村彌三次　昭和七、八	二	六三四	二九
第一卷	子宮癌ノ「ラヂウム」療法（白木正博、井上秀夫）			
第二卷	異常妊娠分娩一〇〇例並ニ其處置（小笠原清）			
第三卷	慢性子宮症論（大石貞夫）			
第四卷	婦人科ノ理學的療法（古屋清）			
第五卷	妊娠早期診斷法（緒方十右衞門）			
第六卷	婦人泌尿器病學　附　膀胱鏡檢査法（原田隆）			
第七卷	子宮癌殊ニ手術不可能性頸部癌ニ對スル放射線療法（白木正博、立石彌七郎）			
第八卷	不妊症ノ診斷及療法（木下正中、長谷川敏雄）			
第九卷	婦人ノ受胎期（荻野久作）			
第一〇卷	產婦人科領域ニ於ケル藥物療法（小笠原清）			
第一一卷	子宮腟部糜爛（東恭則）			
第一二卷	最子宮癌放射線療法ノ理論ト實際（白木正博、清水直太郎）			
第一三卷	子宮外妊娠ノ診斷及療法（白木正博、西島義一）			
第一四卷	婦人ノ外陰疾患（德永覺二）			
同　第九卷	訂再版　昭和一〇	一	五六	三一（イ）
木下尚江著作集	同人　昭和三、四	四	五八二	一六〇
第一卷	火の柱、火宅			
第二、三卷	良人の自白　上、下篇			
第四卷	靈か肉か　上篇			

		冊	函	號
規範的行政法學序論	中村彌三次 昭和六	一	五九	二七
吉備群書集成	森田敬太郎編 昭和六、七	七	三九九	一四

第四輯
- 埋れみづ 二卷
- 備前岡山七英士讚話
- 墮涙口碑（太田昭景、稻垣茂松）
- 率章錄 五卷
- 泳化餘編（三上元龍カ）
- 仰止錄 八卷、附錄、續錄（早川晉學）
- 清水宗治事蹟（永田淑兵衞）
- 右大臣吉備公傳
- 和氣清麻呂傳
- 兒島高德事蹟考
- 熊澤了介先生事蹟考（清水信）
- 熊澤先生覺書
- 泮水餘波 七卷、附錄四卷（大澤惟貞編）

第五輯
- 漂流記 二卷
- 玉島紀聞
- 古伊部神傳錄（木村泰武）
- 上寺古鎧之記（湯淺元禎）
- 邑久郡豐原庄上寺鎧兜
- 佐々木三郎盛綱（松本胤恭）
- 吉備刀劍考 二卷（岡山藩士日置帶刀從者發魂の始末（岡山縣編）
- 於神戶外國人に對し發魂の始末
- 備前渡部數馬仇擊記（土肥經平）
- 古戰場備中府志 五卷（平川親忠）
- 池田家中島原陣覺書
- 某氏服部鄉圖考聞書
- 備中國御領御救御仕方之儀に付御內慮御問答書
- 備中國門田村領地村々大谷山開發之儀に付御相談書
- 走出村入會

義倉條約
不受不施講門派事件不受派一件
誕生寺略緣起
大帶寺緣起
備前國上道郡湯迫村萬燈由來之事
吉備津神社記（沼田頼輔）
吉備津宮參詣之記（井神寬齋）
備前國赤坂郡高藏神社杵舞記
高月鄉牟佐村服忌令
舊津山藩の學制
三備詩選 二卷（仁科四方編）
梅坡詩抄（寺崎憲士）
吉備溫故秘錄 三卷（大澤惟貞編）
第六至一〇輯 吉備溫故秘錄 五卷（同）

吉備大臣入唐繪詞 同解說及詞書共 美術研究所編 昭和九（美術研究資料第二輯） 特一輯 亥二 一七七

吉備暖語（隨筆） 礒清（芋莖草紙第二編） 昭和二 一 五六〇 二六

吉備國歌集 藤井尚澄編（吉備文庫第二、四輯ノ內） 昭和四、五 五九八 二四

吉備文庫 渡邊賴母等編 昭和四至七 六 五九八 二四

第一輯
- 金山詣（和田了頓）
- 眞金百人一首
- 嚴島紀行（武元正恒）
- 兒島道草（流雲舍竹關）
- 美作太平記 卷一至四
- 宇義明辨（近藤篤）
- 備前漂流人一件

第二輯 君則 五卷（近藤篤）

		冊	函	號
莫過詩屋詩集附錄（奧田盛香）				
魂魄歸所論（上田公正）				
政教一致論（同）				
吉備國歌集（藤井尚澄編）				
備前加茂化生狸由來記（檜崎賴久）				
牛窓詩（富田元眞）				
美作太平記 卷五至七				
備前國石上斬蛇事蹟考（土肥經平）				
第三輯 戀の平賀元義（羽生芳太郎）				
笠阜考證（小寺清先）				
佐柿常圓入道物語（村瀨安兵衞）				
勸農策 二卷（武元正恒）				
大倭原始論（松井良直）				
八尺集抄（通家大門）				
遷喬錄（馬場毅）				
美作國百十二社記				
備前渡邊數馬仇討記（土肥經平）				
吉備物語 上の卷（在田軒道貞）				
附錄 萬葉調歌人道家大門（野田實）				
第四輯 吉備國歌集（藤井尚澄編）				
牛膽詩藻（小原正義）				
美作太平記 卷八至一一				
八丈島筆記（古川辰）				
雪月花百首狂歌集（正宗雅敎編）				
大名略傳 內編卷一至三（木山三介）				
附錄 泉仲愛傳（渡邊賴母）				
第五輯 西遊雜記（古川辰）				
備藩奇人傳				
寺小屋敎科書				
備前往來				
備中往來				
加茂鄉往來				
倭文往來				
久世條敎（早川正紀）				
大名略傳 內編卷四（木山三介）				
第六輯 吉備物語 下の卷（在田軒道貞）				
獨斷（浦池潛）				
南畝偶語（武元正恒）				
戊國難之始末（水野正之）				
癸農世嘶				

岐阜高等農林學校一覽 昭和二、四、六 昭和二至六 同校編 三 二九一 七四

岐阜傘に關する調査研究 岡村清次、神馬仁太郎 昭和四 一 五八八 一二九

紀府京はし 田中敬忠 昭和五 一 六〇四 四一二

泣菫詩抄 薄田泣菫 昭和三（岩波文庫三〇七—三〇八） 一 五六九 一四

及瓜漫筆（未刊隨筆百種第九ノ內） 昭和二） 五六〇 二九

〔岐阜刑務所〕刑務一覽 昭和五、七年 昭和六、八 同刑務所編 二 一四、六ロ 二五イ

吸血妖魅考 日夏耿之介（性科學全集第一一篇） 昭和六 一 六一三 三

吸血記 生方敏郎（惡の華文庫第三） 昭和五 一 六一三 六

吸血鬼 江戶川亂步 昭和六 一 五九六 三一九

岐阜縣耕地整理施行一覽 第九至一四次 同縣耕地協會編 昭和四至九（第一二次ヨリ「岐阜縣耕地事業施行一覽」ト改題） 六 一四、三イ 四八一

岐阜縣氣象年報 大正一四、一五、昭和三、四年 岐阜測候所編 昭和元至五 四 一四、六ニ 六七イ

岐阜縣鄉土偉人傳　同編纂會編　昭和八　一　六四〇　一八四
岐阜縣會沿革誌　續篇ノ八　同縣會編　昭和九　一　一四、三　一六
岐阜縣會報告　山田三郎編　昭和六　一　一四、三　九五
〔岐阜縣〕工場法適用工場一覽　昭和八年三月現在　同縣工場會編　昭和八　一　六三一　一七
〔岐阜縣〕產業組合要覽　昭和七年度　同縣內務部編　昭和八　一　一四、ロ　三一四
岐阜縣史蹟名勝誌　同縣編　昭和二　一　五七八　二六
岐阜縣水害要錄　同縣內務部編　再版　昭和五　一　一四六、ニ　二四七、イ
岐阜縣大地理　同縣教育會編　昭和一〇　一　六六九　八七
岐阜縣重要工產物統計　昭和七年　同縣總務部統計課編　昭和八　一　一四、二、ロ　三〇三
岐阜縣治要覽　同縣編　昭和二　一　五七三　一二一
岐阜縣〔地圖〕　木崎盛政製　昭和九　七四・七五・五〇・六五　一　枚　六六六　五四
岐阜縣地方馬一齊調查ノ結果　同縣編　昭和七　一　六三五　二一〇
岐阜縣統計書　第三五至三七、三九至四二回　同縣總務部統計課編　昭和二至八　二〇　一四四　五三
岐阜縣東濃北濃飛騨水稻品種分布狀況調查成績　同縣穀物檢查所編　昭和三　一　一四、二、イ　六〇一
岐阜縣東部第三紀層のある事實に付いて　湯山眞英　昭和八　一　六三五　三九四
岐阜縣土木概要　同縣土木課編　昭和七　一　六三八　二三

岐阜縣ニ於ケル俗謠　林魁一編　謄寫版　再版　昭和九　一　六五三　二一八
岐阜縣ノ生產ト公課　第一九回　同縣編　昭和七　一　一四、二、イ　七三四
岐阜縣飛騨支廳管內產業組合　產業組合大野・吉城郡部會編　昭和一〇　九二頁　一　六七二　三〇五
岐阜縣風物記　三田儀雄（滯人）編　昭和二　一　五七八　二七
岐阜縣米穀檢查成績　昭和元至三、六年度　同縣穀物檢查所編　昭和二至七　四　一四、二、イ　三二九
〔岐阜縣立岐阜蠶業試驗場〕蠶業試驗報告　第五至七號　同場編　昭和二至五　三　一四、二、イ　一八六
岐阜縣立高山蠶業試驗場要覽　同場編　昭和六　一　一四、三、イ　一八〇
岐阜縣林業報告　第三輯　同縣編　昭和二　一　一四、二、イ　五九五
汲古隨想　田中敬　昭和八　一　六四三　二一四
岐阜市稻葉郡用排水組合と其關係事業概要　岐阜市、稻葉郡用排水普通水利組合編　昭和八　一　六五〇　七四
岐阜市史　同市役所編　昭和三　一　五七七　七四
岐阜市農會報告　岐阜市農會編　昭和八、九〔第七號ヨリ「岐阜市農業報告」ト改題〕　第一號　經濟試驗地成績報告　第二號　水田裏作裏作栽培改良成績報告　第三號　日本都市農業に關する研究　第一報　第七號　岐阜市農業の功程　第一報（加藤信幸）　第八號　岐阜市に於ける夜間蔬菜市場の現狀（同）　五　一四、三、ハ　一〇三

岐阜市發展史　森義一　昭和八　一〇　大四〇　一六三
急進愛國主義の理論的根據高島素之先生の思想と人物　茂木實臣編　昭和五　一　五八六　三二〇
急進ドイツ語講座　第一、二卷　昭和九　二　六六五　一七八
級數總和法　林鶴一、藤卷卯三郎（數學叢書第二七編）　一　四三　二八六
級數論　大石喬一（數學叢書第二編）昭和二（輓近）　一　五四二　一七三
給水給湯及消火設備　中村達太郎　昭和七　一　五六九　三六四
急性發疹症　里見三男　昭和五　一　五三　二九六
岐阜挑燈に關する研究　岡村精次　昭和五　一　五〇七　二〇三
急テンポの五ヶ年計畫　新聞聯合社編　昭和六　一　五九〇　四五三
岐阜統計年報　昭和六至八年　岐阜商工會議所編　昭和八、一〇　二　一四、八　一〇一
岐阜の伊奈波音頭　野口雨情　四版　昭和三　一　五四九　四三八
キプリング詩集　中村爲治譯　昭和四　一　五九六　八五
給料生活者問題　第二回社會政策會議報告書（社會立法協會編）昭和八　一　六五三　一二三
黃表紙集　昭和二（近代日本文學大系第一二卷）　一　五六〇　九
黃表紙十種　武笠三校　昭和一〇　一　六八二　一五六
黃表紙代表作選（校註）　高木好次、宮尾しげを校註　昭和七　複製　〇六　一五七

第一期　風流仙人花智　三卷　（富川吟雪畫）　一二九

風流瀨川嘯　二卷（柳川桂子著　鳥居清經畫）　一二〇
輔祭望嫌腹鼓　二卷　一三一
金々先生榮花夢　二卷（戀川春町著並畫）　一三三
浮世一盃夢　二卷（丈阿著　富川房信畫）　一三三
樂助一盃夢　二卷（丈阿著　富川房信畫）　一三三
風流浮世榮花枕　二卷（富川吟雪畫）　一三四
詭辯の研究　荒木良造　昭和七　一　六一九　六一
基本及標準工業分析法　河村文一編　昭和一〇　一　六三七　二四四
基本家具設計圖集　內田靜馬　昭和一〇　一　六八七　一七二
基本和聲學　前編　中田章　昭和二　一　五七三　三
基本戰術學教程　齊藤市平　昭和一〇　五九七頁　一　六八八　一
基本體育舞踊の理論と實際　赤間雅彥　昭和八　一　二七六　五八四
基本體操（ニルス一）　玉川學園教育研究所譯　昭和六　一　二七六　五一九
基本體操（ニイールスブツク一）　アンドルース著　宮田覺造、增田彌太郎譯　昭和六　一　二七六　五一四
基本體操と其批判（ニイールスブツク一）　森悌次郎　昭和六　一　二七六　五〇三
基本體操の嚴正批判（ニルスブツク一）　（學校體育臨時增刊）　日本體育學會編　昭和六　一　五九九　三九三
基本圖案學　金子清次　昭和九　一　六五〇　三三七
基本的參考圖書目錄　神波武夫編　昭和四　一　五五三　七〇
君が代と萬歲　和田信二郎　昭和七　一　六二七　三七
同　補再版　昭和九　一　六二七　三七イ

				冊	函	號
君と寢ようか五千石取ろか	奥野(西川)他見男	昭和四		一	五八九	一二
君と僕	生方敏郎	昭和二		一	五六八	七六
紀見のめくみ	本居宣長著	同豐穎校	同清造再校(增補本居宣長全集第九ノ內 昭和二)			
癸未溟誌	杉浦弘(武四郎)	明治一六		一〇	八四二	八〇
歸命の對象	木下靖夫	昭和一〇	一一〇頁	一	六六六	三五四
義民(戯曲)	宇野超爾(長司)	昭和九		一	六六五	一〇六
木村忠彦翁歌集	上、下 同人著	大正一五	北里園編	二〇	三〇二	三三九
木村默老と瀧澤馬琴	木畑貞清	昭和一〇		一	六七二	二四四
木村百木畫集	同人	昭和八		一〇	二三四	一三三
木村義雄集	同人	昭和四	(名人八段指將棋全集第八卷)	一	五八六	一八四
奇妙な存在	大田黒元雄	昭和八		一	六三六	一三〇
鬼面佛心	長谷川清志	昭和一〇	二七六頁	一	六八二	一〇四
膽つ玉 英雄風雲錄	頭山滿	五版 昭和四		一	五七〇	二四八
着物(詩集)	村井武生	昭和八		一	六四三	二五
膽の親分力の子分(戊辰物語)	土井敬三	昭和四		一	五七八	二七三
衣亂の研究	荒川保雄	昭和九		一	六一四	一四七
鬼門	廣瀨潔	昭和三		一	五八二	二〇七
境域疾患	醫學業績研究會編	昭和六		一	六〇	一八二
驚異と神祕の生物界	松村松年	昭和三		一	五七一	一三三

				冊	函	號
驚異の新科學展覽會	(昭和九年一一月)	松坂屋發行	昭和九	一〇	四二九	三
岐陽遺文	岐阜保勝會編	昭和七		一〇	四三三	四五六
京今宮御本地	(近代日本文學大系第二卷ノ內 昭和三)				五六〇	九
同	昭和八				六二九	二八
競泳	日本水上競技聯盟編	昭和一〇	(水泳指導要項第二編)	一	六六六	三五一
競泳	和久山修二	昭和四		一	五九七	三五
饗宴	加藤武雄	昭和四		一	五九六	七五
饗宴	プラトン著	久保勉(阿部次郎譯	(プラトン對話篇第二) 昭和九	一	三九九	一一
薑園歌文鈔	佐久良東雄著	內田周平編	再版 昭和九	一〇	二一五	二九九
香落戰の研究	關根金次郎監修	昭和一〇	一五四頁	一〇	三〇二	一二七
狂哥合	(群書類從第二八輯雜部ノ內 昭和八)				五八三	一四
同	(新校群書類從第二二卷雜部ノ內 昭和七)				五八四	五
行幸記念誌	上川貢	昭和一〇		一	六七二	二四九
行幸記念誌	桐生高等工業學校編	昭和一〇	二三〇頁	一	六四〇	二九四
行幸記念誌	群馬縣種畜場編	昭和一〇	五六頁	一	六八四	一〇一
行幸記念寫眞帖	靜岡市編	昭和五		一〇	四二三	三九六
行幸記錄	警視總監官房文書課編	昭和七		一	六一八	四四
行幸ニ關スル衛生記錄	兵庫縣警察部編	昭和四		一	五七九	五一三
狂歌絵入 商人盡	十返舍一九	文政一〇		一〇	一三五	一四四

				冊	函	號
狂樂師(傑作探偵小說)	大下宇陀兒	昭和一〇	五〇八頁	一	六九三	一一〇
岐陽雅人傳	野田醒石(勘右衞門)	昭和一〇		一	六六九	一三三
狂歌人名辭書	狩野快庵編	昭和三		一	五八五	四三
狂歌館の撰葉	古調園編	(慶應二)		一〇	八三八	六九
狂歌たび枕	上、下	稀書複製會編	昭和三	二〇	一〇三	四一三
京鹿子叢書	同發行所發行	大正一五至昭和九		六	五一七	五九七
第三篇	南風(水原秋櫻子(豐))					
第四篇	草城句集(日野草城(克修))					
第五篇	より江句文集(久保より江)					
第六篇	京鹿子第二句集(日野草城(克修)編)					
第七篇	京鹿子第三句集(鈴鹿野風呂編)					
第一二篇	丹鶴集(水野白川(忠武))					
同 第四篇	昭和三					
京鹿の子娘鹿汁	芝全交(近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二)			一	五一七	五九七(イ)
狂歌碧葉集	久鳳舍桐丸(平野三治郎)	昭和五			五六〇	九
競技運動の心理	野口源三郎	昭和六		一〇	一四〇	二九五
競技心理學	グリフイス著	可兒德 奥藤多藏譯	昭和六	一	六〇九	二三三
競技場建築	牧野正己	昭和七		一	二七六	五二九
京華要誌	附錄付	內貴甚三郎	明治二八	一	六三七	一三
鏡花全集	泉鏡花	大正一五、昭和二		三〇	八四〇	一八
巻一	冠彌左衞門	活人形		四	五二〇	四四
金時計		大和心				
豫備兵		海戰の餘波				
譬喩談		義血俠血				
鬼の角		亂菊				
祕妾傳		取舵				
華の一心		夜行巡査				
旅僧		外科室				
妙の宮		鐘聲夜半錄				
貧民倶樂部		ねむり看守				
怪語		泉鏡花年譜並著作細表				
巻一二	由緣の女	鯛				
定九郎		薺				
蝶々の目		昆首羯摩				
彩色人情本		雪靈記事				
雪靈續記		銀鼎				
續銀鼎		身延の鶯				
巻一三	妖魔の辻占	鷸狩				
磯あそび		朝湯				
女波		雨ばけ				
傘		駒の話				
くさびら		楓と白鳩				
十三娘		みさごの館				
龍膽と撫子		小春の狐				
胡桃		火のいたづら				
假宅話		きん稻				
眉かくしの靈		夫人利生記				
光籃		露秋				
甲乙きのえきのと		道陸神の戲				
鎧		怨靈借用				
本妻和讃						
巻一五	隨筆	小品				

		冊	函	號
雜錄雜記	談話	三	五二〇	四四イ
唄	俳句	一	一五六九	一四
鏡花全集	卷一、一二、一三　大正一五—昭和二	一	二九	二
仰臥漫錄	正岡子規　昭和二（岩波文庫八三—八四）	一	二六七	二六六
行刑衞生會雜誌	第一〇卷一〇號（昭和一〇年一〇月）同會發行	一	二七八	二四四
行刑營養學	甲賀正友　昭和一〇	一	二七八	五
行啓記念山形縣立圖書館一覽	（昭和一〇年一〇月）同館編　昭和一〇	一	六三八	一七九
行啓記念山口縣立山口圖書館概覽	第二五年報　同館編　昭和三	一	六五八	九八
行啓記念山口縣立山口圖書館增加書目錄	第一九年第四號（昭和九年一一月至昭和一〇年一月）同館編　昭和一〇	一	五八七	一六一
行啓記念山口縣立山口圖書館年報	第二六至三二　同館編　昭和四至一〇	一	五九九	三〇一
行刑實務講話	坪井直彥　訂補三版　昭和二	一	五九一	五七
行刑上の諸問題	正木亮　昭和四	一	三六六	一〇一ロ
行刑の時事問題	正木亮　昭和六	一	二七八	一七九
行刑の變遷をたづねて	正木亮　昭和四	七	二七八	五
同	增補　昭和八	一	五八七	一六一イ

		冊	函	號
行刑法規輯纂	上、下卷　司法省行刑局監修　刑務協會編　昭和一〇	二	一四七	六九七
行刑法規類纂	昭和三年　刑務協會編　昭和四	一	一四七	四三七
行刑論集	（「刑政」第五百號記念）松井和義、牧野英一編　昭和五	一	六〇〇	一一七
狂言畫大觀	百種之內　第二、三、五輯　山口蓼洲畫　昭和二、三	五	四〇六	八七
鏡劍璽特別展覽會案內	昭和四年一〇月一六日至同年一一月三日　帝室博物館編　昭和四	一	五九〇	二一六
狂言集成	野々村戒三、安藤常次郎編　昭和六	一	六一一	一〇五
鏡檢生物學（顯微鏡說）	高山虎三　昭和九	一	六六七	一一〇
狂言選	和田萬吉、野々村戒三校　昭和一〇（大日本文庫文學篇ノ內）	一	六一九	三六三
狂言選集（校註）	和田萬吉　昭和五	一	五一七	六八一
狂言此見かさ聞方	山邊圓阿　昭和二	一	一六五	一六三
狂言集成	京絹帛友禪區出品圖錄　第八回　京都染物同業組合絹帛友仙區編　昭和六	一	四一七	二九
狂犬病	中原養樹、安藤啓三郎　昭和六	一	六〇	一一七
狂言百番	上　齋藤芳之助　昭和三	一	一五七	八〇
狂言舞謠集	野々村戒三校註　昭和一〇　一四六頁	一	六九三	一三三
京見物（骨稽—諷刺）	高橋新六　昭和三	一	五六九	八六
京極沿革史	創始六〇周年紀念　田中辨之助編　昭和七	一	六二一	一三三
杏齋翁遺墨帖	上、下　織田杏逸編　大正一五	二	四二一	九八
競爭遊戲（新しい研究）	佐々木等　昭和七	一	三一八	五五四
狂想曲	加藤武雄　昭和二	一	五一七	五五〇
竟山學古	山本縣定（竟山）（書道講座第一九）	一	二一六	四四
京城勝覽	貝原益軒　一二卷（增補京都叢書第五卷ノ內　昭和九）	六	五四	一六
京城萬壽禪寺記	梵眼（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內　昭和七）	五	四四	五
享受と批評	谷川徹三　昭和五	一	五一七	六八六
行書前赤壁賦	西脇吳石書（書道學習帖第一〇）	一	二四九	二七〇
行書本朝三字經	岩田鶴皐書　昭和八（書道學習帖ノ內）	一	二四九	二七〇
行書類纂	關克明　天保四	二	八四〇	七四
仰止錄	並附錄、續錄　早川督學（吉備群書集成第四輯ノ內　昭和六）	三	九九	一四
狂人の心理	ハート著　中村義（古峽）譯　昭和二	一	五三五	三三六
行信の體系的研究	尭諦住　昭和一〇	一	六一三	二七三
行信論集	眞宗叢書編輯所編（眞宗叢書附卷）	一	五七四	一九
京雀	淺井了意　七卷（增補京都叢書第一卷ノ內　昭和八）	六	五四	一六
行政學總論	蠟山政道　昭和三（社會科學叢書第一三編）	一	五八三	一九
行政官を志す人のために	笠井英一　昭和八	一	六三四	一九一
行政警察例規集	內務省警保局編　昭和六	一	五九一	二四四
行政裁判所判例要旨類集	追錄第二　帝國地方行政學會編　昭和八	一	一四七	六一二
行政裁判法	美濃部達吉　昭和四	一	五九一	一一〇
行成字鏡	早川友惠編　昭和一〇	一	三〇三	七三
強制執行	阿部文二郎　昭和二	一	五六一	一七一
強制執行手續訓令通牒回答要旨集	強制執行競賣手續　竝大審院判例、法曹會議決　松村久平編　昭和五	一	六〇七	二四三
強制執行手續	尾高武治　訂補五版　昭和五	一	五一二	一七六イ
強制執行の基本問題	シュタイン著　小木貞一譯　昭和一〇　二三〇頁	一	六九〇	四一
強制執行法要論	加藤正治　昭和一〇　四〇三頁	一	六八五	八三
強制執行判例附論說	大橋九平治編　昭和三	一	五七三	二〇七
行政法	（總論）文官受驗講習會編（法律受驗叢書全集第二卷）昭和四	一	五九一	四七
行政法	第一、二　美濃部達吉（岩波全書第三、三四）昭和八、九	二	六四六	四
行政法要論	總論、各論　島村他三郎　訂一四版　昭和五	二	五六一	九四イ
同	總論　訂一六版　昭和一〇　二六八頁	一	五六一	九四ロ
同	各論　訂一六版　昭和九	一	五六一	九四ロ
行政法講義	總論、各論　渡邊宗太郎　昭和六、七	二	六〇〇	一八九
同	總論　訂　昭和八	一	六〇〇	一八九イ
行政法各論	文官受驗講學會編　昭和五（講習受驗法律叢書第三卷）	一	五七二	二三〇
行政法各論講義案	山田準次郎　昭和一〇　一五九頁	一	六七二	二九八
行政法撮要	上卷　美濃部達吉　訂補二版　昭和二	一	五一二	二一二

		冊	函	號
同	上卷 訂三版 昭和六	一	五一	二一ホ
同	上卷 訂補四版 昭和八	一	五一	二一ヘ
同	下卷 訂再版 昭和三	一	五一	二二ニ
同	下卷 上册 訂三版 昭和七	一	五一	二二ホ
同	下卷 中册 訂三版 昭和七	一	五一	二二ホ
同	下卷 下册 訂三版 昭和七	一	五一	二二ホ
同	下卷 訂三版 昭和七	一	五二	二二ヘ
行政法大綱	野村信孝 昭和五	一	六〇〇	八〇
同	訂三版 昭和一〇 五九一頁	一	六〇〇	八〇イ
行政法提要	總論上卷 中村彌三次 昭和九	一	六七八	一四
行政法理解說	横井二郎 昭和八	一	六三七	四七
行政法論綱	上卷 小川喜一 昭和九	一	六四九	一八七
競走と練習	百米十五年 谷三三五 昭和五	一	六〇六	八六
競走馬調教法	（濠洲の馬は人と語る）マグリッヂ著 安田伊左衞門譯 昭和三	一	五八一	四四
同	昭和三	一	五八一	四四イ
競走馬ノ運動生理並ニ其ノ能力檢定ニ關スル研究	東京帝國大學農學部編 昭和八	一	六三八	四五
競走馬の管理	松葉重雄 昭和八	一	六三一	九八
競走馬の研究	楠茂市 昭和五	一	六〇六	二一
京都維新史蹟	京都市教育會編 昭和三	一	四一七	七八
郷土偉人展覽會圖錄	郷土偉人展覽會編 昭和九	一	六三三	四〇
郷土要錄	大分縣師範學校郷土室編 昭和一〇 一五二頁	一	六八七	四四
京都園藝倶樂部叢書	同倶樂部發行 昭和八至一〇	三	六五一	一四
第二輯	花壇地錦抄（伊藤伊兵衞）			
第三輯	菜譜（貝原益軒）			
第四輯	增地錦抄（伊藤伊兵衞）			
同	昭和八	一	六五一	一四イ
第三輯	菜譜（貝原益軒）			
郷土を如何に研究すべきか	大日本聯合青年團編 昭和九	一	六八一	七四
郷土を創造せし人々	（海岸砂防篇）大日本山林會編 昭和九	一	六六二	一五一
郷土を中心としたる行事教育の實際	安部清見 昭和七	一	二五三	五五五
郷土大阪の文獻	田中範四郎（碧山）編 昭和八 謄寫版 五〇丁	一	六七	五三〇
京都及大阪近傍（十分一）	陸地測量部製 昭和七 一〇一・五〇×七一・五〇	一枚	六三五	一〇八
京都及大阪近傍圖（十分一）	陸地測量部製 昭和七 一〇一・五〇×六一・五五	一枚	六三五	九三
京都高等工藝學校一覽	昭和二至一一年 同工藝學校編 昭和二至一〇	八	二九三	二〇
京都高等工藝學校學術報告	第一輯 同校編 昭和九	一	一四五	三七四
京都高等工藝學校創立三十周年記念論文集	同編纂委員編 昭和七	一	六三八	五三
京都高等蠶絲學校一覽	昭和二至六、八至一〇年 同校編 昭和二至九	六	二九一五	一六
京都高等蠶絲學校學術報告	同校編 昭和四、七	二	一四一イ	六四七
第一卷第二號	Studies on the artificial hatching of silk-worm-eggs by hydrochloric acid. (Eitaro Miura)			
	On the filtrable virus of the grasserie (Gelbsucht) of the silkworm. (Takehiro Suzuki)			
〃 第三號	黒種（正常越年卵）、生種（正常不越年卵）、人工孵化種（人工不越年卵）の各蠶卵に於ける卵黄細胞の研究（三浦英太郎）			
	人工孵化の原理に就て（同）			
郷土學習指導方案	郷土教育聯盟編 昭和七	一	二五三	五六七
京都上賀茂	川瀨巴水畫 寫 特	一枚	別七	二九〇
京都祇園額解術	安島直圓 昭和一〇 謄寫版 一三丁	一〇	三〇二	八九
京都近郊	東南、東北、西北、西南部 陸地測量部製 昭和三 七六・七〇×四六・二〇	一枚	三三六	三九四
京都近郊圖（一萬一）	東南、東北、西南、西北部 陸地測量部製 昭和六 七八・六〇×四七・九〇	四枚	六〇四	四六三
享徳二年晴之御鞠記	（一名雲井の春） 一條兼良（群書類從第一九輯蹴鞠部ノ內 昭和八）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一五卷蹴鞠部ノ內 昭和四）		五八四	五
郷土科學講座	郷土科學研究會編 昭和六 第一册 郷土科學に就いて（柳田國男） 郷土研究の將來（同） 郷土經濟史研究上の若干法則（小野武夫） 日本交通史概觀（田村栄太郎）	一	六一五	三

		冊	函	號
崎陽賊船考	（未刊隨筆百種第一三ノ內 昭和三）	一	五〇	二九
蠻蛆被害調査	（昭和九年春蠶期）附微粒子病被害調査 静岡縣蠶業取締所編 昭和九	一	六七二	一五九
京染の祕訣	高橋新六 補五版 昭和九	一	五四二	一二八イ
杏村遺稿	古莊一男（杏村） 昭和七	一	二三二	三四四
彊郵遺書	內編（第一至五）、外編（一、二）、附錄 龍沐勛編 民國二二	八	二一六	一四九
郷村建設論文集	第一集 梁瀨溟 訂三版 民國二五 二一二頁	一	六五八	一七二
郷村古實見聞記	阿部知義（南部叢書第四册ノ內 昭和三）	一	五七四	七
京大歌集	昭和一〇年版 京大短歌會編 昭和一〇 一四六頁	一	六八二	四五
京大事件	佐々木惣一等 昭和八	一	六四九	一二五
京大法學部事件批判	平田元吉 昭和八	一	六四四	一九八
郷黨遺聞	小宮山楓軒（昌秀）等稿本 寫 特	二	ね	三二
京傳憂世之醉醒	山東京傳（近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二）	一	六五〇	九
京傳予誌	山東京傳（近代日本文學大系第一一卷ノ內 昭和二）	一	五六〇	九
京傳傑作集	笹川種郎訂（帝國文庫第四篇） 昭和三	一	五八三	一五
強電流工學と電子裝置	星合正治 昭和九	一	六七一	二六
京都	京都市役所編 昭和四	一	五四〇	一四七
きやうと	松山高吉 明治二八	二	八三九	一四五
京都遊覽案內	京都市庶務部觀光課編 昭和八 （題簽ニハ「京名所案內記」トアリ）	一	一五六	一一四

		冊	函	號
原始信仰	（折口信夫）			
郷土研究と人文地理學	（佐々木彦一郎）			
地誌の研究	（東木龍七）			
民間傳承の採集	（早川孝太郎）			
衣服裝身具の民族學的考察	（鎌倉芳太郎）			
一般史料とその取扱方	（高柳光壽）			
郷土を理念とせる修身科の學習指導	（兵庫縣姫路師範學校附屬小學校、同代用附屬城北小學校編）			
郷土室の施設と經營	（鳥取縣東伯郡倉吉町上灘小學校編）			
郷土科學叢刊	刀江書院發行　昭和七、九	四	五九八	六〇
第一　濵戸内百圖誌	（綿貫勇彦）			
第二　郷土教育運動	（小田内通敏）			
第三　社會地理學の動向	（飯塚浩二）			
第五　植物社會學語彙	（パヴィヤール著　郷土教育聯盟譯）			
京都化學談話會講演要旨	昭和八年度　同會編　昭和九	一	一四五	三八六
郷土科學パンフレット	刀江書院發行　昭和六至八	四	三七二	四八四
第一輯　科學的郷土學の陶冶價値	（シュプランガー著　郷土教育聯盟譯編）			
第二輯　山島社會誌（鹿角民俗誌）	（佐々木彦一郎）			
第三輯　都市動態の研究	（石川榮耀）			
第四輯　島の農業形態（隱岐の牧畑式農業經營に就て）	（錦織英夫）			
郷土化の圖畫手工	學校美術協會編　昭和六	一	二六三 三	二八九
郷土玩具種々相	有坂與太郎　昭和六	一	六〇六	三九五
郷土玩具叢話	加藤增夫　昭和八	一	六四三	九〇
郷土玩具大成	第一卷（東京篇）　有坂與太郎　昭和一〇	一	六一〇	二〇四
郷土玩具大全	「旅と傳説」編輯部編　昭和九	一	六五〇	一九七
郷土玩具夜話	加藤增夫　昭和九	一	六五三	三三四
郷土館施設概要	香川縣師範學校郷土研究部編　昭和八	一	二五九	六四五
郷土經營學	經濟篇、教育篇　東木龍七　昭和七、八	二	三五三	五七三
京都經營學會研究叢書	雄風館發行　昭和七	一	六一五	二九
第一　我國主要産業に於けるカルテル的統制	（小島昌太郎）			
京都經營學會邦譯叢書	雄風館發行　昭和七	一	六一五	二六
第一卷　世界經濟機構と景氣變動	（ワーゲマン著　小島昌太郎等譯）			
京都經濟史研究會紀要	改造社發行　昭和四、五	二	五九三	二〇
第一册　日本交通史の研究	（本庄榮治郎）			
第二册　明治維新經濟史研究	（同）			
郷土經濟史研究提要	小野武夫　昭和七	一	六三四	五
同	昭和九	一	六三四	五イ
郷土藝術叢書	ロゴス書院發行　昭和四	一	五九八	三六
第一編　佐渡おけさ	（渡邊亮村）			
郷土藝術　日本民謡	日本郷土民謡研究會編　昭和六	一	五六八	四三九
郷土藝術　民謡の味ひ方	五十路竹水　昭和八	一	五六九	四四一
郷土系統史	松下重貴編　昭和五（鹿兒島縣郷土史大系第一卷）	一	六一〇	三五
郷土教育講演集	文部省普通學務局編　昭和八	一	二五三	六六五
郷土教育原論	（日本精神の生命論的見地に立てる）　長谷川藤太郎　昭和八	一	二五三	六六〇
郷土教育資料	第一輯　青森縣女子師範學校編　昭和八	一	二六三 六	一九二
郷土教育史料	岡山縣教育會編　昭和八	一	六五三	六一
郷土教育資料	福岡縣八女郡教育會編　昭和九	一	二六三	三九一
郷土教育資料	鹿兒島地誌　鹿兒島市役所編　昭和一〇	一	六六九	一一三
郷土教育と國史地理の取扱	内田庄次、小林茂　昭和六	一	二六三 六	一五九
郷土教育年鑑	岐阜縣小學校長會編　昭和八	一	二五八 二	一〇六
郷土教育の概覽	德島縣女子師範學校、德島縣立德島高等女學校郷土研究部編　昭和九	一	二五三	七四七
郷土教育のカリキュラム構成	山崎博　昭和七	一	二五三	五六一
郷土教育の經營	佐藤隆德　昭和五	一	二五三	四七九
郷土教育の再吟味（研究と批判）	山崎博　昭和六	一	二五三	五三四
郷土教育の再檢討と其の實際的研究	茨城縣師範學校第二附屬常磐小學校編　昭和七	一	二五三	五五九
郷土教育の實際的研究	眞野常雄　昭和六	一	二五三	四九二
郷土教育の新開拓	寺田彌吉　昭和六	一	二五三	四七八
郷土教育の低學年經營	田島體驗學校編　昭和七	一	二五三	五五三
郷土教育の理論と實際	大分縣女子師範學校編　昭和七	一	二五三	五七九
郷土教育の理論と實際	余土等常高等小學校編　昭和五	一	二五三	四七五
郷土教材叢書	岩手縣教育會編　昭和九、一〇	三	六三一	四二九
第二編	建武中興			
第七編	昭和九年冷害による農業教育資料			
第八編	岩手縣の地理學的考察			
郷土研究	石川縣立七尾高等女學校香島會編　昭和八	一	六四〇	五三
第二輯	郷土誌讀本			
郷土研究	群馬縣師範學校編　昭和九（群師紀要第一輯）	一	二五九 五	一三一
郷土研究	千葉縣師範學校郷土研究室編　昭和七	一	六三五	一八四
郷土研究	福岡縣郷土教育研究會編　昭和一〇	一	六一六	一四一
第一輯	志賀島の研究			
郷土研究	山梨縣北巨摩郡教育會編　昭和七、一〇	二	五七六	二一二
第一輯	先史原史時代調査			
第二輯 第一册	口碑傳説集			
郷土研究	和歌山縣女子師範學校、和歌山縣立日方高等女學校郷土研究室編　昭和八	一	六三九	五一
第一輯	和歌山縣方言			
郷土研究	阿波の言葉　橋本龜一編　昭和五	一	六三一	四三四
郷土研究家名簿	農村教育研究會編　昭和五	一	五九〇	二四六
郷土研究紀要	愛知縣女子師範學校郷土室編　昭和一〇	一	一四、五	四四八

	冊	函	號
第三輯 鄉土教育施設概要			
鄉土研究室 人物の巻 鄉土教育研究會編 昭和七	一	五八七	二〇五
鄉土研究社第二叢書 鄉土研究社發行 昭和二至四	八	五五六	一五七
第二 阿波の狸の話（笠井新也）			
第三 動物界靈異誌（岡田建文）			
第四 猪、鹿、狸（早川孝太郎）			
第五 老媼夜譚（佐々木喜善）			
第六 長崎隨筆（大庭糖）			
第七 切支丹史話（同）			
第八 津輕口碑集（內田邦彥）			
第九 奥隅奇譚 附 原始謢筆風土年表抄（中道等）			
鄉土研究資料目錄 三重縣師範學校編 昭和九	一	六五三	三二六
鄉土研究資料目錄 並解說 山形縣師範學校編 昭和八	一	六四〇	一八
鄉土研究叢書 廣島縣師範學校鄉土研究室編 昭和八	一	六三五	二九
第一輯 廣島縣方言の研究			
鄉土研究叢書 同研究會發行 昭和五、七	三	六三八	四一
第一輯 河川の侵蝕に對する火山地質の變位性（安齋徹）			
置賜及村山盆地の第四紀層（同）			
地理的中心地としての三都市（同）			
第二輯 城輪の出羽柵址及び國分寺址調査（阿部正己）			
第三輯 庄內地方京田與屋新田の研究（長井政太郎）			
鄉土研究圖譜 同刊行會發行 昭和八	二	四一八	一七九
村落篇 第一輯 長野縣（同刊行會編）			
村落篇 第二輯 栃木縣（小田內通敏編）			
鄉土研究としての小萩ものがたり 藤原相之助 昭和八	一	五八七	二〇五
京ところ〴〵 岩井武俊編 昭和三	一	五七八	二二五
鄉土產業研究 富山縣立滑川商業學校編 昭和一〇	一	六七二	二二九
第七輯 賣藥業（中新川郡）			
鄉土產業調查 第二輯 北海道廳立旭川商業學校編 昭和一〇	一	六五〇	三一六
鄉土誌 福山誠之館中學校地歷研究會編 昭和一〇 二一九頁	一	六八五	五三
鄉土誌 山梨縣教育會北巨摩郡第二支會編 昭和八 謄寫版	一	六四〇	一二九
京都市營業別調查 京都商業會議所編 昭和二	一	三三七	四五一
京都市營電氣事業沿革誌 京都市電氣局編 昭和八	一	六四一	八八
鄉土史要 第一輯 近藤鐵城 昭和一〇	一	六七二	二八五
京都市海外貿易情報 京都市庶務部產業課編 昭和一〇 二五四頁	一	六七二	三〇四
鄉土史講演集 第一輯 米澤史談會編 昭和一〇 謄寫版 米澤史料叢書第五卷）	一	六七二	二六八
鄉土史家名簿 日本經濟史研究所編 昭和九	一	六五三	三一八
鄉土史研究 雄山閣發行 昭和一〇	二	六一五	五〇
第一輯 鄉土史の研究（柴田常惠）			
鄉土の生活と舞踊（小寺融吉）			
鄉土傳說と民俗學（中山太郎）			
鄉土史と豪族（花見朔巳）			
第七輯 聚落の地理學的考察（小田內通敏）			
湖沼と鄉土（田中阿歌麿）			
鄉土と水（蘆田伊人）			
鄉土史誌目錄稿 國分剛二編 昭和五	一	六〇四	二一七
京都市社會課調查報告 同課編 昭和七、一〇	三	一四五	三〇〇
第一八號 京都市に於ける庶民金融に關する調查			
第三四號 求人事情調查（京都市に於ける職業紹介所に關する調查第一部）			
第三八號 京都市に於ける精神病者及その收容施設に關する調查			
京都市工業研究所報告 同市工業研究所編 昭和四至八	一〇	一四三	六四三
第五號 濃厚鹽化亞鉛溶液の木綿纖維に及ぼす影響（坂光義）			
アルミニウムの單一結晶に及ぼす壓縮の影響（深見芳雄）			
チタン釉藥の比較研究並に其應用に就て（高橋英二）			
第六號 泥漿狀粘土の脫水濾過に於ける電氣泳動作用の應用に就て（仲井俊雄等）			
第七號 アルミニウム單一結晶板に及ぼす壓縮の影響（第二報）（深見芳雄）			
第八號 天然生絲屑を原料とする再生絹絲製造に關する研究（猪飼博、松本康之）			
第九號 辰砂釉調製試驗（高野忠、巽正次郎）			
第一〇號 絹の直接染料染法に於ける助劑に就ての考察（大岩三郎）			
第一一號 墨汁の研究（水谷光造、水落久雄）			
第一二號 重土釉を基礎とせる磁器着色釉の研究 第一報（村山鐵造）			
第一三號 耐熱系ゼーゲル錐のX線的研究（仲井俊雄、深見芳雄）			
第一四號 陶磁器原料のX線的研究（同）			
鄉土史參考資料 石井左近 昭和八	一	六五三	九六
京都史蹟めぐり 寺井史郎編 昭和九	一	六六一	六
京都市兒童院概要 昭和九年版 同院編 昭和九	一	六七二	七
鄉土史誌目錄稿 國分剛二編 昭和五	一	六〇四	二一七
京都市社會課調查報告 同課編 昭和七、一〇	三	一四五	三〇〇
京都市工業研究所報告 同市工業研究所編 昭和四至八	一〇	一四三	六四三
京都市染織試驗場事務報告 昭和五、六年度 同場編 昭和七	一	一四、二	五九一
京都市中央卸賣市場誌 上、中、下編 京報社編 昭和二	三	五七一	四九
鄉土史調查と其實例 大野武男 昭和七	一	五八七	二八七
京都市土地賃貸價格表 京都土地協會發行 昭和四	一	五六七	一五
第一編 上京區之部（武內義尙編）			
鄉土史は如何に研究すべきか 歷史教育研究會編 昭和五	一	六一〇	三一
同 補三版 昭和六	一	六一〇	三一イ
鄉土はまだけ 福岡縣三潴郡濱武尋常高等小學校編 昭和一〇	一	六三三	一〇三
京都市美術展覽會圖錄 第一部、第二至四部 芸艸堂出版部編 昭和一〇	二	六七四	四二
鄉土誌分類圖書目錄 附 縣人著書目錄 縣立佐賀圖書館編 昭和五	一	六〇四	七三
鄉土史研究者名簿 昭和三年一一月現在 京都帝大農學部農林經濟學科農史研究室編 昭和三 謄寫版	一	五七九	一六九

		冊	函	號
京都商工會議所統計年報	昭和五至九年 同所編 昭和六至一〇	五	一四八	九八
京都商工會議所年報	昭和六年度 同所編 昭和七	一	一四八	八(イ)
京都商工大鑑	帝國興信所京都支所編 昭和三	一	五七六	九四
京都商工人名錄	昭和九年版 京都商工會議所編 昭和九	一	三四七	三三(ハ)
〔京都市役所〕圖書室收藏圖書目錄	昭和九年一月 同市役所編 昭和九	一	六五三	二八九
京都社寺名寶鑑	芸艸堂發行 昭和八	特一	四二五	八一
第一期 第一輯 大德寺篇 第一	(日出新聞社編)			
郷土主義學校經營の實際案	志垣寛 昭和七	一	二五三	五七四
郷土主義學校經營の實際	工藤恒治 昭和七	一	二五三	五八九
郷土主義の綴方教育	逸見嘉一 昭和七	一	二六三(ニ)	三三五
京都守護職始末	山川浩 昭和五	一	六一〇	一四
郷土趣味雜話	市場直次郎 昭和七	一	五八七	三五五
京都巡覽の栞	西田直二郎、西彦太郎編 昭和三	一	五七八	二三七
京都市立繪畫專門學校第十九回 同美術工藝學校第三十六回	卒業製作品圖錄			
	同校校友會編 昭和四	一〇	五六二	二三
京都市立繪畫專門學校第二十回 同美術工藝學校第三十七回	卒業製作品圖錄			
	同校校友會編 昭和五		五六二	二三
京都市立繪畫專門學校第二一回 同美術工藝學校第三八回	卒業製作品圖錄			
郷土史料	九皐書院發行 昭和九、一〇	一〇	五六二	二三
第一卷 兩郡古談 (前田多三郎編)		二	六七二	三九
第二卷 旱害治水血涙史 (同)				
郷土史料	郷土史料研究會編 昭和七 謄寫版	一〇	二三二	三八七
第一輯 校梅半禮實錄				
注				
郷土誌料綜合目錄	昭和四年三月末現在 新潟縣立圖書館編 昭和四	一	五七九	四二九
郷土誌料綜合目錄	昭和五年三月末現在 熊本縣立熊本圖書館編 昭和五	一	六〇四	一三七
郷土志料分類目錄	山口縣立山口圖書館編 昭和四	一	五五三	七三
郷土志料目錄	山口縣立山口圖書館編 昭和四	一	五五三	七三
同 追加第一 昭和七		一	五五三	七三
京都新百景	大阪每日新聞社京都支局編 昭和五	一	五五六	四七六
郷土人物叢書	金文堂發行 昭和二	一	五五〇	一六三
第一篇 仙厓和尙の生涯と藝術	(三松莊一)			
郷土心理學	西山庸平 昭和八	一	六四五	八九
郷土數學	田中鉄吉 昭和一〇 謄寫版 一三二頁	一	三〇二	一三〇
郷土生活の研究法	柳田國男著 小林正照編 昭和一〇 三三三頁	一	六八二	一八五
郷土戰史	鈴木友吉編 昭和三	一	三一九	四七六
京都染織工藝圖案競技展覽會圖錄		三〇	四三三	四一一
第一回至三回 京都圖案家協會編 昭和五至七 〔京都染織圖案競技展覽會作品集ノ改題〕				
京都叢書(增補)	京都叢書刊行會發行 昭和八至一〇	二〇	六五四	一六
第一卷 京童	六卷 (中川喜雲)			
京童跡追	六卷 (同)			
洛陽名所集	一二卷 (山本泰順)			
京雀	七卷 (淺井了意)			
第二卷 扶桑京華誌	三卷 (松野元敬)			
日次記事	正月至一二月 (黒川道祐)			
山城名所寺社物語	六卷 一名 內裏雛、京の花都花月名所 (秋里籬島)			
第三卷 近畿歷覽記	(黒川道祐)			
雍州府志	一〇卷 (同)			
第四卷 出來齋京土產	七卷			
京師巡覽集	一五卷 (丈愚)			
第五卷 菟藝泥赴	八卷 (北村季吟)			
京城勝覽	二卷 (貝原益軒)			
洛陽十二社靈驗記	(松浦皇洲)			
第六卷 京羽二重	六卷 (孤松子)			
京羽二重織留	六卷 (同)			
第七、八卷 山城名勝志	(乾・坤) 二一卷 (大島武好編)			
第九卷 名所都鳥	六卷			
堀川の水	八卷 (富尾重隆(似船))			
都名所車				
京內まいり				
第一〇卷 山城名跡巡行志	六卷 (尋慧編)			
京町鑑	二卷 (白露編)			
第一一卷 都名所圖會	六卷 (秋里籬島編)			
第一二卷 都名所圖會拾遺	四卷 (同)			
第一三至一六卷 京都坊目誌	(上京之部、下京之部) (礒井小三郎編)			
第一七卷 京都叢書索引	(同刊行會編)			
第一八卷 京都坊目誌	首卷、索引 (礒井小三郎編)			
第一九、二〇卷 山州名跡志(乾・坤)	二二卷 坂內直頼(白慧)			
郷土叢書	谷口俊一發行 昭和六至一〇 謄寫版	四〇	二四九	二八六
第一編 若狹國造由緒考	(伴信友)			
第二編 若狹國志	乾・坤 (稻庭正義著 伴信友修補)			
第四編 伴信友先生家訓	(伴信友)			
京都染物同業組合 絹帛友禪區出品圖錄	第六回 昭和四 友禪區編	一〇	四一七	二九
郷土大觀	郷土顯彰會編 昭和二	一	五七七	六
第二編 猿島郡郷土大觀				
郷土談叢	富山縣立礪波高等女學校鄉土研究室發行 昭和九、一〇	二	六六六	一七五
第一輯 礪波の今昔物語	(河合正則)			
第二輯 礪波の天然記念物	(土肥宇三郎)			
郷土中心低學年の自然研究	松原惟一 昭和六	一	二五三	五四六
郷土中心勞作本位 尋一學級經營の新體驗	兵庫縣教育會(松代まつの、土居辰二郎著)編 昭和八	一	二五三	六四七
京都地方 名勝史蹟めぐり	郷土地理研究會編 昭和三	一	五六九	九五

京都女子高等專門學校要覽　昭和二年六月末現在　同校編　昭和二　一冊　函號二九　六四

鄉土地理教育入門　ウエント著　國松久彌譯　昭和六　一　二六三ハ　一六二

鄉土地理教育の原理と方法　佐々木清治　昭和七　一　二六三ハ　一八五

鄉土地理教育論　小林茂　昭和七　一　二六三ハ　一八九

鄉土地理研究　内田寛一　昭和八　一　六四〇　五五

鄉土地理研究　小田内通敏　昭和五　一　五五六　四八九

鄉土地理の調べ方と實例　西龜正夫　昭和七　一　二六三ハ　一六八

鄉土地理の觀方　信濃教育會編　昭和六（信濃地理研究第一輯）　一　五五四　二三三

京都圖案會三十年紀念展覽會圖案集　大八木春曉編　昭和四　一〇　八三　三六九

〔京都圖案會〕新作圖案　第八〇至八二、八四回　同會編　昭和二至四　四〇　八三　三六九

京都帝國大學蘆生演習林　同學農學部附屬演習林編　昭和七　一　六三一　五三

京都帝國大學一覽　大正一五至昭和一〇年　同學編　九　二八一　五

京都帝國大學演習林報告　同學農學部附屬演習林編　昭和五至八　五　一四、二イ　六一七イ

第二號　樺太演習林植物調査報告（幸島春雄等）

第三號　人絹用ばるぷ原料トシテノ樺太産樹材ノ研究（石崎道也）

第四號　演習林氣象報告（第一回）

第五號　樺太演習林花粉並ニ胞子形態（山崎次男）

第六號　植生型ヨリ見タル樺太天然林ノ研究（上田弘一郎）

〔京都帝國大學〕化學研究所要覽　昭和八、一〇　同所編　昭和八、一〇年　二　二八九　一五

〔京都帝國大學〕化學研究所講演集　第一至七輯　同所編　昭和四至一二　一冊　函號二九　六四

〔京都帝國大學〕化學研究所學術報告　第一號　同所編　昭和四　一　二六三ハ　一六二

京都帝國大學花山天文臺　同臺編　昭和四　一　二六三ハ　一八五

京都帝國大學經濟學部和書目錄　同部發行　昭和八　謄寫版　一　二六三ハ　一八九

その一　寫本目錄（同部研究室編）　一　六四〇　五五

京都帝國大學工學研究　第一、五輯　同學工學部中央實驗所編　昭和五、一〇　二　一四、五　二六四

京都帝國大學工學部講義要目　昭和八年　同部編　昭和八　一　二九二　九〇

京都帝國大學國史研究室藏　史料集　同解説　同學文學部編　昭和八　特　二　四三五　七九

同　特　二　四三五　七九イ

京都帝國大學國文學會二十五周年記念論文集　同學會編　昭和九　一　六五五　一五〇

京都帝國大學耳鼻咽喉科星野教室文獻　大正一三年至昭和八年（星野教授開講一〇周年記念）　同教室編　昭和九　一　五八　二〇九

京都帝國大學演習林概要　附圖付　同學部編　昭和四　一　一四、二イ　六一七

京都帝國大學附屬圖書館所藏の天球儀　安田辰馬　昭和九　一　六七一　三七

京都帝國大學文學部考古學研究報告　刀江書院發行　昭和二至九　四　一四五　三

第一〇册　出雲に於ける上代玉作の遺跡と遺物の研究（濱田耕作等編）

第一一册　筑前須玖史前遺跡の研究（島田貞彦編）

第一二册　讃岐高松石清尾山石塚の研究（梅原末治編）

第一三册　新羅古瓦の研究（濱田耕作、梅原末治）

京都帝國大學文學部景印舊鈔本　同學發行　昭和一〇　複製　特一〇　四二　八

第二集　第一　講周易疏論家義記殘卷

第二　經典釋文殘卷

第三　漢書楊雄傳殘卷

第三、四集　文選集注　八卷

京都帝國大學文學部三十周年史　同學部編　昭和一〇　三一六頁　一　二八一　四三

京都帝國大學文學部陳列館　考古圖錄　續編　同學部編　昭和一〇　一　六八〇　一四七

京都帝國大學林學會〔報告〕　同會發行　昭和二、四　二　一四、五　二〇三

第一輯　森林生態の概要（河田杰）

第三輯　森林氣象（日射ト温度）（平田徳太郎）

鄉土的體驗教育の原理と實際　島田豐一　昭和七　一　二五三　六〇三

鄉土的作業的勞作的各學年の學級經營　栗下喜久治郎、堀田平藏　昭和七　一　二五三　六一四

鄉土傳說　徳島日日新報社發行　昭和九　一　六三九　二三九

第二輯　大阿波の横顔（横山春陽編）　一　六〇七　三八九

鄉土傳說を兒童劇脚本に　長尾豐　昭和六　戯曲化せる　一　六〇三　三五四

鄉土傳說童話集　歌川小雨　昭和六　一　三五三　五一〇

鄉土讀本の編纂法と其實例　大西伍一　昭和六　一　五九七　一九七

鄉土と產業　佐藤弘、山本二郎　昭和七　一　六二七　一五三

京都帝國大學圖書館　增加和漢圖書分類目錄　叢書事業之部　昭和七年三月末現在　同館編　昭和七　一　三一七　一四四

京都帝國大學圖書館　和漢圖書分類表　同館編　昭和七　一　三一七　一四四

同　附索引　一　三一七　一四四イ

京都帝國大學圖書館　和漢圖書分類目錄　歷史地誌之部　大正一一年三月末現在　同館編　昭和二　一　三一七　一四四

同　法政經濟之部　昭和四年三月末現在　昭和四　一　三一七　一四四

同　理工學之部　昭和五年　昭和六　一　三一七　一四四

同　哲學教育增加第一（大正一一年四月至昭和八年八月末增加）　同館編　昭和九　一　三一七　一四四

京都土地要錄　第一編　日本土地興信時報社編　昭和一〇　一　六九五　二

京都取引所五十年史　株式會社京都取引所編　昭和一〇四三〇頁　一　六四〇　二八九

京都に於ける日本畫史　神崎憲一　昭和四　一　六四二　二二八

鄉土に趣味の山草　第一輯　江刺家憲條　昭和八　一　五五三　八〇

鄉土に語る　相馬御風　昭和六　一　六〇三　二四七

京都に適した新興住宅設計圖案集　（懸賞入選）　京都建築協會編　昭和八　一　六三三　二三

鄉土に立脚したる家事科の施設及指導の實際　中村ハル　昭和七　一　二六三　一七三

鄉土に立脚したる緩方指導書　沖繩縣中頭郡教育部會國語研究會編　昭和八　一　二六三　三八四

京都の歌舞伎　堂本寒星　昭和四　一　五九七　一七九

鄉土の山岳と探勝　磯野三郎　昭和七　一　五八七　三〇九

郷土の産業	（創立十周年記念出版）豊橋市立商業學校編 昭和七	一	冊	函	號
郷土の生物方言調査	孫福正編 昭和八	一	六三一	一九五	
郷土の地理的研究法	佐々木清治 昭和六	一	五五四	三三五	
郷土の文學的資料	東京府荏原郡教育會讀方科研究部編 昭和八	一	六三三	二二七	
郷土の誇高山彦九郎先師	古澤共治郎 昭和五	一	五七八	三一六	
郷土の本質と郷土教育	小川正行 昭和六	一	二五三	五〇二	
京都坊目誌	首巻、上、下巻 雁井小三郎編 昭和九、一〇（增補京都叢書第一三至一六、一八巻）	五	六五四	一六	
郷土博物館	棚橋源太郎 昭和七	一	二七八	一八五	
郷土博物館陳列品解説	第三、五至九回 香川縣鎌田共濟會編 昭和三至九	六	五七九	七六	
京都美術工藝品展覽會圖錄	同會編 昭和五	一〇	六〇五	三一	
京都美術大觀	東方書院發行 昭和八、九	特一二	六三八	一〇四	
第一卷	建築（中野楚溪編 藤原義一解説）				
第二卷	庭園（同編 重森三玲解説）				
第三卷	茶室（同編 千宗守解説）				
第四卷	繪畫（上）（同編 土居次義解説）				
第五卷	繪畫（下）（同編 下店靜市解説）				
第六卷	彫刻（上）（同編 米山德馬解説）				
第七卷	彫刻（下）（同）				
第八卷	肖像篇（同編 高橋俊乘解説）				
第九卷	石造美術（同編 重森三玲解説）				
第一〇卷	工藝（同編 宮脇剛三等解説）				
第一一卷	筆蹟文書（同編 中村直勝解説）				
第一二卷	社寺史蹟（同編並解説）				
京都天田郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五一・一五×三六・六〇	一枚	五七九	四九三	
京都府何鹿、加佐郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五一・一五×三六・四〇	一枚	五七九	四九二	
京都府愛宕、北桑田郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五六・二〇×三六・四〇	一枚	五七九	四九四	
〔京都府織物試驗場〕業務功程報告	昭和五、六年度 同場編 昭和六、七	二	一四、三イ	七一五	
〔京都〕府下死亡調査	大正六至一〇年五ヶ年平均、大正一一、一二年二ヶ年平均 京都府衛生課編 昭和二	一	一四、六ハ	二一六	
〔京都府生絲檢査所〕生絲檢査成績	昭和三、五、七年（同府生絲檢査所編）（昭和一〇年ヨリ「京都府生絲檢査所」業務功程報告」ト改題）	三	一四、三イ	六三〇	
京都府氣象年報	昭和三、四年 昭和四五 京都府測候所編	二	一四、六ニ	一八一	
京都府木津溫泉	石川成章 昭和一〇	一	六七二	一八三	
京都府京都市、葛野、乙訓、紀伊、宇治、久世、綴喜、相樂郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五一・三〇×三六・四〇	一枚	五七九	四九五	
京都府金融要覽	（昭和九年四月）昭和九 同府内務部商工水産課編	一	一四、四	一〇〇一	
〔京都府〕火災消防統計	昭和七年中 同府警察部、同府消防協會編 昭和八	一	一四、六イ	六一	
京都府教育會五十年史	同會編 昭和五	一	二五五一	九三	

京都府蠶業試驗場彙報	第三號 同場編 昭和八	一	一四、二ロ	三一〇	
京都府史蹟勝地調査會報告	第八册 同府編 昭和二（第九册ヨリ「京都府史蹟名勝天然記念物調査報告」ト改題）	一	一四、五	二六	
京都府史蹟名勝天然記念物調査報告	第九至一六册、總目錄及索引（第一至一〇册）同府編 昭和三至一〇（「京都府史蹟勝地調査會報告」ノ改題）	九	一四、五	二六	
京都府震災林地復舊誌	同府編 昭和五（題簽ニハ「丹後震災林地復舊誌」トアリ）	一〇	六〇四	一一	
郷土婦人の輝	鹿兒島縣教育會編 昭和二	一	五五六	二八七	
京都府畜産要覽	昭和一〇年九月 京都府畜産組合聯合會編 昭和一〇	一	一四、イ	七八七	
京都府（地圖）	木崎盛政製 昭和七 七六・八五×五〇・五〇	一枚	六三一	一〇一	
京都府（地圖）	和樂屋製 昭和一〇 七二・二〇×二九・三〇	一枚	六八三	一一	
京都府茶業史	安達披早吉編 昭和一〇 五一三頁	一	六二七	二六五	
京都府の史蹟名勝天然紀念物	同府編 昭和一〇	特一〇	六八五	一一	
京都府南桑田、船井郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五〇・九〇×三六・五五	一枚	五七九	四九七	
郷土舞踊と民謠	第三回 土生武猷編 昭和三	一〇	一八三	五六三	
京都府與謝、中、竹野、熊野郡農用土性圖	同府立農事試驗場編 昭和四五一・一〇×三六・三〇	一枚	五七九	四九六	
〔京都府〕勞働統計實地調査結果表	第四回 京都府編 昭和九	一	一四、四	一〇三	

京都府立醫科大學一覽	昭和五年 同學編 昭和五	一	二八七	六	
京都府立醫科大學一覽	昭和一〇年一一月 同學編 昭和一〇	一	二八七	六	
京都府立女子專門學校一覽	同校編 昭和五	一	二九九	六四	
京都府立農事試驗場業務功程	昭和五年度 昭和七年度 同場編	一	一四、二イ	二七五	
〔京都府立農事試驗場〕業務功程	昭和六年度 同場編 昭和八	一	一四、二イ	二七五	
郷土講演會講演集	九州新聞社編 昭和一〇 一五五頁	一	六六六	三三七	
郷土文化展覽會展觀目錄	鳥取圖書館等編 訂 昭和八（鳥取圖書館叢書第四篇）	一	六三五	一五〇	
郷土教育の方向と實際	荒井三治 昭和六	一	二五三	五三六	
郷土民謠集	牧内武司編 昭和二	一	五六八	一六九	
京都民俗志	井上賴壽 昭和八	一	六四〇	一〇五	
京都明細圖	兒嶋周五製 天保三 寫 一二四×一七五	特二	二一六	一三三	
京都名勝誌	同史蹟附圖付 同市役所編 昭和三	一	五九四	一九	
京都名所五十景	石田有年畫 明治二三	特七	別七	二三五	
郷土名物の由來	菓子の巻 野村白鳳 昭和一〇	一	六八二	一三三	
京都毛斯綸圖案家聯盟展觀圖錄	同聯盟編 昭和四	一〇	二一六	三五	
郷土物語	吉村藤舟 昭和八至一〇	六	六三一	三六八	

第一四輯 長門修禪寺物語
第二奇兵隊

キヤウ

		冊	函	號
第二奇兵隊士の脫走				
志士檜崎剛十郎				
倉敷陣屋襲撃				
淺尾襲撃				
脫隊士の備中退散				
慘狀を極めた脫隊士の終末				
第一五輯	淨石義民錄	三	二六三	七 一六一
大勸進重源上人				
孝子千代松				
附錄	赤間關月見日記（伊藤常足）			
第一六、一七輯	四境戰爭 其一、二 小倉戰爭記			
鄕土理科教授細案	尋四至六篇 堂東傳、藤岡正信 昭和六	一	五五一	二五三
京内まゐり	（增補京都叢書第九卷ノ内 昭和九）	一	六八二	一一二
京人形（艷麗一）	尾崎紅葉 昭和二	一	二五三	三七八
行の皇道精神	渡邊偉哉 昭和一〇 二二六頁	一	二五九 五	一二六
行の教育	寺内穎 昭和三	一	六三一	四五八
行の教育	羽田隆雄 昭和八（同志同行叢書第二編）	一	六六五	一三六
京の春	田中左川 昭和九	一	六〇	一〇四八
京の祭（民謠集一）	山内隆 昭和九	一	六〇	九二九
强肺健康法	西川義方 昭和六	一	五五六	二五一
强肺祕法	高森若野子 昭和三			
きやうばし	澁谷伊助（滴字）編 昭和二			
從京橋新橋迄煉瓦石造商家の圖	曜齋國輝畫	特 三枚 別 七		
京羽二重	孤松子 六卷（增補京都叢書第六卷ノ内 昭和九）			
京羽二重織留	孤松子 六卷（增補京都叢書第六卷ノ内 昭和九）			
崎陽祕史集覽	宮崎清成 昭和五			
京美集	上、下卷 京都美術倶樂部編 昭和四			
仰武帖	海軍兵學校編 昭和三			
狂文狂歌集	日本名著全集刊行會編 昭和四（日本名著全集江戸文藝之部第一九卷）			
嵩陽聞見錄	石川儀兵衛編 寫			
狂文俳文集	再版 昭和八 普及版（近代日本文學大系第一七卷）			
享保七年寺院法度	土井利意編 寫			
享保通鑑	（未刊隨筆百種第一七ノ内 昭和三）			
享保江戸三芝居紋番付	（中村座、河原崎座、市村座）森田座役割附〔享保天明〕	特 別 七		
享保よみ賣はやり唄	稀書複製會編 昭和三	特 一	二 六七	
京町鑑	白露 二卷（增補京都叢書第一〇卷ノ内 昭和九）			
京名所（八九子一作版畫）	山口八九子畫 佐佐木睦祐編 昭和九			
京物語	青山霞村 昭和五			
京洛畫集	土井擷美堂編 昭和五			
享樂主義者メイリアス	ペイター著 工藤好美譯 昭和二（世界名作大觀英國篇第五、六卷）			
享樂主義者メイリアス	ペイター著 工藤好美譯 昭和二（世界名作大觀英國篇第六卷）			
京洛水墨畫帖	蹈青堂卓二畫 昭和六			
京洛小品	荻原井泉水 昭和四			
享樂の倫理	石丸悟平 昭和六（人生問題叢書第二卷）			
享樂文化繪誌	坂戸彌一郎編 昭和八			
京洛名所（野村芳光一創作版畫）	三光會編 昭和五			
狂亂の支那	馬郡健次郎 昭和八			
橋梁工學（小池一）第一卷	小池啓吉 昭和七			
强力政治の將來	エンゲルス著 門木平譯 昭和四			
强力と經濟	エンゲルス著 門木平譯 昭和四			
行歷抄	古典保存會發行 昭和九 複製			
同		特		
行列及び行列式	藤原松三郎 昭和九（岩波全書第四〇）			
行列式概要	田中正夫 昭和七			
享和雜記	（未刊隨筆百種第三ノ内 昭和二）			
京童	中川喜雲 六卷（增補京都叢書第一卷ノ内 昭和八）			
京童跡追	中川喜雲 六卷（增補京都叢書第一卷ノ内 昭和八）			
客貨車	大竹三七郎 昭和九			
逆境の恩寵	東邦彥 昭和一〇 一七七頁			
逆數表	一—一〇〇〇〇 日本統計普及會編 昭和六			
逆說法	谷孫六 昭和一〇 三〇七頁			
規約と施行規程の解說	小栗忠七 昭和八（土地區劃整理要論第四輯）			
却廢忘記	奧田正造編 昭和七			
脚本集	昭和二（近代日本文學大系第一〇卷）			
逆流に棹さすもの	本田正一 昭和六			
姥男ちさけ比遊女	上、下 稀書複製會編 昭和二、三			
ぎやどぺかどる	〔下卷目錄〕昭和三（珍書大觀吉利支丹叢書ノ内）			
同				
ぎや・ど・ぺかどる	上、下卷 村岡典嗣校 複製（日本古典全集第二回ノ内 昭和二）			
ぎや・ど・ぺかどる	下卷 村岡典嗣校 昭和二 複製（日本古典全集第二回）			
キヤベツの倫理	十一谷義三郎（新興藝術派叢書第一七編）			
キヤムピング	茂木憲雄 昭和三（アルス運動叢書第四）			
キヤラメル工場から	窪川いね子 昭和五（日本プロレタリア作家叢書第八篇）			
俠太平記向鉢卷（天南木一是噓氣一）	式亭三馬著 歌川豐國畫（近代日本文學大系第一二卷ノ内 昭和二）			

キヤンピングの指導　山口季次郎　昭和八　一　六四七　四
キユビドの箙（抒情詩譯詩集一）　堀口大學譯　昭和五　一　五六九　二八
キユポラ（熔銑爐）に熱風利用法　岡島奈良藏　昭和八　一　六五三　一三
共學叢書　共學社發行　昭和八　一　六三一　一一〇
第二　近世土民哲學　（石川三四郎）
恐慌學說　改造社編　昭和七　（經濟學全集第一四卷）　一　五八七　三
恐慌渦中の國際經濟　田中鐵三郎　昭和八　一　六四四　一五二
恐慌打開策としての「購買力補給案」　谷口吉彥　昭和七　一　六二五　二九
恐慌と金問題　氷川透（經濟學全集第一四卷ノ内　昭和七）　一　五八七　三三
恐慌と世界經濟　慶應義塾大學金融研究會編　昭和七　一　六二四　八九
恐慌と獨占　小島精一　昭和三　一　五八〇　一五
恐慌の新段階と世界經濟の動向　慶應義塾大學金融研究會編　昭和九　一　六四九　一六〇
恐慌裡の日本經濟解剖　森喜一　昭和五　一　六〇七　二三
恐慌理論の問題　ラブリオラ著　岡次郎譯　昭和九（大學書林佛蘭西小論文對譯叢書第一編）　一　六三一　四八
恐慌論　近藤年彥　昭和三　（近代經濟叢書第七編）　一　五七五　一三
共古翁記念文集　趣味と嗜好　山中鹽編　昭和四　一　五九二　一〇二
共古隨筆　山中笑　昭和三（芋蔓草紙第四編）　一　五六〇　二六
共濟組合事業成績　昭和二、五、九年度　土木事業從事員共濟組合編　昭和四至一〇　三　一四四　八三
凶作關係文獻目錄　盛岡高等農林學校圖書館編　昭和一〇　一　六八四　七五

凶作克服より報恩更生へ　松岡後三　昭和一〇　一　六九　三〇
二三頁
共産結婚　トレント著　大久保保雄譯　昭和六　一　五九六　三七
共産主義藝術概論　黒岩乙彥、古賀一雄譯　昭和六　一　五九六　三一〇
共産主義社會主義の解剖　夏秋龜一　昭和七　一　五九九　四一三
共産主義に對する英國の抗戰　クラーク著　片倉藤次郎譯　昭和三　一　五七五　二四一
共産主義に對する英國の抗戰　クラーク著　片倉藤次郎譯　昭和三　一　五八七　八四
共産主義の崩壞　宮本桂仙　昭和四　一　五九九　九
共産主義の末路　水島齊　昭和五　一　五八六　三〇五
共産主義排撃の根據（國際主義と「日本」の新しき解釋）　藤澤親雄　昭和四　一　五九九　七二
共産主義は何故に難破したか？（共産主義の沒落？）　カルステン著　濱野修譯　昭和八　一　六四四　二三三
共産主義批評　室伏高信　昭和四　一　五九九　一四三
共産主義論　ラスキー著　石川眞彥譯　昭和三　一　五七五　一八一
同　昭和五　一　六〇七　一八六
共産政治の經驗（一九一七年乃至一九三五年）　國際思想研究會譯編　昭和一〇　國際　一　六八四　一四九　六〇〇頁
共産大學生の日記　オグニヨフ著　杉本良吉譯　昭和五（ソヴエート作家叢書第二）　一　六〇二　一四
共産黨運動の害惡　綾川武治　昭和五　一　六〇七　四六
共産黨運動の眞相と毒惡性　綾川武治　昭和四　一　五八七　一八一

共産黨を脫する迄　小野陽一　昭和七　一　六三四　四五
共産黨罪惡史と吾等の懺悔　根岸嶺石、吉森孤山　昭和五　一　六〇七　三三
共産黨跳躍の全貌　鈴木猛　昭和七　一　六三四　三九
共産黨の正體と撲滅策　日本新聞社編　昭和六　一　五九九　三六六
共産黨はなぜ惡いか　東洋學人　昭和八　一　六三四　二二五
共産部落の研究　リーフマン著　大宅壯一譯　昭和二　一　五六五　一三三
凶事　村尾節三編（大正六）（日本兒童研究資料第一九）　特一〇　二五二五　二四四
恭仁山莊善本書影　大阪府立圖書館編　昭和一〇　特一〇　四二七　四
共生の基調　椎尾辨匡　昭和四　一　五九五　九七
共電式電話　堀江貞治郎　昭和二　一　五六三　一四七
共同海損研究　東洋出版社發行　昭和一〇　一　六九四　一六
共同海損要論　井上茂　昭和五　一　六〇〇　四〇
共同海損綱要　藤本幸太郎　訂三版　昭和四　一　五三五　一六七イ
共同海損の理論と實務　戶張正胤　昭和六　一　五九一　二六八
共同海損法　今村有　昭和一〇　五三六頁　一　六九〇　七八
同　一　六九〇　七八イ
共同海損論　橋本犀之助　昭和一〇　一一五頁　一　六三二　一七六

共同建築の話　市來鐵郎　昭和三（復興建築叢書第一七號）　一　五七九　九五
共同社會、結社、國家　マキーパー著　原實譯　昭和三　一　五七五　一九一
共同社會生活を基調とせる教科經營の實際　奈良縣女子師範學校附屬小學校編　昭和九　一　二六三　三九六
共同社會と利益社會　テンニース著　井森陸平譯　昭和二　一　五七三　二九
共同社會と利益社會　テンニース著　鈴木晃譯　昭和一〇（春秋文庫第一部第七二）　一　三三八　四四〇
共同體社會を基調とする尋一修身指導書　野村芳兵衞　昭和九　一　二六三　一三一
共同住宅居住者生活調査　同潤會編　昭和六至一〇　四　六〇四　四八三
第一回　〔共同住宅居住者一般生活狀態〕
第二回　〔同　（昭和六年七月現在）〕
第三回　不良住宅地區改良後の居住者の生活事情（昭和七年七月一日現在）
第四回　附　日暮里不良住宅地區居住者調査統計表
第六回　不良住宅地區改良後に於ける居住者の生活事情統計
共同繭倉庫及共同乾繭裝置助成關係規則　農林省農務局編　昭和二　一　五二四　五八三
共同繭倉庫及共同乾繭所事業成績　昭和二至六年度　農林省蠶絲局編　昭和四至八　五　五七六　一四五
恐怖の齒型　大下宇陀兒　昭和六　一　六〇三　二九八
胸部レントゲン診斷圖譜　小澤清躬　昭和二　一　五二三　一五三

		冊	函	號
鞏膜疾患	山根浩 昭和九（大日本眼科全書第一四卷第二册）	一	五五	一四九
興味ある數學の遊戲應用研究	楠本虎四郎 昭和六	一	五八二	三九七
興味と努力とに基ける自力本位學習原論	デユーイ著 水木楠譯 昭和四	一	二五三	三九六
清浦伯爵警察回顧錄	警察協會編 昭和四	一	五九〇	九九
共勵會事業	カルパトリツク著 阿部義宗譯 昭和二	一	五七〇	一三八
魚介と藝術	金井紫雲 昭和八	一	六四二	七〇
魚介類料理法	村井政善 昭和五（和洋料理全集第三卷）	一	六〇三	一二
巨鼇山清見與國禪寺陽春和尙語錄	慧參編 昭和一〇 複製 四七頁（題簽ニハ「陽春和尙語錄」トアリ）	一〇	三〇一	八〇
漁港修築奬勵資料	第一、二輯 農林省水產局編 昭和三	二	一四、五	二三
許可水力地點要覽	遞信省電氣局編 昭和六	一	五七六	二〇七
清河八郎	大川周明 昭和二	一	五五六	二〇一
清河八郎	三上於菟吉 昭和六	一	五九六	三三三
巨眼南洲	遠矢才二（一陽） 昭和二	一	五七八	一三
旭櫻雜志	篤（元治元年ノ水戸內訌記）	五〇	二六	一二八
漁具一覽	福岡縣水產課編 昭和四	一	五七九	三三二
玉葉和歌集	正保四（二十一代集第二九至三二册）	四〇	八三七	二
玉荷隱語	清、賚源 明治九	四〇	八四二	九〇
玉溪先生周甲晝譜	望月玉溪畫 昭和一〇 圖版六三枚	一〇	三〇〇	七三

		冊	函	號
極限論	田島正一 昭和二（實函數論第一輯）	一	五七二	一四二
旭莊小品	廣瀨貞治編 昭和三	一	五七九	一三八
玉山紀遊	明、袁華 民國二四 影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一〇	八四四	三三五
玉章翁遺墨集	川端茂章編 昭和六	一〇	四三四	八八
局所麻醉	阿部健著 楊蔚孫譯 昭和六	一	五四	七五イ
局所免疫法	ベスレドカ著 熊谷謙三郎、伊藤嘉奈太譯 昭和九	一	五九	九一
曲水俳句帖	第一輯 上、下卷 渡邊水巴編 昭和二	二	五六八	一〇
同	第一輯 下卷	一	五六八	一〇イ
玉翠畫集	第二回 中倉玉翠 昭和四	一〇	一一三	一六六
曲水叢書	曲水社發行 昭和一〇	三	六六六	一九一
	第一篇 隈笠（渡邊水巴）			
	第二篇 月笠句集（中島月笠）			
	第三篇 頑石句集（鈴木頑石）			
曲水俳句集（年刊）	第一至四輯 曲水社編 昭和五至九	四	五八二	三三一
玉井樵唱	元、尹廷高 民國二三 影印 三卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一〇	八四四	一九三
玉照定眞經	民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一〇	八四四	九七
玉積眞術	山路主住考訂 昭和一〇 謄寫版 一六丁	一〇	三〇三	一七八
同	昭和八	一〇	二一五	一五三
玉僊會	東海道圖繪 一一、一二 福岡玉僊編 昭和二	三〇	一九五	一九五
玉泉寺今昔物語（開國史蹟一）	村上文機編 昭和八	一	六五三	九八

		冊	函	號
玉泉帖	小野道風書 複製（和漢名家習字本大成第一四卷ノ內） 昭和八）	二	四九	二八二
曲線の畫法とその原理	瀨戸保 昭和九	一	六六七	一一三
喜夜來大根	梨白散人（近代日本文學大系第一一卷ノ內 昭和二）	五六〇		九
極到餘音	金杉博士彰功會編 昭和一〇	一	六〇	一三五八
漁具定置箇所一覽圖	水路部編 大正一五	一〇	水	四四
同	海圖第六一二〇號 水路部製 昭和六	一〇	水	四四
曲亭馬琴集	上、下 昭和二（近代日本文學大系第一五、一六卷）	二	五六〇	九
同	上 昭和八 普及版（近代日本文學大系第一五卷）	一	六二九	二八
曲亭馬琴集	內海弘藏註釋 昭和三（新釋日本文學叢書第二輯第一二卷）	一	五七四	三
曲亭馬琴年譜	森潤三郎編 昭和七	一	六三一	五一
極東外交論策	三枝茂智 昭和八	一	六三七	一九四
極東軍縮を回顧して次の軍縮會議に及ぶ	三枝茂智 昭和六	一	三七二	四六五
玉筒集	明、鄧雅 民國二三 影印 九卷	特 一〇四	八四四	二〇九
極東新時局	（滿洲事變の展望） 三浦悅郎 昭和六（四庫全書珍本初集ノ內）	一	五九九	三八五
同	昭和七	一	五九九	三八五イ
極東戰爭と米國海軍	平田晉策 昭和五	一	六〇六	一七六
極東存榮策論	鍋島創一 昭和一〇 一七八頁	一	六七九	三八
極東に於ける帝國主義	猪俣津南雄 昭和七（經濟學全集第二四卷）	一	五八七	三三

		冊	函	號
極東に於ける農業問題	モスコー國際農業問題研究所編 山本三吾譯 昭和七	一	六二一	九八
極東に於ける紛爭	太平洋問題調査會譯編 昭和七	一	六二五	一二八
極東の史觀と經綸	日高瑗々彥 昭和六	一	五九九	三八九
極東防衞論	鈴木一馬 昭和八	一	六三四	一六三
極東萬歲	山中峯太郎 昭和七	一	六二〇	一一五
極東變局と日本の將來	佐藤慶治郎 昭和七	一	六三四	六二
同	訂一一版 昭和八	一	六三四	六二イ
極東露領に於ける黃色人種問題	グラーウエ著 滿鐵調査課譯 昭和四（露亞經濟調査叢書第六七編）	一	五五五	一二
玉の蝶	關東米（振鷺亭）（近代日本文學大系第一一卷ノ內 昭和二）	五六〇		九
曲譜及び體育ダンス提要	下間芳克、下間ミツエ 昭和六	一	二七六	五二八
局部義齒學	矢崎正方著 昭和二（齒科學叢書第七編）	一	五八	八九
玉篇（古鈔本）	卷第八殘簡、第九、卷第一八後分、卷第一九殘簡 卷第二二、卷第二四殘簡 東方文化學院編 昭和七至一〇（東方文化叢書第六）	特 一〇六軸	ち二	五六
同	卷第八殘簡、第九、同解說、第一八後分、第一九殘簡、第二四殘簡、卷二七上、下 複製	特 一〇七軸	ち二イ	五六イ
玉篇（唐鈔本一）	卷第九、第八殘簡、第一八後分、第一九殘簡、第二二、第二四殘簡 東方文化學院編 昭和七至一〇 複製（東方文化叢書第六）	特 六軸	ち二	五六
玉篇の研究	岡井愼吾 昭和八（東洋文庫論叢第一九）	一	二四五	一六二
同		一	二四五	一六二イ

		冊	函	號
極北探險祕錄	山本義夫 昭和九	一	六六六	一六
極北黃金鄉の三十年	中垣虎兒郎譯 昭和八	一	六三九	四八
漁業組合講演集	上、中卷 農林省水產局編 昭和一〇	一	六七二	三三九
漁業組合規約例及諸樣式	北海道水產協會編 昭和一〇	一	六六六	一八九
漁業組合經營を語る	石川久治 昭和六	一	六〇六	四二
漁業組合と水產組合	渡邊省三 昭和六（水產法學第二卷）	一	六〇八	三一
漁業組合法概要	原晫三 昭和一〇	一	六二三	二六三
漁業經濟調查書	靜岡縣編 昭和七	一	六三一	一
漁業協同組合簿記	田口勇藏 昭和九	一	六五〇	三三五
漁業者賃銀統計表	昭和六年 昭和七 農林大臣官房統計課編	一	一四、四	九四〇
漁業法及漁業組合令關係法規	農林省水產局編 昭和九	一	一四、七	六七七
漁業法新論	渡邊省三 昭和五	一	六〇七	四五
漁業聯絡試驗報告	大正一四年度 昭和二 農林省水產局編	一	一四、二、イ	四三八
漁業聯絡試驗報告	大正一五年昭和元、二、三年度 農林省水產局編 昭和四、五	三	一四、二、イ	四三八
虛谷集	三池亥佐夫 昭和八（創作社叢書第六篇）	一	五九九	三七一
御相隨筆	遊佐幸平 昭和七	一	五六八	三六六
清澤文集	清澤滿之 三版 昭和八（岩波文庫三七八—三七九）	一	六三三	二〇三
清澤滿之	親照社編 昭和三	一	五六九	一四
清澤滿之全集	昭和九、一〇	一	五七八	一九五
第一卷 哲學		冊	函	號
第二卷 宗教		六	六七六	一六
第三卷 信仰				
第四卷 修養				
第五卷 日記・語錄				
第六卷 感想・講演				
魚山の御のり	堯胤法親王（群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七）	一	五八四	五
去子遺稿 第二輯	生田去子 昭和九	一	六五六	一五二
擧似一德鈔	卷一至三 吉益鐵太郎 昭和三	一	一七〇	一五三
馭戎慨言	本居宣長 寬政八	四	八三七	二九
馭戎慨言	本居宣長（新註皇學叢書第一〇卷ノ內 昭和二）		五五五	四五
虛子句集	高濱虛子 昭和三	一	五八二	一三
虛字啓蒙・詩用虛字	王潤洲 北山逃古 天保六	一	八三九	一六七
虛子選雜詠選集 第一、二集	高濱虛子編 昭和三	二	五六八	二七四
虛日の本	竹見竹堆 昭和八	一	六三一	二九二
虛實變化角觝畫談	栗島狹衣、鯖崎英朋 昭和五	一	五九七	二三七
虛弱兒童の養護（施設中心）	大西永次郎監輯 昭和六	一	二七六	五二四
虛弱兒童の養護及治療指針	宮原立太郎 昭和八	一	二七六	五七九
虛弱者、病人、子供及び老人向き榮養食基本料理法	掛橋菊代 昭和一〇 二〇四頁	一	七二〇	一八
馭術の理論的說明	內山雄次郎 昭和五	一	五九〇	二八四
許松濱先生全集 第一至八	許錫祺（松濱） 民國二二	八	〇三二	一八八
漁書漫談	佐藤錠太郎（雲外） 昭和六	一	六〇四	五六〇
漁墅類稿	宋、陳元晉 民國二三 影印 八卷（四庫全書珍本初集ノ內）		八四四	一六二
巨人を語る	清澤洌 昭和五	一	五五六	四一八
虛心觀（隨筆）	岡田三面子 昭和二	一	五三五	三五五
巨人普選代議士名演說集	（雄辯五月號附錄）大久保周八編 昭和三	一	五八三	五三
巨人・高峰博士	橋爪惠編 昭和六	一	六一〇	一二五
巨人頭山滿翁	橋本尙則 昭和五	一	三九八	七〇
巨人は斯く教ふ	緒方維嶽 昭和四	一	五九五	一三三
清輔朝臣集	（新校群書類從第一一卷和歌部ノ內 昭和三）		五八四	五
清澄に歸れる日蓮	中里介山 昭和八	一	六四五	九二
御製耕織圖	淸、聖祖 光緒五	二	八四一	一四九
御製帖	比田井元子書 昭和八	一	二四九	二八三
漁船及小型船職員受驗講義	奧村伊三郎 補再版 昭和三	一	五七三	二一〇
漁船機關長	村田發太 昭和二	一	五六四	一七〇
漁船研究	加藤成一 昭和八（水產學全集第八卷）	一	六一〇	一二九
漁船建造必携	昭和一一年版 昭和一一〇 モーターシップ雜誌社編	一	六九一	六九
漁船統計總括表	昭和四年 昭和六 農林省水產局編	一	一四、四	六九八
漁船統計表	昭和四年 農林省水產局編 昭和七	一	一四、四	六九八
漁船の實用簡便天測法	志野德助 昭和七	一	六一七	二一
漁船發動機取扱問答	越田積一編 昭和三	一	五八六	一三八
漁船保險調查資料	（英獨兩國ニ於ケル漁船保險關係組合規則）農林省水產局編 昭和四	一	五七九	二三〇
漁船保險調查資料	農林省水產局編 昭和四至八	四	五五三	七四
漁船遭難統計表				
漁船隻數統計表				
其四 漁船遭難率及漁船保險實蹟調				
漁船隻數、投資額及乘組員調				
其六 漁船保險ニ關スル實蹟				
漁船建造費、漁船遭難表				
漁船總噸數、世界各國漁船總數				
其一一 漁船遭難統計表（昭和七年七月調）				
漁船用天測航海術講話	戶田半平 昭和六	一	五六三	四四八
漁船用天測航海表	戶田半平編 昭和九	一	六六二	六
漁村經濟更生計劃事例	神奈川縣水產會編 昭和一〇	一	六九五	二四
漁村經濟の研究	東京帝國大學農學部農業經濟學教室編 昭和八	一	六四九	三〇
漁村と協同組合	星四郎 昭和一〇 一二三頁	一	六八三	一一三
漁村に輝く人々	水產學校長協會編 昭和一〇 四四八頁	一	六三三	二三四
漁村の更生と漁村の指導	蟲川虎三 昭和九	一	六七五	五一
漁村民俗誌	櫻田勝德 昭和九	一	六三九	二三五

	冊	函	號
漁村問題と其對策 鹿川虎三 昭和七	一	六二一	一九五
清親畫傳 黑崎信編 昭和二	一〇	四二三	二七二
ギョツツ ゲーテ著 森鷗外譯 昭和七（世界名作文庫第二〇一）	一	六三〇	一
擧白集（校註一） 藤井乙男編 昭和五	一	六〇三	二〇三
清原氏系圖（新校群書類從第三卷系譜部ノ內 昭和五）		五八四	五
魚肥の智識 全國購買組合聯合會編 昭和七	一	六二五	二一一
漁父辭 柳田泰雲書 昭和二	一〇	三一〇	一三
御物上代染織文 第一輯 東京帝室博物館發行 昭和二	一	四二〇	八八
同 上、下 昭和六	特二	四三〇	八八イ
虛妄の正義 萩原朔太郎 昭和四	一	五九五	二一九
同 昭和一〇 四四四頁	一	五九五	二一九イ
漁網防腐染料效力比較試驗成績表 日本漁網船具株式會社試驗部編 昭和五	一	六〇五	三四
清水寺緣起 藤原明衡（群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三）	五八三		一四
同（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七）	五八四		五
魚眠洞發句集 室生犀星 昭和四	一	五九八	三六二
虛無と白鳥（詩集一） 折戸彫夫 昭和三	一	五六八	三一二
虛無の凱歌 仲吉朝敏 昭和五	一	六〇九	一〇八
虛無よりの創造（レオ・シーエストフ）	一	六六五	七一
澄める青空・自然の惠み 生田春月 昭和一〇（新潮文庫第一三五編）	一	六三〇	八
魚目集（支那隨筆一） 大內白月譯編 昭和九	一	六六三	七四
清元研究 忍頂寺務 昭和五	一	六〇六	八四
清元全集 中內蝶二、田村西男編 昭和二（日本音曲全集第三卷）	一	五四五	六一
清元大全 第一一至一三編 岡村庄吉編訂 昭和六、八	三〇	一八七	四九一
清元流正本 第四、五、六編 清元香樹太夫編 昭和三、九	三〇	一八三	五八八
去來抄新講 上 宇田久 昭和一〇	一	六一七	二九一
去來抄 おくのほそ道 同解說 昭和八 松尾芭蕉著 勝峯晉風編複製	二〇	一四〇	一八三
漁撈電化の實際 鹽崎樸吉 昭和一〇 二三九頁	一	六八九	七〇
漁撈用機械 村上敏三 昭和六（水產機械第一輯）	一	六〇八	二八三
居留地の丘（浪漫小說一） 北林透馬 昭和七	一	六三〇	三五
魚糧 伊藤孝 昭和六	一	五八二	三七一
魚糧の製造 福木駿次郎 昭和一〇	一	六三三	二四九
魚類學 田中茂穗 昭和七（水產學全集第二卷）	一	六一〇	一二九
魚類の生理 川本信之 昭和一〇（實驗生物學集成第四）	一	六七一	四三
鉅鹿出土陶 倉橋藤治郎編 昭和七（陶器圖錄第二）	一	六三五	一六三
きよろろ鶯 北原白秋 昭和一〇 三八一頁	一	六八二	六一
儀禮引得 附 鄭注及賈疏引書引得 燕京大學圖書館編 民國二一年（引得第六號）	一	五七六	一九八

	冊	函	號
附 シエイクスピアに於ける倫理の問題 河上徹太郎譯 昭和九			
氣樂な散歩（隨筆一） 大田黑元雄 昭和九	一	六六三	二〇二
吉良家の人々 森田草平 昭和五	一	六〇三	一三六
きら星 稻田黃洋編 昭和七	一	六三三	一五九
吉良物語 眞西堂如淵著 秋月山人補 昭和九	一〇	六七二	一五七
雲母叢書 雲母社發行 昭和八、九	二	六五一	三
第三編 山廬集（飯田蛇笏）			
第四編 牡鹿の宿（佐々木有風）			
斬られの仙太（天狗外傳一） 三好十郎 昭和九	一	六五六	一九二
寄留法講話 横內茂芳 昭和三	一	五七三	一九八
切紙 曲直瀨道三	二〇	二一六	一二九
切支丹陰謀史 三原方丈（保常） 昭和一〇	一	六七二	一六七
吉利支丹教義の研究（文祿元年—天草版一）			
（本、附篇） 橋本進吉（東洋文庫論叢第九） 昭和三	二	二四、五	一六一
切支丹宗教文學 姉崎正治編 昭和七	一	六二三	五八〇
切支丹史料集 永山時英編 訂再版 昭和二（對外史料寶鑑第一輯）	一	四二〇	三八〇
切支丹史話 大庭耀 昭和三（鄉土研究社第二叢書第七）	一	五五六	一五七
吉利支丹叢書（珍書一） 大阪每日新聞社發行 昭和二至四 複製	二〇軸一帖一		一七七
ぎやどぺかとる（下卷目錄）			
吉利支丹心得書 上、下冊			
吉利支丹法服諸器物目錄略圖			
羅甸文彌撒唱文及連禱斷簡			
平假名書吉利支丹十誡			
銅版畫寫眞			
磔刑像寫眞			
念珠寫眞			
ザビエル聖人像原色板			
聖母像油繪寫眞			
聖人畫像寫眞			
銅版畫寫眞			
十五玄義圖寫眞			
遺物寫眞			
椀寫眞			
押出ロレート聖母像寫眞			
遺物十一點寫眞			
吉利支丹抄物			
吉利支丹用語略解斷簡			
吉利支丹古曆書斷簡			
聖典要理（羅馬字綴日本文）			
西洋銅版畫帖			
破提宇子（ハビアン）			
七科觀念書			
佛書抄錄			
オラショ雜纂斷簡			
諸聖人御作業書抄及宗門諸抄			
どちりな・きりしたん			
諸聖人記念日表			
同			
吉利支丹退治物語 上、中、下卷 稀書複製會編 昭和三、四	三〇	一〇三	四一四
吉利支丹退治物語 二卷（海表叢書卷二ノ內 昭和三）		五六六	一五
同（南蠻紅毛史料第一輯ノ內 昭和五）		五六六、	一五イ

キリシ

		冊	函	號
切支丹大名記	シュタイシェン著　吉田小五郎譯　昭和五	一	六三六	二八八
切支丹大名史	スタイシェン著　ピリョン譯　昭和四	一	五五六	三九七
切支丹傳道の興廢	姉崎正治　昭和五	一	六一二	一五
吉利支丹の跡を尋ねて	中島沙羅夫　昭和九	一	六六三	一四〇
切支丹の歸着	中村順三　昭和九	一	六四五	二〇八
同		一	六四五	二〇八イ
切支丹の復活	前後篇　浦川和三郎　昭和二、三	二	五七〇	一一〇
鬼利至端破却論傳	上、中、下　淺井了意　複製　昭和四	三	一〇三	四一七
同　下		一	一〇三	四一七イ
鬼利至端破却論傳	淺井了意　三卷（海表叢書卷一ノ内　昭和二）		五六六	一五
同（南蠻紅毛史料第一輯ノ内　昭和五）			五六六	一五イ
切支丹迫害史中の人物事蹟	姉崎正治　昭和五	一	六一二	七八
切支丹祕史	藤井伯民　昭和四	一	五九〇	五二
吉利支丹文庫	鬱醒社發行　昭和元至三	三	五三三	二五四
第二輯	南蠻寺興廢記　契利斯督記　長崎緣起略記（法昭）			
第四、五輯	原城紀事　上、下篇（川北重熹）			
切支丹文書（高槻發見ー）	同解說付　昭和八　巖松堂發行　複製	一帖	二一六	七三
切支丹夜話	（聖母の畫像、切支丹婦人）　中里介山　昭和七	一	六三三	七六
霧島紀行	吉田絃二郎　昭和五	一	五五六	四四三
霧島國立公園紀念寫眞帖	寫眞タイムス社編　昭和八	一	六三一	三六
霧島の歌	與謝野寬、與謝野晶子　昭和四	一	五九六	二三九
霧島の氣象	鹿兒島測候所編　昭和四	一	一四、六	二八四
霧島の研究	宮崎縣教育會西諸縣郡支會編　昭和一〇　三九二頁	一	六八六	一一三
希臘英雄譚	佐久間政一譯　昭和三（獨和對譯獨逸國民文庫第五編）	一	三三一	九三
希臘教育史	福島政雄　昭和七	一	二五五	三五
希臘古代文化史	小林秀雄　昭和三	一	五七七	八八
希臘古陶白地レキトス	（希臘繪畫の研究）　大隅爲三　昭和八	一	四二八	一七
希臘古典劇集	近代社編　昭和二（世界戲曲全集第一卷希臘篇）	一	五六六	四
ギリシャ語獨習（新約聖書ー）	玉川直重　昭和八	一	六五五	一八
ギリシャ語文典（新約聖書ー）	黒崎幸吉　昭和七	一	六二三	一〇五
希臘語文典	田中秀央　昭和二	一	五三一	九九
ギリシャ語文法	鳴瀨恒太郎　昭和八	一	六四三	一八三
希臘史	下　薄田斬雲編　昭和二（通俗世界全史第三卷）	一	五五六	一五三
希臘史	村川堅固　昭和六（列國史叢書第一）	一	六〇二	二八
ギリシャ史研究	原隆園　昭和三	一	五七七	六三
希臘思想を基調とせる辨證的教育學	石山脩平　昭和九（「背等ニハ「辨證的教育學」トアリ）	一	二五二	四〇一
希臘人の世界觀（マクスー）	ヴント著　出隆、葉山照澄譯　昭和九	一	六六三	四〇
ギリシャ人の哲學思想	石原謙　昭和三（社會科學叢書第三編）	一	五八三	一九

		冊	函	號
ギリシャ神話	藤田淳　昭和六	一	五九六	二六一
希臘彫刻集	一氏義良編　昭和二	一	五六三	五七
希臘哲學概說	安部光槌　昭和三	一	五三六	三四六
ギリシャ哲學思想	樺俊雄　昭和四	一	五九二	八九
ギリシャとスカンデイナギヤ	安倍能成　昭和八	一	六三九	二一九
希臘の風	伊太利亞譯詩集　隈部逸人譯　昭和一〇　九六頁	一	六八二	一三九
ギリシャの藝術	大隅爲三　昭和二（アルス美術叢書第二二編）	一	五四一	六一
希臘の春	ハウプトマン著　成田皓一譯　昭和四（岩波文庫五四一六）	一	五六九	一四
希臘美姫傳	大隅爲三譯　昭和二（世界奇書異聞類聚第七卷）	一	五四八	三五
希臘文學史	田中秀央、井上增次郎　昭和八	一	六四三	四七
希臘文化史	小林秀雄　昭和七	一	六一八	六七
ギリシャ民族の活躍	誠文堂新光社編　昭和九（世界文化史大系第四卷）	一	六四八	九〇
希臘倫理史	木下一雄　昭和八	一	六三六	一四四
希臘羅馬古典劇集	村松正俊譯　昭和五（世界戲曲全集第二卷希臘羅馬篇）	一	五六六	四
希臘羅馬宗教思想史	比屋根安定　昭和六	一	六一三	一一一
希臘羅馬神話	バルフインチ著　野上彌生子譯　昭和二（岩波文庫一〇六—一〇九）	一	五六九	一四
希臘羅馬神話	文藝社編　昭和四（萬有文庫第一七）	一	五六九	九七
ギリシャ・ローマ神話傳說集	中島孤島編　昭和八（神話傳說大系第六）	一	六三五	三〇
キリスト（戲曲）	佐藤紅綠　昭和三	一	五六九	七七
契利斯督記	（吉利支丹文庫第二輯ノ内　昭和元）	一	五三三	二五四
基督教優越性叢書	求道會出版部發行　昭和一〇　第三卷　佛教より基督教へ（余が改宗の顚末）（道號泰誠）	一	六六四	三〇
基督教要義	畔上賢造　昭和三	一	五七〇	一九六
基督教要義	熊野義孝　昭和一〇	一	六一九	二七八
基督教を大乘的に觀る	松倉薰直　昭和一〇　一一〇頁	一	六六六	三四二
基督教綱要（聖アウグスチヌス）	竹村清譯　昭和七	一	六一九	一三
基督教綱要（カルヴィンー）	第一卷（第一、二篇）、第二卷（第三篇）中山昌樹譯　昭和九	二	六三六	二三五
基督教きのふ今日	渡部元　昭和一〇　一九〇頁	一	六九二	九九
基督教會史	館岡剛　昭和七	一	六一九	三五
基督教會史	若月麻須美　昭和三	一	五三六	四〇三
基督教會史論	ゾーム著　岡田五作譯　昭和七	一	六一九	七
基督教會の起原と使命	江村寬一　昭和八	一	六一九	二五〇
基督教經濟文化史	高谷道男　昭和一〇　二六七頁	一	六四〇	二八七
キリスト教兄弟愛史	リート著　賀川豐彥譯　昭和五	一	六〇九	一〇三
基督教教程叢書	日獨書院發行　昭和六至一〇　第二編　新約文學序說（松本卓夫）　第三編　基督教の本質（桑田秀延）　第四編　讃美歌小史（由木康）	三	三七三	五五五

		冊	函	號
第五編	概說教會史（氣賀重躬）			
第六編	日本基督教史要（比屋根安定）			
第七編	イエス傳（橋本正三）			
第八編	概說舊約地誌（河邊滿甕）			
第九編	パウロ思想概說（村田四郎）			
第一〇編	舊約文學序說（都留仙次）			
第一一編	近世基督教社會運動思想史（龜德正臣）			
第一二編	概說基督教思想史（有賀鐵太郎、魚木忠一）			
第一三編	イスラエル宗教の異教的背景（永橋卓介）			
第一四編	概說新約地誌（水野恭介）			
基督教教理史	舘岡剛　昭和八	一	六四五	二
基督教研究叢書	同志社大學基督教研究會發行　昭和五	一	六〇四	一八七
第一號	近世ドイツ・プロテスタント教神學の勃興とシュライエルマツヘル（魚木忠一）			
基督教原理	第一卷　カルヴイン著　今村好太郎譯　昭和四	一	五九二	八四
基督教史	石原謙　昭和九（岩波全書第三二）	一	六四六	四
基督教史	鄉司慥爾　昭和五	一	六〇九	四六
同　訂	昭和一〇　普及版　四七五頁	一	六〇九	四六イ
基督教思想	びおにえ書院編　昭和五	一	六一二	二四
第一輯	現代基督教主潮篇			
基督教思想原論	カトリツク思想、科學研究所發行　昭和五、七	二	五九二	一四一
第一卷	靈魂の諸問題（澁谷治）			
第七卷	基督教會の論據批判（同）			
基督教思想叢書	同刊行會等發行　昭和三至一〇	一八	五九二	九八
第一輯	第一卷　近代文明と基督教（ニーブル著　栗原基譯）			
第二卷	イエスの垂訓（村尾昇一）			
第三卷	舊約書の由來（渡邊善太）			
第四卷	新約の時代（松本卓夫）			
第五卷	イエスの宗教とマルキシズム（今中次麿）			
第二輯	第一卷　現代科學思想と基督教（ストリイタア著　村尾昇一譯）			
第二卷	近代基督教思想史（マツギフアート著　栗原基　有賀鐵太郎譯）			
第三卷	基督教倫理學序說（大塚節治）			
第三輯	第一卷　舊約文學のユートピヤ思想（渡邊善太）			
第二卷	愛の神學（村尾昇一）			
第三卷	イエス（本田正一）			
第四卷	日本人の觀たる基督（松本卓夫）			
第五卷	青年指導の原理と實際（鈴木榮吉）			
第六卷	基督教社會經濟倫理（懸賞當選作）（榊原巖）			
第四輯	第一卷　科學、哲學、宗教（ストリイタア著　村尾昇一譯）			
第二卷	科學と見えざる世界（エデイントン著　千葉勇五郎譯）			
第三卷	現代心と有神思想（ホートン著　高松孝治譯）			
第八輯	第一卷　新社會建設のため（新譯書）（ラウシエンブツシユ著　栗原基譯）			
キリスト教兒童劇脚本集	高瀨嘉男　昭和八	一	六五六	二四
基督教十五講	村上治　昭和二	一	五七〇	一〇一
キリスト教社會愛史	ステツド著　賀川豐彥、竹中勝男譯　昭和五	一	六〇九	二
基督教社會化の理論	菅圓吉　昭和七	一	六二九	六七
基督教社會經濟倫理	榊原巖（昭和七）（基督教思想叢書第三輯第六卷）	一	五九二	九八
基督教社會思想史	小平國雄　昭和五	一	六一二	八四
基督教社會問題講演集	同問題協議會編　昭和四	一	五七九	四六八
基督教社會倫理學	今井三郎　昭和四	一	五九五	九一
基督教主義の教育	（新日本の進路）　田川大吉郎　昭和三	一	五三六	四〇〇
基督教神學及び教會教理の成立	ハルナツク著　森敬之譯　昭和七	一	六三六	二〇
基督教世界觀	高倉德太郎　昭和六	一	六〇九	一九二
基督教綜合倫理學	後藤彖吉　昭和二	一	五三三	二六八
基督教叢書	長崎書店發行　昭和九、一〇	五	六七七	四
第三	聖書の世界觀（ハイム著　藤田孫太郎譯）			
第四	神と人（人格的存在に關する四つの研究）（ブルンナー著　菅圓吉譯）			
第五	基督教的世界觀と哲學的世界觀（シュタンゲ著　宮本武之助譯）			
第五一	聖パウロの神學思想（パターソン著　松尾武、野川群鳳譯）			
第五二	パスカル「パンセ」序說（ブランシュヴイツク著　由木康、直方敏譯）			
基督教大學叢書	日獨書院發行　昭和九	一	六七〇	二
第一編	東洋の聖使徒サギエル傳（比屋根安定）			
基督教大觀	海老名彈正　昭和五	一	五九五	二三八
基督教大辭典	高木壬太郎著　阿部義宗編增補版　昭和九	一	三三一	三九
同		一	三三一	三九イ
同	改版　昭和三	一	三三一	三九イ
基督教女性觀	坂野龍雄、坂野つる代　昭和七	一	六一九	八三
基督教的文學觀	石田憲次　昭和七	一	六二三	三〇
基督教讀本	白石喜之助　昭和三	一	五五九	七三
基督教と資本主義	吾妻東一　昭和六	一	六〇九	二五〇
基督教と歎異鈔	鐵田研一　昭和九	一	六一九	二五四
基督教とは何ぞや	富永德麿　昭和七	一	六一九	一〇六
基督教とは何ぞや	（リベラリズムと對比して）メイチエン著　角田桂嶽譯　昭和八	一	六四五	一四一
基督教日曜學校	海老澤亮（宗教生活叢書第一四卷ノ內）　昭和八	六五二		六
基督教年鑑	昭和二至一〇年版　日本基督教聯盟編　昭和元至九	九	三三五	四七七
基督教の起源	上、下卷　カウツキー著　近藤宗男譯　昭和三	二	五七〇	一六九
基督教の基本問題	（神學の系統的叙述）　クラーク著　近藤利夫譯　昭和九	一	六六三	一九一
基督教の根本義	前川眞二郎　昭和三	一	五三六	三六九
基督教の根本思想	ショウ著　土山喜一譯　昭和六	一	六〇九	二四七
基督教の根本問題	淺地昇　昭和八	一	六二九	二〇三
基督教の發達	基督教の準備となれる猶太教の　ラアネツド著　大宮季貞編　昭和四	一	五七〇	二六四
基督教の新理解	今井新太郎　昭和四	一	五九五	七五

		冊	函	號
基督教の成立	カウツキー著　喜多野清一譯（岩波文庫五七六ノ内　昭和四）		五六九	一四
基督教の中心思想	今井三郎　昭和九	一	六六三	八〇
基督教の中心問題	ベイリー著　桑田秀延譯　昭和六	一	五五二	三四三
基督教の轉向とその原理	菅圓吉　昭和五	一	六〇九	一四八
基督教の發生と古代無產階級	カウツキー著　近藤宗男譯　昭和四	一	五九九	一一三
基督教の本質	ハイム著　額賀鹿之助譯　昭和五	一	五九五	一九〇
基督教の本質	フオイエルバツハ著　木暮浪夫譯　昭和四	一	三四一	五三八
キリスト教の本質	フオイエルバツハ著　桑田梧郎譯　昭和七（改造文庫第一部第一〇七篇）	一	五六九	一四三
基督教の本質と基督の十字架	ウアーフイルド著　岡田稔譯　昭和六（神學論叢第一編）	一	六〇四	四一五
基督教の本質「補遺」	フオイエルバツハ著　木暮浪夫譯　昭和四	一	三四一	五三八
基督教文獻假目錄	天保九至明治三〇年　日本神學校編　昭和七　謄寫版	一	六三五	一四八
基督教文獻叢書	新生堂發行　昭和五至一〇	八	六〇九	四五
第一	聖アタナシウス傳及神子受肉論（金井爲一郎著並譯）			
第二	聖ベルナアル傳及說教集（青芳勝久著並譯）			
第三	聖アンセルム傳及贖罪論（竹村清著並譯）			
第四	聖フランチエスコ傳及完全の鏡（吉本一郎著並譯）			
第五	ルツターの信仰及思想（佐藤繁彥）			
第一〇	聖アウグスティヌス傳及神の都（中山昌樹著並譯）			
第一一	スエデンボルグ傳及基督論（金井爲一郎著並譯）			
第一二	エツクハルト及獨逸神祕主義（竹村清）			
基督教名著集	イデア書院發行　昭和二至四	冊	函	號
第二	聖なるもの（オツトー著　山谷省吾譯）	四	五二	一〇七
第三	宗教論文集　上（ヒルテイー著　黒崎幸吉譯）			
第四	宗教論文集　下（ヒルテイー著　山田幸三郎譯）			
第五	イン基督教神祕主義（イング著　磯田信夫、中川景輝譯）			
同	玉川學園發行　昭和四	一	五一一	一〇七イ
第一	基督教の本質（ハルナツク著　山谷省吾譯）			
基督教モノグラフ叢書	日獨書院發行　昭和八至一〇	七	六三一	二七一
第一	舊約文學の二大思潮（渡邊善太）			
第二	ユダヤ民族迫害史（木下哲太郎）			
第三	基督教諸分派の起源とその特質（鄉司慥爾）			
第四	現代に於けるイエス傳研究（高柳伊三郎）			
第五	詩篇の宗教思想（松田明三郎）			
第六	イスラエル民族の女性觀と女子教育（平塚益德）			
第七	聖書に於ける矛盾思想（中村獅雄）			
基督教倫理學	三井芳太郎　昭和八（宗教學叢書第一六）	一	六一五	二五
基督教倫理學序說	大塚節治　昭和一〇（基督教思想叢書第二輯第三卷）	一	五九二	九八
基督教倫理序說	リンゼー著　鷲山第三郎譯　昭和八	一	六一九	二一〇
基督教論文集（内村鑑三先生信仰五十年記念）	畔上賢造編　昭和三	一	五五九	七八
基督再臨の考察	ゴルドン著　廣田花崖譯　昭和七	一	六〇九	三七七
キリスト山上の垂訓	賀川豐彥　昭和二	一	五七〇	七六
基督時代のユダヤ教	基督時代（上、下）（宗教學叢書第五、六）　大畠清、三枝義夫　昭和七、八	二	六一五	二五

基督者としての私の社會觀	基督教女子青年會日本同盟宗教部編　昭和八	一	五九五	二四二
基督者の完全	（生存中に達し得る完き聖潔）フレツチヤー著　一粒社編輯部譯　昭和一〇　一九六頁	一	六三四	一六四
基督者の自由	ルター著　石原謙譯　昭和八（岩波文庫九五七）	一	六七九	一〇六
同　訂	昭和九（岩波文庫九五七）	一	五六九	一四
基督者の生涯	谷口茂壽　昭和二	一	五六九	一四イ
基督者は現代に斯く生きる	菅圓吉　昭和一〇　一五九頁	一	五七〇	一〇三
基督絕對論（ブルンナー）	額賀鹿之助　昭和一〇　八七頁	一	六八七	三五
基督中心の奉仕	クリステイ著　田島進譯　昭和九	一	六六六	三七〇
基督と偕なる生活	（及び基督なき生活の對比）シング著　金井爲一郎譯　昭和四	一	六六六	九一
キリストに就ての瞑想	賀川豐彥　昭和七	一	五九五	一七七
基督に房はれし清松	岩村清四郎　昭和九	一	六一九	六四
基督に倣ひて	トマス・ア・ケンピス著　中山昌樹譯　昭和三（信仰叢書）	一	六六三	一七九
基督の一生	小林善八（登里）　昭和四	一	三九二	一五一イ
キリストの基督教	八木一男　昭和九	一	三三三	四三三
基督之系圖	青木幸一　訂再版　昭和一〇　六二・二〇×一二一・二〇	一	六三一	四六八
基督の死	デニー著　白鳥宗司譯　昭和五	一	六〇四	二四六
キリストの生涯	ヴヰルラム著　木暮浪夫譯　ホイヴエルス、昭和一〇　七五一頁	一	六八一	一五
基督の生涯（パビニー）	上、下卷　パビニー著　大木篤夫譯　昭和三	二	五〇四	二四六イ
基督の生涯	パビニー著　大木篤夫譯　昭和六	一	六〇九	一五四
基督の大使	ギツボンス著　浦川和三郎譯　昭和六	一	六〇九	三四五
基督のまねび	内村達三郎　昭和八（春秋文庫第一部第五三）	一	三三八	四四〇
基督の靈	マーレー著　澤村五郎譯　昭和四	一	五九五	一七〇
桐竹紋十郎手記	（未刊隨筆百種第二三ノ内　昭和四）		五六〇	二九
霧だより（滯英雜記）	（附「ライカ」世界一周寫眞集）渡邊武　昭和九	一	六六一	九三
霧と銀貨	尾崎士郎　昭和五（アトラス・セリー第一）	一	五〇五	七七
霧と光の消息	（續歐羅巴物語）菊池重三郎　昭和九	一	五九五	三八七
桐ニ關スル調査書	農林省山林局編　昭和七	一	六三五	九四
霧の旅（紀行隨筆）	松井幹雄　昭和九	一	六六一	一三〇
霧の夜の客間	淺原六朗　昭和五（新潮社長篇文庫第二編）	一	五一七	六六九
切羽鐵柱講演錄	筑豐石炭鑛業組合編　昭和六	一	六一四	八七
切花栽培の知識	石井勇義　昭和三（最新園藝叢書第四編）	一	五八六	二五
桐火桶	（群書類從第一六輯和歌部ノ内　昭和九）	一	六三三	一四
同	（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内　昭和四）		五八四	五
桐生織物史	上卷　桐生織物史編纂會編　昭和一〇	一	六六二	一七八
桐生織物史人物傳	桐生織物史編纂會編　昭和一〇	一	六七二	三三三
桐生高等工業學校一覽		一	六八一	一五

		冊	函	號
	大正一五至昭和八年　同校編　昭和二至九	七	二九二	五四
桐生高等工業學校學術報告	同校編　昭和四	二	一四二イ	六三七
第三號	木蠟色素漂白に關する研究（佐久間巖）			
第四號	市場に販賣せる鐵石檢波器の直流特選曲線の實驗式に就いて（太田代唯六）			
桐生高等工業學校研究論叢	第一　同校同窓會編　昭和三	一	五七九	七三
桐生市略史	桐生市役所編　昭和九	一	六七二	八八
桐生地方史	岡部福藏（赤峰）　昭和三	一	五七七	一〇九
汽力を補助とせる場合の	發電水力の經濟的利用　木多勘一郎　昭和二	一	五七六	九
斬るな劍	白井喬二　昭和八（改造文庫第二部第二〇一篇）	一	五六九	一四三
莫切自根金生木（順廻能名代家一）	唐來三和　（近代日本文學大系第一二卷ノ內　昭和二）		五六〇	九
貴嶺問答	中山忠親（群書類從第九輯消息部ノ內昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第六卷消息部ノ內　昭和六）		五八四	五
裂地と版畫	辻永等編　昭和三	一	五五三	二七
岐路に立つ自然科學	唯物論研究會譯編　昭和九	一	六五七	一四三
金	岩崎重三　昭和七	一	六一七	一五四
同	訂再版　昭和八	一	六一七	一五四イ
銀	岩崎重三　昭和九	一	六六七	二七
金融革命宣言	久保久治　昭和八	一	六四四	四七
金融合作社に就て	滿洲國國務院總務廳情報處編　康德三（滿洲國大系第二八輯）	一	六六六	一四

		冊	函	號
金融機構論	小島昌太郎　昭和九	一	六四九	二四四
金融恐慌論	小島精一　昭和八	一	六三四	二〇七
金融組合關係例規集	車田篤編　訂三版　昭和二	一	一四七	三九一
金融景氣とその限界	高島佐一郎　昭和八	一	六四四	五〇
金融經濟總論	森川太郎　昭和九	一	六四九	二四八
金融經濟大綱	小林新　昭和九	一	六四九	一五〇
金融業會計	太田哲三　昭和八（會計學全集第一四卷）	一	六五四	二〇
「金融研究會」講演集	金融研究會發行　昭和五至一〇	一四	五九〇	二二九
第一編	日米金融事情（兒玉謙次）			
第二編	國際貿易と金融（堀越善重郎）			
第三編	英國の金融組織と英蘭銀行の機能（井上辰九郎）			
第四編	國際金融（森賢吾）			
第五編	金と銀とに就て（五十嵐直三）			
第六編	金の價値と通貨の價値（深井英五）			
第七編	最近十年間に於ける我財界の動き（結城豐太郎）			
第八編	金融界最近の趨向（明石照男）			
第九編	世界經濟と國際貸借（津島壽一）			
第一〇編	中小農商工業者に對する金融に就て（梶原仲治）			
第一一編	國際決濟銀行と世界恐慌（田中鐵三郎）			
第一二編	保險金融に就て（矢野恒太）			
第一三編	不動産金融（馬場鍬一）			
第一四編	財政と金融に關する若干の問題（馬場鍬一）			
「金融研究會」調書	金融研究會編　昭和三至一〇	一〇	五九一	一七
第一編	國民貯蓄の現狀			
第二編	郵便貯金の運用			

		冊	函	號
第三編	生命保險と金融			
第四編	銀行集中の大勢　其一　米國の部			
第四編	銀行集中の大勢　其二			
第五編	中華民國幣制と金融　附錄其一			
第六編	滿洲國幣制と金融			
第七編	我國に於ける銀行合同の大勢			
第八編	米國金融市場金利に就て			
第九編	カナダに於ける中央銀行創設問題			
金融財政一般數理	塚本文治　昭和八	一	六四一	一二九
金融事項參考書	大正一五至昭和一〇年調　大藏省理財局編　昭和元至一〇	一〇	三九	八〇
金融辭典	銀行研究社編　昭和七	一	六二四	二七
金融資本と恐慌	（ヒルファデイング「金融資本論」批判）　カウツキー著　笠信太郎譯　昭和二	一	五四九	三一〇
金融資本論	猪俣津南雄　昭和四（改造文庫第一部第二一篇）	一	五六九	一四二
金融資本論	弘文堂發行　昭和二	一	五六一	二九
第三分冊	恐慌と帝國主義（ヒルファデイング著　林要譯）			
金融資本論	ヒルファデイング著　林要譯　昭和六（社會思想全集第一五卷）	一	五六六	五二
金融信用論	ダグラス著　岩村忍譯（ダグラス派經濟學全集第一）	一	五八六	三一六
金融政策十四年（マツケーナ）	マケンナ著　前馬治一譯　昭和七	一	六三四	五三
金融制度改善問題	細矢祐治　昭和二（銀行講座ノ內）	一	五四六	一六三
金融制度調査會議事速記錄	第一、二卷　大藏省銀行局編　昭和二	二	五八〇	四三
金融大辭典	第一卷（アーケ）、第二卷（コー—ハ）、第三卷（ヒー—ワ）、法令　山崎覺次郎監修　橋爪明男編　昭和九	三	六五八	一三四
金融統計年鑑	昭和二年六月調査部編　昭和二　藤本ビルブローカー銀行	一	一四二	七〇〇
金融統制論	高島佐一郎（商學全集第四一卷）　昭和六	一	五九三	二六
金融動態論	附公債政策の金融に及ぼす影響　小島昌太郎　昭和一〇　四六八頁	一	六八六	一二一
金融と恐慌	堀江歸一　昭和二	一	五六五	六一
金融讀本	西野喜與作　昭和七	一	六三四	六四
金融の常識	井關孝雄　昭和六	一	六〇七	二九一
金融の話	金原賢一郎　昭和九	一	六六〇	一五九
金融の魔術	井關孝雄　昭和八	一	六四四	一四四
金融亡國論	斯波武　昭和七	一	六二一	一二七
金融論	纖本利（近代經濟叢書第六編）　昭和三	一	五七五	一三三
金融論講義	甲子堂等發行　昭和七	一	六二四	一三五
上册	金融機構と物價平準（森川太郎）			
均一店の開業と經營	堀良太編　昭和七	一	六三二	二〇二
金・インレーの合理的調製法	原田良種　昭和九	一	五八	二〇五
今英靈集	小假山主人編　寫	一〇	八三七	三一
金曜會墨林	第三、四、六至一〇　井上成美編　昭和三至五	七〇	二三〇	三五
禁腋祕抄	（群書類從第二六輯雜部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二〇卷雜部ノ內　昭和四）		五八四	五
金葉和歌集	正保四（二十一代集第九册）	一〇	八三七	二

		冊	函	號
金葉和歌集	正宗敦夫校（日本古典全集第三期第二ノ内 昭和六）	一	六六一	八八
禁苑の黎明	ジョンストン著 荒木武行譯 昭和九	一	六三七	六六
銀及銀價低落の研究	東亞經濟調査局編 昭和八	一	六六〇	一三八
金買入法と金の諸問題	小笠原三九郎 昭和九	一	水	六三
近海航路誌	水路部編 昭和七	一	五九九	六七
金解禁	井上準之助 昭和四	一	五六六	五六
金解禁	土方成美 昭和四（時事問題講座第一）	一	五八七	三三
金解禁解說と其影響及對策	金解禁を中心とせる我國經濟及金融 山室宗文 昭和六（經濟學全集第四六卷）	一	五九〇	一八二
金解禁後の財界景氣	三俣淺治郎 昭和四	一	五六九	一三四
金解禁後の第一年	經濟事情研究會編 昭和三	一	五九〇	四三七
金解禁前後の財界	東京朝日新聞經濟部編 昭和六	一	五九九	六〇
金解禁直後の財界	安田與四郎 昭和四	一	六〇〇	一〇
金解禁と緊縮政策の批判	勝田貞次 昭和四	一	五九〇	二一五
金解禁と國民經濟	附 金解禁と農村 三土忠造 昭和四	一	五七五	二三三
金解禁とその對策	ケインズ著 梶哲次譯 昭和三	一	五九〇	二四九
金解禁に就て	梁井卓一 昭和五	一	五七九	二四一
金解禁に伴ふ通貨政策	鄉誠之助 昭和四	一	五〇八	三〇
金解禁の影響と對策	深井英五 昭和四（銀行叢書第一二編）	一	五九九	三三
金解禁の話	石橋湛山 昭和四	一	六六一	八八
金解禁の本質と其影響	平沼淑郎 昭和四	一	五九九	九九
金解禁亡國論	勝田貞次 昭和四	一	五九九	八五
金解禁問題研究	久保久治 昭和四	一	五九一	一六六
金解禁問題研究	松崎壽 昭和四	一	六七五	一七
銀行員、金融會社員實務向上指針	附 各種銀行法 山本榮山（定吉） 昭和九	一	六九五	三六
銀行要論	青木孝義 昭和一〇 三四三頁	一	五八六	三五七
銀行を裁く	銀行選擇の合理化 新田豐造 昭和五	一	五〇二	九四
銀行及金融	松崎壽 昭和八 普及版	一	六三七	一二
銀行及金融市場	松崎壽 昭和八	二九	五四六	一六三
銀行講座	文雅堂發行 昭和二、三			
爲替理論と金解禁問題	（松崎壽）			
米國の個人信託實務	（鈴木武治）			
荷爲替の法理と取引慣習	（妹尾一雄）			
手形割引の重要諸點	（小坂珠城）			
佛蘭西の金融組織	（春日井薫）			
本邦組合銀行論	（石巻良夫）			
出納事務並に手形交換	（堤正元）			
銀行經營の人的要素	（細井藤兵衞）			
信託業の經營	（細矢祐治）			
コール市場の理論と實際	（岩崎博）			
銀行取引の法律的準據	（平井信也）			
銀行業の原價計算	（銀行研究社編）			
獨逸の證券取引所	（串本友三郎）			
銀行員の不正と其對策	（都築成一）			
貯蓄銀行の組織と經營	（淺野信一）			
銀行信用狀論	（岡上虎三郎）			
資本市場としての證券取引所	（岡田純夫）			
銀行の擔保事務	（妹尾一雄）			
金融制度改善問題	（細矢祐治）			
銀行の新經營法	（銀行研究社編）			
輸出信用の保險並保證	（上坂酉三）			
英國の銀行及金融	（春日井薫）			
輸出金融實務解說	（雪野清）			
米國に於ける社債の發行	（重井與吉）			
銀行券發行制度概說	（中村重夫）			
銀行の法律問題	（清成五六郎）			
銀行貸出金の保全と整理	（松山岩根）			
爲替取引の法理と實際	（栗谷清一）			
銀行に對する不正手段と其豫防法	（水野淳二）			
銀行行餘錄	米山梅吉 昭和二	一	五六五	二六二
銀行講話	東田藤吉 昭和六	一	六〇七	二四五
銀行家が戰場を馳驅する	ベツ（ル著 辻恒彦譯 昭和五（世界プロレタリア傑作選集第五卷）	一	六〇三	六五
銀行貸出業務	附 米相場の統計的豫測法 青木華一 昭和五	一	六〇〇	一四三
銀行貸出業務の法律的解說	鈴木徇路 昭和二	一	五七三	一四二
銀行貸出業務判例研究	銀行研究社編 昭和八	一	六三七	一二九
銀行貸出事務研究	西垣實 昭和二	一	五六五	三五五
銀行合併ノ理論ト實際手續	馬場友義 昭和三	一	五七五	一七三
銀行家本位の法律辭典	銀行研究社編 昭和九	一	六七八	四五
銀行からくり物語	岩塚源也 昭和二	一	五六五	一八四
銀行局年報	第五〇、五一、五四、五六至五八次 大藏省銀行局編 昭和二、九	六	一四四	七八
銀行金融の知識	太田黑敏男 昭和九（萬有知識文庫第二）	一	六六四	一
銀行會計學	長谷川安兵衞 昭和三	一	五八〇	一三三
銀行會計原理	藤原泰 昭和五	一	六〇四	一二八
銀行會計の監査	扁田多吉 昭和六	一	六〇〇	一九五
銀行會計の基礎原理	藤原泰 昭和一〇 二〇一頁	一	六八七	一八七
銀行會社うらのそのうら	池島民理 昭和二	一	五七一	七
銀行會社要錄	三一至三六、三八、三九版 東京興信所編 昭和二至一〇	八	七六	一一七
銀行會社業績內容總覽（株式投資々料）	昭和二年下半期 成瀨省一商店調査部編 昭和三	一	四三三	三三〇
從業員待遇法大鑑	銀行會社工場商店 宮田吉藏編 昭和二	一	五七三	一
銀行事業與信錄	（五ケ年對照）昭和八年版 銀行會社人事興信所編 昭和八	一	六三八	九四
銀行會社新設擴張計畫登記濟資本調	（昭和五年一月中） 三井銀行調査課編	一	六〇五	六
銀行會社年鑑	昭和三、五、九年版 ダイヤモンド社編 昭和三至九	三	一四四	八〇八

		冊	函	號
錦巷會美術教育叢書	大日本圖書株式會社發行 大正一五昭和二	三	二五九	九〇
第二編 圖畫教育の本質	（藤岡龜三郎）			
第三編 美術教育としての美術史	（大河內定雄、伊藤好太郎）			
第四編 小學校の圖畫教育	（服部寅男等）			
銀行關係判例全集	銀行研究社編 昭和三	一	一四七	四二
同 追錄第一輯	銀行研究社編 昭和三	一	一四七	四二
銀行經營經濟論	西村勝太郎 昭和七	一	六三七	九
銀行經營論	田中金司、新庄博（昭和一〇 商學全集第一八卷）	一	五九三	二六
銀行業態の研究	佐久間長次郎 昭和四	一	五六三	二七〇
銀行業態の摑み方と見方	中田政吉 昭和九	一	六七五	五七
銀行業務改善隻語	淡々居士編 訂九版 昭和三	一	五七九	一五八
銀行業務上の事故と其豫防・對策	竹內恒吉 補 昭和一〇 三四五頁	一	六八〇	四七イ
銀行業務上の事故と其豫防・對策	竹內恒吉 昭和一〇 三〇〇頁	一	六八〇	四七
銀行原價計算の研究	加藤和根 昭和五	一	六〇七	二三八
銀行建築	西村好時 昭和八	一	六五八	二三
銀行國營論	尾崎行雄、田川大吉郎譯編 昭和六	一	五六五	三〇五
銀行雜誌	第一至二〇號 明治二一、二二 銀行雜誌社發行	三	雜四五	二四九
銀行實態の觀察方法	中田政吉 昭和七	一	六二四	九七

		冊	函	號
銀行實務改善策	山本貫一 昭和一〇 三五六頁	一	六八六	一〇〇
銀行實務講義	銀行問題研究會編 昭和八	一	六四九	三五
銀行實務講座	非凡閣發行 昭和一〇	三	六八六	一〇二
第一卷	銀行預金（梶川有）			
第三卷	銀行爲替（神戶秀雄）			
第五卷	銀行會計（岩垂至）			
銀行實務懸賞文集	大阪銀行集會所編 昭和三至一〇	一	五七九	二八
第一卷	銀行用度品の購入保管及整理方法（三森芳男等）			
第二卷	割引及貸付事務の研究			
第三卷	銀行の原價計算手續			
第四卷	爲替事務及爲替取引改善案			
第五卷	預金に關する一切の帳簿竝に諸用紙の模範的樣式			
第六卷	爲替に關する一切の帳簿竝に諸用紙の模範的樣式			
第七卷	銀行擔保品の保管及整理方法			
第八卷	貸付及割引に關する一切の帳簿並に諸用紙の模範的樣式			
第九卷	出納・計算・證券事務に關する帳簿其他書類の模範的樣式			
第一〇卷	銀行の取引先に對する應對上の心得			
第一一卷	銀行の檢查方法			
同	昭和一〇	一	五七九	二八イ
銀行實務誌	原靜 訂 昭和七 第一卷 用度・株式・人事及文書の事務的研究 訂三版	一	三八〇	一九五
銀行實務質疑應答集	中田秀雄 昭和五	一	五八六	三七二
銀行事務の合理化的研究	西繁數 昭和五	一	五七二	二六〇
銀行書翰文例集	伊藤由三郎編 昭和九	一	六五七	九三
銀行書式要覽	寺尾梅吉 昭和五	一	五六三	三七三
銀行新設と合同	畠山豐吉 昭和五	一	五九一	二〇〇
銀行信託講座	斯文書院發行 昭和四至六	四	六九七	一一五
第一編	貨幣及銀行原理（服部文四郎）			
	コール取引論（山根雅男）			
第二編	本邦銀行史（岡田純夫）			
	銀行預金實務（梶川有）			
	普通銀行貸出業務（青木萃一）			
第三編	金融と會計（高瀨莊太郎）			
	金融と景氣（勝田貞治）			
	金融統計論（有澤廣己）			
第四編	信託法釋義（三淵忠彥）			
	信託會社實務（戶澤芳樹）			
	信託會社組織及經營（矢田祐治）			
銀行・信託會社の批判	（昭和九年版）經濟時代社編 昭和九 「銀行・信託會社の選び方」ノ改題）	一	六七七	八
銀行信託法規	銀行問題研究會編 昭和二	一	一四七	三九七
銀行新讀本	岸谷梧郎 昭和一〇 三九七頁	一	六八七	一二五
銀行出納實務	中村光次 昭和二	一	五六三	一四一
銀行叢書	東京銀行集會所發行 昭和元至一〇	一九	五〇八	三〇
第六編	近世社會思想及社會運動上に於ける英吉利と露西亞（小泉信三）	一	五七二	二六〇
銀行事務の合理化的研究	西繁數 昭和五	一	五七二	二六〇
銀行書翰文例集	伊藤由三郎編 昭和九	一	六五七	九三
銀行書式要覽	寺尾梅吉 昭和五	一	五六三	三七三
銀行新設と合同	畠山豐吉 昭和五	一	五九一	二〇〇
銀行信託講座	斯文書院發行 昭和四至六	四	六九七	一一五
第一編	貨幣及銀行原理（服部文四郎）			
	コール取引論（山根雅男）			
第二編	本邦銀行史（岡田純夫）			
	銀行預金實務（梶川有）			
	普通銀行貸出業務（青木萃一）			
第三編	金融と會計（高瀨莊太郎）			
	金融と景氣（勝田貞治）			
	金融統計論（有澤廣己）			
第四編	信託法釋義（三淵忠彥）			
	信託會社實務（戶澤芳樹）			
	信託會社組織及經營（矢田祐治）			
銀行・信託會社の批判	（昭和九年版）經濟時代社編 昭和九 「銀行・信託會社の選び方」ノ改題）	一	六七七	八
銀行信託法規	銀行問題研究會編 昭和二	一	一四七	三九七
銀行新讀本	岸谷梧郎 昭和一〇 三九七頁	一	六八七	一二五
銀行出納實務	中村光次 昭和二	一	五六三	一四一
銀行叢書	東京銀行集會所發行 昭和元至一〇	一九	五〇八	三〇
第六編	近世社會思想及社會運動上に於ける英吉利と露西亞（小泉信三）	一	五七二	二六〇
第七編	日本現時の財政に就て（小川鄕太郎）			
第八編	金利論大要（高城仙次郎）			
第九編	開國後の財政一瞥（土方成美）			
第一〇編	金本位制度の研究（高垣寅次郎）			
第一一編	英蘭銀行と金融市場（井上辰九郎）			
第一二編	金解禁に伴ふ通貨政策（深井英五）			
第一三編	英國の株式銀行に就て（橋爪明男）			
第一四編	我が金融經濟と國際金融（服部文四郎）			
第一五編	景氣循環と銀行信用（小林新）			
第一六編	七月恐慌後に於ける獨逸大銀行の整理及若干の金融施設（橋爪明男）			
第一七編	國際通貨制度に就て（山室宗文）			
第一八編	取引所投機と株式金融（向井鹿松）			
第一九編	銀行の經營分析（高瀨莊太郎）			
第二〇編	戰時經濟と金融（森武夫）			
第二二編	貨幣ブロックに關する諸問題（金原賢之助）			
第二三編	米國の預金保險制度研究（松丸密司）			
第二四編	財政問題に就て（土方成美）			
第二五編	赤字財政と其克服策（大口喜六）			
銀行總覽	第三三至四一回（昭和元至九年度） 大藏省銀行局編 昭和二至一〇	九	二〇	七六
銀行總覽	昭和八年下半期 銀行興信社編 昭和九	一	一四四	一〇一〇
銀行大鑑	銀行通信社編 昭和八	一	六四九	八三
銀行談叢	田中德義編 昭和二	一	五七五	一一三
銀行讀本	高山藤次郎 昭和一〇	一	六七八	一二九
銀行讀本	橋爪明男 昭和一〇	一	六七八	一三九

		冊	函	號
銀行と顧客の爲めに	甲斐精一 昭和二	一	五七五	六八
銀行と商人物語	金子德申 昭和三	一	五七一	一八五
銀行と信託の話	笹谷貴義 昭和五（新商業叢書第六編）	一	五八六	一九一
銀行取引の法律的解說	妹尾一雄 昭和八	一	六四九	八八
銀行取引法概論	小野正一 昭和六	一	五九一	二六七
銀行取引法論	妹尾一雄 昭和一〇	一	六七八	一〇三
銀行內合理化の研究	岸谷梧郎 昭和六	一	五九九	三一七
銀行の實際知識	園顯雄 昭和四	一	五九九	三六
銀行の豫算統制事務	武田與一 昭和一〇 二六〇頁	一	六九六	九八
銀行破綻物語	緒方潤 昭和二	一	五六五	二三三
銀行法解說	西原寬一 昭和三	一	五七三	一六九
銀行法通釋	笹原正志 昭和四	一	五九一	一四八
銀行法律質疑解說集	多田欽三 昭和七（銀行法律）	一	六三一	一〇一
銀行法律質疑解說集 第二編	多田欽三 昭和八	一	六三一	一〇一
銀行簿記	原靜 昭和八	一	六三七	八五
銀行簿記及實務	樫尾謙 昭和五	一	六〇〇	一〇八
銀行簿記計算法	下野直太郎 昭和二	一	三三三	四八八
銀行簿記提要	吉田良三 昭和四	一	五九一	八九
銀行簿記の實際	樫尾謙 昭和八	一	六三七	四九

		冊	函	號
銀行、無盡、信託營業成績一覽表	昭和三、五至九 新潟縣編 昭和四至一〇	七	五七六	一六五
銀行預金吸收の祕訣	（その模範實例と新戰術）水谷稜一 昭和一〇 二四四頁	一	六九〇	八
銀行預金業務判例研究	銀行研究社編 昭和九	一	六五三	二七八
銀行預金實務	坂井正 昭和二	一	五七三	一五一
銀行預金事務精義	青木定次郎 昭和八	一	六四九	一三一
銀行論	丹後愛二郎 昭和一〇	一	六七八	二一四
銀行論	山崎覺次郎 訂一一版 昭和二	一	三八三	一九（ハ）
同	訂一二版 昭和三	一	三八三	一九（ニ）
同	昭和五	一	三八三	一九（ホ）
同	訂一三版 昭和七	一	三八三	一九（ヘ）
金か紙か	新聞聯合社編 昭和八	一	六三一	一二四
琴學考	立原杏所 手稿本	特一〇	別六	一
金閣小史	鹿苑寺編 昭和三	一〇	二四九	二〇三
銀河叢書	銀河社發行 昭和八	一	六三九	四四
	第一篇 歌日輪（同社編）			
銀河の曲	（幕末綺譚）前田曙山 昭和二	一	五六八	七四
銀價の崩落と大連に於ける物價勞銀	篠崎嘉郎 昭和五	一	六〇四	三九一
銀價暴落の要因	大阪市役所產業部調查課編 昭和二	一	五二四	六一七
〔近畿繪圖〕	筒井庄八編 明治一二 六〇・三五×六六・二五	一枚	亥	二四
近畿各府縣廳施行	產婆試驗問題及解答集 白井貞次郎・石山篤三編 昭和三	一	五六	二六二
近畿京都	西田直二郎・西彥太郎編 昭和三	一〇	一七六	六九
近畿景觀	北尾錄之助 昭和四至九	五	五五六	四〇八
第一編	攝津大和			
第二編	大和河內			
第三編	近代大阪			
第四編	紀伊伊賀			
第五編	京都散步			
錦旗國民叢書	錦旗社發行 昭和九	一	六三一	四〇七
第一輯	大變動期の世界と日本（滿川龜太郎）			
近畿古美術案內（東京美術學校修學旅行）	田邊孝次・和田季雄編 昭和三	一	三九五	二五五（イ）
近畿善本圖錄	大阪府立圖書館編 昭和八 複製	一〇	三〇五	一四
近畿・中國・四國名勝案內	大阪鐵道局編 昭和一〇 再版 二九四頁	一	六八一	四三
近畿二府五縣聯合畜產共進會（第四回）、九州聯合畜產共進會（第七回）、奥羽六縣聯合畜產共進會（第六回）審查復命書				
命書	農林省畜產局編 昭和八	一	五二四	五九七
近畿二府五縣聯合畜產共進會審查復命書	第二、三回 農林省畜產局編 昭和二、五（「近畿二府五縣聯合畜產共進會（第四回）、九州聯合畜產共進會（第七回）、奥羽六縣聯合畜產共進會（第六回）審查復命書」ニ續ク）	二	五二四	五九七
近畿能樂記	野々村戒三 昭和八	一	六四二	一九八
近畿の精華	船越毅編 昭和六	一	六一四	二〇
近畿の副業	日本產業協會編 昭和五	一	五九〇	四三三
近畿の名蹟	辰馬六郎 昭和二至四	五	五五九	二九八
第一	京都東山の卷			
第五	京都西北の卷			
第六	京都西北郊外の卷			
第八	京都保津川流域の卷			
第九	京都西南部の卷			
近畿の山と谷	時間記錄と費用概算 住友山岳會編 昭和七	一	五八七	二七四
近畿ハイキング案內	七星社編 昭和一〇 二一六頁	一	六八二	六九
近畿防空演習京都府記錄	同府編 昭和一〇 二〇一頁	一	六七三	二九四
近畿日歸りの行樂	松川二郎 昭和一〇 六〇四頁	一	六九三	六〇
近畿風水害復興調查報告	日本工人俱樂部關西支部編 昭和一〇	一	六七三	三三八
近畿名勝舊蹟史蹟巡遊日歸りの旅	大阪探驅俱樂部編 昭和五	一	五五六	四九五
近畿名蹟全書	辰馬六郎 昭和九、一〇	四	六五九	二〇
卷一	奈良市之大部			
卷二	奈良縣之北部			
卷三	奈良縣之西北部			
卷四	奈良縣之中部			
金魚	石坂洋次郎 昭和一〇 四一五頁	一	六八七	二三

		冊	函	號
金玉集	藤原公任（新校群書類從第七卷和歌部ノ內 昭和三）		五八四	五
金玉掌中抄	中原章任（群書類從第六輯律令部ノ內 昭和七）		五八三	一四
同	（新校群書類從第四卷律令部ノ內 昭和六）		五八四	五
金玉ねぢぶくさ	章化堂（近代日本文學大系第一三卷ノ內 昭和二）		五六〇	九
金魚と熱帶魚の飼ひ方	白木正光 昭和七		一	六三二	四三
金魚の飼ひ方	輸出金魚の育成 齋藤正之 昭和五		一	五九〇	四一五
金魚の飼ひ方	白木正光 昭和八		一	六四三	一〇三
近畿陸軍特別大演習記念	大阪案內記 國勢協會編 昭和七		一	六一〇	一六六
近畿歷覽記	黑川道祐（增補京都叢書第三卷ノ內 昭和九）	○	六五四	一六
金銀沿革圖彙	一名古今貨幣圖說 寫	○	七	八四一	八六
金・銀・貨幣の話	柏通明 昭和八		一	六四四	三三
金銀貨幣論	濱村榮三郎編 昭和八	○	一	二一五	二一三
金・銀・世界恐慌	平尾彌五郎（最近經濟問題叢書第二）		一	六九六	五〇
金々先生榮花夢	下 戀川春町著 稀書複製會編 昭和二 複製	○	一	一九九	四二五
金々先生榮花夢	戀川春町（近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二）			五六〇	九
金々先生榮花夢	戀川春町著並畫 高木好次、宮尾しげを校註 二卷 昭和七 複製（校註黃表紙代表作選第一期）	○	一	一五七	一三三
金々先生造化夢（榮華夢後日噺）	山東京傳（近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二）			五六〇	九
金銀先生再寢夢	戀川春町（近代日本文學大系第一二卷ノ內 昭和二）			五六〇	九
金銀圖錄	近藤守重	○	七	八四二	三四
金銀銅採鑛冶金學	小浪博 昭和九		一	六五〇	二二八
金銀讀本	渡邊萬次郎 昭和九		一	六六二	一三一
金銀の將來と我對外策	立野斗南 昭和一〇 二五一頁		一	六八七	九三
金銀吹替錄	寫	○	一	八四一	九三
金槐集評釋	小林好日 昭和二		一	五六八	八五
金槐和歌集	上、中、下 源實朝 貞享四	○	三	八三八	七八
金槐和歌集	同解說付 佐佐木信綱編 昭和五	○	二	一四〇	二九三
同	昭和五	特	二	一四〇	二九三イ
金槐和歌集	源實朝（群書類從第一四輯和歌部ノ內 昭和五）			五八三	一四
同	（新校群書類從第一〇卷和歌部ノ內 昭和四）			五八四	五
金槐和歌集（新訂）	源實朝著 齋藤茂吉校 昭和四（岩波文庫四九二—四九三）		一	五九九	一四
金槐和歌集選釋	森敬三 昭和八		一	六四三	二〇三
金鑛株の將來	原田公一 昭和一〇 四四六頁		一	六七九	九四
金鑛製錬實施法	設計と建設實費 利根川金之助 昭和七		一	六一七	三一
同	補再版 昭和九		一	六一七	三一イ
金礦と金礦床	渡邊萬次郎 昭和八		一	六四一	一七
金鑛の製錬	利根川金之助 昭和八		一	六四一	五三
金鑛の選鑛と汰鑛の處理法	利根川金之助 昭和九		一	六六三	一〇

		冊	函	號
金・貨幣・紙幣	貨幣問題の批判 笠信太郎 昭和八		一	六三七	九三
同	再版 昭和一〇		一	六三七	九三イ
金環蝕	久米正雄 昭和一〇 三二一頁		一	六九六	三四
金雞文藪	金雞學院發行 再版 昭和二至一〇		二七	五二四	七〇六
第一	日本の世運と子女の教學（安岡正篤）				
第二	日本政教の根本問題（國體原論）（同）				
第三	螢雪集 第一 附 國維運動の提唱（同院編）				
第四	老莊思想講話（安岡正篤）				
第五	農士道概論（菅原兵治）				
第六	農村維新策原理（瀧下武松）				
第七	明治維新の精神と人物（雜賀博愛）				
第八	支那政教夜話 上（赤池濃）				
第九	同 下（同）				
第一一	革むる者、滅ぶる者（安岡正篤）				
第一三	政治と改革（同）				
第一四	政治と人物（同）				
第一五	養生と藥草（荒井榮造）				
第一六	大學の農道的研究（菅原兵治）				
第一七	楊墨異端の教（安岡正篤）				
第一八	幕末と志士道（同）				
第一九	莊內藩轉封事件の顚末（角田貫次）				
第二〇	養生と藥草（續篇）（荒井榮造）				
第二一	百姓の困窮と更生の大道（瀧下武松）				
第二二	排悶（安岡正篤）				
第二三	臺所醫學（荒井榮造）				
第二四	旅と心（安岡正篤）				
第二五	莊內藩轉封事件の顚末 後篇（角田貫次）				
第二六	讀書會心抄（伊藤武雄）				
第二七	農道教育の肝腎（農教・農術の兩儀的關係）（菅原兵治）				
第二八	養生と藥性より見たる動物の研究（上） 魚介之部（東方籌）				
第二九	同（下） 禽獸蟲類の部（同）				
金言聖語辭典	三井晶史、菅原法嶺編 昭和九（布教百科大辭典第六）		一	六五四	六
金言名句辭典	牧野孝編 昭和四		一	五六九	一六一
金言名句の泉	歐米篇 村山勇三 昭和三		一	五三六	三三八
同	和漢篇 昭和四		一	五三六	三三八
金工鑑定秘訣	（圖入） 天、地 野田敬明 文政三	○	一	八四一	七
金工總覽	川口陟 昭和八		一	六四七	三八
近古時代	說話文學論 野村八良 昭和一〇 三四四頁		一	六八九	六
琴後集	「コトジリ」ヲ見ヨ				
近古小說新纂	初輯 島津久基編 昭和三		一	五八五	三
近古小說選	島津久基編 昭和二		一	五五一	二五六
琴古流	尺八知識 附 支那樂小曲 大原新太郎（篇謂）、押元藤吉郎（鳳鳴） 昭和二	帖	一	四五	一八九
今古和歌宇比麻奈飛	鈴木重胤	特	一	八三九	一三六
銀座	松崎天民 昭和二		一	五七〇	八
金再禁止下に於ける爲替と物價					

		冊	函	號
	宮川貞一郎 昭和七（不換紙幣叢書第一編）	一	六二九	八
金再禁止と日本經濟の大轉換	山崎靖純 昭和六	一	五九九	三五九
金再禁と我財界の前途	井上準之助 昭和七	一	三七三	五八三
金相學	濱住松二郎 昭和六	一	五六三	四九二
金相場はどうなるか	（世界貨幣制度の將來）アインツイヒ著 大阪商事株式會社調査部譯 昭和一〇	一	六六六	二四七
銀座解剖圖	丸之內出版社發行 昭和九、一〇	二	六六一	九六
第一篇	變遷史（石角春之助）			
第二篇	銀座女（扉等ニハ「銀座女譚」トアリ）（同）			
銀座御用留	寫	二〇	八四三	二六
銀座細見	安藤更生 昭和六	一	五九五	二八四
銀座通	小野田素夢 昭和五（通叢書第一〇卷）	一	六〇三	一
銀座八丁	武田麟太郎 昭和一〇	一	五六八	五三六
銀座風景	室伏高信 昭和六	一	六〇九	二六〇
銀座へ出るまで	菱田忠 昭和三	一	五四九	三九七
金山寺觀跡圖譜	渡邊彰編 昭和五	一	四二三	四〇六
銀山の銀と溫泉	田中豐 昭和七	一	六三九	六
禽獸	川端康成 昭和一〇 一五三頁	一	六一七	三一四
近視眼の豫防と療法	井上豐太郎 昭和八	一	五五	一五一
金枝玉葉帖（御大典記念）	增田義一編 訂一二版 昭和三	一	五七六	九六

		冊	函	號
銀耳（白木耳）栽培法	三村鐘三郎 昭和八（農山村副業叢書第七輯）	一	三一八	五六八
金七十論	寬永一四 天海版（古經堂藏書印アリ）	特 二	午	一〇一
琴瑟	富岡犀川（朝太）、富岡砧女（綉） 昭和九	一	六六五	八
禁止本書目	赤間杜峯編 昭和二	一〇	一五七	七三
今上陛下御卽位勅語謹註	附（二休）萬歲唱呼考 辻村勝昭和四	一	五九〇	六四
今上陛下と昭和新政	漢那憲和 昭和二	一	五五六	二七五
禁城の嘉光	（滿洲國皇帝陛下御生立記）ジョンストン著 關東玄洋社出版部譯 昭和一〇	一	六六九	九一
錦城復興記	古川重春 昭和六	一	五八一	三一八
錦繡段選選	（一名譬喩小結）（賴山陽全書全集下卷ノ內 昭和七）		五五四	二三三
同			五五四	二三三イ
禁酒讀本	澤柳政太郎 昭和三	一	五八〇	一九
銀鐘	（短歌、俳句） 若月紫蘭（保治） 昭和五	一	六〇三	一四〇
近思錄	飯島忠夫（漢籍を語る叢書第九卷ノ內 昭和一〇）	一	六六四	二〇
近思錄集註	清、茅星來 民國二三 影印一四卷、附說一卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 六	八四四	八一
近思錄示蒙句解	中村惕齋（漢籍國字解全書第八卷ノ內 昭和二）		五五五	一イ
同	昭和八		五五五	一ロ
錦水油田地形及地質精查圖	附斷面圖 臺灣總督府殖產局製 臺灣總督 昭和六	一	三七三	四一八
銀砂子	鏑木清方 昭和九	一	六五七	一六八
近世	下 藤村作編 三版 昭和九（日本文學聽講第四卷）	一	五三一	八九

		冊	函	號
近世有機化學講義	上、下卷 加納清三 昭和三、六	二	四七	三二〇
近世偉人傳記叢書	山陽會發行 昭和一〇	一	六八三	八三
第一輯第一編	賴山陽先生（木崎好尙、賴樸崖編）			
近世以前飯野及國魂史料文書	諸根樟一編 昭和五	一	六一〇	一二
同		一	六一〇	一二イ
近世英國哲學史	大島正德 昭和三	一	六一二	九
近世英文學史	小日向定次郎 昭和四	一	三三九	三三三イ
禽星易見	明、池本理 民國二三 影印（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一〇	八四四	一〇三
近世演劇考說	黑木勘藏 昭和四	一	五九七	一六六
近世演劇雜考	石割松太郎 昭和九	一	六六七	九五
近世歐人の觀たる謎の日本	ドナート著 藤田精一譯 昭和三	一	五七八	二〇八
近世大阪狂言集	春陽堂編 昭和八（日本戲曲全集歌舞伎篇第四九卷）	一	五六六	四七
近世女風俗考	（繪入） 生川春明 明治二八	一〇	八四一	三〇
近世解剖學	二村領次郎 訂六版 大正七	二	四九	四三ツ
同	上卷（本文及附圖） 二村領次郎著 森於菟訂 昭和五	二	四九	四三ツ
同	前編 訂一四版 昭和五	二	四九	四三ネ
同	後編	二	四九	四三ネ
同	上卷 訂一六版 昭和九	一	四九	四三ナ
同	下卷 平光吾一訂 一六版	一	四九	四三ナ

		冊	函	號
近世香料工業	岡澤辰造 昭和五	一	五八一	二〇〇
近世雅人傳	上、中、下 湯川玄洋（七石莊茶話第一編） 昭和五	三	二三四	二五五
近世看護學教科書	田中武助編 訂二版 昭和四	一	六〇	六八三イ
近世機械學	宮城音五郎 昭和三至五	四	五八一	三三
第一卷	力學			
第二卷	材料强弱學			
第三卷	機構學			
第四卷	水力學			
近世機械學	（問題詳解） 宮城音五郎 昭和七	一	六一七	一二三
近世幾何學	森本清吾 昭和四	一	五五三	二九一
近世戲曲研究	守隨憲治 昭和七	一	六一七	九四
近世畸人傳	伴蒿蹊、三熊思孝著 正宗敦夫校 複製（日本古典全集第三期第九 昭和四）	一	五六九	九四
近世畸人傳その他	坪內逍遙 昭和六	一	五九六	三〇五
金世紀の始まる頃	黑田禮二（岡上守道） 昭和九	一	六六一	八
近世郷土年表	今井白鳥編 昭和七（飯田史談會叢書第二篇）	一	六三五	八
近世基督教會史概觀	魚木忠一 昭和九	一	六五三	二六三
近世基督教社會運動史	龜德正臣 昭和八（基督教教程叢書第一二編）	一	三七三	五五五
近世クーデター史論	マラパルテ著 木下半治譯 改訂版 昭和七	一	六二一	一七二
近世快人傳	夢野久作 昭和一〇 三二〇頁	一	六九六	三二
近世怪談霜夜星	「シモヨ」ヲ見ヨ			

		冊	函	號
近世化學通論	東京物理學校編　昭和七	一	四七	六二九
近世畫家論	ラスキン著　御木本隆三譯　昭和七	三	六〇六	四五五
第一卷　第一、二編				
第三卷　第二編				
近世畫家論	第一至四回　ラスキン著　御木本隆三譯 昭和七、八（世界大思想全集第六七至六九、八一）	四	五四五	五九
近世經濟學說史	上卷　高橋誠一郎　昭和三（政治ライブラリー第八）	一	五六一	八〇
近世經濟史概論	野村兼太郎　昭和一〇　三六七頁（「世界經濟發展史論」ノ增補訂改題）	一	六四〇	二七五
近世教育史	大瀨甚太郎　昭和二「題簽等ノ冠稱ニ「師範學校第二部用」トアリ」	一	二五五	二七
近世教育思想に於ける	内在觀の研究　由良哲次　昭和三	一	二五三	三八六
近世嫌氣性細菌學	佐々木茂雄　昭和九	一	五九	九〇
近世建築和蘭	雜輯　洪洋社編　昭和二	一	三三七	四八一
近世建築湖邊の家	洪洋社編　昭和二	一	三三七	五〇〇
近世建築コルビュジエ	近作集　洪洋社編　昭和三	一	三三七	四八八
近世建築	集合住宅　卷(2)（墺地利）洪洋社編　昭和二	一	三三七	三九〇
近世建築	新住宅號　洪洋社編　昭和三	一	三三七	五〇二
近世建築	佛蘭西雜輯　洪洋社編　昭和二	一	三三七	四七〇
近世國語學史	伊藤愼吾　昭和三	一	五二一	一五二
近世國文學考說	重友毅　昭和八	一	六四三	一三〇
近世國文學序說	藤村作　昭和二	一	五一七	五五一

		冊	函	號
近世細菌學及免疫學	總論　竹内松次郎　六版　昭和六	一	五九	六〇イ
同	各論　七版　昭和九	一	五九	六〇イ
近世細菌學及免疫學實習	竹内松次郎　六版　昭和八	一	五九	六二イ
近世作家大觀（戲曲・小說）	第一卷　鈴木行三編　昭和八	一	六三五	二一
近世產科學	後編　山崎正董　訂四版　昭和六	一	五六	一〇八イ
近世三十六人撰	本居大平著　同豐穎校　同清造再校（增補本居宣長全集第一二本居大平全集ノ內　昭和二）	四	一	九八イ
近世色染法（理論・應用）	西田博太郎　昭和二至八			
	第一編　織物原料篇	一	三五一	六三ロ
	第三編　浸染篇	一	三五一	六二ハ
	第四編　捺染篇	一	三五一	六二イ
近世齒科全書	齒科月報社發行　昭和一〇			
	第一卷　齒牙解剖學　訂五版（中川大介）	一	五八	九三イ
近世事情	山田俊藏、大角豐治郎（維新日誌第二期第五卷ノ內　昭和九）	二	二四	二七
近世實錄全書	河竹繁俊編　昭和三、四	二〇	五六三	一
	第一卷　實錄の沿革（河竹繁俊）			
	唐人殺			
	姬路隱語			
	拾遺遠見錄			
	風聞雉子聲			
	九六騷動			
	皿屋舖辨疑錄（馬文耕）			
	伊豫湯下馱			
	白子屋お熊			
	黑田騷動			
	曲垣平九郎			
	箕輪奇談（曲亭馬琴補）			
	慶安太平記			
	天草騷動			
	雲霧仁左衛門			
	鏡臺院			
	河内山實傳			
	水戸黃門記			
	宇都宮騷動			
	鳥羽屋實記			
	鬼神のお松			
	相撲の敵討			
	稻葉小僧			
	越後騷動			
	村井長庵			
	鈴木主水			
	加賀騷動			
	笹野權三			
	紀文大盡			
	怪談皿屋敷			
	（明治編纂の實錄　一）			
	錢屋五兵衛（三品蘭溪）			
	椙山騷動（春光舍風禽）			
	蓮華往生（柳葉亭繁彦）			
	佐原の喜三郎（伊東橋塘）			
	（同　二）			
	坂本龍馬（坂崎斌）			
	櫻田血染雪（菊亭靜）			
	日光御鄕枕			
	天一坊實記			
	佐賀怪猫傳			
	おこよ源三郎			
	延命院實記			
	伊賀越敵討			
	石井常右衛門			
	佐倉義民傳			
	め組の喧嘩			
	大久保武藏鐙			
	大川友右衛門			
	四谷怪談			
	八百屋お七			
	妲妃のお百			
	國定忠治			
	籠釣瓶			
	船越武勇傳			
	大丸屋騷動			
	田沼實記			
	宮本武藏			
	阿波の鳴門			
	鼠小僧實記			
	柳澤騷動			
	大鹽平八郎			
	祐天上人			
	越後傳吉			
	天明水滸傳			
	伊達騷動			
	幡隨院長兵衛			
	報怨奇談			

		冊	函	號
	津國屋藤兵衞（假名垣魯文）			
	澤村田之助（岡本勘造）			
	江戸の相政（伊東橘塘）			
第一九卷	（同 三）			
	清水次郎長			
	四千兩事件			
	雲井龍雄（秋亭實）			
	島田一郎（岡本勘造）			
第二〇卷	（同 四）			
	高橋お傳（假名垣魯文）			
	鳥追お松（久保田彦作）			
	權妻お辰（伊東橘塘）			
	明治天一坊（小林篤太郎）			
	寫眞の仇討（伊東橘塘）			
	栗原百介（高村蕩一郎）			
近世支那外交史	稻坂喆 昭和四	一	五九四	一一〇
近世支那外交史	矢野仁一 昭和五	一	六〇〇	一三五
近世耳鼻咽喉科學	岩田一、吉井丑三郎 昭和二 一二版	一	五八	二八チ
近世醬油釀造法	西村寅三 昭和二	一	五七二	一〇三
近世將棋巨匠の手合	平岩米吉編 昭和七	一	六二七	一九八
近世時樣風俗	齋藤隆三 昭和一〇 四四五頁	一	六九〇	二一
近世社會學成立史	加田哲二 昭和三	一	五七三	一三六
近世社會經濟學說大系	誠文堂發行 昭和一〇	五	六六四	二七
第一	本多利明集（本庄榮治郎解題）			
	經世秘策			
	經濟放言			
	西域物語 三卷			
	長器論			
	河道			
	自然治道之辨（抄）			
	四大急務に關する上書（抄）			
	船長の敎訓			
	渡海新法（抄）			
	渡海日記			
	本多氏策論 假夷拾遺			
	假夷土地開發愚存の大概			
	假夷開發に關する上書			
	假夷道知邊（抄）			
	西徼事情			
	本多利明手簡			
	本多利明先生行狀記（宇野保定）			
第二	海保青陵集（石濱知行解題）			
	稽古談 五卷			
	變理談			
	善中談			
	萬屋談			
	鹽民談			
	海保儀平書			
	富貴談			
第三	佐藤信淵集（大川周明解題）			
	農政學解嘲辨			
	經濟要錄（抄）			
	經濟提要 二卷			
	經濟要略			
	物價餘論			
	物價餘論簽書 二卷			
	復古法			
	垂統祕錄			
	混同祕策 二卷、附錄			
第四	山鹿素行集（內田繁隆解題）			
	謫居童問（抄）			
	聖敎要錄			
	山鹿語類（抄）			
	中朝事實（抄）			
	配所殘筆			
第五	二宮尊德集（八木澤善次解題）			
	萬物發言集			
	大圓鏡（抄）			
	報德訓（原始篇）			
	三才報德金毛錄			
	天祿脊減鏡（抄）			
	吉凶助成哀悅下案			
	盛衰存亡天命自然取調帳			
	農家大道鏡（抄）			
	未定稿			
	報德訓			
	貧富訓			
	讓奪辨			
	讓道訓			
	鉢鏃の辭			
	德と貴との辨			
	孝不孝の論			
	服部家心得書			
	斗桝改正の覺書			
	五常講金貸箱			
	宇津家仕法書の一部			
	宇津家知行所仕法帳跋文			
	宇津飢之助樣御知行所村々へ申渡書			
	青木村無利五ヶ年賦貸付準繩帳跋文			
	下新田村小八家政取直相續手段帳			
	利根川分水路堀割御普請見込之趣申立書			
	勤方住居窺書			
	荒地起返方仕法附見込之趣申上候書付			
	開墾地先後の順序			
	仕方雜事			
	曾我別所村民次郎家株再興相續議定書跋文			
	大澤小才太報德金克讓增益鏡			
	多田村多田彌次右衞門家株再興仕法帳跋文			
	難村舊復之仕法御國益之根元取行方願書			
	荒地起返難村舊復之仕法取行方明細伺書			
	小田原報德社議定書			
	規定書之事			
	報德信友講議定書			
	申合議定之事			
	二宮翁夜話（抄）（福住正兄）			
近世社會經濟叢書	本庄榮治郎等編 昭和元、二	六	五五五	一九
第七卷	大意書（柴田善伸）			
	米價記（同）			
第八卷	蠶飼絹飾大成（成田思齋）			
	絲割符由緒書（同）			
	明和天保年中絲高直一件記錄（同）			
	桐生市立替幷織物之記（同）			
	石見國銀山舊記（大賀吉蔭）			

		冊	函	號
第九卷	西遊雜記（古河辰（古松軒））			
	四神地名錄（同）			
第一〇卷	作州百姓一揆叢書（矢吹正己編）			
	高野領民一揆始末（井畑義珍）			
	東武百姓一件（同）			
第一一卷	名野川鄉民逃散記（元吉忠八、寺村勝之進）			
	池川用居非常大要記錄（毛利治左衞門等編）			
	伊豫吉田藩三間騷動（西園寺源透編）			
	安部野童子問（城南隱士）			
第一二卷	東遊雜記（古河辰（古松軒））			

近世社會教育史の研究　石川謙　昭和九　一　二七五　四八

近世社會教育の史的概觀　文部省編　昭和九（社會教育叢書第二九輯）　一　二五九　六〇

近世社會思想及社會運動上に於ける英吉利と露西亞　小泉信三　昭和元（銀行叢書第六編）　一　五〇八　三〇

近世社會思想講話　平林初之輔　昭和四　一　五九九　一六五

近世社會大驚異全史　梅原北明編　昭和六　一　五九一　二四三

近世蒸汽機關　松村光雄　昭和九　一　六六三　四一

近世諸國咄　久保田万太郎（現代語西鶴全集第六卷ノ内）　昭和六　六〇三　二七〇

近世助產學　上、下卷　酒井春吉　九、一一版　昭和六、七　二　五六　一一七

同　一〇、一一版　昭和八、九　二　五六　一一七　イ

近世診斷學　橋本節齋　補一〇版　昭和三　一　五三　二一　ヌ

近世數學史談　高木貞治　昭和八（艶近高等數學講座第二卷）　一　六五四　九

近世西歐漫畫史　大平章　昭和一〇（漫畫研究資料講座第一輯）　斯　一　六七二　二九二

近世整形外科學　桂秀三　昭和二　一　五四　八〇

近世整形外科學　第一至六卷（點字）　六　點一　四八

近世政治思想史　（フランス革命ヨリロシア革命マデ）附錄付　市村今朝藏　昭和二　一　五六五　九五

近世西洋勞働運動史　ウイツトフオーゲル等編　北島武平、宮地健三譯　昭和一〇　二六七頁　一　六八九　五一

近世生理學史論　藤岡巖　昭和三　一　四八　八六

近世世界政治外交史論　吉村勝治　昭和四　一　五九一　九六

近世說美少年錄　曲亭馬琴　昭和三（帝國文庫第六篇）　一　五八三　一五

近世綜合幾何學　高須鴉三郎　昭和七　一　六一七　一〇九

近世道具移動史　高橋義雄（箒庵）　昭和四　一　五六三　二六三

近世刀劍年表　川口陟　昭和一〇　五五四頁　一　六九〇　三三

金星堂俳人叢書　同堂發行　昭和二　二　五五〇　一六三

第一　芭蕉俳句集（大橋裸木編）

第二　鬼貫俳句集（同）

近世道路學　附道路運輸　江守保平　昭和六　一　五八一　二九五

近世道路工學　理論及實際的設計竝ニ施行　菊地嘉美　昭和五　一　六〇八　一〇六

同　訂補　再版　昭和八　一　六〇八　一〇六　イ

近世道路工學　村上元紀　昭和七　一　六一七　八三

近世道路工學　第一至三卷　ノイマン著　甫保賀譯（最近土木工學名著飜譯第七）　昭和八至一〇　三　六四八　六〇

近世高崎叢書　本田夏彥　昭和一〇　一四九頁　一　六八四　三七

近世地方經濟史料　小野武夫編　昭和六、七

第一卷　足民論（木村謙）
見田獨斷記（狂塲亭光矩）
地利要方
社倉議草
御改作方覺書
改作雜集錄
御改作始末聞書追加（武部敏行）
田法雜話
舊制漆樹取締法（星傳八郎カ）
古今稅務要覽
こんでゐばなし（船橋亘）
田法書（同）
松山領代官執務要鑑
薩隅日田賦雜徵（伊地知季通）
經濟隨筆（橋本敬簡）
房州萬石騷動實錄
鳥麓奇談（天外山人）
小作百姓騷立一件

第二卷　濟急記聞（且暮庵野巢）
南部藩林政梗概
地方竹馬集
越後國榮雲寺潟開墾書類（竹前新太郎）
座右手鑑（三隅丈八）
耕作噺（中村喜時）
在々御仕置之儀に付御書付
庄屋心得書條目
高知藩田制概略（吉村春峯）
駒方御仕法
地方の聞書（一名才藏記）（大畑才藏）
農業稼仕樣及作物之仕樣（久下金七郎）
天然錄
租稅問答（汾陽光遠）

第三卷　南畝偶語（武元立平）
甘藷申上其外書付（加藤又左衞門）
蕃薯起立（同）
地方辨要
五人組異同辨
尾州村々證文留
百姓身持之事（板橋善右衞門）
春濃鶯
起請文前書
農業談拾遺雜錄（宮永正好）
谷中御檜木並土居願書控覺
青木昆陽申上書付（青木文藏）
田令講義（栗原信充）
東野田岸（國府義胤）
郡中利害封事（藤田幽谷）
牧民後判國字解（松平定綱）
因伯受免由來（增井清藏）
稗作方觸書（龜右衞門）
和歌山藩社倉趣意並法則
督農要略

第四卷　農家實況調書
農業夜咄
仙臺藩租稅要略（宮城縣編）

地方心得留
陸奥國會津郡村々差出書
御世の惠（和泉利愛）
武田源左衞門檢地秘書（佐藤彌六）
百姓德行寶鑑（熊谷權四郎）
心持農業記（同）
地方支配
地方支配條目
農業子孫養育草（德山敬猛）
農作自得集（森廣傳兵衞）
鄉村手引
耕作辨用書
古々呂江加木（豐田幹敦）
土佐藩地割圖組法（安岡百樹）
勸農並村方取締頭書
免法記（岸崎佐久治）
田法記（同）
農具揃（大坪二市）

第五卷
第六卷
第七卷

第五卷　隣民撫育法（西山太郎兵衞）
農書類聚
村方取締規定連印寫
撫育敎導傳（永山盛富）
地方神中錄（小林寬利）
御國産紙煙草楮引立修法目論見
天保饑饉奥羽武藏聞書
郡中省略申渡書
祕話獨斷（涯南主人）
農作自得集（森廣傳兵衞）
鄉村手引
耕作辨用書
古々呂江加木（豐田幹敦）
土佐藩地割圖組法（安岡百樹）
勸農並村方取締頭書
免法記（岸崎佐久治）
田法記（同）
農具揃（大坪二市）

第六卷　國家要傳
御飭指方舊記
地方大意抄
補饑新書（東條耕）
庄屋手鏡（梅木忠章）
武藏國葛飾郡大島村鄉約
飛州地方御尋答書（山内小左衞門）
理塵集
南部藩近代經濟梗概
增私家農業談（宮永正運）
補天保村田氏（遺書翰）（衣笠政忠）
奥寺八左衞門新田開發事蹟（奥寺定之）
耕耘培養制度類
農業狂歌

第七卷　隣農民詞（竹村茂雄）
尾藩地方根居
御繩之節申渡書（望月恒隆）
地方問答記
傳法記
田制考證（高倉胤明）
飢歲懷覺錄（高橋正作）
正界錄（小宮山昌世）
地方問答書（同）
農家日用集（鈴木梁滿）
公整舊格錄
被仰渡御請印帳
藩時代產馬取締一斑
西國筋村々取計方伺（羽倉權九郎）
農事考鑑
田地割制度（石黑信基）
落穗救拾集（青木魯石）
田制雜記（植田政裕）
津輕地方に於ける小作米の理由（菊池健雄）
代官庄屋勤方心得覺書
政成新田由來上申書

第八卷　近世哲學史（改譯）　上、下卷　ヘフデイング著　北昤吉譯　昭和三　二　五五八　一〇六
近世哲學史　上卷　フオイエルバツハ著　松本義堆譯　昭和九　一　六三六　二二九
近世哲學史および辨證法的唯物論における因果性の問題　ボグダーノフ、ミハイロフ共著　廣島定吉譯　昭和八（辨證法的唯物論叢書第一）　一　五九八　六二
近世ドイツ經濟學史　シユルツ著　佳谷悅治、赤間信義譯　昭和七　一　六二四　一四〇
近世ドイツプロテスタント敎神學思想史　魚木忠一　昭和六（同志社神學叢書第一）　一　六一五　一〇一
近世ドイツ、プロテスタント敎神學の勃興とシライエルマツヘル　魚木忠一　昭和五（基督敎研究叢書第一號）　一　六〇四　一八七
近世東洋外交史序說　齋藤良衞　昭和二　一　五七三　七
近世都市計畫　森慶三郎　昭和四　一　五八八　一八一
近世土民哲學　石川三四郎　昭和八（共學叢書第二）　一　六三一　二一〇
近世渡來園藝植物　松崎直枝　昭和九　一　六五〇　二一四
近世內科全書　橋本節齋　增訂一〇版　昭和二　一　五三　三六（七）
近世內科臨牀診斷學　額田豐、額田晉　一一版　昭和七　一　五二　三三（ロ）
同　訂二三版　昭和一〇　五五九頁　一　五二　三三（ハ）
近世錦繪世相史　第一至八卷　淺井勇助編　昭和一〇　三　六七四　五一
近世日葡通交小史　岩生成一　昭和二　一　五四九　三〇六
近世日本音樂集　田邊尙雄編　昭和六（世界音樂全集第二五卷）　一　八三　四四一

近世女流歌人の研究　森敬三　昭和一〇　一　六一七　二七五
近世女流書道名家史傳　市川太郎（青岳）　昭和一〇　一　六九三　六六
近世珍談集　（未刊隨筆百種第二二ノ內）　昭和四）　五六〇　二九
近世帝國主義概論　第一册　藤澤親雄　昭和三（外交史講義ノ內）　一　五七六　六三

		冊	函	號
近世日本交通史	田村榮太郎　昭和一〇	一	六七五	二三〇
近世日本畫大觀	高見澤木版社編　昭和七	三	四二二	一二四
第四卷	初期風俗畫			
第一〇卷	渡邊崋山篇			
第一二卷	狩野芳崖、橋本雅邦			
同	昭和七	三	四二三	一二四イ
第四卷	初期風俗畫篇			
第一〇卷	渡邊崋山篇			
第一二卷	狩野芳崖、橋本雅邦篇			
近世日本劇場復原圖考	須田敦夫　昭和一〇　六八頁	一	五六七	一六六
近世日本國民史	德富猪一郎　昭和二至一〇	二九	三八四	四三
第一三	田沼時代			
第一四	松平定信時代			
第一五	幕府分解接近時代			
第一六	雄藩篇			
第一七	文政天保時代			
第一八	天保改革篇			
第一九	幕府實力失墜時代			
第三〇	彼理來航以前の形勢			
第三一	彼理來航及其當時			
第三二	神奈川條約締結篇			
第三三	日露英蘭條約締結篇			
第三四	孝明天皇初期世相篇			
第三五	公武合體篇			
第三六	朝幕背離緒篇			
第三七	安政條約締結篇			
第三八	朝幕交涉篇			
第三九	井伊直弼執政時代			
第四〇	安政大獄　前篇			
第四一	安政大獄　中篇			
第四二	安政大獄　後篇			
第四三	櫻田事變			
第四四	開國初期篇			
第四五	久世安藤執政時代			
第四六	文久大勢一變　上篇			
第四七	文久大勢一變　中篇			
第四八	文久大勢一變　下篇			
第四九	尊皇攘夷篇			
第五〇	攘夷實行篇			
第五一	大和及び生野義擧			
同	第一至五〇（第六、二七缺）　昭和九、一〇　普及版	二八	六七三	五
第一	織田氏時代　前篇			
第二	織田氏時代　中篇			
第三	織田氏時代　後篇			
第四	豐臣時代　甲篇			
第五	豐臣時代　乙篇			
第七	豐臣氏時代丁篇朝鮮役　上卷			
第八	豐臣氏時代戊篇朝鮮役　中卷			
第九	豐臣氏時代己篇朝鮮役　下卷			
第一〇	豐臣氏時代庚篇桃山時代概觀			
第一一	家康時代　上卷　關原役			
第一二	家康時代　中卷　大阪役			
第一三	家康時代　下卷　家康時代概觀			
第一四	德川幕府上期　上卷　鎖國篇			
第一五	德川幕府上期　中卷　統制篇			
第二六	雄藩篇			
第二八	天保改革篇			
第二九	幕府實力失墜時代			
第三〇	彼理來航以前の形勢			
第三一	彼理來航及其當時			
第三二	神奈川條約締結篇			
第三三	日露英蘭條約締結篇			
第三四	孝明天皇初期世相篇			
第三五	公武合體篇			
第三六	朝幕背離緒篇			
第三七	安政條約締結篇			
第三八	朝幕交涉篇			
第三九	井伊直弼執政時代			
第四〇	安政大獄　前篇			
近世日本社會運動史	資料編　菊池次郎　昭和九	一	六六〇	五六
近世日本儒學史	上、下卷　岩橋遵成（倫理叢書第六編）　昭和二	二	五三九	三四
近世日本食物史	笹川種郎（臨風）、足立勇　昭和一〇　五〇二頁	一	六九五	三三
近世日本生理學思想史論	浦本政三郎　昭和一〇（邦人叢書第三）	一	六四七	一七
近世日本農村經濟史論	土屋喬雄、小野道雄　昭和八（經濟學全集第五九卷）	一	五八七	三三
近世日本農民運動史	木村靖二　昭和一〇（「近世日本農民運動發達史」上「現代農民運動の展望」ノ合本）	一	六七五	二三〇
近世日本の研究	日本評論社發行　昭和六	一	六〇〇	二一八
その一	近世の經濟界想（本庄榮治郎）			
近世日本の國際觀念の發達	尾佐竹猛　昭和七	一	六三七	三六
近世日本浪人傳	淺井正純　昭和四	一	五五六	三五一
近世俳諧名家集	日本俳書大系刊行會編（同大系第一三卷）　昭和二	一	五五五	七
近世俳諧名家集	上、下卷　勝峰晉風編（日本俳書大系第二七、二八）　昭和五	二	五八四	一〇
近世俳話句集	日本俳書大系刊行會編（同大系第一四卷）　昭和二	一	五五五	七
近世俳話句集	上、下卷　勝峰晉風編（日本俳書大系第二九、三〇）　昭和五	二	五八四	一〇
近世邦樂年表	義太夫節之部　東京音樂學校編　昭和二	一	三三一	三八
同		一	三三一	三八イ
近世八大教育家の思索と其事業	鎌塚扶　昭和二	一	二五五	三
近世法學通論	三潴信三　訂二九版　昭和二	一	三六六	一一二
同	訂四八版　昭和九	一	三六六	一一二ハ
同		一	三六六	一一二ニ
近世美學史	（近世美學の三劃期と今日の課題）　デイル タイ著　德永郁介譯　昭和九	一	三六六	一一二ホ
近世秘譚偉人奇人	小松綠（霞南）　昭和九	一	六三六	二四七
近世病理解剖學	今裕　訂七版　昭和四	一	六六一	六九
同	訂九版　昭和一〇　三四七頁	一	四九	六一ニ
近世病理解剖方式	佐藤清　昭和五	一	四九	六一ホ
近世病理學總論	第四、五卷（點字）	一	五一	四〇
近世病理學總論	今裕　一二版　昭和七	二	點一	四七
近世病理組織學檢查術式	佐藤清　三版　昭和三	一	五一	一九リ
		一	五一	三七ロ

			冊	函	號
同	四版	昭和六	一	五一	三七ハ
同	訂補五版	昭和九	一	五一	三七ニ
近世物理學史序說	矢島祐利	昭和六	一	四六	三六四
近世文學選	新町德之編	昭和三	一	五八二	五八
近世文化史上に於ける	大隈重信侯	文明協會編 昭和五（文明協會ライブラリ第二七）	一	五六六	三六
近世文藝志	笹川種郎	昭和六	一	五八二	三二
近世文藝史研究	森銑三	昭和九	一	六五五	一五七
同			一	六五五	一五七イ
近世文藝	名著標本集	上、下 米山堂編 昭和八至一〇	二	七一九	六五
近世封建社會の研究		本庄榮治郎 昭和五（改造文庫第一部第四四篇）	一	五六九	一四二
近世簿記通論	三邊金藏	昭和七	一	六二七	一三五
近世萬葉調短歌集成	紅玉堂編	昭和三	二	五四四	四二
第三卷	註解眞淵宗武歌集				
第四卷	註解愚庵元義歌集				
近世名家集類題	鈴木重胤編		一〇	八三九	一一九
近世名歌選釋	森敬三	昭和八	一	六四三	一四〇
近世名歌	ますらをごゝろ	伊藤角一編註 昭和五	一	六〇四	一九四
近世名士寫眞	其一、二	同頒布會發行 昭和九、一〇	二	四二七	五三
近世名將言行錄	第一至四卷	同刊行會編 昭和九、一〇	四	六六四	五

			冊	函	號
近世名匠傳	島田一郎（筑波）	昭和六	一	三七二	五〇六
第一	隱れたる浮世繪師	水廬朝			
近世名人達人大文豪	（現代第九卷第一號附錄）	大日本雄辯會講談社編 昭和二	一	五七八	四五
近世名流大家	眞蹟書翰選集	大日本國柱會編 昭和三	一〇	四一七	七七
同	三版	昭和四	二〇	四一七	七七イ
近世露西亞政治史	赤神良譲	昭和九	一	六四九	二六二
近世露滿蒙關係史	サヴイン著	川田秀雄譯 昭和一〇	一	六三二	一八七
近世論理學概說	附 學問方法論	大關將一 昭和八	一	六三六ノ一	六九
近世和歌史	佐佐木信綱	大正一二	一	六三三	六五
近世和歌史	福井久藏	昭和五	一	六一一	四三
金石文	入田整三編	昭和五（日本考古圖錄大成第三輯）	一	五五二	三一〇
金石文集	入田整三編	昭和六（日本名筆全集第八）	一〇	三三七	三七九
近接戰を語る	レベル著	吉永義尊譯 昭和九	一	六六六	五三
金戰	櫻人	昭和五	一	五九七	二八四
琴仙畫集（浦上玉堂）	布施庄太郎編	昭和三、八	帖二	六三ヘ二	六三
同	昭和四		帖一	六三ヘ二	六三イ
同	昭和五		帖一	六三ヘ二	六三ロ
金錢債務臨時調停法解說	長島毅	昭和七	一	六三一	三三九
同	訂補一〇版	昭和九	一	六三一	三三九イ

			冊	函	號
金錢債務臨時調停法義解	小原直	昭和七	一	六三一	二四三
金錢債務臨時調停法精解	中央社編	昭和七	一	六三一	二三三
金錢債務臨時調停法制定經過と無盡業	全國無盡集會所編	昭和七			
金錢債務臨時調停法の解說と其の活用	牧瀨幸	昭和七	一	六三五	一三二
金錢債務臨時調停法の實際知識	附 調停關係法規集	吉田久 訂補一二版 昭和一〇	一	六三一	二三二
銀扇集（戲曲一）	木村富子	昭和六	一	六六六	二〇八
金錢信託	王金海	昭和三	一	六〇三	二四九
金錢物件・土地建物・手形證券	賣掛債權完收とだまされぬ取引策	小笠原正孝 昭和九	一	五八〇	一一二
金屬	井上敏、白井俊明（化學概說第四卷）	昭和六	一	六八〇	一〇一
金屬	濱住松二郎	昭和一〇 四一五頁	一	四七	六三八
金屬及び合金の	腐蝕と防蝕法	加瀨勉 昭和四	一	五六七	一二四
金屬材料	河合匡	昭和二	一	五五八	一九〇
同	再版	昭和四	一	三五一	一三五イ
金屬材料	西川孝次郎	昭和八	一	三五一	一二五ロ
金屬材料	山田良之助	昭和七	一	六五三	一三一
金屬材料及其加工法	齋藤大吉	昭和九	一	六一七	二一三
第一卷	金屬篇				
金屬材料ニ關スル外國特許要覽	第一至五號、六號（昭和八年度（一九三三）發表英國ノ分）	日本學術振興會編 昭和一〇	一	六五〇	二一七
金屬商工大鑑	大阪金物新報社編	昭和二	一	五五三	一九
金屬總論	濱住松二郎	昭和二	一	五六二	一一三
金屬塑性學	第一 概要篇	中原益治郎、柏原方勝 昭和一〇	一	六九〇	六七
金屬着色塗裝法及	鋼鐵家具製作法と其設計圖	佐藤巳之吉 昭和八	一	六四八	九一
金屬と合金	飯高一郎（岩波全書第一六〇）	昭和八	一	六四六	四
金屬と人生	加瀨勉	昭和六	一	五八二	三四九
金屬の疲勞	陸軍造兵廠編	昭和五	一	五六二	一二九
金屬鑞接法	稻生有年	昭和三	一	五八一	一六五
近代	大丸意匠部編	昭和五	一〇	四二四	四五
近代友禪史	村上文芽編	昭和二	一	五七二	五六
近代一萬歌集	短歌研究會編	昭和一〇 四二六頁	一	六八八	一一三
近代和泉考	寫		一〇	八四一	一〇六
近代英雄評傳	北昤吉編	昭和六	一	五九五	四二一
近代英詩評釋	矢野峰人	昭和一〇	一	五六八	五四四
近代英文學鑑賞	澤村寅二郎	昭和四	一	五九五	一四四

		冊	函	號
近代英文學雜考	富田彬 昭和五	一	五八五	一三三
近代英文學史	矢野峰人 昭和四	一	六二一	一〇
近代音樂の概觀	ワイスマン著 梅津勝夫譯 昭和一〇 四五三頁	一	六九二	一四六
近代歌謠集	藤井乙男校 塚本哲三編 昭和七 七〇二頁	一	五一七	二六イ
近代歌謠集	昭和一〇	一	六七九	八六
近代歌謠集	藤田德太郎編 昭和四 (校註日本文學類從第二卷)	一	五九三	四
近代家具設計圖と其製作法	佐藤巳之吉、吉田正作 昭和六	一	五八一	二六七
近代株式會社論	(持株會社の研究) 西野嘉一郎 昭和一〇 三七五頁	一	六四〇	三三九
近代機械講話	藤村義樹 昭和四	一	五六三	二六三
近代戲曲集	新潮社編 昭和四 (世界文學全集第三五)	一	五四五	五六
近代基督教思想史	マツギフアート著 栗原基、有賀鐵太郎譯 昭和五 (基督教思想叢書第二輯第二卷)	一	五九二	九八
近代句を語る	飯田蛇笏 昭和一〇 二四三頁	一	六七九	一五九
近代外交史論	信夫淳平 昭和二	一	五六一	一三五
近代快傑錄	尾崎行雄 昭和九	一	六六一	二九
近代化學概觀	中瀨古六郎 昭和五 (自然科學叢書第三編)	一	六〇一	二四
近代科學工業寶典	新光社編 昭和一〇	一	六三八	一三九
近代化學史	中瀨古六郎 昭和二	一	四七	二九九
同		一	四七	二九九イ
近代科學と宗教生活	佐藤定吉 昭和六	一	六〇九	三五八

		冊	函	號
近代科學と戰爭の發達	エイデマン監輯 山本八洲雄譯 昭和一〇 一八〇頁	一	六八二	七三
近代科學の偉人並發達略史	高橋學而 昭和七	一	六〇六	四四〇
近代科學の驚異	寮佐吉 昭和九	一	六五七	一五八
近代畫家論(ラスキン)	ラスキン著 澤村寅二郎譯 昭和八	一	六三六	三八
近代花卉裝飾講座	第一號 羽鳥蓁等編 昭和七	一	六一六	一〇〇
近代貨幣理論の種々相	(平價切下より新貨幣制度へ) 宮川貞一郎 昭和九	一	六六〇	六四
近代經濟叢書	清水書店發行 昭和三、四	一三	五七五	一三三
第一編	經濟原論 (寶積一)			
第二編	生產論 (谷澤隆)			
第三編	國際經濟論 (岸伊三郎)			
第四編	交通論 (齋藤富太郎)			
第五編	物價論 (與謝野讓)			
第六編	金融論 (綾本利)			
第七編	恐慌論 (近藤年彥)			
第八編	取引所解說 (立花貞雄)			
第九編	財政概論 (白鳥八郎)			
第一〇編	經濟史 (寶積一)			
第一一編	經濟政策 (富樫富太郎)			
第一二編	社會政策 (山本耕作)			
近代劇十二講	楠山正雄 一〇版 大正一二 七四六頁	一	五九五	四四八
同	一四版 大正一三	一	五九五	四四八イ
近代劇全集	第一書房發行 昭和二至五	四三	五六〇	三八
第一卷	北歐篇 戀の喜劇 (イプセン著 高橋健二譯)			
第二卷	同 ブランド (同著 茅野蕭々譯)			
	人形の家 (同著 秦豐吉譯)			
	鴨 (同著 森田草平譯)			
第二卷	同 ペエア・ギユント (同著 茅野蕭々譯)			
	ロスメルスホルム (同著 三井光彌譯)			
	ヘツダガーブレル (同)			
第三卷	同 父 (ストリンドベリイ著 小宮豐隆譯)			
	ダマスクスへ (同著 茅野蕭々譯)			
	稻妻 (同著 小宮豐隆譯)			
第四卷	同 令嬢イユリエ (同著 茅野蕭々譯)			
	死の舞踏 (同著 山本有三譯)			
	破產 (ピエルソン著 岩田豐吉譯)			
	人生の戲れ (ハムスン著 同譯)			
第五卷	獨逸篇 沈鐘 (ハウプトマン著 新關良三譯)			
	祝典劇 (同)			
	映畫フアウストのタイトル (同著 秦豐吉譯)			
	平和祭り (同)			
第六卷	同 ダントンの死 (ビユヒネル著 新關良三譯)			
	名譽 (ズーデルマン著 木村謹治譯)			
	青春 (ハルベ著 同譯)			
	アルト・ハイデルベルク (マイヤーハルステル著 同譯)			
第七卷	同 影との競爭 (ショルツ著 成瀨清譯)			
	奇蹟 (フオルミユレル著 高橋健二譯)			

		冊	函	號
グライヒエン伯爵	(シユミツトボン著 茅野蕭々譯)			
ピグマアリオン	(同)			
一等室	(トオマ著 秦豐吉譯)			
トルストイ	(エルク著 同譯)			
第八卷	同 カザノオフア物語 (ステルンハイム著 同譯)			
ルシタニア號	(デヨブリン著 同譯)			
除夜の悲劇	(マイエル著 同譯)			
チヤツプリン物語	(イワン・ゴル著 同譯)			
蚤	(エエデキンド著 同譯)			
春の目覺め	(同)			
せむしの五人	(同)			
第九卷	同 人間 (ハアゼンクレエフエル著 小山內薰譯)			
決定	(同著 秦豐吉譯)			
サンクタ・ズザンナ	(シユトラム著 茅野蕭々譯)			
葬衆=人間	(トツレル著 秦豐吉譯)			
カレーの市民	(ガイゼル著 新關良三譯)			
朝から夜中まで	(同著 秦豐吉譯)			
チヤツプリン	(フイツシエル著 同譯)			
第一〇卷	同 樂しみの邑 (ヨースト著 小宮豐隆、奧津彥重譯)			
夜打つ太鼓	(ブレヒト著 成瀨無極譯)			
犯罪人	(ブルツクネル著 高橋健二譯)			
中幕	(シユトラウス著 秦豐吉譯)			
戰爭	(フオオグト著 同譯)			
第一一卷	同			

キンタ

プロシアルイ・フエルデイナント（ウンルウ著）
の王子　新關良三譯）
海戰（ゲヨエリンク著　茅野蕭々譯）
灰闇記（白墨の圓）（クラブント著　新關良三譯）
畫家ゴツホ（カザック著　秦豐吉譯）

第一二卷　同
チチアンの死（ホフマンスタアル著　木下杢太郎譯）
人（富豪の死）（同著　新關良三譯）
絲の鬚哥（シユニッツレル著　茅野蕭々譯）
戀愛三昧（同著　森鷗外譯）
最後の假面（同著　三井光彌譯）
廣き國（同著　木村謹治譯）

第一三卷　同
信仰と故郷（土民の悲劇）（シエーンヘル著　新關良三譯）
愛（キルドガンス著　木下杢太郎譯）
鏡人（ウエルフエル著　高橋健二譯）
死（キード著　秦豐吉譯）
永遠のユデヤ人（ハイエルマンス著　三井光彌譯）
客（ブルチビセフスキー著　同譯）
罪人（アツシユ著　同譯）

第一四卷　佛蘭西篇
かりそめになすな戀（ミュツセ著　西條八十譯）
マリヤンヌの氣紛れ（同著　堀口大學譯）
アンドレ・デル・サルトオ（同著　内藤濯譯）

第一五卷　同
ブランシエツト（プリユウ著　同譯）
新しき偶像（キユレル著　吉江喬松譯）
獅子の餌食（同著　堀口大學譯）
自由の重荷（ベルナアル著　岸田國士譯）
懷を傷めずに（同）

第一六卷　同
過去（ボルト・リツシユ著　同譯）
戀の女（同著　西條八十譯）

第一八卷　同
落伍者の群（ルノルマン著　岸田國士譯）
時は夢なり（同）
商船テナシテイ（ヴイルドラック著　山田珠樹譯）
ミシエル・オオクレエル（同著　内藤濯譯）
寂しい人（同著　岩田豐雄譯）
ルリユ爺さんの遺言（マルタン・デュ・ガアル著　堀口大學譯）

第一九卷　同
事業は事業（ミルボー著　内藤濯譯）
別れも愉し（ルナアル著　岸田國士譯）
日々の麪包（同）
赭毛（同著　山田珠樹譯）
炬火おくり（エルヴイユウ著　岸田國士譯）

第二〇卷　同
東天紅（ロスタン著　堀口大學譯）
結婚行進曲（バタイユ著　岩田豐雄譯）

家（コポオ著　内藤濯譯）

第二一卷　同
幻の魚（サルマン著　辰野隆、鈴木信太郎譯）
ダルダメル（マゾウ著　岩田豐雄譯）
堂々たるコキユ（クロムラン著　岸田國士譯）
マルチイヌ（ベルナアル著　同譯）

第二三卷　同
子供の謝肉祭（トブエリエ著　同譯）
クノツク（ロマン著　岩田豐雄譯）
トルアデツクの放蕩（同）
ワタクシと遊んでくれませんか？（アシヤアル著　同譯）

第二四卷　同
タンタヂイルの死（メエテルリンク著　堀口大學譯）
部屋の中（同著　内藤濯譯）
潜み入る者（同著　堀口大學譯）
ペレアスとメリザンド（同）
僧院（ヴエルハアレン著　森鷗外譯）
襲ぎつける人々（レルベルグ著　堀口大學譯）
階段下の貧者（ゲオン著　同譯）
エツフエル塔の花嫁花婿（コクトオ著　同譯）

第二五卷　愛蘭土篇
カスリン・ニ・フウリハン（イエーツ著　松村みね子譯）
心のゆくところ（同）
鷹の井戸（同）
海に行く騎者（シングゲ著　同譯）
谷の影（同）

キンタ

聖者の泉（同）
西の人氣男（同）
山の神々（ダンセニイ著　同譯）
光の門（同）
女王の敵（同）
もしもあの時（同）

第二六卷　同
祕藏っ子（ロビンソン著　灰野庄平譯）
長男の權利（マアレイ著　小山内薫譯）
胡弓引の家（コラム著　灰野庄平譯）
鴉（グレゴリイ著　同譯）
金の林檎（同著　小山内薫譯）
月の出（同著　灰野庄平譯）

第二七卷　露西亞篇
檢察官（ゴーゴリ著　山内封介譯）
智慧の悲しみ（グリボエードフ著　同譯）
雷雨（オストローフスキイ著　同譯）
皇帝フヨードル・イオアンノヴイチ（ア・トルストイ著　同譯）

第二八卷　同
街道（チエーホフ著　高倉輝譯）
熊（同）
結婚申込（同）
三人姉妹（同）
ワーニヤ伯父（同）
櫻の園（同）

第二九卷　同
人の一生（アンドレーエフ著　昇曙夢譯）
我等が生活の日（同）

キンタ

殴られる彼奴（同）
死の勝利（ソログーブ著　同譯）
森の秘密（チリコフ著　同譯）

第三〇卷　同
戰爭（アルツイバーシエフ著　山内封介譯）
壁（ナイデヨーノフ著　同譯）
アゼフ（ア・トルストイ著　同譯）
聖者ドミニツクの火（ザミーチヤ著　同譯）

第三一卷　同
最も重要な事（エヴレイノフ著　同譯）
見世物小舍（ブローク著　同譯）
見知らぬ女（同）
壁（ネヴエーロフ著　同譯）
ステパン・ラーヂン（カーメンスキー著　同譯）

第三二卷　同
熊の結婚（ルナチヤルスキイ著　昇曙夢譯）
ミステリヤ・ブツフ（マヤコーフスキイ著　同譯）
コーリカ・スツーピン（アウスレンデル、ソロドフニコフ著　同譯）
玩具騒動（バルドーフスキイ著　同譯）
檢察官（エフレイノフ著　同譯）

第三三卷　同
闇の力（レ・トルストイ著　同譯）
生ける屍（同）
どん底（ゴーリキイ著　同譯）

第三四卷　同
リユボオウイ・ヤロワーヤ（トウレニヨコフ著　同譯）
十月革命（グローモフ著　同譯）
宣告（レヴイチーナ夫人著　同譯）

第三五卷　南歐篇
死市（ダヌンチオ著　堀口大學譯）
蠢魚（ベネエリ著　三浦逸雄譯）
御意にまかす（ピランデルロ著　岩田豐雄譯）
作者を探がす六人の登場人物（同）

第三六卷　同
伯爵夫人の驚き（ベナベンテ著　永田寛定譯）
日盛り（セーカ著　同譯）
かはいさうなフアン（シエルラ著　同譯）
太皷と小鈴（キンテイロ兄弟著　同譯）
ピグマリオンの親方（グラウ著　笠井鎭夫譯）
小さき泉（ブラツコオ著　三浦逸雄譯）

第三七卷　米國篇
楡の木蔭の慾望（オニイル著　鈴木善太郎譯）
銀ながし（ケリイ著　同譯）
計算器（ライス著　同譯）
陪音（ガアステンバアグ著　同譯）

第三八卷　中歐篇
リリオム（モルナアル著　同譯）
汽車の中（同）
近衞兵（同）
蟲の生活（チヤペツク著　同譯）
マクロポウロス家の秘法（同）
花婿（ビロー著　同譯）

第三九卷　英吉利篇
聖ジヨン（ショー著　野上豐一郎譯）
アンドロクルスと獅子（同著　松村みね子譯）
運命の人（同）

ウオーレン夫人の職業（同著　坪内逍遙譯）

第四〇卷　同
二度目のタンカレ夫人（ピネロウ著　澤村寅二郎譯）
銀の筺（ゴールズワージ著　同譯）
正しき裁き（同）
いがみあひ（同）

第四一卷　同
サロメ（ワイルド著　日夏耿之介譯）
ウキンダミーヤ夫人の扇（同著　谷崎潤一郎譯）
自由なフアンシイ（ハウトン著　小山内薫譯）
一里塚（ベネット著　灰野庄平譯）
船（アービン著　同譯）

第四二卷　同
ビイタアパン（バリイ著　澤村寅二郎譯）
ユーリシーズ（フイリツプス著　灰野庄平譯）
罰（ロージアース著　同譯）
旅の果て（シエリフ著　清野暢一郎譯）

第四三卷　同
ピムさん通れば（ミルン著　山本修二譯）
メアリ・ステユアアト（ドリンクヲオタア著　同譯）
風聞（マンロオ著　同譯）
家庭漫語（カワアド著　同譯）

別冊　舞臺寫眞帳　上、下

近代劇物語　柚山正雄　昭和四（世界文學物語叢書第六篇）　一　五六八　三八

近代月表　鈴木大（維新日誌第二期第五卷ノ内）　昭和九　二三四　二七一

キンタ

近代建國史　瀬川秀雄編　昭和五（世界興亡史論第一〇卷）　一　五一五　一三九

近代建築家選　今井兼次編　昭和四、五　二　五五三　九九

第一　エミール、フアーレンカムプ
第二　グンナル、アスプルンド

近代工藝名作集　關西篇　昭和五　山本湖舟寫眞工藝部編　一　六〇六　五一

近代國際政治史　古部百太郎　昭和八　一　六四九　六三

近代國文學素描　鈴木敏也　昭和九　一　六五五　一一八

近代國文學の研究　前島春三　昭和三　一　五八九　五

近代コント選集　秋田玄務譯註　昭和七（佛蘭西文學譯註叢書第一〇篇）　一　五四八　一四

近代秀歌　佐佐木信綱編　昭和六　一〇　二三三　三〇三

近代秀歌　藤原定家（群書類從第一六輯和歌部ノ内　昭和九）　五八三　一四

同（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内　昭和四）　五八四　五

近代思想十六講　中澤臨川、生田長江　昭和八（新潮文庫第七〇編）　一　六三〇　八

近代思想の動向と日本憲法　森吉義旭　昭和一〇　一八〇頁　一　六九三　一四九

近代詩辭典　附　諸家の作風　内藤午朗編　昭和八　一　六四五　四三

近代室内美術圖案　宮下孝雄編　昭和一二（圖案研究資料叢書第三）　一　五五五　五二

近代支那教育思想史　舒新城著　錢歌川譯　民國一九　一　二五五　三二

近代支那通商史論　リーマー著　木村幾次郎譯　昭和五　一　五九七　三三〇

近代支那の學藝　今關壽麿（天彭）　昭和七　一　五八〇　一六八

キンタ

		冊	函	號
近代詩の鑑賞	西條八十 昭和八（纖人形叢書第一）	一	六三	三七四
近代資本主義發達史論	上、下卷 ホブソン著 住谷悦治等譯 昭和七（改造文庫第一部第五四、五五篇）	二	五六九	一四三
近代資本主義發展史論	ホブソン著 松澤兼人等譯 昭和三	一	五八〇	六一
近代資本制發達史	ホブスン著 石井靜人譯 昭和三	一	五八〇	三六
近代情痴集	谷崎潤一郎 昭和三（新潮文庫第八編）	一	五六八	三一五
近代社會事業と方面・救護の實際	財部叶 昭和八	一	六三七	一〇三
近代社會思想の解說	國隈耕一郎 昭和八	一	五六九	四三七
近代趣味の床の間圖集	北尾春道 昭和八	一	六四八	七八
近代人の人生觀	人生哲學研究會編 昭和二	一	五七〇	三九
近代心靈學	平田元吉 昭和三	一	五三六	一四五イ
近代數寄屋住宅設計資料	北尾春道 昭和九	一	六一四	一五九
近代生活讀本	野口米次郎 昭和八	一	六三三	一〇七
近代政治思想と皇道	藤澤親雄 昭和一〇	一	六六六	三三一
近代政治の根本問題	吉野作造 昭和四（民衆政治講座第二四卷）	一	五八七	一一〇
近代青年の叛逆	リンジー著 內山賢次譯 昭和五	一	六〇三	八五
近代世界觀成立史	（封建的世界觀から市民的世界觀へ）上卷 ボルケナウ著 横川次郎、新島繁譯 昭和一〇 四四四頁	一	六九五	四六
近代日本畫名家圖錄	芸艸堂編 昭和一〇	特 一	三〇〇	四五
近代日本詩の史的展望	遠地輝武 昭和九	一	六六五	一四七
近代日本體育史	眞行寺朔生、吉原藤助 昭和三	一	二七六	四四四
近代日本哲學史	戸弘柯三 昭和一〇 三三〇頁	一	六八七	二三
近代日本農民運動發達史	（日本農民運動史上）木村靖二 昭和六（近代日本婦人文藝）	一	五九九	三七二
近代日本女流作家群像	生田花世 昭和四	一	五九六	一七三
近代日本文學研究	篠田太郎 昭和九	一	六五五	二一七
近代日本文學大系	國民圖書株式會社發行 昭和二至四（近代）第一至四卷	一八	五六〇	九

キンタ

		冊	函	號
近代戰爭論	神田孝一 昭和九	一	六七五	二九
同	昭和一〇 普及版 三五九頁	一	六七五	二九イ
近代村落の研究	小野武夫 昭和九	一	六七五	二四
近代短篇小說集	新潮社編 昭和四（世界文學全集第三六卷）	一	五四五	五六イ
近代住宅の樣式	大野貞三 大正一五	一	五三七	一七七
近代帝國主義と其侵略	プレブス・リーグ著 田畑三四郎譯 昭和四（近代）	一	五八七	一五九
近代帝國主義論	プレブス・リーグ編 內田佐久郎譯 昭和四（プレブス叢書第四册）	一	五六〇	三五
近代帝國主義論	プレブス・リーグ編 白揚社編輯部譯編 昭和一〇 三一二頁	一	六九二	二四
近代朝鮮政治史	高權三 昭和五（近代）	一	五八六	三三五
近代的角度	藏田周忠 昭和八	一	六四四	一七一
近代的建物の機械設備	ジヤパン・アドヴアタイザー新聞社編 昭和八（近代的家庭）	一	六五〇	一七五
近代的な小住宅	西川友孝 昭和五	一	六〇六	四四
近代的都市の重要任務たる運動競技場の建造	デイーム著 奬健會譯 再版 昭和二	一	二七六	四四三
近代店舗と陳列術	栗屋義純 昭和五（近代）	一	六〇八	一五七
近代獨逸憲法史	淺井清 昭和三	一	五九一	八
近代日本外交史	服部之總 昭和八	一	六三一	三三三
近代日本外國關係史	田保橋潔 昭和五	一	五七七	一四八

		冊	函	號
近代日本畫名家圖錄	芸艸堂編 昭和一〇	特 一	三〇〇	四五
近代日本詩の史的展望	遠地輝武 昭和九	一	六六五	一四七
近代日本體育史	眞行寺朔生、吉原藤助 昭和三	一	二七六	四四四
近代日本哲學史	戸弘柯三 昭和一〇 三三〇頁	一	六八七	二三
近代日本農民運動發達史	（日本農民運動史上）木村靖二 昭和六（近代日本婦人文藝）	一	五九九	三七二
近代日本女流作家群像	生田花世 昭和四	一	五九六	一七三
近代日本文學研究	篠田太郎 昭和九	一	六五五	二一七
近代日本文學大系	國民圖書株式會社發行 昭和二至四（近代）第一卷	一八	五六〇	九

第一卷　假名草子集

伊曾保物語
七人びくに
うすゆき物語
可笑記（如儒子）
仁勢物語（傳烏丸光廣）
他我身の上（山岡元鄰）
をさな源氏（野々口立圃）

第二卷　舞の本及古淨瑠璃集

舞の本（一）

硫黃が島
元服曾我
富樫
木曾願書
ふえのまき
いぶき
ふしみときは
敦盛
なすの與一
和田酒盛
未來記
馬ぞろへ
ほりかば夜うち
滿仲
うらみのすけ
尤之雙紙
あだ物語（平僞春）
たかだち
文覺
つきしま
やしま
入鹿
鞍馬出

古淨瑠璃

公平誕生記
四天王太田合戰
綱金時最後
四天高名物語
王
しやか八さう記
傾城二河白道
公平天句問答
京今宮御本地
和國女眉間尺
小袖そが

古脚本

傾城王昭君（市川團十郎）
小栗十二段（三升屋兵庫）
日本月蘆長者（富永平兵衞）
けいせい淺間嶽（傳中村七三郎）
百合草若大臣
笈さがし
鳥帽子折
かまだ
しづか
公平つるぎのりつくわ
たかだち五段
しんとく丸
公平化生論
善だう記
今川了俊
阿彌陀胸割
酒天童子
さんせう太夫

第三卷　井原西鶴集

好色一代男
好色一代女
武道傳來記
世間胸算用
西鶴織留
西鶴俗つれ〴〵
好色五人女
本朝二十不孝
日本永代藏
西鶴諸國ばなし
浮世草子集
花の名殘

第四卷　淨瑠璃集

滿仲

御前義經記（西澤一風）
女大名丹前能（同）
難波榮大門屋敷（錦文流）
長者色道懺悔男（善教寺猿算）
伊達髪五人男（西澤一風）
關東名殘の袂（忍岡やつがれ）
美景蒔繪の松（市中軒）
古今堪忍記（白梅園鶯水）
今樣二十四孝（月尋堂）
日本新永代藏（鳳城團水）

第五卷　八文字屋集
傾城色三味線（江島其磧、安藤自笑）
風流曲三味線（同）
傾城歌三味線（同）
傾城禁短氣（安藤自笑）
鎌倉諸藝袖日記（江島其磧、安藤自笑）
世間子息氣質（江島其磧）
浮世親仁形氣（江島其磧、安藤自笑）
世間母親容氣（多田南嶺）

第六卷　近松門左衞門集　上
出世景清　大覺僧正御傳記
百日曾我　當流小栗判官
蟬丸　賀古教信七墓廻
曾根崎心中　源五兵衞薩摩歌
心中重井筒　雪女五枚羽子板
傾城反魂香　心中二枚繪草紙
道具屋緋縮緬卯月桧　堀川波鼓
おかめ
あとお
ひ心中　高野山心中萬年草
卯月の潤色　女人堂
おなつ
丹波與作待夜の小室節　清十郎五十年忌歌念佛

淀鯉出世瀧徳　二郎兵衞今宮心中
心中刃は氷の朔日　おきさ
忠兵衞冥土の飛脚　夕霧阿波鳴門
梅川嫗山姥　吉野都女楠
傾城吉岡染　長町女腹切
嵯峨天皇甘露雨　娥歌加留多

第七卷　同　下
おさん大經師昔暦　嘉平次生玉心中
茂兵衞　おさが
父は唐土國姓爺合戰　槍の權三重帷子
母は日本　山崎與次兵衞壽の門松
聖徳太子繪傳記　傾城酒呑童子
曾我會稽山　平家女護島
博多小女郎波枕　雙生隅田川
傾城島原蛙合戰
紙屋治兵衞心中天の網島
きいの國屋小春
後太平記四十八卷目津國女夫池
女殺油地獄　信州川中島合戰
心中宵庚申　關八州繋馬

第八卷　名作淨瑠璃集　上
八百屋お七（紀海音）
椀久末松山（同）
鎌倉三代記（同）
太平記曦鎧（竹田出雲等）
傾城無間鐘（紀海音）
須磨都源平躑躅（松田和吉、長谷川千四）
鬼一法眼三略卷（同）
蘆屋道滿大內鑑（竹田出雲）
御所櫻堀川夜討（松田和吉、三好松洛）
逆鱗松ひらがな盛衰記（竹田出雲等）
矢旗梅

菅原傳授手習鑑（竹田出雲等）
大物船矢倉義經千本櫻（同）
吉野花矢倉假名手本忠臣藏（同）
雙蝶々曲輪日記（同）

第九卷　同　下
一谷嫩軍記（並木宗輔等）
奥州安達原（竹田和泉等）
武田信玄長尾謙信本朝二十四孝（近松半二等）
高師直太平記忠臣講釋（同）
鹽冶判官太平記忠臣講釋（同）
關取千兩幟（同）
傾城阿波の鳴門（同）
神靈矢口渡（福内鬼外）
十三鐘妹脊山婦女庭訓（近松半二等）
絹懸柳
おそめ
久松新版歌祭文（近松半二）
伊賀越道中雙六（近松半二、近松加作）
姉は宮ぎの妹はしのぶ　碁太平記白石噺（紀上太郎、烏亭焉馬）

第一〇卷　脚本集
御ひいき勸進帳（櫻田治助）
三十石艤始（並木正三）
五大力戀緘（並木五瓶）
油屋おこん　貢
福岡　伊勢音頭戀寢刃（近松德叟）
隅田川花御所染（鶴屋南北）
いろは假名四谷怪談（同）
與話情浮名横櫛（瀨川如皐）

第一一卷　洒落本代表作集
異素六帖（无々道人）
聖遊郭
遊子方言（田舍老人多田翁）
郭中奇譚（臼岡先生）

辰巳之園（夢中山人）
南閻雜話（同）
寸南破良意（南鐘堂一片）
寶花新驛（朱樂菅江）
中洲雀（道樂散人無玉）
妓者呼子鳥（田にし金魚）
美地の蠣殻（蓬萊山人歸橋）
芳深交話（穴好）
喜夜來大根（梨白散人）
富賀川拜見（蓬萊山人歸橋）
眞女意題（森羅萬象）
世界の幕なし（本膳亭坪平）
和唐珍解（唐來參和）
古契三娼（山東京傳）
吉原楊枝（同）
通言總籬（同）
一目土堤（内新好）
自惚鏡（振鷺亭）
驛路廻しまくら（山手山人）
風俗面美多勸身（郭通交、同集交）
傾城買四十八手（山東京傳）
京傳予誌（同）
文選臥坐（同）
手段詰物娼妓絹籠（同）
富岡八幡鐘（かはきち）
南品傀儡（青海舍主人）
青樓畫錦之裏（山東京傳）
の世界
郭の大帳（同）
洞房繁々千話（同）
妓談

深泉仲街艷談（戯家山人）
遊子の蝶（關東米）
玉大抵御覽（朱樂菅江）
新○學問（紀南子）
宿石場辰巳婦言（式亭三馬）
妓談船頭深話（同）
船頭部屋（同）
やまあらし（柳亭種彦）

第一二卷　黃表紙集

茶歌舞妓茶目傘（芝全交著　北尾政美畫）
文武二道萬石通（喜三二著　行磨畫）
將門時代世話二挺鼓（山東京傳著　行磨畫）
秀郷石之上三之助辛抱（樹下石上著並畫）
內辨慶堪忍帳（櫻川慈悲成著　歌川豐國畫）
夫南木太平記向鉢卷（式亭三馬著　歌川豐國畫）
是蜃氣俠太平記向鉢卷（式亭三馬著　歌川豐國畫）
諸色呑込多靈寶緣記（山東京傳著　歌川豐國畫）
買帳
又燒直稗史億說年代記（式亭三馬著並畫）
鉢冠姬
衣食住
三箇圖世帶評判記（曲亭馬琴著　歌川豐國畫）
思ひ付いたり五郎兵衛商賣（南陀伽紫蘭）
替つたり
紅皿欠皿往古噺（觀水堂丈阿）
右通
金銀先生夢中の印噺（勝川春章）
愚而而
長生見度記（喜三二）
皆運先生
歲々花似八代目桃太郎（古河三蝶）
金々先生榮花夢（戀川春町）
當年積而
漢國
高慢齋行脚日記（同）
無體此奴和日本（四方山人）
鼻峯高慢男（喜三二）
御手料理
御知而已
敵打女鉢木（蓬萊山人龜遊）
大悲千錄本（芝全交）
桃太郎後日噺（喜三二）
順廻能莫切自根金生木（唐來三和）
親敵討腹鼓（同）
名代家寶錦商內（戀川好町）
元利安寶錦商內（戀川好町）
辭闘戰新根（戀川春町）
江戶生艷氣樺燒（山東京傳）
三幅對榮曾我（同）
鳩八幡豆と德利（戀川好町）

楠無益委記（同）
怪談豆人形（文溪堂）
金銀先生再寢夢（戀川春町）
善光寺通鳧寢子の美女（南陀伽紫蘭）
御利生
叉化狐通人（伊庭可笑）
近頃鳥めぐり（市場通笑）
曾口返答返（同）
本の能見世物（同）
鑓入七
人化粧
當世大通佛買帳（芝全交）
通一寸女智（同）
息子一粒萬金談（喜三二）
妙藥
四天王大通仕立（是和齋）
通增安宅關
昔男を通風伊勢物語（伊庭可笑）
寫して
夫從以來記（竹杖爲輕）
夫れは小倉山景清百人一首（喜三二）
是れは鎌倉山
手前御存商寶物（山東京傳）
勝手
思ひ付いたり五郎兵衛商寶（南陀伽紫蘭）
替つたり
右通
愚而而
長生見度記（喜三二）
歲々花似八代目桃太郎（古河三蝶）
當年積而
漢國
無體此奴和日本（四方山人）
御手料理
御知而已
順廻能莫切自根金生木（唐來三和）
名代家寶錦商內（戀川好町）
元利安寶錦商內（戀川好町）
江戶生艷氣樺燒（山東京傳）
鳩八幡豆と德利（戀川好町）

色男十人三文（櫻川杜芳）
面向不背御牢玉（森羅亭萬象）
龜山人家妖（喜三二）
悅鼎屓蝦夷押領（戀川春町）
復讎後祭記（山東京傳）
仁田
四郎富士之人穴見物（同）
天下一面鏡梅鉢（唐來參和）
孔子縞干時藍染（山東京傳）
地獄
一面照子淨頗梨（同）
拜壽仁王參（芝全交）
大極上
請合藥心學早染草（山東京傳）
京傳憂世之醉醒（同）
壬生狂言直讀見臺萩（芝全交）
唐本寢言
世上洒落見給圖（山東京傳）
京鹿の子娘鄙汁（芝全交）
二十日餘盡用而二分狂言（曲亭馬琴）
四十兩
廬生夢魂其前日（山東京傳）
浮世操九面十面（芝全交）
長物語
後篇
榮華夢金々先生造花夢（山東京傳）
後日噺
天道浮世出星操（式亭三馬）
怪談筆始（十遍舍一九）
作者根元江戶鹵（櫻川慈悲成）
竈將軍勘略卷（時太郎可候）
貧福螭蛤返（十遍舍一九）
昔男
生得這奇的見勢物語（山東京傳）
敵討蚤取眼（曲亭馬琴）

第一三卷　怪異小說集

雨月物語（上田秋成）

伽婢子（瓢水子松雲）
拾遺伽婢子（柳絲堂）
曾呂利物語
百物語評判（梶川常政、杉原正範）
狗張子（了意）
諸國新百物語（俳林子）
玉帚木（林義端）
金玉ねぢぶくき（章化堂）
太平百物語（菅生堂人惠忠）

第一五卷　曲亭馬琴集　上

復讎
小說月氷奇緣
雲妙問雨夜月
三七全傳南柯夢

第一六卷　同　下

俊寬僧都島物語
夢想兵衛胡蝶物語
青砥藤綱摸稜案

第一七卷　式亭三馬集

諢話浮世風呂
流轉
數回
古義物語
四十八癖
人間萬事虛誕計

第二〇卷　爲永春水集

梅曆
發端
春色惠の花
梅曆
餘興
春色辰巳園
春色梅美婦禰

第二五卷　日本小說年表　附總目錄

日本小說書目年表　附索引（山崎麓編）
日本小說作家人名辭書（同）

春色梅兒譽美
春抄
婿景
英對暖語
風月
花情春告鳥

		冊	函	號
近代日本文學大系	近代日本文學大系總目錄			
	誠文堂編　昭和七至九　普及版	一四	六二九	二八
第一卷	假名草子集			
第二卷	古淨瑠璃及舞の本集			
第三卷	井原西鶴集			
第四卷	八文字屋集			
第五卷	近松門左衞門集（上）			
第六卷	同（下）			
第七卷	名作淨瑠璃集（上）			
第八卷	同（下）			
第一二卷	式亭三馬集			
第一三卷	十返舍一九集			
第一五卷	曲亭馬琴集（上）			
第一六卷	柳亭種彥集			
第一七卷	狂文俳文集　再版			
第二〇卷	爲永春水集			
近代日本文學の鳥瞰	橘文七　昭和一〇　三三六頁	一	六八一	三四
近代日本文章史	瀨古確　昭和一〇　三九二頁	一	六七九	六八
近代の金屬材料	濱住松二郎　昭和四	一	五六七	二七
近代の事務家具	木檜恕一　昭和五	一	五六二	一五四
近代の陶磁器と窯業	鹽田力藏　昭和四	一	五九七	四〇
近代の戀愛觀	厨川白村　昭和八（改造文庫第一部第九〇篇）	一	五六九	一四三
近代俳句研究	宮田戊子編　昭和九	一	六六五	三〇
近代俳句選集	水野豐（六山人）編　五版　昭和四	一	五六八	四二九

		冊	函	號
近代犯罪科學全集	武俠社發行　昭和四、五			
第二篇	理化學鑑識法（乙葉辰三）			
	刑事寫眞（金澤重威）			
	指紋法（山口信夫）			
第三篇	犯罪搜査法（有松清治、出口安二）			
第四篇	變態心理と犯罪（中村古峽）			
第五篇	女性と犯罪（野添敦義）			
第六篇	暗殺、革命、動亂（喜多壯一郎）			
第七篇	犯罪鑑定餘談（淺田一）			
第八篇	法醫學短篇集（小南又一郎）			
第九篇	賣淫、掏摸、賭博（喜多壯一郎、尾佐竹猛）			
第一〇篇	犯罪者の心理（金子準二）			
第一一篇	殺人と性的犯罪（加藤寬二郎、荒木治義）			
第一二篇	血液型と親子鑑定、指紋學（古畑種基）			
第一三篇	刑罪珍書集　第一（原胤昭編）			
第一四篇	同　第二（尾佐竹猛編）			
第一五篇	演劇と犯罪（飯塚友一郎）			
近代婦人運動概說	原田實　昭和八（女性日本叢書第二）	一	六五一	三一
近代佛蘭西繪畫論	クウルテイヨン著　稅所篤二譯　昭和六	一	六〇六	二〇五
近代佛蘭西詩集	大木篤夫譯　昭和三	一	五八二	一〇九
近代佛蘭西彫刻集	堀義二編　昭和二	一	五二四	六二〇
近代文學十講	厨川白村　昭和八（改造文庫第一部第九三篇）	一	五六九	一四三
近代文學全論（名作一選集）	上、下　昭和二　文學評論刊行會編	二	五一七	六〇六
近代文學の一形態としての短歌	（土岐善麿論の前奏）　大熊信行　昭和二	一	五二四	五三六

		冊	函	號
近代文學の精神	ベルジウ著　藤森哲郎、永田逸郎譯　昭和九	一	六五五	三六
近代文化と性生活	杉田直樹　昭和六（性科學全集第二篇）	一	六一三	三
近代文藝十二講	生田長江等　三六版　昭和三	一	五三九	一六
同	昭和八（新潮文庫第六九編）	一	六三〇	八
近代文藝選集	健文社發行　昭和二	三	五四八	五二
第六編	ゼルネ氏（ルナール著　梅原稔藏譯）			
第七編	或中尉の手記（クープリン著　葉河憲吉譯）			
第八編	忘られたる人々（ピンスキー著　葉河憲吉譯）			
近代文明と基督教	ニープル著　栗原基譯　昭和三（基督教思想叢書第一輯第一卷）	一	五九二	九八
近代民主政治	第一至四卷　ブライス著　松山武譯　昭和四、五（岩波文庫五一二—五一三）	四	五六九	一四
近代名家歌集	日本文學叢書刊行會編　昭和四（新釋日本文學叢書第二輯第九卷）	一	五七四	三
近代名家文集	日本文學叢書刊行會編　昭和四（新釋日本文學叢書第二輯第八卷）	一	五七四	三
近代名曲解說	柿沼太郎　昭和八	一	六四三	六
近代明色	新居格　昭和四	一	五九六	一四四
近代艷隱者	井原西鶴著　正宗敦夫校（西鶴全集第二卷ノ內）　昭和六	一	五四三	一二三
近代唯物的社會觀の發展	加田哲二　昭和六	一	五九一	二八三
近代唯物論史	プレハノフ著　稷本讓輔譯　昭和二（社會思想叢書第一〇編）	一	五三九	五五
近代よおろづは經濟史	第一　宮崎力藏　昭和八	一	六四四	一六一
近代ラグビーの見方	小高吉三郎、池上忠　昭和六	一	六〇六	一九四

		冊	函	號
近代戀愛大觀	後藤亮一編　三版　昭和二	一	五七五	三三
近代戀愛帖	十一谷義三郎　昭和六（新でかめろん叢書第六）	一	六一三	五四
琴堂諭俗編	宋、鄭玉道　民國二三　影印　二卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 一	八四四	一〇八
公忠朝臣集	源公忠（群書類從第一一輯和歌部ノ內　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一一卷和歌部ノ內　昭和三）		五八四	五
金太郎	歌川國芳畫　寫　版下本	特 一	〇一	五
金太郎藏開繪	〔月岡〕芳年畫　明二四	別 三	三六	三六
禁中樣女中裝束記	寫	特 枚 三	別 七	二六四
銀・通貨爲替論	（各國別—支那・滿洲）　大槻爲八　昭和一〇　六四〇頁		一〇	八四一
欽定協紀辨方書	清、允祿等奉勅撰〔乾隆年間〕		一	六九五
欽定西清砚譜	民國二三　影印　二四卷（四庫全書珍本初集ノ內）	特 二五	〇	さ
欽定錢錄	清、紀昀等奉勅撰〔乾隆年間〕	特 二〇	〇	八四四
欽定熱河志	卷一至卷一二〇　昭和九　重刊		〇	八四一
欽天山氣象臺落成紀念刊	同臺編　民國一八		〇	二六
近東アフリカ經濟事情調査報告	近東の部、アフリカの部　外務省通商局編　昭和五		二	一四、六
近東經濟事情	外務省通商局編　昭和二		二	五六三
金と銀	岩崎重三　昭和九（新經濟全集第一七）		一	五六一
			一	六五九

書名		冊	函	號
金と銀	一九三一年の問題　新聞聯合社編　昭和六	一	五九〇	四三九
銀と支那	ピンニック著　伊丹佐一郎譯　昭和六	一	五九九	三六〇
金と人	石山賢吉　昭和一〇　三六八頁	一	六八八	一〇二
金と物價	昭和二（我等叢書別册第二）	一	五六〇	一〇
金と物質	ヴアルガ等著　笠信太郎譯　昭和七	一	六二一	二〇
近二十年來の支那外交	支、王正廷著　天彭生譯　昭和三	一	五七九	一六七
近年諸國咄	井原西鶴著　正宗敦夫校（西鶴全集第二卷ノ内　昭和六）	一	五四三	一二
金の風車	田中ナナ　昭和八	一	六三三	一六五
金の經濟學	猪俣津南雄　昭和七	一	六二一	六三
金幣猿島都	鶴屋南北（大南北全集第一五卷ノ内　昭和二）	一	五三九	八
同			五三九	八イ
銀の匙	中勘助　昭和一〇（岩波文庫一二五〇—一二五一）	一	五六九	一四
金の社會學	井上吉次郎　昭和七	一	六三四	七八
「金」の社會問題	赤神良讓　昭和五	一	六〇七	五八
金の知識	原田三夫　昭和九	一	六六〇	五〇
銀の壺	川島つゆ（沼田いし）　昭和一〇　一〇九頁	一	六八一	九〇
銀の話	中外商業新報社編　昭和一〇　一一七頁	一	六六六	三三九
銀の悲喜劇	新聞聯合社編　昭和一〇　六四頁	一	六六六	三一六
「金」の武裝抗爭	繪所陣平　昭和七	一	六二一	四〇

書名		冊	函	號
金の王座	新聞聯合社編　昭和八	一	六三一	二〇六
金波津山蒲原淨光寺法寶物寫眞集並寺史	上卷　蒲原靈英編　昭和九	一	六五三	三一九
禁祕御鈔階梯	滋野井公麗（新註皇學叢書第五卷ノ内　昭和二）		五五五	四五
禁祕鈔	順德天皇（群書類從第二六輯雜部ノ内　昭和四）		五八三	一四
同	（新校群書類從第二〇卷雜部ノ内　昭和四）		五八四	五
公平化生論	（近代日本文學大系第二卷ノ内　昭和三）		五六〇	九
同	昭和八		六二九	二八
公平誕生記	（近代日本文學大系第二卷ノ内　昭和三）		五六〇	九
同	昭和八		六二九	二八
公平つるぎのりつくわ	（近代日本文學大系第二卷ノ内　昭和三）		五六〇	九
同	昭和八		六二九	二八
公平天句問答	（近代日本文學大系第二卷ノ内　昭和三）		五六〇	九
同	昭和八		六二九	二八
公平往來	不言齋周曉　文政三	一〇	一三〇	一五一
錦譜	第一、二　龍村平藏　昭和二	二	一七六	三九イ
金文叢攷	郭沫若　昭和七	四〇	二二七	六〇
金文餘釋之餘	郭沫若　昭和七	一〇	二一五	一三九
金本位恐慌後の投資對策	勝田貞次　昭和八	一	六三四	一八八

書名		冊	函	號
金本位制動搖と日本金融の將來	高島佐一郎　昭和六	一	五九九	三八七
金本位制と其將來	グレゴリー著　高木壽一、杉田久雄譯　昭和九	一	六六〇	一〇三
金本位制と中央銀行政策	田中金司　昭和四	一	五九一	一七六
金本位制度の研究	高垣寅次郎（銀行叢書第一〇編）　昭和四	一	五〇八	三〇
金本位制度の理論と實際	ホートレー著　宮川貞一郎譯　昭和六	一	六〇七	二九八
金本位制の解剖と世界景氣の恢復策	森本喜太郎　昭和六	一	五九九	三三一
金本位制の研究	東洋經濟新報社編　昭和七	一	六二一	七六
金本位制の沒落?	木村禧八郎　昭和五	一	六〇七	一七一
金本位通貨論	春日井薫　昭和九	一	六四九	三〇六
金本位ブロック概觀	時務研究會編　九三頁　昭和一〇	一	六六六	二九七
金問題概論	栃倉正一　昭和九（新經濟全集第一六）	一	六五九	二三
金問題研究	松岡孝兒　昭和八	一	六四九	一〇九
金問題と戰後に於ける金本位制	ムリナルスキー著　車谷馬太郎譯　昭和六	一	五九九	三四六
禁門の變	土師清二　昭和一〇（維新歴史小說全集第五卷）	一	六七七	一三
金輸出解禁問題	山崎靖純　昭和四	一	五八七	一六四
金輸出解禁問題に關する參考資料	附 政府編纂文書目錄（產業資料第二篇）　東京商業會議所編　昭和二	一	一四、五	二〇二
金輸出解禁論	藤田廣　昭和三	一	五八六	二〇四

書名		冊	函	號
金輸出再禁止是非の二人論爭	勝田貞次、高橋龜吉　昭和六	一	六〇七	二五九
金輸出再禁止論	高橋龜吉　昭和五	一	五八六	三四三
勤勞を中心とせる自給自足の農民教育	相原言三郎　昭和八	一	二九一 三	二一
勤勞學校と教育の實際	小澤伴藏　昭和七	一	二五三	五五〇
勤勞教育	武部欽一　昭和四	一	二五三	四一二
勤勞教育生產教育小學校勞作園の經營	城五平　昭和一〇	一	二九一 四	一八
勤勞教育の原理と實際	山口女師附屬小學校編　昭和五	一	二五三	四六二
勤勞教育の實際	平戶喜太郎　昭和八	一	二五三	六九〇
勤勞教育の理論と實際	教育研究會編　昭和四	一	二五三	四三三
金樂寺と吉備神社	小林辰藏　昭和七	一	六三一	七
金龍山景物三百詩	文久仙人（淺田澱橋）　三九頁　昭和一〇	一〇	三〇二	一四〇
金龍山景物百詩	文久仙人（淺田澱橋）　昭和五	一〇	二一三	五九五
金龍山淺草寺寶物寫眞帖	淺草觀音信奉會編　昭和九	一〇	四二九	五
禁裡歌合（建保二年七月二日當座）	（新校群書類從第九卷和歌部ノ内　昭和五）		五八四	五
禁裏御指圖	（嘉永三年寫）　八五・九〇×八一・〇〇	一枚	を二	一三九
金利概論	高城仙次郎　昭和四	一	五九一	七一
金利計算表	附對數表　青木倫太郎編　昭和九	一	六六二	五五
金陵遊記		一〇	二二七	五四
金陵會議	（一名四國會議）　宮地美彦　昭和九　謄寫版　再版	一〇	二一五	三五〇

	冊	函	號
金力・權力・武力　清水芳太郎　昭和八	一	六四四	一二四
金力と人間生活　ヘンダーソン著　橘源太郎譯　昭和七	一	六三四	五七
金利論大要　高城仙次郎　昭和三（銀行叢書第八編）	一	五〇八	三〇
菌類界の特異現象　附栽培・檢索　松浦勇　昭和七	一	六一七	九三
銀嶺征服（獨和對譯）　ウェンツラー著　山科正美譯　昭和九（平原社トーキー・シリーズB第六卷）	一	六五一	二七
銀嶺に立つ（山岳短篇一）　坂部護郎譯編　昭和八	一	五七七	一二八
銀嶺に輝く　報告と追悼（窪田、田部兩君追悼記念）　東大運動會スキー山岳部編　昭和五	一	六三九	一三三
均暦法　支、虞和寅	一	五七六	一〇八
勤王阿蘇家の活躍の矢部史話　卯野木卯一良　昭和九	一	六三一	四〇一
勤王家吉田大八先生　佐々木忠藏　昭和八	一	六四〇	一五五
勤王思想の發達　本多辰次郎　昭和三	一	五三六	三三三
勤王別格官幣社精史　日本圖書刊行會編　昭和一〇	一	四二九	八
勤王諸家詩歌集（新註皇學叢書第九卷ノ內　昭和三）	一	五五五	四五

〔ク〕

愚庵歌稿の研究　若林幽草（繁太郎）　昭和一〇	一	六七三	二〇五
愚暗記返札の研究　附錄（愚暗記上・愚暗記返札上、下）藤季淫　昭和一〇	一	六八三	一七六
巢巷集　元、同恕　民國二三　影印（四庫全書珍本初集ノ內）　一五卷	特	〇六	
愚庵全集　天田鐵眼　昭和三	一	八四四	一九七
	一	五五八	九一

巡禮日記　一
東海遊俠傳（一名次郎長物語）　一
愚庵和歌　一
愚庵詩稿　一
血寫經（合藏學人）　一
同　補訂再版　昭和九　一　五五八　九（イ）
九一堂叢書　菅原七郎編　昭和二至四　五　五四九　八一
第三編　比登農古乃世　一
釋尊五百大願鈔　一
かな說法（繁笛）　一
法語集（一）　一
五十音と悉曇（無中邊）　一
祓の意義　一
隨喜帳（一）　一
佛說阿彌陀經　一
神道要語　一
第四編　洞上五位正偏普說（洞山悟本）　一
雙龍大和上垂示　一
法語集（二）　一
念佛は佛の密意生佛同躰の大悲の結晶なる事　一
朝見式御勅語の大要（加藤咄堂）　一
隨喜帳（三）　一
佛說四十二章經（迦葉摩騰竺法蘭譯）　一
第五編　發菩提心　一
孝道　一
現今の一念心　一
無所得の心　一
法語集（四）　一
三心具足　一
隨喜帳（四）　一
佛遺敎經（鳩摩羅什譯）　一
第六編　情量を離るべし　一
邪正問答鈔（明慧）　一
法語集（五）　一
隨喜帳（五）　一
能曾喜加良久理　一
第七編　六祖神秀得法偈評唱　一
念佛往生要義抄　一
讀歎章（關通）　一
蛟行詩（欽光）　一
蛟行詩假名鈔　一
隨喜集袈裟功德及受持法（村上素道）　一
九・一八前後　村上知行　昭和一〇　四〇八頁　一　六〇九　四一八
空海及び其他　武者小路實篤　昭和九　一　六六五　三五
空間及時間論　ブレンターノ著　和田治平譯　昭和七（哲學論叢第四四）　一　五八四　一九
空間學習の原理と方法　加藤重義　昭和七　一　二六三（四）　一七一
偶感雜話　藤田國馨　昭和九　一　六六六　一三〇
空氣の壓搾機の理論と實際　數森敏郎　昭和三　一　五八八　七〇
同　補三版　昭和八　一　五八八　七〇（イ）
同　補三版　昭和八　一　五八八　七〇（ロ）
空氣制動機　石井貞次　昭和七　一　六一七　一八三
空氣制動機の取扱及檢修　原田弘　昭和三　一　五七三　一九四
空氣制動機問題集　岡本愼治　昭和二　一　五六四　三二七
空氣の衞生展覽會抄錄　東京市衞生試驗所編　昭和五　一　六〇四　一六五
空氣の調濕・乾燥・抽出　龜井三郎　昭和一〇（化學工學講座第一〇）　一　六八九　六九
空軍　大場彌平　昭和八　一　六四八　三三
空軍支那の秘密　國際經濟研究所編　昭和九　一　六六六　二三
空想より科學へ（エンゲルス）　エンゲルス著　淺野晃譯　昭和五（岩波文庫六七八）　一　五六九　一四
空襲!!　保科貞次　昭和六　一　六〇六　四一八
同　昭和八　一　六〇六　四一八（イ）
空襲と國民の生命　シルール著　松浦剛譯　昭和九　一　六七五　六九
空襲と帝都防衞　西田龜次郎　昭和九　一　六六六　六一
偶然性の問題　九鬼周造　昭和一〇　三三一頁　一　六九五　三一
偶然と文學　中河與一　昭和一〇　三五一頁　一　六九三　四〇
空中交通論　楢崎敏雄　昭和三　一　五七三　一七七
空中航法講義錄　龍登義雄　昭和八　一　六四二　二七四
空中・化學戰と非戰鬪市民　イザール等著　荒木武夫譯　昭和八　一　六四二　九三
空中國防　川島清治郎　昭和三　一　五八六　一一四
同　三版　昭和四　一　五八六　一一四（イ）
空中時代に於ける極東民族の將來　伊勢谷次郎　昭和八　一　六五三　一五八

空中襲撃に對する國民の準備　宇山熊太郎　昭和七　一冊　函　六一七　八二
空中紳士　土師清二等　昭和四　一　五八九　七九
空中征服　賀川豐彦　昭和三　一　五八二　三一
空中戰英雄物語　中島武　昭和六　一　六〇三　二六一
空中戰爭論　檜崎敏雄　昭和八　一　六四一　三九
空中戰の知識　生田乃木次（萬有知識文庫第四三）　昭和九　一　六六四　一
空中戰法規論　山名壽三　昭和一〇　一　六三三　七一
空中戰物語　シュタルク著　大竹二郎、富永豐文譯　昭和九　一　六五七　二一九
空地協同ノ指針　尾畑定一、河原利明　昭和三　一　三一九　四七五
グーデルマンの角及双曲線函數表　坂九左馬太　昭和九　一　六七五　八〇
空に徹するもの　高神覺昇　昭和三　一　五三六　二九二
空の空なる哉（傳道之書解釋並に解說）　内村鑑三　昭和二　一　五七〇　一三三
空也上人と八葉寺　眞田市郎　昭和七　一　三七三　六五九
苦力頭の表情　里村欣三（文壇新人叢書第一〇篇）　昭和二　一　五五〇　一五六
クールベ畫集　裕伊之助編（西洋名畫家選集第七）　昭和八　特一　六二八　五三
グウルモン詩抄　堀口大學譯　昭和三　一　五八五　三四
グウルモンの言葉　堀口大學譯　昭和六　一　六二一　一一八
クーレ・ワムペ（獨和對譯）　ドデュドォ著　山科正美譯　昭和九（平原社トーキー・シリーズB第三卷）　一　六五一　二七
狗氳氤附近地形及地質圖　臺灣總督府殖產局製　昭和六　六六・〇五×五二・五〇　一枚　三七二　四三

クオ・ヴアヂス　センキウキッチ著　直木三十五譯　昭和五（世界大衆文學全集第五六卷）　一　五六九　六一
クオ・ヴヂイス　シエンキーヴイッチ著　木村毅譯　昭和三（世界文學全集第二五卷）　一　五四五　五六
クオレ（愛の學校）　アミーチス著　前田晃譯　昭和四（岩波文庫四五七―四六〇）　二　五六九　一四
久遠の像　加藤武雄（新潮文庫第四三編）　昭和八　一　六三〇　八
久遠の女性　小原國芳編（例話全集第三卷）　昭和四　一　五八三　四一
久遠への鄕愁　迎田俊雄　昭和八　一　六二九　二四六
愚耕園遺稿　水原政次　昭和六　一　六〇四　四五七
句稿消息　小林一茶（一茶叢書第七編ノ内）　昭和三　五四八　五九
句稿消息　小林一茶（一茶叢書別編第三）　昭和三　複製　一　六三　一三〇
矩合樞要　野村逸齋訂補　昭和八　謄寫版　一　二五　一九一
愚句老葉　宗祇　寶永元　二〇六丁　特一　み　一六
久々利村誌　同編纂會編　昭和一〇　三三四頁　一　六八〇　一〇三
苦瓜和尙神品　博文堂編　昭和二　一　四三〇　九二
九月十九日至十一月十五日　東三省ニ於ケル官兵匪賊暴擧實例　大連商工會議所編　昭和六　一　五七六　一九九
苦瓜妙諦（石濤山人）　東方繪畫協會編　昭和二　一　四一三　四七
愚管抄　慈圓著　三教書院編輯部編　昭和一〇　三〇〇頁　一　六七　四五一
愚管抄評釋　中島悅次　昭和六　一　六一一　一三

公家衆參向御賄御定帳　寫　一　一三六　二三六
弘決外典鈔　附　成簣堂所藏寶永對校本　昭和三　一〇　五　一八三　五五八
臘軒集　宋、王迥　民國二二三　影印（四庫全書珍本初集ノ内）　一六卷　特一〇　八四四　一六六
草　恩田幸夫　昭和四　一　五九六　六
草を歩みて　吉田絃二郎　昭和五　一　六〇三　一九四
卉篋（歌集一）　仁木士弘　昭和八　一　六三一　三二四
久坂玄瑞（松下村塾之偉人一）　橋本義亮編　昭和九　一　六四〇　二〇九
草川信童謠全集　第一輯　同人　昭和六　一　六一四　九七
日下義雄傳　同編纂所編　昭和三　一　五七七　七六
草桐（歌集）　井阪曉美　昭和七（曼陀羅叢書第一）　一　六二九　二四
稗史億說年代記（又燒直一鉢冠姬一）　式亭三馬著並畫（近代日本文學大系第一二卷ノ内　昭和二）　五六〇　九
草雙紙選　尾崎久彌編　昭和七（改造文庫第二部第一六八篇）　一　五六九　一四三
草雙紙と讀本の研究　水谷不倒　昭和九　一　六五五　二七
艸茂る　鈴木光毅　昭和四　一　五八九　八八
草戶記（備後叢書第五卷ノ内　昭和五）　五七七　六三
草と藝術　金井紫雲　昭和六　一　五九七　四〇五
草に祈る　櫻井忠溫　昭和二　一　五五六　二八四
草にをどる（歌集一）　生野源太郎　昭和九　一　六五六　二一四

草になる　嘉納とわ　昭和九（詩歌叢書第二二篇）　一　六一三　六四
草にしき　中島千代子　昭和一〇　一九四頁　一　六八一　一一九
草に醉ふ者（隨筆一）　宮崎安右衞門　昭和五　一　五九五　三三四
草の葉（ホキツトマン詩集一）　ホキツトマン著　有島武郎選譯　昭和九（岩波文庫一〇五三―一〇五四）　一　五六九　一四
草の葉（ホキツトマン詩集一）　ホキツトマン著　長沼重隆譯　昭和四　一　五九六　一七五
草の葉　ホイツトマン著　堀井梁歩譯　昭和六　一　五九六　二八一
草の花　富安風生（謙次）　昭和八　一　六四三　二四二
草の葉は歌ふ（感想集一）　吉田絃二郎　昭和八　一　六四三　五三
草の實叢書　草の實社編　昭和八　一　六五一　三〇
第七篇　選集新月抄
草花いぢり　服部憲治（嵯峨野笠杖）　昭和六　一　六〇六　三〇四
草花栽培趣味の園藝十二月　附　盆栽の祕訣　由多仁吉之助　昭和四　一　五八六　二八一
草花栽培の話　吉津良恭（花卉叢書第四編）　昭和四　一　五六四　一八八
草花庭木の作り方　小林素軒　再版　昭和二　一　五二八　二三ィ
草花の副業栽培　石井勇義　昭和二　一　五七一　一四一
草花のフレーム栽培　淺川英一　昭和三　一　五八六　一二四
くさはら　吉植庄亮（樅櫨叢書第二編）　昭和三　一　五二九　二五四
草光る　吉田絃二郎（新潮文庫第七三編）　昭和八　一　六三〇　八
草光る（歌集一）　野澤曉鐘（山河叢書第三編）　昭和七　一　五九八　四四

書名・著者等	冊	函	號
草笛　星野麥人　昭和七	一	六二〇	三九
くさぶち(歌集)　小泉苳三　昭和八　(ポトナム叢書第二編)	一	五一五	六七
草枕　夏目漱石　昭和四　(岩波文庫五三八)	一	五六九	一四
同　昭和四　(改造文庫第二部第四一篇)	一	五六九	一四三
草まくらの日記　本居大平著　本居豐穎校　本居淸造再校　(増補本居宣長全集第一一本居大平全集ノ内　昭和二)		四一	九八イ
草枕評釋(漱石研究)　鈴木敏也　昭和二	一	五六八	一〇三
草徑(歌集)　國井葭村　昭和四　(吾妹叢書第六編)	一	五六八	二七〇
草叢(歌集)　齋藤友三　昭和一〇　一三一頁	一	六七九	七〇
草山(句集)　横山うさき　昭和四	一	五九六	一六七
愚耳舊聽記　青森縣立圖書館編　昭和六　(青森縣立圖書館叢書第二編)	一	九五〇	三九三
舊事記之玄旨　一二巻　川井田九之助　昭和一〇・	一〇	三〇二	一二六
公事根源　一條兼良　(新註皇學叢書第五卷ノ内　昭和二)	一	五五五	四五
久慈線建設概要　鐵道省編　昭和五	一	六〇四	五四
櫛田民藏全集　改造社發行　昭和一〇	五	六七八	一四〇
第一巻　唯物史觀			
第二巻　價値及貨幣			
第三巻　農業問題			
第四巻　社會問題			
第五巻　軍事税及戰時經濟			
くしのと集　宜嵐編　(丹後史料叢書第四輯ノ内　昭和二)		五五四	一五七

書名・著者等	冊	函	號
句集虚子　高濱虚子　昭和五　(改造文庫第二部第八九篇)	一	五六九	一四二
虞集詩書・明賢尺牘　中村丙五郎編　昭和九　複製	一帖	三〇〇	一〇
九十人集(歌集)　若月保治(紫蘭)編　昭和三	一	五六九	八二
串本町行幸謹記　和歌山縣西牟婁郡串本町役場編　昭和六	一	六一〇	一一六
郡上郷土史　附年表　太田成和　昭和六	一	五九五	三三
郡上郡の植物　鹽田健藏編　昭和三　〔題簽ニハ「郡上郡の野生植物」トアリ〕	一	五七九	一一四
孔雀船　伊良子清白　昭和四	一	三一	三四一イ
倶舍論講義　舟橋水哉　昭和八　(大藏經講座第一〇巻)	一	六二六	一
同　舟橋水哉　昭和一〇　(佛教聖典講義大系第一一)	一	六七〇	一七
倶舍論頌疏　第一、二　大正七、八　(佛教大系第一三)	二	六一五	一五
釧路市詳圖　大正堂製　昭和七　七三・四五×一〇三・四〇	一枚	六二五	一六七
釧路市商工案内　昭和八年度　釧路商工會議所編　昭和八	一	一四、八	一〇三
釧路市の先住民族遺跡　吉田仁麿編　昭和八	一	六三三	三七
釧路商業會議所統計年報　第一回　大正一四年　同所編　昭和二	一	一四、八	八〇
釧路商工會議所統計年報　第二、三回(大正一五至昭和三年)　同所編　昭和四、五　〔「釧路商業會議所統計年報」ノ改題〕	二	一四、八	八〇
苦心の學友　佐々木邦　昭和五	一	六〇三	七五
愚人の祭壇(隨筆)　畑耕一　昭和二	一	五七〇	三四
楠木氏新研究　生田目經德　昭和一〇　二〇二頁	一	六三〇	一一八

書名・著者等	冊	函	號
楠木正成　直木三十五　昭和七	一	六三三	六一
楠木正成　松居松翁　昭和三	一	五八二	一七六
楠木正成　安岡正篤　昭和一〇　(人物研究叢刊第一八)	一	五二四	五七九
楠無益委記　戀川春町　(近代日本文學大系第一二巻ノ内　昭和二)		五六〇	九
葛の葉役者繪　〔月岡〕芳年畫　明治二四　特	三枚	別七	二六三
葛原しげる童謠集　同人　昭和一〇　四二三頁	一	六九三	一三三
葛巻權佐北陸紀行　寫　〔元祿五年九月下旬同人北陸ヘノ紀行〕　特	一〇	り	五九
藥の知識　宮崎三郎　昭和九　(萬有知識文庫第三二)	一	六六四	一
虞世南全集　虞世南書　昭和一〇　複製　(名碑帖選第九)	一〇	二一六	一五六
久世町誌　石井常太郎編　昭和七	一	六三九	九
クセとロンギの謠ひ方　吉田魯洋　昭和九　(寶生流うたひ方叢書第七)	一	六三一	四六
具體的教育道　渡邊昌司　昭和六	一	二五三	五一四
具體的小兒科學　前編、中巻　佐藤彰　昭和五、六	二	五六	二八八
同　上、中巻　昭和七　佐藤彰　三版、再版	二	五六	二八八イ
句題百首　一名五玉集　(群書類從第一一輯和歌部ノ内　昭和四)		五八三	一四
同　(新校群書類從第八巻和歌部ノ内　昭和三)		五八四	五
句題和歌　大江千里　(群書類從第一一輯和歌部ノ内　昭和四)		五八三	一四
同　(新校群書類從第八巻和歌部ノ内　昭和三)		五八四	五
壞けゆく珠　菊池寛　昭和六　(新潮社長篇文庫第一八編)	一	五一七	六六九

書名・著者等	冊	函	號
九谷陶磁史　上、下　松本佐太郎　昭和七　(日本窯業史ノ内)	二〇	二二六	三七
九谷陶磁史を中心に　松本佐太郎　一九五頁　昭和一〇	一	六八〇	六七
九谷陶磁史考草　松本佐太郎　昭和三	一	五八一	二
九谷陶磁史鑑　松本佐太郎　昭和四	一	五八八	一九七
九谷、鍋島、柿右衞門名品集　解說共　山中定次郎編　昭和九　特	二〇	四三五	一〇三
果物の調理と食べ方　手塚かね子　昭和四	一	五八六	二六三
果物の調理と飲物の作り方　龜岡泰躬　昭和六	一	六〇六	二七六
果物通　齋藤義政　昭和五　(通叢書第五巻)	一	六〇二	一
九段臺子書　寫	一〇	八四一	六一
九段靖國神社境内陳列清軍器分捕品　梅堂畫　明治二七　特	三枚	別七	二七九、
久住山の歌　後藤是山、工藤久泉編　昭和八	一	六四三	一四二
久知軍記　野田養宅著　矢田求校註　昭和九	一	六五三	一七八
愚痴拾遺物語　(未刊隨筆百種第一六ノ内　昭和三)		五六〇	二九
口田村史　川内貞雄編　昭和八	一	六四〇	一三九
口永良部島新嶽の噴火　昭和六年四月二日　鹿兒島測候所編　昭和六	一	六〇四	四九六
鯨(句集)　宇田零雨(久)　昭和九	一	六六五	一一
苦痛と快樂　竹内道之助譯　昭和五	一	五八二	二九四
屑籠から　上、下巻　古谷常藏編　昭和七、八　(富山郷土史研究資料)	二	六二五	九六
崩し方より詰手まで將棋必勝秘傳　關東將棋倶樂部編　昭和二	一〇	一七三	一一三

		冊	函	號
屈せざるもの	上 岩本精次 昭和九	一	六六五	二三五
グッドウヰルの研究	高瀬荘太郎 昭和八	一	六四九	一二〇
靴の發達と東京靴同業組合史	東京靴同業組合編 昭和八	一	六四一	四七
屑繭の處理から加工まで（副業）	河東田辰雄 昭和三	一	五八一	一三一
駒邸警衛日記	宮本春祇（維新日乘纂輯第五ノ内 昭和三）	一	六四	二三三
愚弟賢兄（諧謔小說一）	佐々木邦 昭和四	一	五六八	三三〇
九條右大臣集・御堂關白集・藤原家經朝臣集	水野忠央編（丹鶴叢書第二册）	一〇	八四一	六四
九條武子夫人	山中峯太郎 昭和五	一	五五六	四二〇
九條武子夫人書簡集	佐佐木信綱編 昭和四	一	五六八	三八〇
九條殿遺誡	藤原師輔（新校群書類從第二一卷雜部ノ内 昭和五）	一	五八四	五
九條年中行事	（群書類從第六輯公事部ノ内 昭和七）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第四卷公事部一ノ内 昭和六）	一	五八四	五
工藤他山先生贈位報告祭紀念 雪の岩木嶺	外崎覺編 昭和二	一〇	一三三	二一三
求道と人生	福島政雄 昭和八（淨土社教育叢書第六篇）	一	二五九 五	一二四
求道と女性	寺本婉雅 昭和四	一	三三三	四五九
苦闘の跡	澤田正二郎 再版 昭和三	一	五二八	一六七 イ
工藤行幹翁傳記	同刊行會編 昭和一〇 三六七頁	一	六四〇	二七八
愚禿親鸞	木村善之 昭和八	一	六一九	一五二
愚禿親鸞教義の精要	山上正尊 昭和七	一	六一九	一三八
愚禿禮讃	荻生隆三 昭和七	一	三一八	五五七
宮内省恩給令要義	高木三郎 昭和八	一	六四九	一〇三
宮内省圖書寮藏御寶物集	第一回 古典保存會發行 昭和四	一〇	一三九	三二四
苦惱を招くもの	山田順子 昭和九	一	六六五	五四
苦惱の中を行く	上、下卷 トルストイ著 宮永順太郎譯 再版 大正一五、昭和二、二（新興露西亞藝術叢書第一、二）	二	五四五	五三
苦難の路	上、下卷 トルストイ著 原久一郎譯 昭和七（改造文庫第二部第一六五、一六六篇）	二	五五九	一四二
苦難の路を行く若人へ	小西忠雄（鄉愁） 昭和四	一	五七〇	二七三
國を擧げて産業合理化に邁進せよ	松岡均平 昭和五	一	六〇七	四七
國を亡ぼす教育	後編 向軍治 昭和三	一	五三六	二五七
國木田獨歩全集	改造社發行 昭和五	七	六〇三	八〇
第一卷	小說 第一			
星	忘れえぬ人々			
源をぢ	たき火			
おとづれ	野菊			
詩想	まぼろし			
死	河霧			
鹿狩	わかれ			
武藏野	郊外			
小春	置土産			
歸去來	牛肉と馬鈴薯			
巡査	一火夫			
畫の悲み	少年の悲哀			

		冊	函	號
鎌倉夫人		一	六一九	一三
指環の罰	酒中日記			
神の子	園遊會			
愛國者	捕虜			
第三卷	小說 第三			
竹の木戸				
墮雨	二老人			
親と子	無窮			
遺言	空知川の岸邊			
二少女	初孫			
初戀	帽子			
肱の侮辱	湯ヶ原ゆき			
饒舌及饒舌	山の力			
絲くず（モウパッサン）	非凡人（ツルゲーネフ）			
怠惰屋の弟子入り	決鬪家			
語らぬ戀				
物語				
騙術の妙	大飯食ひ			
支那因果物語	黒衣仙			
舟の少女	三騙術			
石清虚	姉と妹			
補遺				
田舍教師	童兒の星の夢（デイツケンス）			
	人生（ゴリキイ）			
第四卷 詩歌及小品	鷗漢			
第五卷 隨筆篇 第一				
第六卷 欺かざるの記 後篇				
第七卷 傳記及雜纂				
第八卷 病床錄・書簡及日記				
國ざかひ（民謠集一）	白鳥省吾 昭和七	一	五六九	四一五
國崎神戸誌	國崎漁業組合編 昭和四	一	五七九	三九七
國東半島史	上卷 河野清貫編 昭和三	一	五七七	一二〇
國定忠治	子母澤寬 昭和八	一	六四三	三五
國貞百選畫集	續編 牛山充編 昭和三	一〇	一七六	五三
國貞風俗百選畫集	牛山充編 昭和三	一〇	一七六	五三
國四郎畫譜	滿谷國四郎 昭和八	特一	四二五	九二
國周・一景・國輝・周延	大鳳閣編 昭和八（續浮世繪大家集成第四卷）	一	五六七	九四
國富亭知歌集	同人 昭和五	一	六〇三	一四
國のすがた	三島通庸 明治二〇	一〇	三〇三	三八
國の光	大日本國旗會編 昭和九	一	六三六	三〇〇
國の標章	本橋平一郎 昭和四（鳥取高農校友會誌第八號別刷）	一	五七九	二六一
國原（歌集一）	藤澤古實 昭和二（アララギ叢書第三一篇）	一	三五七	一三九
國芳版畫傑作集	彰美會編 昭和五	一〇	五六七	七〇
クヌルプ	（ツセ著 植村敏夫譯 昭和七（世界名作文庫第二三二）	一	六三〇	一
區ノ制度及關係法規集	附東京都制案並大都市特別市制案 大山貞一 昭和一〇 四四六頁	一	一四七	七三一
苦の世界	宇野浩二 昭和七（改造文庫第二部第一九三篇）	一	五六九	一四三
クノソック	（醫學ノ勝利）ロマン著 岩田豐雄譯 昭和二（佛蘭西近代劇叢書第二編）	一	五六六	六
九戸軍談記	小笠原謙吉校（南部叢書第九册ノ内 昭和三）	五七四		七

		冊	函	號
公方樣正月御事始之記	（群書類從第二三輯武家部ノ內 昭和三）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一七卷武家部ノ內 昭和五）	一	五八四	五
詳しい	樂譜の讀み方 小泉洽 昭和八	一	六四二	九
詳しく解かる	萬有常識寶典 野崎小蟹編 昭和二	一	三七四	一一五
桑重儀一畫集	同人畫 昭和七	一	六三八	一〇
桑田熊藏遺稿集（法學博士）	同人著 桑田一夫編 昭和九	一	六七八	八九
同		一	六七八	八九イ
桑田無堂先生全集	同刊行會發行 昭和二至五	八	五四九	二八四

第一卷 黑住教祖の宗教
第二卷 予は何故に基教を去りし乎
誠道大意
第三卷 黑住教祖神御遺文解釋集
第四卷 論說 第一編
卷頭言 誠道第一二號
卷頭言 誠道第二四號
誰か神無しと思ふ
予が神を信ずる理由
如何にして神を見る事を得るか
神の超越性と內在性
神を內に見よ
直に神を信ぜよ
思考と神
天人論
神德靈驗に就て
新念論

新念の意義
宗教とは何ぞ
宗教は皆一に歸するか
卷頭言 誠道第五號
青年と宗教
宗教に就て
第五卷 論說 第二編
宣 言 誠道第五號
同 同 第七號
同 同 第八號
卷頭言 誠道第二二號
同 同 第一五號
天命直授の大道
一筋の大道
卷頭言 誠道第六號
同 同 第九號
任天の眞意義
天の教
離我の辯
人事と天命
卷頭言 誠道第一六號
同 同 第二一號
離我と祈念
卷頭言 誠道第一七號
活動と任天
任天の生活
有難い心情
養無說
生通しに就いて
黑住教と道德

黑住教の罪惡觀
高尙なる自愛
敬愛の道
愛は愛を生む
艱難は愛を增す
卷頭言 誠道第二〇號
誠と人の道
卷頭言 誠道第三號
幸福論
第六卷 論說 第三編
哲學とは何ぞ
哲學的自覺
哲學的研究と哲學の研究
天地（通俗哲理講話一）
必然と自由（同 二）
因果と善惡（同 三）
知と行（同 四）
天爲と人爲
自力と他力
獨想錄＝思惟の思惟
汎神論は眞理に非ず
忠愛の大義と宗教
戰爭と世界の平和
報國と任天
國家と個人
卷頭言 誠道第一九號
排日問題と人種的競爭
卷頭言 誠道第二二號
同 同 第一八號
先づ健全なる思想を得よ

思想の善導
予の覺悟
危險なる忠孝論
政治と生活
政治の理想
精神の安定
生の發展
第七編 論說 誠道編
誠道
卷頭言 誠道第二號
同 同 第一三號
同 同 第八號
同 同 第一一號
宣聲 誠道
同 同
同 同
誠道に對する予の信
予の信仰
誠道
誤まられたる黑住宗忠
神道と黑住教祖
誠道講話
別卷 先生御寫眞
先生略年譜
先生著作目錄

鍬之圖鑑	宮城縣立農事試驗場創立三十周年記念會編 昭和一〇 一三七頁	一	六八四	三三七
桑の葉（歌集）	長谷川銀作 昭和九	一	六五六	八三
桑ノ發芽狀況竝蠶ノ飼育時期ニ關スル調査				

農林省蠶絲局編　昭和六　一冊　六一四函　四五號
桑品種ノ特性調査　農林省蠶絲局編　昭和五　一　六〇四　四〇
頸飾(モウパッサン短篇集―)　モウパッサン著　前田晁譯　昭和八（岩波文庫八七八）　一　五六九　一四
首狩人種の打診　小倉清太郎　昭和八　一　六三九　一九七
首斬りセレナーデ　デゴブラ著　武林無想庵譯　昭和六　一　六〇三　三一四
愚祕抄（群書類從第一六輯和歌部ノ内　昭和九）　五八三　一四
同（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内　昭和四）　五八四　五
窪川(縱行一八横行三四圖幅第二五一號)地質圖　地質調査所製　昭和八　三九・〇〇×六三・八〇　一枚　一三　六一四
窪川(縱行一八横行三四圖幅第二五一號)地質說明書　地質調査所(鈴木達夫)編　昭和八　一　一三　六一四
窪田空穗全歌集　同人　昭和一〇　八七一頁　一　六八七　一六〇
久保田万太郎集(新選―)　同人　昭和三　一　五八二　一六一
九品和歌　藤原公任（群書類從第一六輯和歌部ノ内　昭和九）　五八三　一四
同（新校群書類從第一三卷和歌部ノ内　昭和四）　五八四　五
久万(縱行一九横行三二圖幅第二四五號)地質圖　地質調査所製　昭和四　三七・〇〇×六一・五〇　一枚　一三　五七〇
久万(縱行一九横行三二圖幅第二四五號)地質圖　說明書付　地質調査所製　昭和四　六一・九〇×三七・〇〇　一枚一　一三　五七〇イ
久万(縱行一九横行三二圖幅第二四五號)地質說明圖　地質調査所編　昭和四　一　一三　五七〇
能岡美彥滯歐畫集　附　紀行及感想　同人　昭和五　一　六〇五　四二
熊谷家傳記　第一篇至三　市村咸人校　昭和八、九　三〇　二一五　二一九

熊谷蓮生坊（往生人新八景）　鶴田湛泉　昭和一〇　二〇二頁　一冊　六八一函　六五號
熊毛郡紀要　鹿兒島縣編　昭和二　一　五三四　七七三
熊崎易本義　乾、坤卷　熊崎健翁　昭和七、八　二　六一九　一一八
熊崎式速記術講座　第一(初等篇)　熊崎健一郎監修　昭和七　一　三七二　五八四
熊崎式速記術獨習(改訂―)　森澤訥行編　昭和九　一　六五六　二三九
隈笹　渡邊水巴（曲水叢書第一篇）　昭和一〇　一　六六六　一九一
熊野行幸日記　藤原定家書　昭和二　複製　一軸　り二　四〇
熊野懷紙　古筆了仲編（正治二年御歌合詠草）　一軸　す　五九
熊野史(小野翁遺稿―)　小野芳彥　昭和九　一　六四〇　二〇四
熊野神社神號神位　本居內遠著　同豐穎校　同淸造再校（增補本居宣長全集第一二本居內遠全集ノ内　昭和二）　一　四一　九八イ
熊本　陸軍特別大演習記念　同縣編　昭和六　一　四三三　一三一
熊本醫科大學一覽　昭和八至一〇年度　同學編　昭和八至一〇　三　二八七　三五
熊本營林局管內經營要錄　同局編　昭和四　一　五六三　二九八
熊本營林局統計書　大正一四至昭和八年度　同局編　昭和二至一〇　九　一四、四　八一八
熊本高等工業學校一覽　昭和二至一〇年　同校編　昭和二至一〇　九　二九二　四四
熊本近傍圖(十萬分一―)　陸地測量部製　昭和六　九五・八五×七二・三〇　一枚　三七二　四三三
〔熊本刑務所〕刑務一覽表　昭和五至七年　同所編　昭和六至八　三　一四、六ロ　三一イ
熊本縣氣候概要　附熊本累年氣象表　熊本測候所編　昭和七　一　一四、六ニ　三一七

熊本縣警察統計書　大正一五至昭和六年　同縣警察部編　昭和二至七　六　一四、六イ　四六
熊本縣教育史　上、中、下卷　同縣教育會編　昭和六　三　二五五一　九八
熊本縣產車蝦類ニ關スル調査研究
第一報　長田正男等　昭和六　一　六一四　九四
熊本縣蠶業試驗場彙報　同場編　昭和三至八　四　一四、二イ　六〇五
第一號　上蔟改良法に就て
第三號　一、根刈仕上に於ける株直時期と其方法との關係
二、再發芽による晩秋稚蠶用桑に就て
三、阿蘇山噴出火山灰の性質並に之が蠶兒に及ぼす影響
第四號　一、春蠶支歐一交代雜種の上蔟に就ての試驗
特に多絲量系支歐一代交雜種の上蔟法と類節との關係に就て
二、各種環境に於て營繭せし家蠶繭の繭層組織及類節の顯微鏡的觀察
第五號　施肥量を異にする桑葉の第五齡用桑としての價値並に養蠶經濟に及ぼす影響に就て
熊本縣蠶業試驗場事績要覽　同場編　昭和七　一　一四、二イ　七三三
熊本縣蠶業試驗場報告　同場編　昭和二至五　五　一四、二イ　五四五
第二卷
第三號　日照時並降水量ヲ異ニセル桑葉ノ飼料的價値ニ就テ　附　桑葉水分定量法ニ對スル一考察（藤井音松等）
第四號　夏秋蠶不作(主トシテ軟化病ニヨル)ノ原因ニ關スル研究　第二報（大櫛平三郎等）
第五號　同　第三報（同等）
第三卷
第一號　同　第四報（同）
第二號　家蠶ノ消化酵素ニ就テ（藤井音松、加藤淸時）
熊本縣史蹟名勝天然記念物調査報告　第四、五冊　同縣編　昭和二、六　二　一四、五　二〇一
熊本縣人口及戶數　昭和六年末現在　附國勢調査の人口　同縣知事官房統計係編　昭和七　一　一四、四　九三五
熊本縣水產試驗場業務功程報告　大正一五年、昭和元年度　同場編　昭和二、六　一　一四、二イ　八八
熊本縣水產試驗場事業報告　昭和二至六年度　同場編　昭和三至八　五　一四、二イ　八八
熊本縣勢要覽　昭和四、六至八年　同縣總務部統計課編　昭和六至一〇　四　一四、四　三三ハ
熊本縣大觀　警醒社編　昭和一〇　六九四頁　一　六九七　一四
熊本縣球磨郡眞宗開教史　岡崎秀善編　昭和四　一　五九五　一七四
熊本縣地貌誌　下間忠夫　昭和七　一　六一八　一〇八
熊本縣統計書　大正一四至昭和四、六至八年（各年度第一編至五編）　同縣總務部統計課編　大正一五至昭和一〇　三九　一四、四　三三
〔熊本縣〕夏秋蠶統計　昭和四年　同縣編　昭和五　一　一四、二ロ　二二八
熊本縣方言音韻語法　石邊用太郎（三松庵主人）　昭和八　謄寫版　一〇　二四九　二八七
〔熊本縣〕春蠶統計　昭和四年　同縣編　昭和四　一　一四、二ロ　二二八
熊本縣米作統計　大正一五至昭和三、五、七至九年　同縣總務部統計課編　昭和二至一〇　七　一四、二ロ　七六
熊本縣麥作統計　昭和三至九年　同縣總務部統計課編　昭和三至九　七　一四、二ロ　七六イ
熊本縣養蠶統計　大正一五、昭和二、五、七至九年　同縣總務部統計課編　昭和二至一〇　六　一四、二ロ　五〇

	冊	函	號
熊本縣老樹名木誌略 同縣編 昭和七	一	六四一	一七
熊本工業會誌 第四號 同會編 昭和六	一	一四二 イ	二〇〇
熊本市街地籍細密地圖 土橋南江製 昭和二	一	五五六	一九
熊本市史 同市編 昭和七	一	六二八	五六
熊本城史梗概 熊本城址保存會編 昭和二	一	五二四	七四七
〔熊本稅務監督局〕稅務統計書 大正一四至昭和九年度 附同局管內圖(昭和三年度) 同局編 昭和二至一〇	一〇	一四、四	二三
熊本鎭撫隊惣名簿 附 捕縛人名錄 〔明治一〇、一一年熊本縣記錄〕 寫	特 三〇	二一六	一六五
熊本遞信局管內電氣事業要覽 同局編 昭和七至一〇	四	一四、四	七〇五
第一五回 昭和六年一二月末調査	一	二一七	七九
第一六回 昭和七年一二月末調査	一	二八七	三九
第一七回 昭和八年一二月末調査	一	五七〇	二七三
第一八回 昭和一〇年六月末調査	一	六七二	一五三
熊本圖書館 增加和漢圖書分類目錄 第一册 同館編 昭和二、五	一	六〇六	一〇八
熊本藥學專門學校一覽 昭和一〇年四月至同一一年三月 同校編 昭和一〇	一	五七一	一〇二
熊本夜話 豐福一喜 昭和四	一	六〇三	一五六
組合桑園經營に就て 大日本蠶絲會編 昭和九	一	五七九	四〇
組合製絲の理論と實際 早川直淑 昭和五	一	五六七	一三八
組合養蠶の話 片田銀五郎 昭和二	一	五七一	一〇二
組曲、グロテスク巴里 アンドリウス著 林賈譯 昭和六 (世界大都會尖端ジヤズ文學第七)	一	六〇三	一五六
汲み汐(歌集) 樽木すゑ子 昭和一〇 (青虹叢書第四)	一	五〇五	七四
組長講習會講義要項 第四回所編 大阪府立產業能率研究 昭和五	一	六〇四	四一九
茱萸の酒 (隨筆集) 室生犀星 昭和八	一	六五五	七
茱萸の花 八高短歌會編 昭和八 (八高短歌會年刊歌集第七篇)	一	五六八	一二〇
組紐の研究 第一輯 藤本昌義 昭和二	一	五七一	四三
愚迷發心集(解脫上人一) 貞慶著 高瀨承嚴校註 九八九—九九〇ノ內 (岩波文庫 昭和九)		五六九	一四
愚迷發心集直談 貞慶著 高瀨承嚴校註 八九—九九〇ノ內 (岩波文庫 昭和九)		五六九	一四
久米榮左衞門翁(讃岐偉人一) 岡田唯吉編 昭和三	一	五七九	四〇
久米桂一郎作品集 同人著 久米晴子編 昭和一〇	特 一〇	五六七	一三八
久米の平內研究 磯ヶ谷紫江編 昭和三	一	五七八	一四三 イ
久米博士九十年回顧錄 上、下卷 久米邦武著 中野禮次郎等編 昭和九	二	六六九	一三
久米正雄集(新選一) 同人	一	五九六	一八
久米正雄全集 同人 昭和五	一三	六〇三	七
第一卷 螢草、水の影			
第二卷 赤光			
第三卷 不死鳥、冷火			
第四卷 晴夜、青眉			
第五卷 破船、天と地と			
第六卷 空華、嘆きの市			
第七卷 虹一色、虹を架ける			
第八卷 短篇小說集			
第一〇卷 戲曲集			
第一一卷 三浦製絲場主、安政小唄、幸運、阿武隈心中、夏の日の戀、蝕める果實、秋立つ日、饒舌、別莊			
第一二卷 此悲慘(ユーゴー原作) 椿姬(デューマ原作)			
第一三卷 小品、隨筆集			
蜘蛛(詩歌一) 一瀨直行 昭和四 (獅子叢書第一編)	一	五九六	一三
雲(詩集一) 黑田秀雄 昭和七	一	六二〇	五九
雲 圖及解說 藤原咲平 昭和四	一	四二一	一一六
同 訂三版 昭和八	一	四二一	一一六 イ
雲井龍雄遺骨移葬に關して 高木藤太郎 昭和七	一	三七三	六五七
雲井の御法 二條良基 (群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三)		五八三	一四
同 (新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七)		五八四	五
雲を摑む話 藤原咲平 昭和七 (通俗科學叢書第五編)	一	五〇五	二三 イ
蜘蛛男(評判小說一) 江戶川亂步 昭和五	一	五一七	六九〇
雲・草・人 平塚らいてう(明子) 昭和八	一	六四三	九七
雲に鳥(詩集一) 佐藤清 昭和四	一	五八八	四三
雲の衣裳 阪本越郎 昭和六	一	三七八	三一七
雲のいろいろ 與謝野晶子 昭和一〇	一	六九六	八七
雲のかよひ路 バーネット 昭和三	一〇	四三三	三三九
蜘蛛の研究 湯原清次 昭和六 (蘭山會叢書第一)	一	五九八	三九
雲の如く行く 荻原井泉水 昭和一〇 三二八頁	一	六八七	五三
蜘蛛の巢の家 ギッシング著 佐藤緑葉譯 昭和五	一	五一七	七三三
雲妙間雨夜月 曲亭馬琴 (近代日本文學大系第一五卷ノ內 昭和二)		五六〇	九
雲乃美と(小一) 第一至五編 柴田錦(哥澤芝金) 昭和二	〇	五 一〇	二四二 イ
苦悶の經濟生活 森本厚吉 昭和四	一	五九九	一三九
苦悶の象徵 厨川白村 (改造文庫第一部第九一篇ノ內 昭和八)		五六九	一四二
苦悶の筒 永井榮藏 昭和四	一	五九五	一五〇
苦よりの離脫 本莊可宗 昭和九	一	六六三	一九二
クラーク博士と共勵會 秦孝治郎編 昭和三	一	五三六	三二九
鞍鐙工譜 栗原信充編 寫	一〇	八四〇	三六
クライスの美學 クライス著 外山卯三郎譯 昭和六	一	五五三	三二八
グライダー 增田正文 昭和一〇 (通俗科學叢書第九編)	一	五〇五	二三
グライダーの研究 澤青鳥 昭和九	一	六五七	一五三
グライダーの作り方 白石寒治 昭和九	一	六一四	一四四
グライダーの話 山崎好雄 昭和七	一	三一八	五七七
クラウゼウイツツ戰爭概論 土井三郎編 昭和七 (軍事科學叢書第一輯)	一	六三九	一四
くらがり二十年 德川夢聲(福原駿雄) 昭和九	一	六五七	九五
グラジオラスの品種と作り方 河浦亮一 昭和七	一	六三一	八五

	冊	函	號
倉敷市案內　昭和九年版　倉敷市役所編　昭和九	一	一四、四	九九四
倉敷中央病院年報　昭和四至六、八至一〇年　同病院編	九	一四、六ハ	二四九
倉敷勞働科學研究所所長年報　昭和九年度　昭和一〇　同所編	一	一四、五	四五六
グラヂウ式スタンダード式洋服裁斷書　伊藤庄吉編　昭和三	一	四一八	一二九
グラッドストン　永井柳太郎　昭和四	一	五五六	三〇四
グラッドストン傳　圓地與四松　(偉人傳全集第三卷)　昭和九	一	五〇五	八〇
藏原惟人論文集　第四卷　同人　昭和七	一	六三一	一〇八
グラフ化の算術教育　稻次靜一　昭和七	一	二六三四	一八〇
倶樂部めぐり　附 財界犬と猿　都新聞社經濟部編　昭和三	一	五三六	三九六
くらぶ山　寫	二〇	八四一	五〇
鞍馬出　(近代日本文學大系第二卷ノ內　昭和三)		五六〇	九
同　昭和八		六二九	二八
鞍馬寺經塚遺寶　田澤金吾編　昭和八	特 二〇	三〇六	二五
鞍馬天狗小鳥を飼ふ武士　大佛次郎　昭和二	一	五六八	四〇
鞍馬天狗山嶽黨奇談　下卷　大佛次郎　昭和六	一	五九六	七八
鞍馬天狗青銅鬼　大佛次郎　昭和七	一	六二〇	一八一
鞍馬天狗地獄の門　大佛次郎　昭和一〇　三三八頁	一	六七九	八九
鞍馬天狗餘燼　上、下卷　大佛次郎　昭和三	二	五二九	二六六
藏前工業會工業調查會機械工業部調查報告書　藏前工業會發行　昭和二	一	五一八	二七二
藏前工業會工業調查會化學工業部調查報告書　藏前工業會發行　昭和二	一	五一八	二七一
くらら咲く頃(童謠集)　多胡羊齒　昭和七	一	六三三	六八
クラルテ　上、下　バルビユツス著　佐々木孝丸譯　(世界プロレタリア傑作選集第一〇卷)　昭和五	一	六〇三	六五
同　昭和七　(世界名作文庫第一二九)	一	六三〇	一
グランド・バビロン・ホテル　ベネツト著　平田禿木譯　(世界大衆文學全集第三七卷)　昭和五	一	五六九	六一
藏人補任　(群書類從第四輯補任部ノ內　昭和四)		五八三	一四
藏人補任　(新校群書類從第三卷補任部第二ノ內　昭和五)		五八四	五
グランドホテル　バウム著　新居格譯　昭和七	一	五八六	三九六
グランド・ホテル　バウム著　牧逸馬譯　昭和七	一	六三三	三九
グリーンとその倫理學　友枝高彥、近藤兵庫譯　昭和七	一	六一二	一八五
クリヴドン事件　ナンシイ・オークレイ、ジヨン・オークレイ共著　新井無人(西田義郎)譯　昭和一〇　二八六頁　(世界探偵傑作叢書第九)	一	六九六	一〇六
クリスマス・カロル　デイツケンス著　森田草平譯　昭和四　(岩波文庫四九六)	一	五六九	一四
栗田栗里集　高須芳次郎編　(水戶學全集第五編ノ內　昭和八)		六三五	二五
クリッペン事件　フイルソン、ヤング編　村上常太郎譯　昭和二	一	五七五	九七
クリトン　プラトン著　久保勉、阿部次郎譯　(岩波文庫一〇ノ內　昭和二)		五六九	一四
栗の優良品種に關する調查　農林省園藝試驗場編　昭和一〇　三二頁	一	五六七	一三八
栗樹栽培　古谷春吉　昭和七	一	六三五	二〇〇

	冊	函	號
栗の栽培と輸出　大澤仲三　(農業叢書第一輯)　昭和九	一	六六六	三六
栗の栽培法　田中諭一郎　昭和八	一	六四四	九八
栗の栽培法　森岡好馬　昭和八	一	六二五	四〇九
栗林蕙堂翁追憶錄　蕙堂會編　昭和四	一	五九四	一一五
栗原信一郎　中山由五郎、中山俊雄編　昭和九	一	六六一	一八
栗原隨筆　栗原信充　寫	一〇	八三九	二〇三
〔栗生樂泉園〕年報　昭和八、九年　同園編　昭和九、一〇	二	六〇	一三二
グリム童話集(全譯)　第一、三、四(三版)、五至七冊　グリム著　金田鬼一譯　昭和四至九　(岩波文庫四六五—四六六、四六九—四七八)	六	五六九	一四
厨川白村全集　同人　昭和四	六	五九八	八七
第一卷　文學論　上			
近代文學十講			
第二卷　文學論　下			
文藝思潮論			
苦悶の象徵			
最近英詩概論			
第三卷　文學評論			
象牙の塔を出て			
十字街頭を往く			
第四卷　文學評論及印象記			
小泉先生そのほか			
印象記			
第五卷　戀愛觀及雜纂			
近代の戀愛觀			
雜纂			
飜譯			
序跋			
講演			
第六卷　英詩選釋			
英詩選釋			
現代抒情詩選			
同　第一至六卷　昭和七	六	五八九	八七イ
栗山久次郎翁略傳　富岡丘藏　昭和一〇　一〇七頁	一	六六六	二七〇
栗山潛鋒集　高須芳次郎編　(水戶學全集第五編ノ內　昭和八)		六三五	二五
グリンムの童話　評傳付　グリンム著　田中楳吉譯　昭和二　(獨和對譯獨逸國民文庫第一編)	一	三三二	九三イ
クルウゼンシュテルン日本紀行　上、下卷　羽仁五郎譯註　(異國叢書第一二、一三)　昭和六	二	五五五	四七
グループ式譯し方　浦口文治　昭和三	一	五八二	七三
グループメソッド　(外國文學研究の近道)　浦口文治　昭和二	一	五一七	六二四
クルベエ　前田寬治　(アルス美術叢書第二七編)　昭和三	一	五四一	六一
胡桃の栽培・綠川稔　(農山村副業叢書第二輯)　昭和一〇	一	三一八	五六八
久留米市誌　上、中、下編　久留米市役所編　昭和七、八	四	六一〇	一七一
同　上、中、下編、別册　昭和七、八	四	六一〇	一七一イ
久留米叢書　鶴久二郎發行　昭和八	一〇	一八〇	一四九
第一　梯箕嶺先生遺稿　(梯隆恭(箕嶺))			

	冊	函	號
榲(歌集—) 木村流二郎 昭和九	一	六六五	一九六
郭の大帳 山東京傳(近代日本文學大系第一一巻ノ内 昭和二)		五六〇	九
呉文聰 呉建編 再版 昭和八	一〇	三八三	一〇三イ
グレー回顧錄 グレー著 石丸藤太譯 昭和七	一	六二一	二一六
グレエタ・ガルボ 楢崎勤 昭和九	一	六三九	二三四
グレート・ラヴ コロンタイ著 内山賢次譯 昭和五	一	六〇三	七二
クレープペーパーの新手藝 千種中子 昭和二(アルス婦人叢書第二二)	一	五一五	五七
呉岸越勢集 岡倉由三郎 昭和九	一	六六五	四四
呉教授莅職二十五年記念文集 第二至四輯 同二十五年祝賀會編 昭和三	一	六〇	六七八
呉市勢一斑並ニ市街地圖 大正一四年末調 同市役所編 昭和二	一枚	一四、四	七二六
呉市立圖書館圖書展覽會出品目錄 昭和三年一〇月開催 同館編 昭和四	一	五七六	一三三
〔呉市立圖書〕館報 第三號 同館編 昭和六	一	二七八	一七四
呉市立圖書館和漢洋圖書目錄 昭和六年三月現在 同館編 昭和六	一	六一四	七〇
同 第二號(昭和六年一二月至同七年五月增) 昭和七	一	六一四	七〇
クレマンソオ クレプスカヤ夫人著 浦山半平譯 昭和六(世界人傳記叢書第六)	一	五九五	三三五
クレンペレル診斷學語彙 須野敏夫 訂四版 昭和七	一	五二	五八

	冊	函	號
黒石地方誌 佐藤耕次郎編 昭和九	一〇	六六九	三
黒い地帶 佐左木俊郎 昭和五(新興藝術派叢書第二編)	一	六〇三	一一三
クロイツエル・ソナタ トルストイ著 米川正夫譯 昭和三(岩波文庫三七〇—三七一)	一	五六九	一四
黒い駱駝 ビガアス著 乾信一郎譯 昭和一〇 三四六頁(世界探偵傑作叢書第四)	一	六八八	八六
玄人の素人 素人の玄人らしからざる法律論 尾佐竹猛 昭和一〇 一九六頁	一	六八一	三六
淡水大蝦(クロウフィッシュ)の養殖法(農山村溜池利用—) 附ロブスターの蓄養法 伊藤僴、山内謙 昭和三	一	五八一	一二四
クロードウ・オスカール・モネ 岡田秀 昭和三	一	五八八	八五
クロオド・モネ 荒城季夫編 昭和二(佛蘭西近代大家作品集第一巻)	一	五四九	二三七
クロール 高桑市郎 昭和五(平泳、背泳とスタート及びターニング)	一	六〇六	八一
クロール 附各種競泳スタート及びターニング 高桑市郎 昭和三	一	五四九	四三一
クロールピクリンの土壤消毒に就て 寺澤英五 昭和五	一	六〇五	二四
黒髪懺悔(照葉手記—) 高岡辰子 昭和九	一	五六八	四八五
黒髪夜叉 續篇 前田曙山 昭和二	一	五一七	四八六
黒騎士(獨和對譯—) レオ・レンツ著 牧村吾郎譯 昭和九(平原社トーキー・シリーズA第二三巻)	一	六五一	二七
黒潮に聽く 清澤洌 昭和三	一	五七五	一五〇
黒潮の話 肥沼寛一 昭和一〇(海洋學會叢書第三)	一	六六六	二三七
黒住教の研究 田中義能 昭和七	一	六一二	二三八
黒鯛(句集—) 新庄野麥(哲雄) 昭和一〇(海蝶叢書第三篇)	一	六六四	八

	冊	函	號
黒鯛の釣り方 釣之研究社編 昭和一〇 七四頁	一	六八三	・四八
黒谷村 坂口安吾 昭和一〇 二九三頁	一	六八一	四
黒谷夜話 中里介山 昭和六	一	五九六	二九〇
クロッキーに依る圖畫教育の革新 曾根榮 昭和五	一	二六三 三	二六〇
黒頭巾を脱ぐ 丸山幹治 昭和一〇	一	六三三	一一八
グロテスク支那 長永義正 昭和五	一	五九六	二五二
黒蜥蜴・妖蟲 江戸川亂歩 昭和九	一	五六八	五三一
黒鳥考 本居内遠著 本居豐穎校 本居清造再校(增補本居宣長全集第一二本居内遠全集ノ内 昭和二)	一	四一	九八イ
黒猫 ポウ著 森村豐、澤田卓爾譯 昭和九(岩波文庫九五九—九六〇)	一	五六九	一四
黒の死刑女囚 細田民樹 昭和五	一	五八二	二四九
クロノメートル及自記器械用時計の話 測候示針 第一巻 第一册 岡田武松 昭和二	一	一四、六 ニ	二六五
黒船畫譜 黒船社編 昭和九	一〇	四三〇	三一
黒船時代(幕末史談—) 山田愛劍 昭和五	一	六〇三	一三五
黒船前後 服部之總 昭和八	一	六三九	一五五
同 昭和一〇 二九三頁	一	六八二	一七八
黒船之圖(寶船) 文晁畫	特 一枚	七 別	二一二
黒船來航摺物 六枚	特 一帖	四二五	一二三
黒部 冠松次郎 昭和五	一	五五六	四九一

	冊	函	號
黒部川用水合口事業誌 富山縣編 昭和八	一	六五八	一九
黒部谿谷 冠松次郎 昭和三	一	五七八	一三三
黒部立山天然紀念物調査報告 文部省編 昭和九	一	六五八	一三七
クロポトキン藝術論 加藤一夫 昭和六(春秋文庫第一部第四五)	一	三三八	四四〇
クロポトキン全集 春陽堂發行 昭和三至六	一三	五八三	二二

第一巻 一反逆者の言葉 (石川三四郎譯)
新しき時代 (同譯)
待望の一世紀 (同譯)
監獄論 (同譯)
リオン控訴院に於ける被告無政府主義者等の宣言 (同譯)
リオン控訴院に於けるクロポトキンの辯論 (同譯)
無政府主義と個人主義とサンヂカリズム (同譯)
卽時媾和論に對する宣言 (同譯)
第二巻 露西亞に於ける白色恐怖 (久保讓譯)
サンデイカリズムと議會政治 (同譯)
無政府主義者と勞働組合 (同譯)
一八七一年以後の反動時代 (同譯)
急進的社會主義思想の發展 (同譯)
社會民主主義の反動的事業 (同譯)
現代文明の矛盾 (同譯)
萬人の幸福 (同譯)
無政府の事實 (同譯)
分配の諸問題 (同譯)
ロシアに於ける立憲運動 (同譯)
一九〇五年のロシア革命 (同譯)
來るべき戰爭 (同譯)
ロシアの無宿者 (同譯)

自由聯合組織（同譯）
我等は斯く答ふ（同譯）
ロシア當面の危機（同譯）
ロシア婦人の高等教育（同譯）
第三卷　新興國フインランド（小池英三譯）
ロシアの牢獄（同譯）
シベリア流刑囚（同譯）
艪近科學（同譯）
ロシアの現狀（同譯）
獲得形質遺傳とその理論的反駁（同譯）
露國へ出發せんとする時同志 Dumartheray に贈つた手簡（同譯）
エリゼ・ルクリユ（同譯）
セント・ペテルスブルグの要塞監獄（同譯）
地理學は如何にあるべきか（同譯）
ルイヂ・ベルトーニへの書翰（同譯）
政治と社會主義（同譯）
來るべき社會主義の復活（同譯）
一八九四年後の十九世紀（同譯）
クロポトキンとその思想（ロツケル著　同譯）
クロポトキン年譜（能智修彌編）
クロポトキン著作年表（同編）
第四卷　田園・工場・仕事場（同譯）
英國の小工業（同譯）
カナダの富源（同譯）
第五卷　無政府主義概論（久保讓譯）
無政府共産主義・その基礎と原理（同譯）
賃銀制度（同譯）
社會主義進化に於ける無政府主義の位置（同譯）
無政府主義・その哲學と理想（同譯）

無政府主義の原理（同譯）
革命は集産主義だらうか？（同譯）
××××××ける無政府主義者×××（同譯）
裁判論（同譯）
迷想を止めよ！（同譯）
無政府主義の本質に關する隨感（同譯）
實現の觀點より見たる無政府主義思想（同譯）
ドツクの大罷業（同譯）
ベルグソン氏の科學に對する反抗（同譯）
無政府主義と「インターナショナル」の鬪爭手段（同譯）
インターナショナル會議とロンドン會議（同譯）
獨逸社會民主々義とエ・ベルンシュタイン（同譯）
經濟行動と議會政治（同譯）
ブルヂヨア階級と議會主義的社會主義（同譯）
正義と道德（同譯）
農業論（能智修彌譯）
分業その他（同譯）
消費及び生產その他（同譯）
第六卷　一革命家の思ひ出（大杉榮譯）
第七卷　相互扶助論（同譯）
共產食堂（同譯）
進化論と相互扶助（同譯）
青年に訴ふ（同譯）
革命の研究（同譯）
第八卷　十九世紀に社會革命の起らなかつた理由（麻生義譯）
何を爲すべきか（同譯）
サンヂカリズムとアナーキズム（同譯）
近代科學とアナーキズム（同譯）
コンミユニズムとアナーキズム（同譯）
國家・その歷史的役割（同譯）

近代國家論（同譯）
ハーバート・スペンサー・その哲學（同譯）
無政府主義の道德（八太舟三譯）
第九卷　ロシヤ文學・その理想と現實（新居格譯）
第一〇卷　フランス大革命史（上卷）（岩佐作太郎譯）
第一一卷　フランス大革命史（下卷）（同譯）
フランス革命は何故に失敗したか（同譯）
現實の諸問題（同譯）
合理化さるべき勞働（同譯）
反亂と革命（同譯）
科學と藝術に就いて（同譯）
工場と臺所の解放（同譯）
フランス大革命とその教訓（同譯）
無政府主義思想の發達（同譯）
歐洲戰爭論（同譯）
「如何にして革命を將來さすべきや」への序文（同譯）
書翰集（同譯）
「パンの略取」序文（同譯）
第一二卷　倫理學・その起源と發達（八太舟三譯）
ロシヤ革命とソヴキツト政府（同譯）

クロムエル傳　カーライル著　畔上賢造譯　昭和二　一　三五〇　六イ
クロム酸電鍍槽よりクロム鍍金法　ハーリング、バーロー共著　後藤憲三譯　昭和八　一　六三一　三二六
ぐろりあ叢書　ぐろりあそさえて發行　昭和四　一　五九〇　二一三
第一編　薩道先生景仰錄　吉利支丹研究史回顧（新村出）　一〇　六　八三九　三九
花押後集　享保三

花押拾遺　横山寛編〔天保頃〕　五〇　八四二　九三
花押新集　正德二　五〇　八三九　三八
花押藪　續篇附　丸山可澄編　寶永八　一四〇　八三九　四〇
花押譜　楠山義愼（坦齋）編　七〇　八三九　四一
外遊雜記　三木正一　昭和四　一　五九〇　一三三
外遊雜記　見たまゝ聞いたまゝ　大上茂喬　昭和九　一　六三九　三三
外遊心境　土岐善麿　昭和四　一　五九四　三三
會友大旨　手島堵庵（岩波文庫一〇六六ノ内　昭和九）　五六九　一四
外遊斷想　尾崎行雄　昭和九　一　六六一　五二
外遊秘話　山岡光太郎　大正一一　一　五七八　五三
外遊漫想　よしの髓　塚田公太　昭和五　一　五九九　一四九イ
外遊漫筆　赤松治郎　昭和二　一　五七〇　五四
怪異小說集　昭和二（近代日本文學大系第一三卷）　一　五六〇　九
會員購讀外國雜誌表　昭和三年　全國經濟調查機關聯合會編　昭和三　一　五五八　一三
會員購讀外國新聞雜誌表　昭和五年　全國經濟調查機關聯合會編　昭和五　一　五五八　一三
外蒐寫眞帖　明治神宮奉贊會編　昭和二　一〇　四一七　三三
悔翁詩鈔　汪予鐸著　上元英校　民國二四　四〇　三〇五　二〇
外交及外交史研究　松原一雄　昭和二　一　五六一　一七三
同　再版　昭和三　一　五六一　一七三イ

外交史講義　九州帝大法文學部發行　昭和三
近世帝國主義概論　第一册（藤澤親雄）　一　一五七六　六三

外交史論文集（立教教授還暦祝賀）　神川彥松編　昭和九　一　六四九　一九四

外交側面史談　信夫淳平　昭和二　一　五六五　八一

外交知識　貴島桃隆編　昭和一〇　一　六七八　一三三

外交讀本　稻原勝治　昭和二　一　五六一　一三三

外交と文藝　堀口九萬一　昭和九　一　六六三　五六

外交祕聞　日露戰役の回顧　金子堅太郎　昭和三（社會教育パンフレット第五九輯）　一　二七五　六　二九

外交祕錄　大戰後日譚　チャーチル著　西村二郎譯　三版　昭和五　一　六〇三　七一

外交祕錄　滿洲と日露戰爭　ロシア問題研究所譯編　昭和八　一　六四九　七七

外交餘錄　石井菊次郎　昭和五　一　六〇〇　一一九

懷舊錄　南條文雄　昭和二　一　五五六　二七一

懷舊錄（戰袍餘薰）　有終會編　昭和二、三　三　三一八　五三二

第二輯　日露戰役之卷
第三輯　世界大戰之卷
第四輯　北淸事變之卷

同　第一輯　日淸戰役之卷　昭和二　一　三一八　五三二イ

同　第一、二輯（合本）　昭和五　一　三一八　五三二ロ

怪奇草雙紙畫譜　尾崎久彌　昭和五　一　六〇三　六二

怪奇探偵實話　高橋定敬　昭和八　一　六四三　一三

懷疑知識信仰　フイヒテ著　陶山務譯　昭和三　一　五三五　三三六イ

懷疑と象徵　中島健藏　昭和九　一　六五五　一〇五

怪奇美の誕生　園賴三　昭和二　一　五六八　二四一

怪奇物語　田中貢太郎　昭和三　一　五八二　一七九

外客往來の經濟的意義　ボドロンネフエルド著　國際觀光局譯編　昭和六　一　五九〇　四八八

繪畫專門、美術工藝兩校卒業製作品圖錄　昭和三年　同校々友會編　昭和三　一〇　一七五　一三三

繪畫に於ける線の研究　金原省吾　昭和二　一　五七二　一〇一

繪畫の製作と鑑賞　本文、繪畫　和田英作、岩井尊人譯　クラウゼン著　昭和六　二　六一四　九六

繪畫の製版と印刷　佐川義高編　昭和三（謄寫版印刷研究叢書第一編）　一　三三七　四九九

繪畫の理論と鑑賞　外山卯三郎　昭和九　一　六五七　五七

會計學　理論と實際　青木倫太郎　昭和六　一　五九一　三一二

會計學　上野道輔　訂五版　昭和二　一　三八〇　一〇ロ

第一部　簿記原理

同　訂再版　昭和二　一　三八〇　一〇ニ

第二部　貸借對照表論

會計學　黑澤淸　昭和八　四八一頁　一　六四九　九

會計學　三邊金藏　昭和五　一　六〇〇　九六

會計學概論　太田哲三　昭和七　一　六二四　八三

會計學概論　三邊金藏　昭和一〇　一　五六三　一二〇

會計學講義（三宅）（誰にもわかる實際と應用）　三宅則義　昭和九　一　六七五　五三

同　會計學原論　ホツヂ、マツキンセー著　川添貞彥譯　昭和五　一　六七五　五三イ

會計學原論　會計數理　（久武雅夫）　一　六〇〇　二一

會計學原論　會計學緒論、簿記論　蒲生保郷　昭和二　一　五七二　一四七

會計學原論　特種會計　（小宮山敬保）　一　五三七　一二八イ

會計學原論　原島茂　訂補　昭和六　四　六二四　四五

會計學原論提要　有本邦造　昭和七至九

第一編　總論
第二編　財產評價論
第二編　同　各論第一册
第二編　同　第二册

會計學提要　西垣富治　昭和八　一　六四九　八六

會計學提要（新稿）　有本邦造　昭和九　一　六四九　一五七

會計學の常識　吉田良三　昭和六　一　五九九　三六二

會計學論叢　第一、四集　神戶會計學會編　再版　大正五、九　二　三五六　九〇

會計學論叢　第二、三卷　油谷十二、片岡義雄　昭和三　二　五八六　九〇

會計學實務　第一卷　簿記原理　（黑澤淸）　一　六四三　一三

第四卷　損益計算　（林健二）
第五卷　原價計算　（吉田良三）
第六卷　株式會社會計　（長谷川安兵衞）
第七卷　經營財務論　（增地庸治郎）
第九卷　會計監査　（渡部義雄、渡部寅二）
第一〇卷　會計事務管理論　（金子利八郎）
第一一卷　商業會計　（村瀨玄）
第一四卷　金融業會計　（太田哲三）
第一五卷　運送業會計　（伊藤正一）
第一六卷　倉庫會計　（渡部寅二）
取引所會計　（今井忍）

會計學常識　今井三吉　昭和五　一　五九〇　二九三

會計學全集　東洋出版社發行　昭和八至一〇　一六　六五四　二〇

映畫及劇場會計　（油谷十二）
會計數理　（久武雅夫）
特種會計　（小宮山敬保）
公益企業會計　（竹中龍雄）
官廳會計　（花田七五三）
稅務會計　（船田勇）
事業會計實務參考法規　（太田哲三）

會計學通論　西垣富治譯編　昭和六　一　五六五　三四六

會計學提要　西垣富治　昭和八　一　六四九　八六

會計學提要（新稿）　有本邦造　昭和九　一　六四九　一五七

會計學の常識　吉田良三　昭和六　一　五九九　三六二

會計學論叢　第一、四集　神戶會計學會編　再版　大正五、九　二　三五六　三九イ

會計監査　第一編　總論　陶山誠太郎　昭和八　一　六五三　九九

會計監査綱要　中瀨勝太郎　昭和九　一　六六二　七七

會計監査研究　野本悌之助　昭和六　一　五九九　三三

〔會計檢査院〕檢査報告
大正一一年度至同一四年度並臨時軍事費
同院長官房調査科編　昭和八

同　自大正一五年、昭和元年度至昭和六年度
昭和八　一　六四三　一一〇

同　昭和七、八年度
昭和九、一〇　二　六四三　一一〇

〔會計檢査院〕檢査報告集
會計檢査院長官房調査科編　昭和九、一〇
第一輯　明治二四年度至明治三四年度、臨時軍事費特別會計　三　六四三　一一〇

		冊	函	號
第二輯	明治三五年度至同四四年度、臨時軍事費、舊韓國政府豫算襲用會計			
第三輯	（明治四五、大正元年度至大正一〇年度）			
會計檢査院 判決集	同院長官房調査科編 昭和一〇	一〇	一四、七	七〇一
會計實務	杉田會計事務所出版部發行 昭和八	一	六四九	三一
第一編	省略記帳法解說（杉田瀨平）			
會計實務誌	岩垂至 昭和九	一	六六三	二一
會計事務講習會速記錄	景山榮志 昭和二	一	五二四	六九八
會計事務管理應用	證憑式會計と傳票の作り方 宇原義豐 昭和一〇 一九六頁	一	六六〇	一二一
會計整理實務要綱	水野菊一 昭和九	一	六六〇	二五
會計法規辭典	岸田愿 昭和八	一	六二七	六八
會計法規集	巖松堂編輯部編 昭和五	一	一四七	五一〇
會計法規類聚	（昭和七年六月一日現行）司法省會計課編 昭和八	一〇	一四、七	五九三
會計法述義續篇	今泉國太郎 昭和二	一	五一二	三一八
回教解說	佐久間貞次郎 昭和一〇 二四一頁	一	六三二	一八三
回教研究叢書	イスラム協會譯編 昭和九	一	六六六	一五二
第一輯	世界の師表			
快傑傳	第一至四編 伊藤痴遊編 再、六版 大正一五	四	五六九	一六
怪傑ヒットラと其運動	高倉忍（昭和六 民衆文庫第五六篇）	一	雜 五六	五七
快傑横田の論策	上卷 遠島哲男編 昭和二	一	五六五	一五三

		冊	函	號
快俠山田喜久次郎君	小林芳三郎（識月）編 昭和四	一	五九四	二九
快元僧都記	（新校群書類從第二〇卷雜部ノ內 昭和四）			
外國郵便	上殿好三郎 昭和九	一	六五〇	二〇〇
同	改正規定料金篇 上殿好三郎編 昭和一〇	一〇	六五〇	二〇〇
外國郵便爲替沿革史資料	條約篇 昭和四 貯金局編	一	五九一	一〇八
外國郵便爲替業務狀況、外國郵便振替業務狀況	昭和七至一〇年 貯金局編 昭和七至一〇	四	六二五	一六
外國爲替	小林行昌 昭和七	一	六〇〇	三〇九
同	訂 昭和八	一	六〇〇	三〇九イ
外國爲替要義	エツシヤ著 山内五鈴譯 昭和三	一	五八七	七三
外國爲替要諦	池田政雄 昭和七	一	六二一	四一
外國爲替講話	棗田藤吉 昭和七	一	六二一	五三
外國爲替記帳法	小林綠 昭和三	一	五八〇	六四
外國爲替管理法の機能	（第六四回帝國議會衆議院本會議並に外國爲替管理法案委員會の會議錄）大口喜六等監修 昭和八	一	六三七	一一〇
外國爲替新讀本	山崎靖純 昭和九	一	六四九	一三八
同	訂一三版 昭和一〇 三一六頁	一	六四九	一三八イ
外國爲替の基礎智識	木村增太郎 昭和八	一	六三七	一七九
外國爲替の實際知識	森田久 昭和七	一	六三一	一〇九

		冊	函	號
外國爲替論	服部文四郎 昭和八 謄寫版	一	六五三	六四
外國氣候表	中央氣象臺編 昭和四	一	一四、六	二八七
外國貨幣換算表	上、下卷 貯金局編 昭和七	二	六二四	五六
外國研究要覽	日本學術振興會編 昭和一〇	一	六七二	三〇七
第一・産業研究ニ關スル米國大家ノ論文摘錄				
外國研究所要覽	日本學術振興會編 昭和一〇	三	六七二	二二二
第一篇	ドイツの部 第一部 學術振興團體			
第二篇	同 第二部 醫學的研究機關			
第六篇	ソヴイエト聯邦ノ部			
外國語としての 我が國語教授法	山口喜一郎 昭和八	一	二六三	三七六
同		一	二六三	三七六イ
外國語圖書目錄（繼新前後一）	東京外國語學校編 昭和五	一	八三二	三三
外國語の科學	平岡孝輔 昭和六 ，	一	六〇七	四二九
外國語の話	柴田義彥 昭和六（社會教育パンフレット第一四〇輯）	一	二七五 六	二九
廻國雜記	道興親王（群書類從第一八輯紀行部ノ內 昭和三）	五八三		一四
同	（新校群書類從第一五卷紀行部ノ內 昭和四）	五八四		五
外國資本と日本の産業	（資本の支配を語る）賴晴男 昭和一〇 三七頁	一	六八四	六
外國新聞	第一至四號（ガゼツト新聞抄譯） 慶應四	一〇	一八三	五六二
外國地理資料	田中啓爾 昭和八	一	六二九	四九
外國鐵道關係圖書雜誌新聞主要記事索引目錄	昭和二、三 鐵道省運輸局編 昭和三、四	二	五七九	七七

		冊	函	號
外國鐵道調査資料	鐵道省運輸局發行 昭和四、五	三	五七九	三二三
特刊	一九二八年に於ける世界各國鐵道概觀（同局編）			
特刊	中華民國國有鐵道運送規則（同局編）			
特刊	支那鐵道の黨化組織（飯尾禎）			
特刊	英國鐵道旅客及手荷物運送規則（同局編）			
外國鐵道調査資料	總目次（昭和二年至同九年）附臨時刊行物總目次 鐵道省運輸局編 昭和一〇	一	雜 三一	二八
外國電信の話	高橋勇次郎 昭和五	一	五九〇	二八七
外國電信利用法	廣島庄太郎 昭和四	一	五九七	七三
外國電報の差出方	日本無線電信株式會社編 昭和五	一	五九〇	四三四
外國特許、商標要覽	國際特許研究會編 昭和三	一	五七六	六三
外國に於ける觀光宣傳印刷物	國際觀光局編 昭和九	一	六五三	一九
外國ニ於ケル森林火災保險事業	農林省山林局編 昭和四	一	五七九	四〇一
外國に於ける大都市制度	其二至四 東京市役所編 昭和七（大都市制度調査資料第四輯）	三	一四五	三三〇
外國の圖書館界	第七至一〇 昭和六至九 武藤正治編	四	二七八	一六八
外國の觀戰祕聞	外國武官の 戰記名著集刊行會編 昭和四（熱血祕史戰記名著集第八卷）	一	五九六	三
外國貿易概要	昭和二年 大藏省主稅局編 昭和三	一	三九	四四
外國貿易概覽	大正一三、一四、一五、昭和元年、昭和三年 大藏省主稅局編 昭和二至四	三	三九	四四
外國貿易原論	グリツフキン著 原猛雄譯 昭和四	一	三八三	一四五
外國貿易實踐	石井靜人 昭和六	一	六〇八	二六一

		冊	函	號
外國貿易諸問題	齋藤眞 昭和三	一	五八六	七五
外國貿易の原理	グリツフイン著 矢部利茂譯 昭和二（中外文化協會定期刊行書第一九卷）	一	三七五	七〇 イ
同		一	三七五	七〇 イ
外國貿易の手續	上坂酉三 昭和四	一	五八八	一三〇
外國貿易理論	油木豐吉 昭和七（商業政策第一部）	一	六一七	四五
外國無線電信法規	其二 電信協會編 昭和四	一	一四七	四四四
同	上、下 電信協會編 昭和九	二	一四七	四四四 イ
外國無線電話制度調査資料	第五號 遞信省電務局編 昭和七	一	三七二	五八二
外國留學研究報告書	遞信大臣官房文書課編 昭和二	一	五八	二七八
	獨逸國に於ける陸運事業監督制度概要（伊勢谷次郎報）			
外國旅券下付及査證手續	上卷 米國篇 林富平 昭和四	一	五七九	三九三
外語教授原理と方法の研究	石黒魯平 昭和五	一	二六三 八	二一
回顧五十年	附 中央公論總目錄 嶋中雄作編 昭和一〇 三九五頁	一	六八九	三六
回顧三十年	戰役紀念保育會編 昭和一〇 三四〇頁〔背ニハ「三十年後を顧みて」トアリ〕	一	六九七	六三
回顧三十年	兵庫縣明石女子師範學校編 昭和八	一	二七四	三〇
回顧日露大戰を語る	陸軍篇 東京日日新聞社、大阪每日新聞社編 昭和一〇	一	六三二	二四〇
回顧七十年	永濱久吉 昭和一〇 三〇五頁	一	六八五	六五
回顧錄	牧野菊之助 昭和七	一	五八七	三〇三
回想	（オクスフオード運動後日物語）トルボツト著 鈴木二郎譯 昭和八	一	六三二	二九六
回想のセザンヌ	ベルナアル著 有島生馬譯 昭和三（岩波文庫四四一）	一	五六九	一四
回想錄	（伊藤、中井、井上、桂諸公其の他）片岡直溫 昭和八	一	六三九	一三
回收式製腦法の說明書	專賣局中央研究所編 補再版 大正一五	一	五二四	五八〇
懷紙集	尾上柴舟編 昭和七（日本名筆全集第一四卷）	一	二三七	三七九
繪事備考	清、王毓賢纂 康熙三〇年頃 八卷	特一六	三二七	三〇
繪事鄙言	桑山玉洲（嗣燦）（岩波文庫八二八ノ内 昭和七）		五六九	一四
繪事微言	明、唐志契 民國二三 影印 二卷（四庫全書珍本初集ノ内）	特二〇	八四四	一〇四
會社要覽（ポケツト）	昭和一〇年（一、七月版）經濟雜誌ダイヤモンド社編 昭和九、一〇	二	六六四	七
會社監査の方法及報告書要式	山内勝雄 昭和六	一	五九一	二二三
同	昭和九	一	五九一	二二三 イ
會社金融論	シユマーレンバツハ著 鍋島達譯 昭和七	一	六二四	一二九
會社會計實務誌	岩垂至 昭和一〇 四五〇頁	一	六八九	四八
會社商店經營缺陷の見方	中村茂男 昭和一〇 三五一頁	一	五四一	七〇 イ
會社設立と清算の話	合名會社、合資會社篇 野村男三 昭和七	一	六三二	一八二
會社統計表	大正一四年至昭和八年 商工大臣官房統計課編	九	一四八	六六
會社統計表	昭和二年 昭和二至一〇 兵庫縣知事官房統計課編 昭和三	一	一四八	九〇
會社と社員の權利義務	高橋德太郎 昭和三	一	五八七	七〇
會社納稅考	藤澤弘 昭和二	一	五六五	二四四

		冊	函	號
同	訂五版 昭和九	一	五七三	一四 ロ
同	訂八版 昭和一〇 四九二頁	一	五三七	一四 ハ
會社法提要	下册 寺尾元彥 昭和六	一	五三〇	一二 イ
同	一二版 昭和八	一	五三〇	一二 ロ
會社法・手形法	法學研究會編 昭和七（判例大完第六卷）	一	一四七	五六八
會社法の常識	片山義勝 昭和三	一	五八七	六
會社法の知識	栗栖赳夫 昭和九（萬有知識文庫第一五）	一	六六四	一
會社早判リ	昭和六年度 經濟新聞社編 昭和五	一	七〇	三〇七
會社問題研究	日本會社協會編 昭和五（同協會叢書第一輯）	一	六〇一	一八
會社法概論	田中耕太郎 增訂改版 昭和四	一	六〇	九二七
同	再訂四版 昭和七	一	三七二	四四〇
會社法綱要	田岡嘉壽彥 昭和七	一	六二一	一六七
會社法講義	松本烝治 三五版 昭和二	一	三六六	一二 ト
會社法講義案	上、下卷 猪股淇清 昭和九	二	六四九	二九八
會社法講義案	上、下卷 松岡熊三郎 昭和七、八	二	六二四	五五
會社法原論	片山義勝 九版 昭和九	一	三三六	四六 ホ
會社法通論	寺尾元彥 昭和九〔商法通論ノ抜刷〕	一	六五三	二九三
會社法提要	田中誠二 昭和二	一	五七三	一四
同	四版 昭和八	一	五七三	一四 イ
會社の改正所得稅營業收益稅資本利子稅とその實際	矢部俊雄 昭和二 三版	一	五七三	四四
同	訂八版 昭和四	一	五七三	四四 イ
會社の組織と經營	山口丈雄 昭和二	一	五七五	八二
會社の法律と實際	伊藤鐵之助 昭和四	一	五九一	一五三
會社法	烏賀陽然良 昭和八	一	六三七	一九三
會社法	岡野敬次郎 昭和四	一	五九一	一五四
會社法 第一、二卷	松本烝治 再版 大正一三至一四	二	五一二	二五六 イ
會社法要義	椎津盛一 昭和七	一	六〇〇	二九九
會社法要論	上、下卷 間邊吉 昭和二	二	五六一	一一七
會社法概論	田中耕太郎 增訂改版 昭和四	一	五六一	七六 イ
同	再訂四版 昭和七	一	五六一	七六 ロ
會社法綱要	田岡嘉壽彥 昭和七	一	六三七	五
會社法講義	松本烝治 三五版 昭和二	一	三六六	一二 ト
會社法講義案	上、下卷 猪股淇清 昭和九	二	六四九	二九八
會社法講義案	上、下卷 松岡熊三郎 昭和七、八	二	六二四	五五
會社法原論	片山義勝 九版 昭和九	一	三三六	四六 ホ
會社法通論	寺尾元彥 昭和九〔商法通論ノ抜刷〕	一	六五三	二九三
會社法提要	田中誠二 昭和二	一	五七三	一四
同	四版 昭和八	一	五七三	一四 イ
同	訂五版 昭和九	一	五七三	一四 ロ
同	訂八版 昭和一〇 四九二頁	一	五三七	一四 ハ
會社法提要	下册 寺尾元彥 昭和六	一	五三〇	一二 イ
同	一二版 昭和八	一	五三〇	一二 ロ
會社法・手形法	法學研究會編 昭和七（判例大完第六卷）	一	一四七	五六八
會社法の常識	片山義勝 昭和三	一	五八七	六
會社法の知識	栗栖赳夫 昭和九（萬有知識文庫第一五）	一	六六四	一
會社早判リ	昭和六年度 經濟新聞社編 昭和五	一	七〇	三〇七
會社問題研究	日本會社協會編 昭和五（同協會叢書第一輯）	一	六〇一	一八
會社法概論	田中耕太郎 增訂改版 昭和四	一	六〇	九二七
同	再訂四版 昭和七	一	三七二	四四〇
會社法綱要	田岡嘉壽彥 昭和七	一	六二一	一六七
會社法講義	松本烝治 三五版 昭和二	一	三六六	一二 ト
會社法講義案	上、下卷 猪股淇清 昭和九	二	六四九	二九八
會社法講義案	上、下卷 松岡熊三郎 昭和七、八	二	六二四	五五
會社法原論	片山義勝 九版 昭和九	一	三三六	四六 ホ
會社法通論	寺尾元彥 昭和九〔商法通論ノ抜刷〕	一	六五三	二九三
會社法提要	田中誠二 昭和二	一	五七三	一四
同	四版 昭和八	一	五七三	一四 イ
同	訂五版 昭和九	一	五七三	一四 ロ
同	訂八版 昭和一〇 四九二頁	一	五三七	一四 ハ
會社法提要	下册 寺尾元彥 昭和六	一	五三〇	一二 イ
同	一二版 昭和八	一	五三〇	一二 ロ
會社法・手形法	法學研究會編 昭和七（判例大完第六卷）	一	一四七	五六八
會社法の常識	片山義勝 昭和三	一	五八七	六
會社法の知識	栗栖赳夫 昭和九（萬有知識文庫第一五）	一	六六四	一
會社早判リ	昭和六年度 經濟新聞社編 昭和五	一	七〇	三〇七
會社問題研究	日本會社協會編 昭和五（同協會叢書第一輯）	一	六〇一	一八
會社法概論	田中耕太郎 增訂改版 昭和四	一	六〇	九二七
同	再訂四版 昭和七	一	三七二	四四〇
會社法綱要	田岡嘉壽彥 昭和七	一	六二一	一六七
會社法講義	松本烝治 三五版 昭和二	一	三六六	一二 ト
會社法講義案	上、下卷 猪股淇清 昭和九	二	六四九	二九八
會社法講義案	上、下卷 松岡熊三郎 昭和七、八	二	六二四	五五
會社法原論	片山義勝 九版 昭和九	一	三三六	四六 ホ
會社法通論	寺尾元彥 昭和九〔商法通論ノ抜刷〕	一	六五三	二九三
會社法提要	田中誠二 昭和二	一	五七三	一四
同	四版 昭和八	一	五七三	一四 イ
外人の見たる日本の横顏	ジヤパン・ツーリスト・ビューロー譯編 昭和一〇 七九八頁	一	六三一	一七五
外人の見たる大阪開港	菅野和太郎 昭和四（明治大正大阪市史紀要第一三號）	一	五七九	一三六
外人の觀たる日本國民性	矢吹慶輝監修 櫻井匡等編 昭和九	一	六四五	一九六
外人の觀たる我が國體				

書名・著者	冊	函	號
(墺國スタイン博士の國法學) スタイン著 偕行社編 訂再版 昭和九 ([須多因氏講義](明治二二年版)ノ改題)	一	三八	七〇イ
懷石料理十二ケ月 栗山善四郎 昭和九	一	六七五	一三五
繪專美工卒業製作品圖錄 昭和二年度 京都市立繪畫專門學校同美術工藝學校々友會編 昭和二	一〇	一七五	一一三
外套 ゴーゴリ著 伊吹山次郎譯 (岩波文庫九一三ノ内 昭和八)		五六九	一四
槐多の歌へる 村山槐多 昭和二	一	五五一	二四九
怪談傑作集 田中貢太郎 昭和二	一	五一七	五二七
快男兒横田千之助 石田秀人 昭和五	一	五五六	四六五
怪談全集 歷史篇、現代篇 田中貢太郎 昭和三	二	五八二	一四一
怪談その他 大佛次郎 昭和五	一	六〇三	一五七
怪談と名刀 本堂蟹歩(平四郎) 昭和一〇 三八八頁	一	六九二	八九
怪談筆始 十返舎一九 (近代日本文學大系第一二卷ノ内 昭和二)		五六〇	九
怪談豆人形 文溪堂 (近代日本文學大系第一二卷ノ内 昭和二)		五六〇	九
怪談名作集 日本名著全集刊行會編 昭和二 (日本名著全集江戶文藝之部第一〇卷)	一	五四五	三三
懷竹抄 大神惟季 (群書類從第一九輯管絃部ノ内 昭和八)		五八三	一四
同 (新校群書類從第一五卷管絃部ノ内 昭和四)		五八四	五
外地に於ける阿片及び麻藥の概況 伊原安固 昭和一〇 四五頁	一	五〇	四〇七
外地ニ行ハルル法律調 (昭和九年一月一日現在) 拓務大臣官房文書課編 昭和九	一	六五八	三九
怪貞操 北村兼子 昭和二	一	五二五	三四五

書名・著者	冊	函	號
回天偉業幕末の全貌 東洋文化協會編 昭和九	特 一〇	四三〇	三五
回天詩史 藤田彪 (新註皇學叢書第一二卷ノ内 昭和三)		五五五	四五
快馬嘶く富士裾野の一周 騎乘團記錄部編 昭和二	一	五七一	三九
外邦工藝集成 金工、木工之部 岡田三郎助 大隅爲三編 昭和二	一	四一八	一一八
外邦染織名品圖錄 恩賜京都博物館編 昭和八	特 一	四三五	八〇
快馬一鞭 坪野平太郎 再版 昭和一〇 三二五頁	一	六八八	一九
懷風藻 (校註日本文學大系第二四卷ノ内 昭和二)		五四三	一
懷風藻 (新校群書類從第六卷文筆部ノ内 昭和六)		五八四	五
懷風藻 佐久節校 普及版 (日本文學大系第二四卷ノ内 昭和八)		六二九	一三
懷風藻新釋 釋清潭 昭和二	一〇	一七〇	一三四
懷風藻註釋 澤田總清 昭和八	一	六四三	一〇〇
外務省公表集 第七至一三輯 同省編 大正一五年昭和元年至九年 昭和二至一〇	七	一四五	五一
外務省通商局日報 昭和一〇年第一〇一號(昭和一〇年五月)ヨリ 外務省通商局編		雜四五	一〇〇
外務省圖書目錄 外務大臣官房文書課編 昭和九 一四二八頁	一	六八九	一三
壞滅 ファデーエフ著 藏原惟人譯 昭和四 (世界社會主義文學叢書第七篇)	一	五六六	四三
同 昭和五 (世界プロレタリア革命小說選集第一篇)	一	六一三	一六
外蒙共和國 上、下編 滿鐵調査課編 昭和二 (露亞經濟調査叢書第六、一三編)	二	五五五	一一
外蒙古の現勢 善隣協會調査部編 昭和一〇	一	六六一	一九一

書名・著者	冊	函	號
槐門遺芳 菅原恒覽編 昭和三	一	五七七	八〇
同	一	五七七	八〇イ
會陽刀匠略系譜傳 寫	一〇	二一八	六四
會藥譜 (平賀源内全集上卷本草及工藝ノ内 昭和七)		六一〇	一七五
外來語學序說 (モダン語研究) 荒川惣兵衞 昭和七	一	六二三	五一
傀儡師 芥川龍之介 昭和八 (新潮文庫第二七編)	一	六三〇	八
傀儡子記 大江匡房 (群書類從第九輯文筆部ノ内 昭和四)		五八三	一四
同 (新校群書類從第六卷文筆部ノ内 昭和六)		五八四	五
外來思想の眞髓 高木八太郎 昭和四	一	五九五	三一
外郎異談 人見泰(璣邑)、本田利明著 朝比奈厚生校 昭和六	一	三七三	五四六
回鑾訓民詔書衍義 (口文) 佐藤知恭編 康德三 六三頁	一	七〇七	一五六
廻瀾集 廻瀾文社發行 昭和三至一〇	六〇	一六六	三六八
第二編(岡次郎編)			
第三編(平井參編)			
第五編(古城貞吉編)			
第六編(岡次郎編)			
第七編(平井參編)			
第八編(安井小太郎編)			
懷往時談 小泉策太郎 昭和一〇 五一二頁	一	六九二	二一
黃雨樓集 附春熙詩稿(江馬春熙) 江馬金粟(桂)著 檗城會編 昭和九	一〇	二一五	三四九
光雲懷古談 高村光雲 四版 昭和四	一	五七八	二三三
光榮錄 秋元文吾編 昭和三	一〇	四一七	七三

書名・著者	冊	函	號
光曜山岷江記 附照蓮寺遺聞拾錄 飛驒眞宗史編纂會編 昭和一〇 三七八頁	一	六八六	一一四
光悅遺芳 恩賜京都博物館編 昭和一〇 七一丁	特 一〇	四二七	二〇
黃海々戰を描きて 太田喜二郎 昭和四	一	五六三	二七九
鑛害賠償責任論 平田慶吉 昭和七	一	六二七	七四
黃海北部海洋島 水路部製 昭和七 六四・五〇×四九・〇〇	一枚	支	三一七
黃海北部關東半島大連港 水路部製 昭和七 六六・六〇×九八・四〇	一枚	支	九へ
同 六六・二〇×九六・二〇	一枚	支	二九九イ
黃海北部關東半島旅順港 水路部製 昭和五 六二・七六×四七・〇八	一枚	支	二八二ロ
黃海北部關東半島旅順港近海 水路部製 昭和六 四八・二八×六三・三〇	一枚	支	一一へ
光學 枝本勇雄 昭和五	一	四六	三五二
光學 平塚忠之助編 昭和四 (高等物理學第三篇)	一	四六	三一六
光學要論 內藤卯三郎 昭和五	一	四六	三五五
光學機械論 山田幸五郎 昭和六 (輓近物理學叢書第一)	一	四六	三六一
皇學會雜誌神ながら 第六卷三月索引號(總索引(第一卷第一號至第六卷第二號)) 皇學會發行 昭和八	一	雜二	一三
光學光度及照明工學(バーロース) 第一卷 バーロース著 コロナ會譯編 昭和二 (電氣工學最新名著第四回)	一	五七二	三七
光學、電燈照明 電機學校編 昭和五 (初等電氣工學叢書第六卷)	一	五六三	二三六
皇學叢書(新註―) 第六、一〇卷 物集高見編 昭和二	二	五五五	四五
第六卷 扶桑略記 (皇圓)			

		冊	函	號
神皇正統記	（北畠親房）			
古史通	（新井白石）	一	五九一	一三
中外經緯傳	（伴信友）			
第一〇卷	祝詞考	一	六八三	一六一
	祭祀考			
	神道大意			
	神道明辨			
	直毘靈			
	古道大意			
	馭戎慨言			
	鬼神新論			
	伊吹於呂志			
	鉾造化育論			
	八十能隅手			
黄河治水	東洋文明文化發祥地の改造 小越平陸 昭和四	一	五七九	三〇九
黄河の水（支那小史）	鳥山喜一 昭和三	一	五七八	三三
皇漢醫學	第一至三卷 湯本四郎右衞門（求眞） 昭和二、三	三	六〇	八六
皇漢醫學及導引の史的考察	上卷 石原保秀 昭和八	一	六〇	一二八
光顏院籌子夫人	附錄 歷代女儀の小歷並にその宗教的活動 上原芳太郎編 昭和一〇	一	六三二	一四七
皇漢名醫和漢藥處方	石原保秀編 昭和二	一	五〇	二九七
皇輝	國風會編 昭和九	一〇	四二六	五二
皇輝光墨集	皇輝會編 昭和一〇 圖版四八枚	一〇	四三〇	六四
同	昭和一〇 圖版六六枚	一〇	四三〇	六四イ
皇基國體と社會整理	共產黨事件の徹底的對策 建部遯吾 昭和三	一	五九一	一三
皇紀二千六百年の用意	高楠順次郎 昭和一〇 一二六頁	一	六八三	一六一
皇極經世觀物外篇衍義	宋、張行成（四庫全書珍本初集ノ內） 民國二三 影印 九卷	特一〇	八四四	九三
皇極經世索隱	宋、張行成（四庫全書珍本初集ノ內） 民國二三 影印 二卷	特一〇	八四四	九三
皇居御造營獻木書類	寫（明治一七年根岸家獻木ニ關スル書類）	一〇	八四一	一一九
皇居御造營の頃	中村達太郎 昭和一〇 一五頁	一〇	四二六	二一
皇宮	附皇宮要錄 大日本皇道奉贊會編 昭和七	特一〇	四二六	二一イ
同	補六版 昭和一〇	一〇	四三〇	一五
皇宮	附錄 靜岡縣下行幸及行啓誌（靜岡新報社編） 大日本皇道奉贊會編 昭和八	三	羅三五	三〇六
光畫	第一卷（一至六號）、第二卷（一至六、七至一二號） 光畫社發行 昭和七、八	一	五五一	二六三
光華（長篇小說）	根岸英馬（漱外） 昭和二	一	六二一	一四六
轟々と流るゝものへ	對馬正（篠崎正） 昭和七	一	四七	六一六
光化學	有賀輝 昭和五	一	六〇七	四三七
皇軍の倫理的研究	陸軍省編 昭和七	一	六三五	七五
皇軍聯隊旗寫眞帖	皇德奉贊會高輪分會編 昭和七	一〇	四一九	三〇九
璜涇鎭附近要圖	陸地測量部製 昭和七 五九・〇〇×八三・九〇	一枚	六一六	三九
鑛業災害ニ依ル死傷統計	日本鑛山協會編 昭和三	一	一四四	七九六
鑛業地理	石川成章 昭和四	一	五六三	二五〇
鑛業投資と經營の要訣	小浪博 昭和一〇 一五七頁	一	六八六	二八
鑛業法研究	鹽田環 昭和九	一	六七八	一〇
鑛業法令	（昭和五年一月一日現行） 日本鑛山協會編 昭和五	一	一四七	四八六
鑛業判例集	中村喜元編 昭和一〇 三五六頁	一	六九二	八五
光源院殿御元服記	（群書類從第二二輯武家部ノ內 昭和三）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第一七卷武家部ノ內 昭和五）	一	五八四	五
皇后宮春秋歌合	（新校群書類從第八卷和歌部ノ內 昭和三）	一	五八四	五
皇國愛泉家一覽	中島孝次郎編 明治三一 七〇・〇〇×五二・〇〇	一枚	八四一	一一三
同		一枚	八四一	一一三イ
廣告一夕話	平井圭三郎 昭和八	一	六四二	一三八
廣告印刷物の智識	那山幸男 昭和五	一	六〇六	七〇
廣告要論	栗屋義純 昭和九	一	六五〇	二三八
廣告界の今昔	高木貞衞 昭和五	一	六〇八	七七
廣告概論	小沼昇 昭和七	一	六三五	一
廣告講座十六講	明治大學廣告研究會編 昭和八	一	六四一	八
廣告學	金子弘 昭和八	一	六四二	二六九
廣告學概論	奧平稔 昭和八	一	六五〇	九二
廣告經濟學	コール著 長島甲之助譯 昭和一〇 三四頁	一	六六六	三四〇
皇國教育の新使名	中野八十八 昭和七	一	二五三	五五二
廣告研究	第一、二輯 大倉高商廣告研究會編 昭和五、七	二	一四、五	二六七
廣告研究	昭和九、一〇年版 日本電報通信社編 昭和九、一〇	二	六六七	七五
皇國憲法	筧克彥 昭和一〇 謄寫版 三〇二頁	一	六四〇	三〇〇
皇國憲法序論	附 天皇機關說批判 田上輝彥 昭和一〇 一四〇頁	一	六八一	二六
廣告原論	粟屋義純 昭和六	一	六〇八	二〇六
廣告祭グラフ	正路喜社編 昭和五	一	四二三	三九九
皇國造幣寮造幣權頭年報書	第一至四 第一二至一七年 明治八年二月一日卽一八七五年二月一日至明治一一年六月及明治一八年七月一日至同二四年三月一日 大藏省發行 昭和二	一	二五三	五五二
皇國造幣寮首長報告書	第二、三週年及第四回 一八七三年第七月三一日以前週年間至一八七五年第一月三一日 大藏省發行 昭和二	一	一八	一〇七
皇國史談 日本の亞細亞	內田良平 昭和七	一	六一〇	一五九
廣告實施學	葉心佛 民國二四 五八頁	一	六六六	三〇八
廣告實務	松宮三郎 昭和一〇（商工實務全書第五卷）	一	六八六	一〇四
廣告實務講話	名古屋新聞社編 昭和二	一	五二四	七〇三
廣告寫眞術	松野志氣雄 昭和九（アサヒカメラ叢書第四）	一	六四七	四五
廣告主名鑑	昭和五年版 昭和五 再版 新聞之新聞社編	一	五六四	一七三イ
廣告巡禮	飯守勘一 昭和二 〔扉ノ冠稱ニハ「現代新聞廣告界の裏おもて」トアリ〕	一	五六四	二四五
廣告隨想	大阪廣告俱樂部編 昭和二	一	五七一	一三八

		冊	函	號
廣告生活二十年	松宮三郎 昭和一〇 四二五頁	一	九二	五〇
皇國精神を代表したる西郷南洲と大久保甲東	大久保甲東先生銅像建設會編 昭和一〇	一	六六九	一三四
皇國精神講話	筧克彦 昭和五	一	五九二	一一九
皇國精神ヤマトバダラヤ神實修日本體操	筧克彦 昭和四	一	五九五	一〇四
廣告戰線を往く	飯守勘一 昭和五	一	六〇六	八五
廣告叢書	奥村連編 昭和元	一	五六四	一九三
第一輯 說話集		一	六三七	五六
皇國體の大義	渡邊八郎 昭和八	一〇	二三四	二四九
皇國地理略	（圖入り）福山學校編（明治三「明治初年同校ノ教科書ナリ」）	一	五八六	二八五
廣告圖案文案集	商店界編輯部編 昭和五	一	六四一	一九一
廣告通論	栗屋義純 昭和八	二〇	八三九	五一
皇國度制考	附 度攷辨 平田篤胤	二	六三六	二三〇
皇國二大經典叢書	平凡社發行 昭和九			
第一卷	新論講話（會澤正志著 高須芳次郎譯註）			
第二卷	中朝事實講話（山鹿素行著 高須芳次郎譯註）	一	六八一	二五
皇國日本	亘理章三郎 昭和一〇 二三六頁			
皇國日本を說く	小倉鰹爾 昭和一〇 二八二頁	一	六九三	三五
廣告年鑑	昭和三至一一年 萬年社編 昭和二至一〇	九	五三八	一八四
皇國の危機	一九三六年に備へよ 關根郡平 昭和八	一	六四九	八〇

		冊	函	號
皇國の危機	日米戰近し 佐藤清勝 昭和五	一	六〇七	一三八
皇國の軍人精神	荒木貞夫 昭和八	一	六二五	三三四
皇國の軍備と國勢	皇道振興會編 昭和八	一〇	四二六	四〇
同		一〇	四三六	四〇イ
皇國の經綸及規範	黑川文淵 昭和九	一	六三六	三一四
廣告の仕方	松崎喜一 昭和一〇 一一一頁	一	六八三	九八
廣告の心理學	有田二郎 昭和七	一	六三二	一五〇
廣告の方法	平塚芳雄 昭和六	一	五九〇	四九一
皇國の行くべき道	荻原擴 昭和一〇 一九〇頁（「皇國現下の諸問題と將來行くべき道」ノ改題）	一	六八二	一八七
廣告・窓飾の新傾向	下澤瑞世 昭和四（新商業叢書第四編）	一	五八六	一九一
廣告レイアウトの實際	室田久良三 昭和四	一	五六三	二六五
廣告論叢	第一〇、一五至一七、一九至二一輯 萬年社編 昭和三至一〇	七	五二四	二四七
鑛山調査と評價法	菅原公平 昭和八	一	六五〇	四七
鑛山の開發と經營	山田復之助 昭和七	一	六二七	一六三
同	訂再版 昭和八	一	六三七	一六三イ
鑛產物標準試料採取法	鑛產物分析法協議會編 昭和六（第三回採鑛研究會提出資料）	一	六〇四	五四五
鑛山保安實技資料	故工學士清水直之輔君殉職弔慰記念會編 昭和三	一	三三七	五〇八
皇室	村尾節三編（大正六）（日本兒童研究資料第一四）	特一〇	二五二	二四四

		冊	函	號
皇室會計法規要覽	河村亮編 昭和一〇 一二四頁	一	六八三	二二
皇室皇族聖鑑	明治篇、大正篇、昭和篇 東洋文化協會編 昭和八	降三	六三八	六九
皇室御系譜	上卷 渡邊俊、石川松衛編 昭和七	一	六一〇	一五八
皇室御撰之研究	同別冊（圖錄）付 和田英松 昭和八	二	六二三	一三五
皇室史の研究	東伏見宮家編 昭和七	一	六一二	二〇七
皇室新論	渡邊幾治郎 昭和四	一	五九五	八
皇室制度講話	酒卷芳男 昭和九	一	六四九	一四三
皇室と基督教	曾我部四郎 昭和二	一	五三三	二七〇
皇室と眞言宗	石堂惠猛編 訂再版 昭和三	一〇	三五九	二六ロ
皇室と親鸞聖人	伊藤義賢 昭和九	一	六六三	六一
皇室と文化	及川儀右衛門 昭和五	一	六一二	七〇
皇室の御紋章	佐野惠作 昭和八	一	六三六	一一八
皇室略牒	昭和元年一二月三一日調、昭和三至九年調 宮內省圖書寮編 昭和二至一〇	九	九四	六六七
黃雀風	芥川龍之介（新潮文庫第一五編） 昭和四	一	五六八	三一五
廣辭林	金澤庄三郎編 八〇版 昭和六	一	五四四	一〇六ハ
同	訂一六〇版 昭和九	一	五四四	一〇六ト
皇清奏議	續編共 庫籍整理處編 康德三	一六	六七	四八一
廣西遊記	森岳陽（清太郎） 昭和一〇 一八〇頁	一	六九五	四
鑛石受信機	丸毛登、吉田晴 昭和二	一	五七二	三五

		冊	函	號
同		一	五七三	三五イ
光線の壓力	藤村信次 昭和三	一	四六	三三
光線療法	大里俊吾 昭和六	一	六〇	一〇四一
光線療法一般	佐藤太平 昭和六	一	六〇・一二三	
皇孫御誕生記念京都こども博覽會誌	大阪每日新聞社編 昭和二	一	五一八	二七三
光尊上人血淚記（筆正秘錄）	三島了忠 昭和四	一	三七四	一三二
皇代記	（新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四）		五八四	五
皇太子殿下樺太行啓記	樺太廳編 昭和五	一	六一〇	三九
皇太子殿下行啓記念有朋會誌	同會編 昭和二	一	二九九	六三
皇太子殿下行啓記念生ること乃ち學く	廣島高等女學校々友會・同學友會編 昭和二	一	二九九	六三
皇室と親鸞聖人	伊藤義賢 昭和九	一	六六三	六一
皇室と文化	及川儀右衛門 昭和五	一	六一二	七〇
皇室の御紋章	佐野惠作 昭和八	一	六三六	一一八
皇室略牒	昭和元年一二月三一日調、昭和三至九年調 宮內省圖書寮編 昭和二至一〇	九	九四	六六七
黃雀風	芥川龍之介（新潮文庫第一五編） 昭和四	一	五六八	三一五
廣辭林	金澤庄三郎編 八〇版 昭和六	一	五四四	一〇六ハ
同	訂一六〇版 昭和九	一	五四四	一〇六ト
皇清奏議	續編共 庫籍整理處編 康德三	一六	六七	四八一
廣西遊記	森岳陽（清太郎） 昭和一〇 一八〇頁	一	六九五	四
鑛石受信機	丸毛登、吉田晴 昭和二	一	五七二	三五

		冊	函	號
皇太子殿下御降誕奉祝文集	愛知師範同窓會編 昭和九	一	五六八	四八〇
皇太子殿下御外遊記	二荒芳徳、澤田節藏 訂 昭和三	一	五五〇	一一
皇太子殿下御誕生奉祝歌	文部省發行 昭和九	一	四二八	三三
皇太子殿下御誕生奉祝志	東京市役所編 昭和九 特	一	六六九	二五
皇太子殿下御誕生奉祝昭和天覽試合	大日本雄辯會講談社編 昭和九	一	六五〇	二〇九
皇太子殿下山口縣行啓錄	同縣編 昭和三	一	五九四	二
皇太神宮儀式帳	大中臣眞繼等（群書類從第一輯神祇部ノ內 昭和四）	五八三	一四	
同	（群書類從第一神祇部ノ內 昭和六）	五六六	六一	
同	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七）	五八四	五	
皇大神宮遷宮祭典圖	神宮司廳編 昭和五	軸 二 五	一三三	
第一	造宮使拜賀宣旨拜覽圖至山口祭圖			
第二	御樋代川曳圖至地鎭祭圖			
第三	立柱祭圖至洗清圖			
第四	心御柱祭圖至川原祓內院遷送圖			
第五	御飾圖至古物渡圖			
皇道	柳澤正樹 昭和九	一	六三六	二六五
皇道大本寫眞大觀	天壁社編 昭和九〔扉等ニハ「大本寫眞大觀」トアリ〕	一	四三〇	四一
皇道及王道	田崎仁義 昭和三	一	五八七	九〇
皇道講話	今泉定助 昭和九	一	六六三	一七四
皇道軌範	日本精神宣昭會編 昭和九	一	六三六	三〇一
黃橙句集	黃橙發行所 昭和六	一	六一一	一二九

		冊	函	號
第一篇	あさぼらけ（勝峯晋風編）	一	三五三	七三四
皇道教育論	尼子止 昭和九	一	六四〇	二八五
皇道國家農本建國論	橘孝三郎 昭和一〇 二六九頁	一	六六六	二〇一
皇道思想の覺醒	飯島忠夫 昭和一〇（日本文化小輯第五）	一	六五三	四一
皇道政治學概論	藤澤親雄 昭和八	一	六三一	三九七
黃橙叢書	黃橙社發行 昭和九			
第一篇	汽笛（句集）（勝峯晋風）	一	三五三	七三七
皇道體現の教育	水谷長助 昭和九	一	三五三	四四九
皇道體現の教育（教育生活二十箇年）	山口袈裟治 昭和五	一	六七三	二一三
皇道的と覇道的	田崎仁義 昭和一〇 謄寫版	一	六四五	九五
皇道とその實現	中柴末純 昭和八	一	六二二	二六八
皇道と日蓮主義	河合陟明 昭和九	一	三五三	七七〇
皇道日本教育の建現	和歌山縣女子師範學校附屬小學校編 昭和一〇 三七六頁	一	六四四	一〇
皇道日本と王道滿洲	田崎仁義 昭和八	一	六六三	一三七
皇道日本の世界統制	大場喜嘉治 昭和九	一	六二五	一三四
皇道の原理と軍事及び外交	田崎仁義 昭和七	一	六五三	二三三
皇道の本義	清水眞澄（昭和九 みくに文庫第二輯）	一	四三三	三八五
宏道流	占景瓶花寫眞帖 望月義寬、岩下清香 昭和五	一	五八二	三二〇
黃塵	小日山直登 昭和六			

		冊	函	號
皇帝紀抄	第七、八（新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四）	五四		五
皇帝フョードル	ア・カ・トルストイ著 除村吉太郎譯 昭和四（岩波文庫五〇八）	一	五六九	一四
皇帝陛下御訪日ニ關スル記錄	國務院總務廳編 康德二 七八頁	一	六八四	二六〇
皇帝陛下訪日紀念寫眞冊	國務院總務廳情報處編 康德二	一	六六一六	二一七
皇朝印史	郡司楔所（之教） 昭和九	一	六六七	四二
皇朝史略	續編付 青山延于	一五〇	八三九	七
皇朝泉志	榎本文城編 明治三四	一	八四一	一〇三
皇朝錢圖	寬政一一	一	八四二	三〇
皇朝文鑑	宋、呂祖謙編 昭和三 宋本影寫	四〇	一五三	七三
皇典講究所概要	皇典講究所編 昭和一〇 三九頁	一	六八三	三三
皇典講究所五十年史	同所編 昭和七	一	二八三	五七
光電管	第一、二（其の性質用途及び應用） キヤンベル、リッチ共著 阪本捷房、篠原登譯 昭和六	二	六〇四	四七〇
同		二	六〇四	四七〇イ
光電管とその應用	十合晋次、福田實（リレー出版第六） 昭和一〇	一	六三五	一七
同		一	六三五	一七イ
廣日本文典	大槻文彥 再版 昭和二	一〇	七七	一〇四
皇年代略記	（新校群書類從第二卷帝王部ノ內 昭和四）	五八四		五
荒廢林地復舊事業ニ關スル組合調	農林省山林局編 昭和八	一	六五三	六〇

		冊	函	號
光風會作品集	第二回 同刊行會編 昭和九	一	六五三	二二四
鑛物及地質調査報告	臺灣總督府殖產局發行 昭和四	二	一四五	四七三
第二號	硫黃鑛床調査報告（小笠原美津雄）			
第三號	東澳滿俺鑛床調査報告（同）			
鑛物學概論	木下龜城、青山信雄 昭和八	一	六四一	一〇
鑛物學教科書（高等學校用）	附本書中の鑛物產地圖 和田八重造 昭和五	一	五六三	三八四
鑛物學地質學講義	河村信一 昭和四	一	五八八	一七二
鑛物學入門	吉村豐文、望月勝海 昭和七	一	六二七	一八四
同	訂 昭和一〇 二〇三頁	一	六二七	一八四イ
鑛物岩石鑑定要覽	大橋良一 訂補三版 昭和七	一	五四九	八七イ
鑛物調査報告	商工省發行 大正一四、昭和五	二	一四二	二六〇
第三六號	天鹽國羽幌炭田調査報文（植村癸巳男）			
第三七號	後志國茅沼炭田調査報文（鈴木達夫）			
	釧路國阿歷內產炭地調査報文（同）			
	釧路國糸魚澤產炭地調査報文（同）			
鑛夫ノ疾患ニ關スル統計	日本鑛山協會編 昭和三	一	一四四	七九七
鑛夫扶助統計	昭和二至九年 昭和三至一〇 社會局勞働部編	七	一四四	七五五イ
廣文庫	第一、二册 物集高見 昭和一〇 縮刷版	二	三二八	三八四イ
廣文堂文庫	同堂發行 昭和二	二	五三一	九四
第一	三段 枕草子全釋（栗原武一郎）			
第二	式三段 西鶴好色物全釋（岡部美二）			

		冊	面	號
廣閒錄	卷之一至一〇 承應元至寬保二年 寫	一〇	一一七	一八二
光明か晴黑か	「政治と選擧」 岩野泡之助 昭和四	一	五八七	一六七
光明藏	黃檗堂編 昭和七	一〇	六三三	七
光明藏	安岡正篤著 渡邊敬夫註釋 昭和四	一	五七九	五〇〇
光明寺殘篇	(新校群書類從第一九卷雜部ノ內 昭和七)	五八四		五
光明の思想	谷口雅春 昭和一〇	一	六六七	一四九
光明の人生	河村舜應 昭和七	一	六三四	五九
光明の生活法	谷口雅春 昭和一〇 二三四頁	一	六九三	一四四
光明峯寺攝政家歌合	(新校群書類從第九卷和歌部ノ內 昭和五)	五八四		五
曠野を拓く	宮原欣 昭和七	一	六〇七	四四六
荒野の魂(詩集)	塚原素重 昭和三	一	五八二	一七五
曠野の火(詩集)	尾崎喜八 昭和二	一	五六八	一三六
黃龍船(支那紡談)	米田華紅 昭和四	一	五九六	一六九
皇陵參拜記	靈華書房編 明治三〇	一	八四三	四五
光陵試驗林の一班	朝鮮總督府林業試驗場編 昭和七	一	六一七	一三五
皇陵巡拜案內記	江崎政忠編 昭和八	一	五六九	四三一
皇陵巡拜道略圖	藤澤南岳編 明治三一 三〇·〇〇×五〇·五〇	一枚	八三九	一九九
皇陵神社巡拜記	土屋源十郎 昭和三	一	五七八	一八八
同	再版 昭和四	一	五七八	二八イ

		冊	面	號
光輪(歌集)	筑紫野泰草 昭和一〇 (草原叢書第一)	一	六六四	一八
光琳派遺芳	同須布會編 昭和五	一〇	二一八	三五
晃麗會〔圖案集〕	第一回 同會編 昭和四	一	八三	四六七
花營三代記	(群書類從第二六輯雜部ノ內 昭和四)	五八三		一四
同	(新校群書類從第二〇卷雜部ノ內 昭和四)	五八四		五
火焰を蹴る	林禮子 訂一五版 昭和五	一	五八二	二五五
華園家乘(葵山遺稿)	第一 興正寺編 昭和二	一	五五五	四九
花街風俗叢書	大鳳閣發行 昭和六	五	六一三	三六
	第一卷 江戶遊里風俗篇 (蘇武綠郎編)			
	第二卷 江戶岡場風俗篇 (同)			
	第三卷 浪花遊里風俗篇 (同)			
	第五卷 諸國遊里風俗篇 上 (同)			
	第七卷 若衆風俗篇 上 (同)			
花街漫錄	上、下 西村竟庵著 鈴木其一畫 〔文政八ノ序アリ〕	二〇	八四一	三三
化學概說	岩波書店發行 昭和六至一〇	五	四七	六二八
	第一、二卷 總論 第一、二部 (玉蟲文一、白井俊明)			
	第三卷 非金屬 (北岡聲)			
	第四卷 金屬 (井上敬、白井俊明)			
	第五卷 炭素化合物(有機化學) (菅原健等)			
科學界の偉人	吉村虎錫 昭和一〇 四九五頁	一	六八三	一〇
科學界の英雄を語る	石井悅朗 昭和九	一	六七五	五九
科學界の五人	世界大發明家二十五人 渡邊軍治 昭和五	一	五七八	三四八
科學界の女王	キウリー夫人傳 石井悅朗 昭和七	一	五八七	二一九
科學概論	石井悅朗 昭和六	一	五八三	三七三
科學概論	上、下 ピアスン著 平林初之輔譯 昭和八 (春秋文庫第三部第四五、四六)	二	六三九	四三
化學綱要	中野勇 昭和四	一	四七	六〇三
化學講義(理論—實驗—)	高田德佐 訂九一版 昭和三	一	四七	一九五ト
化學各論	青木芳彥 昭和三	一	四七	三三三
科學から觀た人生	中西準太郎 昭和一〇	一	六七五	一八三
化學器械及藥品目錄	島津製作所編 大正一五	一	三六七	四二イ
化學機械學	友田宜孝 昭和六 (觸近化學工業叢書第二)	一	六一五	八
化學器械目錄	東京理化學器械同業組合編 訂補三版 昭和五	一	四七	二四ロ
化學機器圖集	化學工業時報社編 昭和一〇	一	五六七	一四一
科學畫報叢書	新光社發行 昭和六至九	一五	第二六	七
第一篇	科學文明の驚異			
第二篇	山岳の驚異			
第三篇	海の驚異			
第四篇	昆蟲の驚異			
第五篇	顯微鏡下の驚異			
第六篇	電氣の驚異			
第七篇	動物の驚異 (前編)			
第八篇	航空の驚異			
第九篇	最新兵器の驚異			
第一〇篇	續動物の驚異			
第一一篇	風景の驚異			
第一二篇	植物の驚異			
第一三篇	山岳征服の驚異			
第一四篇	自然界の驚異			
第一五篇	天體の驚異			
科學玩具(圖解指導—)	山根省三 昭和七	一	二六三	三〇三
科學玩具と模型の作り方(圖解—)	秋間保郎、平田潤雄 昭和二	一	五七一	一六一
科學玩具二百種	作り方遊び方 渡邊軍治 昭和五	一	六〇六	一三
化學玩具の考へ方作り方(應用自在—)	藤田龍藏 昭和九	一	六五七	八三
科學研究法	フランス學會編 昭和五	一	五六三	三一三
化學工學講座	共立社發行 昭和一〇	三	六八九	六九
第一	化學工業と化學工學 (田中芳雄)			
	化學工業總論 (龜山直人)			
	化學工場設計 (黑田泰造)			
第二	冷凍 (粟屋良馬)、高壓化學技術 (橫山武一)			
第三	空氣の調濕・乾燥・抽出 (龜井三郎)			
第一〇	永井彰一郎、西澤勇志智 昭和六 (萬有科學大系續篇第一卷)	一	六一四	一一一
化學工業	第一卷第二號 東京工業試驗所紫光會編 昭和三	一	五七九	六六
化學工業資料	第二、三回 府立東京商工奬勵館等編 昭和九、一〇	二	四、五	四〇〇
化學工業新製品紹介講演要錄				

		冊	函	號
化學工業全書	丸善發行 昭和二	一	四五	一九〇
第一二册	清酒釀造新論（石津利作）			
化學工業と火災的危險	第一一輯 越智主一郎 昭和七	一	三七三	五七一
化學工業と金屬材料	山本洋一 昭和七	一	六三	二〇
化學工業讀本（最新圖解）	日本產業會編 昭和二	一	五七一	四二
化學工業年鑑	昭和七至一〇年 化學工業時報社編 昭和六至九	四	五九八	四〇
化學工業の進步	原田三夫（誰にもわかる科學全集第一〇卷） 昭和四	一	五九八	一四
化學工業の話	アプル著 安谷寬一譯（アプル科學知識叢書第四） 昭和二	一	五二七	七二
化學工業博覽會誌	第三回 化學工業協會編 昭和六	一	六一六	一四
化學工業博覽會報告	第三回 同會編 昭和六	一	三二六	三六三
化學工業發明特許總目次	濟文閣編 昭和九	一	六五二	二
第一編	無機化合物篇			
化學構造ト生理作用	第一至一〇分册 高瀨豐吉 昭和八至一〇	一〇	四八	一二
化學構造と生理作用の關係に就て	高瀨豐吉 昭和三	一	四七	三一
科學國策論	石井悅朗 昭和七	一	五九九	三九八
化學史概說	西田博太郎、益田苦良 昭和二	一	四七	二九八
化學實驗操作法	緒方章、近藤龍訂三版 昭和五（化學實驗法改題）	一	四七	五七五 イ
化學實驗室及工場必携	足立訒調源太編 昭和三	一	五八六	一八七
化學實驗法	久保田勉之助編 昭和二	一	四七	二九一

		冊	函	號
化學史傳	山岡望 昭和二	一	四七	二九〇
科學集粹 第一	山田童編 二二版 昭和五	一	四六	七 マ
化學商品辭典	津田幹夫、堀江不器雄編 昭和五	一	五九七	三九九
科學者を通して科學の精神を語る	田制佐重 昭和六	一	六二	一六〇
科學者群像	竹內時男 昭和八	一	六四二	二〇二
科學寫眞の理論と實際	アンゲレル著 大島幹義譯 昭和八	一	六五〇	一二六
科學者と科學	矢島祐利 昭和五	一	六〇六	一二三
科學者と詩人	ポアンカレ著 平林初之輔譯（岩波文庫二九〇—二九一） 昭和三	一	五六九	一四
化學者の事蹟と生涯	中田信夫 昭和五	一	六〇四	六
科學者は斯く生きる	大橋祐之助 昭和八	一	六三九	一二六
科學隨想	西村眞琴 昭和八	一	六五七	一三
科學隨想 研究と世間	帝國大學新聞社編 昭和九	一	六五七	一九三
科學精神講話	竹內時男 昭和九	一	六六七	八七
化學製品製造販賣成功法	誠光堂新職業社編 昭和九	一	六六二	一〇二
科學戰爭	小山勝清 昭和八	一	六四二	七八
化學洗濯法講座	長野惟義 訂一一版 昭和三	一	五八六	一六七
化學戰の展望	小柳津政雄 昭和一〇 七〇頁	一	六八三	五三
科學叢書	岩波書店發行 昭和二至八	四	五〇八	二
第五編	氣象學（岡田武松）			

		冊	函	號
第六編	自然科學概論（石原純）			
第七編	氣象器械學（岡田武松）			
第八編	量子力學（菊池正士）			
同 再版	昭和九、一〇	二	五〇八	二 イ
第五編	氣象學 上卷、下卷（岡田武松）			
科學叢書	白揚社發行 昭和二	一	五四五	三四
第一編	動物と植物の生活（クロポトキン等著 山川均譯）			
化學總論	遠藤宛太郎 昭和五	一	四七	三三〇
化學總論	富永齊編 昭和九	一	四七	六八一
科學知識全集（ファアブル）	アルス發行 昭和四、五	一三	五九八	一三
第一卷	天體の驚異（安成四郎譯）			
第二卷	地球の解剖（安谷寬一譯）			
第三卷	自然科學物語（安成四郎譯）			
第四卷	科學の不思議（安成二郎譯）			
第五卷	田園の保護者（平野威馬雄譯）			
第六卷	田園の惡戲者（宮島資夫譯）			
第七卷	鳥獸の進化（安成二郎譯）			
第八卷	日常の理化（安谷寬一譯）			
第九卷	植物之世界（草生葉爾譯）			
第一〇卷	昆蟲の生活（小牧近江譯）			
第一一卷	昆蟲の習性（平林初之輔譯）			
第一三卷	農業化學の話（安谷寬一譯）			
科學知識叢書	科學知識普及會發行 昭和二	一	五三九	五八
第六篇	家庭燃料（石橋弘毅）			

		冊	函	號
同 補三版	昭和五	一	五三九	五八 イ
第一篇	日本の寄生蟲と其病害（吉田貞雄）			
化學通觀	石川清一 昭和三	一	四七	三一三
化學通論	青木芳彥 訂補七版 昭和六	一	四七	二五八 ロ
化學通論	鮫島實三郎 昭和一〇（岩波全書第五一）	一	六四六	四
化學提要	田尻彥幸 昭和一〇	一	四七	七〇三
科學的購買論	グツシエー著 ポツプエイ編 市川欣二郎譯 昭和九	一	六六七	二八
科學的鄉土學の陶冶價值	シュプランガー著 鄉土教育聯盟譯（鄉土科學パンフレット第一輯） 昭和六	一	三七二	四八四
科學的管理讀本	宇野信三 昭和八	一	六五〇	一
科學的管理營業豫算統制の實際	宇原義豐 昭和一〇	一	六五〇	二八〇
科學的圖案超スピード上達法	上、下 昭和五 增位九皐	二	八三三	二〇
科學的工場經營法	田中滿三 昭和八	一	六五〇	九九
科學的研究吃音自宅矯正法	日本音聲學會編 昭和六	一	六〇六	三六八
科學的靈魂不滅論	フインドレイ著 高橋喜八郎、高橋靜江譯 昭和一〇 三三九頁	一	六八八	九一
科學的商店經營法	佐々木良雄 昭和八	一	六四二	一三九
科學的社會主義の基礎	ザクス著 上田茂樹譯 昭和二	一	五七五	三三
科學的生命觀	永井潛 昭和四（春秋文庫第一部第一）	一	三三八	四四〇
科學的綴り方教育の設營	佐々井秀緒 昭和八	一	二六三	三七三

		冊	函	號
科學的日本主義とは何ぞや	森清人 昭和七	一	五九	四四八
科學的に見た競馬新戰術	藤田太 昭和九	一	六五七	九二
化學的分類による臨牀藥物要覽	高瀨豐吉編 昭和一〇	一	五〇	四〇二
科學、哲學、宗教	ストリイタ著 村尾昇一譯 昭和六（基督教思想叢書第四輯第一卷）	一	五九二	九八
科學點景	寺尾新 昭和一〇 一六二頁	一	六八二	四〇
化學獨逸語解釋研究	橋本吉郎、星野通 昭和七	一	四七	六五〇
科學と臆說	ポアンカーレ著 林鶴一譯 昭和五	一	五九七	三〇三
科學と藝 話題の辭典	尾崎昇編 昭和一〇	一	六六三	二一九
科學と宗教	海野三朗 昭和八（佛教研究叢書第一〇）	一	六一九	二四
科學と宗教	富士川游 昭和六（春秋文庫第一部第四六）	一	三三八	四四〇
科學と宗教との闘爭	マツケーブ著 石井重美譯 昭和二	一	五三三	二一九
科學と思想（科外講話一）	山川敬夫編 昭和五	一	六〇九	一三五
科學と實在	デルベ著 平林初之輔譯 昭和三	一	五七一	二三四
科學と趣味から見た金魚の研究	松井佳一 昭和一〇 四二二頁	一	六八〇	八五
同		一	六八〇	八五イ
化學と電子	トムソン著 北岡聲等譯 昭和三	一	四七	三三
化學と統計力學	塚本義之 昭和一〇 一四七頁	一	四七	七一
科學と人間生活	田中清之編 昭和四	一	五七二	二〇七
同	昭和九 普及版	一	五七二	二〇七イ

		冊	函	號
科學と方法	ポアンカレー著 吉田洋一譯 再版 昭和二（岩波文庫八五―八七）	一	五六九	一四
科學と見えざる世界	エデイントン著 千葉勇五郎譯 昭和六（基督教思想叢書第四輯第二卷）	一	五九二	九八
化學熱力學	上卷 一瀨雷信、倉橋治助 昭和六	一	四七	六二五
科學の價値	ポアンカレ著 田邊元譯 昭和二（岩波文庫六九―七〇）	一	五六九	一四
化學の基礎	田中伴吉 昭和九	一	四七	六八三
化學の教育方針と基礎及應用	加藤與五郎、永海佐一郎 昭和七	一	四七	六五二
科學の今昔	永井潛 昭和九（春秋文庫第一部第六八）	一	三三八	四四〇
科學の新背景	ジーンス著 賀川豐彥、中村獅雄譯 昭和九	一	六五七	一七八
科學の尖端を語る	竹内時男 昭和九	一	六五七	六九
科學の未來と文明破壞の脅威	ラッセル著 桐生政次譯 大正一五（未來叢書第四編）	一	五四五	五四
科學は何處へ	ブランク著 寮佐吉譯 昭和八	一	六四二	一一五
科學方法論	戸坂潤 昭和四（續哲學叢書第一〇編）	一	五九八	九
科學は語る	大阪毎日新聞學藝課編 昭和六	一	六〇六	二三八
化學汎論	箕作新六 昭和七	一	四七	六三四
科學普及叢書（東京帝國大學理學部會）	岩波書店發行 昭和二、三	二	五三九	二四
	第五編 複鹽に就て（大幸勇吉）			
	第六編 輓近細胞學の進歩及其研究方法（藤井健次郎）			

		冊	函	號
科學文獻編	雜賀貞次郎編 昭和七（白濱・湯崎溫泉叢書第一册）	一	六三五	一〇
化學分析の理論と計算	向井參之充 昭和八	一	四七	六六一
科學文明史	岡邦雄 昭和六（最新科學圖鑑第一）	一	五六七	七九
科學文明の驚異	科學畫報社編 昭和六（科學畫報叢書第一篇）	一	雜二六	七
化學平衡論	瓦斯反應編 岡山義雄 昭和一〇 三九九頁（日本工學全書ノ內）	一	四七	七一五
化學平衡論	箕作新六 昭和六（輓近化學叢書第四）	一	四七	六三六
化學兵器解說	山口誠太郎 昭和八	一	六四二	一二〇
同	訂三版	一	六四二	一二〇イ
化學兵器寫眞帖	一九三四年版 陸軍科學研究所高等官會所編 陸軍科學研究所 昭和九	一〇	六七一	四七
化學標準用語	內閣資源局編 昭和七	一	四七	六四五
化學變化思索と實驗	竹村貞二 昭和九	一	四七	六七六
化學變化思索の原理	竹村貞二 昭和八	一	四七	六六五
化學本論	片山正夫 訂一〇版 昭和四	一	四七	一八八ハ
化學物語	益田苦良 昭和八	一	四七	六五四
化學藥品試驗規格集	高島雅等編 昭和五	一	四七	六三一
科學夜話	石川千代松 昭和八	一	六四二	二五七
科學より觀たる古事記	淺野正恭 昭和三	一	五七八	一七六
科學より見たる聖書	ドースン著 大賀一郎、杉村枝譯 昭和一〇 一八七頁	一	六七九	一七九
化學理論及び計算	越山季一 昭和七	一	四七	六四八

		冊	函	號
同	補再版 昭和一〇 五二一頁	一	四七	六四八イ
科學論	戸坂潤 昭和一〇（唯物論全書第一一）	一	六四六	六
科學論文の書き方	田中義廣 昭和四	一	三八三	一六九
同	訂五版 昭和九	一	三八三	一六九イ
華甲記念文集	佐佐木信綱 昭和七（岩波文庫本信綱文集ノ改題）	一	五八七	二九一
花間笑語	三村其原 文化五 寫 三四丁	一〇	八三四	二六
花卉	乾直惠 昭和一〇 六三頁	一	六六六	二九〇
蝸牛の足跡	椎名龍德 昭和七	一	二五九	六四一
花卉園藝	附 庭木盆栽と高山植物 加藤行作 昭和九	一	六六七	五六
花卉園藝（增訂）	上、下卷 佐々木祐太郎 昭和四、一〇	二	三八三	一五四
花卉園藝の手引	露地の卷 安西義正 昭和四	一	五九七	三六
花卉花木果樹蔬菜土に親しむ手引	安達正博 昭和五	一	五九七	三一三
花卉栽培實際問答集	西島藥峰 昭和六（西島藥峰園藝叢書第二）	一	六一三	五〇
花卉栽培法	福羽逸人 昭和六	一	六〇八	二八八
花卉叢書	大阪毎日新聞社等發行 大正一五至昭和四	四	五六〇	一八八
	第一編 溫室植物の話（羽鳥業）			
	第二編 球根草花の話（吉津良恭）			
	第三編 花卉裝飾の話（羽鳥業）			

		冊	函	號
第四編　草花栽培の話（吉津良恭）				
花卉の病蟲害防除法	松岡喜惣治　昭和九	一	六六六	七三
花卉の副業栽培	森口潔　昭和一〇　五五五頁	一	六八七	二〇〇
廓堂片影	北條時敬著　西田幾多郎編　昭和六	一	六二二	一五〇
郭中奇譚	白岡先生（近代日本文學大系第一二卷ノ内　昭和二）	五六〇		九
霍里詩鈔	橫溝霍里（恒）著　松岡謙介編　昭和九　四四丁	一〇	三〇二	一二
火浣布說	平賀源内（平賀源内全集上卷本草及工藝ノ内　昭和七）	六一〇	一七五	イ
同		六一〇	一七五	イ
火浣布略說	平賀源内（海表叢書卷二ノ内　昭和三）	五六六	一五	
同	（南蠻紅毛史料第一輯ノ内　昭和五）	五六六	一五	イ
火刑	三上於菟吉　昭和四	一	五九六	八三
華溪詩集	高木正謙　昭和四	一	五六九	一三九
同	昭和五	一	五六九	一三九　イ
華僑	（支那民族の海外發展）長野朗　昭和三	一	五七三	一二八
華僑ノ研究	外務省通商局（小林新作調）編　昭和四	一	五九一	一三六
華僑ノ現勢	功力千俊編　昭和一〇　一二八頁	一	六八四	四五
華月庵秘錄	煎茶法式　花月庵楓谷　昭和四	一〇	一一七	一七六
花月遊吟	黒川春村等編（狂歌師肖像畫入）	一〇	二四九	二三八
花月隨筆	飯島花月　昭和八	一	六三六	一一九
火災防止	建築設備　中村達太郎　昭和八	一	六四七	九
火災保險	小林北一郎　昭和二	一	五七三	三八
火災保險會計	葛城照三　昭和九	一	六四九	二七三
火災保險勸誘の手引	高森昇一郎　昭和九	一	六六〇	一〇二
火災保險經營と料率研究	井口武三郎　昭和七	一	六三四	二
火災保險實務講話	中外保險新報社發行　昭和九	一	六七〇	七
第一輯　契約篇（笹山二良）				
火災保險實務の手引	高森昇一郎　昭和九	一	六六〇	一三
火災保險新講	吉井桃麿呂　昭和九	一	六四九	一四〇
火災保險の手引	岩瀨茂夫　昭和四	一	五八七	一五六
火災保險は何處へ	（付け方、取り方）後藤四方吉　昭和八	一	六三四	二三九
火災保險普通約款綱要	内山清　昭和八	一	六四九	二一
火災保險料率問題	第七輯　瀧谷善一　昭和五	一	六〇四	四四
火災保險、ロイド保險人、會計	渡部義雄　昭和五	一	六〇七	一八〇
火災保險論	北澤宥勝　昭和五	一	六〇〇	三四
火災豫防及避難設備關係法令集	石館榮三郎編　昭和四	一	一四七	四五四
火葬國風景（海野十三—短篇集—）	同人　昭和一〇　四〇四頁	一	六八二	六二
火山（詩集）	杉原邦太郎　昭和五	一	六〇三	三四
臥山詩鈔	第一、二　西塚香卿　昭和三	二〇	一八三	六一四
巖山先生畫譜	恩賜京都博物館編　昭和三　圖版五一枚	特	一四七	三七
巖山先生詩畫帖	錦泉社編　昭和三	一	八二	六〇
火山の下に（長篇小說）	江口渙　昭和九	一	六六五	九九
禾舟漫筆	川島右次（禾舟）昭和八至一〇	四	六三五	二一三
第二	民間新聞創始者ジョセフ・ヒコ氏の生涯			
第三	姬路藩二十四孝傳			
第四	鈴木重胤大人の片影			
第五	楠公墓碑と千巖和尙			
菓子及飮食物取締法規	次田龜玖　昭和一〇　六六頁	一	六八三	六九
菓子研究	第三至八輯　菓子研究會編　昭和五至一〇	六	六〇四	九八
菓子圖案	上　小寺開光堂編　昭和二	一〇	四三三	二八三
菓子通	三好右京　昭和五（通叢書第二八卷）	一	六〇二	一
菓子に關するパンフレット	東京菓子新聞社發行　昭和三、八	一	六二七	二一九
果實蔬菜の貯藏法及果實の早出し法	田口敏夫　昭和五	一	五九七	三四〇
果實貯藏庫ニ關スル調査	農林省農務局編　昭和二	一	三四三	八
果實貯藏庫に關する調査	農林省農務局編　昭和三	一	五七九	四七
菓子店經營の繁昌祕訣	サトウ、ツタエ　昭和五	一	六〇六	一〇〇
菓子に關するパンフレット	東京菓子新聞社發行　昭和三、八	一〇	一七三	一五三
第一輯　菓祖田道間守公（三好右京）				
菓業知識之源泉	田茂井秀次郎　昭和四	一	五五二	二九九
過去	ポルト・リッシュ著　岸田國士譯（岩波文庫一二三—一二三四）昭和一〇	一	五六九	一四
過去	廣津和郎　昭和九（「訓練されたる人情」ト合綴）	一	六五五	四一
畫工志願	西田武雄　昭和八	一	六四三	一五
禾穀類の細胞遺傳學	木原均、長尾正人　昭和八（遺傳・育種學叢書第一輯）	一	六五八	五八
過去十ケ年ニ於ケル英領馬來對外及對日貿易事情	商工省貿易局編　昭和六	一	三七八	三〇七
華語大辭典	權寧世編　昭和八	一	五六九	四三二
過去と現在	カーライル著　柳田泉譯　昭和九（世界大思想全集第九七）	一	五四五	五九
過去24年間ニ於ケル我教室ノ子宮癌腫治療成績	緒方十右衞門、中川正路　昭和一〇　二五六頁	一	五六	三七〇
同		一	五六	三七〇　イ
過去の我南洋	附錄付　長谷部言人　昭和七	一	五八七	二九五
華語發音字典	權寧世編　昭和八	一	六三三	一四三
華語發音法	常靜仁　昭和九	一	六三一	三九五
火災消防統計	昭和五至七年　栃木縣警察部編　昭和五至七	三	一四、六	五七
火災消防統計書	昭和七年　靜岡縣警察部編　昭和七	一	一四、六	イ　五九
火災消防統計書	第四回　內務省警保局編　昭和四	一	一四、六	イ　五六
火災統計表	昭和六至八年度、大日本聯合火災保險協會編　昭和九、一〇	三	一四四	一〇一六

		冊	函	號
第四輯	砂糖に關する講演（東京菓子研究協會編）			
菓子の話	東京菓子新聞社發行 昭和二	一	五七二	一四
第一卷	菓子概論 上篇（三好右京）			
畫集をかねた新南畫の描き方	小室翠雲 昭和八	一	六四二	一八九
畫集をかねた新洋畫の描き方	藤島武二 昭和八	一	六四二	九九
畫集をかねた正しい日本畫の描き方	橋本永邦 昭和八	一	六四二	一八八
畫集南蠻屏風	附南蠻屏風の前に座して 永見德太郎 增補 昭和二	一	四一四	四九イ
華裳會作品集	第一 田中源商店編 昭和一〇	一〇	三〇〇	七四
過彰化聖廟詩集	黃臥松編 昭和五	一〇	一五六	一〇七
果樹	水上瀧太郎 昭和四	一	五八九	一三一
果樹園藝學講義	上、中、下卷 草場榮喜 昭和二、四	三	五六三	一四〇
果樹害蟲各論	上、下卷 高橋奬 昭和五	二	五七二	二一三
果樹栽培講義	恩田鐵彌 昭和六	一	五八一	二七五
果樹實驗園藝	果樹蔬菜 鈴木清、高木輝治 昭和二	一	五六三	一七五
果樹の病蟲害驅除	松岡喜惣治 昭和九	一	六六六	六九
果樹類の害蟲	臺灣總督府殖產局編 昭和八（臺灣農作物病害蟲防除要覽第一編）	一	六五〇	一七
過剩榮養と其疾患	竹內順三郎 昭和九	一	六〇	一二八三
貨殖辨	畑中多忠（荷澤） 昭和七	一〇	二三三	四二〇
菓眞	伊藤與平 四版 昭和九	一	六七五	一五六
渦心	里見弴 昭和八	一	六四三	二四〇
畫人雲坪	高津才次郎 昭和九	一	六三一	四七八
畫人華話	添田達嶺編 昭和三	一	五八六	七〇
臥薪嘗膽國の譽	美甘光太郎（琅玕軒清風）昭和二〔題簽ニハ「講談日本海々戰」ト アリ〕	一	五二四	三二六イ
菓粹	木村吉隆編 昭和九	一	六六七	一〇六
瓦斯事業關係度量衡換算表	帝國瓦斯協會編 昭和二	一	五六九	四一
瓦斯電氣金屬鎔接法	益田森治 昭和八	一	六五〇	五
貨政考要	法令編 大藏省編 大內兵衞、土屋喬雄校（明治前期財政經濟史料集成第一四卷） 昭和九	一	六〇一	三一
和聲學	クレール著 片山顯太郎譯 昭和七	一	六五〇	一四四
和聲學	黑澤隆朝 昭和二（洋樂叢書第三冊）	一	五七三	四三
和聲學	下總皖一 昭和一〇 二六四頁	一	六八〇	三六
和聲學	成田爲三 昭和一〇 二六七頁	一	六九四	三三
和聲學	第一卷 シエーンベルク著 山根銀二譯 昭和四	一	五六三	二三五
和聲學要義	コルサコフ著 菅原明朗譯註 昭和六	一	四二四	七四
和聲學教科書	ヤダースゾーン著 乙骨三郎譯 昭和四	一	五五二	三〇三
晝生活より	森田恒友 昭和九	一	六五七	二〇六
化性帶原理蠶兒免疾論	（一名蠶の癒生） 福井虎之助 昭和二	一	五二四	六七八
化政度江戶仇討狂言集	春陽堂編 昭和四（日本戲曲全集第二〇卷）	一	五六六	四七
化政度江戶世話狂言集	春陽堂編 昭和四（日本戲曲全集第一八卷）	一	五六六	四七
化政度京阪仇討狂言集	春陽堂編 昭和三（日本戲曲全集第一九卷）	一	五六六	四七
和聲の實習問題	眞篠俊雄編 昭和九	一	六五〇	二〇五
華宵愛吟詩畫集	高畠華宵 昭和四	一	五八九	一〇六
化石圖譜	第一高等學校地質鑛物學教室編 昭和七	一	六二八	一三
化石の街	龍膽寺雄 昭和六、（新潮社長篇文庫第一九編）	一	五一七	六六九
火線を越して	鈴木氏亨 昭和七	一	六二〇	一三三
火線に散る	伊地知進 昭和七	一	六三三	四〇
花扇之圖	寫〔守永二年七月七日進獻之寫〕	一軸	八四二	一二六
畫錢譜	馬島杏雨編 明治三二	一〇	八四二	三五
華族要覽	華族會館編 昭和八	一	五六九	四四七
日本植物誌	科屬檢索 牧野富太郎、田中貢一編 昭和三	一	五七一	二〇二
菓祖田道間守公	三好右京 昭和三（菓子に關するパンフレット第一輯）	一〇	一七三	一五三
花袋隨筆	田山花袋 昭和三	一	五六九	八九
花道古書集成	第一期第一至五卷 華道沿革研究會編 昭和五	五	六〇一	一五
第一卷	仙傳抄			
	義政公御成式目			
	池坊專應口傳（池坊專應）			
	百瓶華序（月溪聖澄）			
	替花傳祕書			
	六角堂池坊並門弟立花砂之物圖（猪飼三左衞門編）			
	立花初心抄			
	大住院立華砂之物圖（大住院以信）			
	立花大全			
	立華正道集（琴舊子）			
	拋入花傳書			
	立華指南			
第二卷	立華時勢粧（富春軒仙溪）			
	立花便覽（松鋗山）			
	古今茶道全書 第二			
	當流茶之湯流傳集 卷之三（遠藤元閑）			
	立華訓蒙圖彙			
	增補正風體立花大全			
	古今增補立花大全			
	茶湯評林 卷之二（遠藤元閑）			
	當世茶湯獨清 卷二（井上新七）			
	新瓶花圖彙（山中忠左衞門）			
	華道全書			
	立華道知邊大成			
	新編立華百瓶圖彙（柳心坊蘭谿）			
	立花秘傳撰花雜錄（向陽軒梅橋（高津幽了））			
	正法眼藏（本朝瓶花史）拋入岸之波（鈞雪）			
	生花正意四季之友（落幅堂曉山）			
	源氏活花記（千葉龍卜）			
	當世垣のぞき			
第三卷	華鈴集拋入華の園（秀帶子）			
	摘採書拋入華の園（千葉龍卜編）			
	活花百瓶圖（千葉龍卜編）			
	挿花千筋の蔕（入江玉蟾）			
	拋入花薄（千葉一流）			
	拋入狂花園			
	當世穴さがし 卷の三			

クワ―クワツ

生花百競（入江惟忠）
瓶花群載
古田流獨稽古　後編（佐々木松堂）
いけ花獨稽古
瓶史述要（原溪崖、山和井）
第四巻
百瓶生花枝折抄（千葉龍卜）
追加生花枝折抄（千葉龍卜）
粧花挿瓶法（「秘傳花鏡」之内）
百器圖解（千葉龍卜）
甲陽生花百瓶圖（是心軒一露）
砂鉢生花傳（岡部成古）
挿花稽古百首（用捨庵琅雪）
瓶花百々枝折
古流生花四季百瓶圖（是心軒一露）
挿花故實化（渾沌子）
美笑流活花四季百瓶圖（分愼齋一卜〔藤原正甫〕）
生花草木出生傳（五大坊卜友）
源氏碑銘抄（龍子）
挿花碑銘抄
古流挿花湖月抄
小篠二葉傳（五大坊卜友）
第五巻
活花圖大成（吉尾泰雅）
生花出生傳
生花出生傳圖式（五大坊卜友）
挿花故實集（龜齡軒涉來）
庸軒挿花四季枝折（富田呼牛）
流挿花薄精微（千葉萬水）
抛入花薄精微
新瓶花容導集（池坊專定）
刻瓶花容導集
挿花秘傳圖式（風鑑齋積水）
東錦（艸々舍弄英）

華道全集　角谷綠三編　昭和一〇　一〇　六五〇　三〇三
第一巻　基本之巻　上
第二巻　基本之巻　中
第三巻　基本之巻　下
第四巻　水盤之巻
第五巻　重生之巻
第六巻　懸生之巻
第八巻　草木之巻　上
第九巻　草木之巻　下
第一〇巻　意匠花之巻
第一一巻　儀禮花之巻

花壇地錦抄　伊藤伊兵衛　昭和八（京都園藝倶樂部叢書第二輯）　一　六五一　一四
同　一　六五二　一四イ
花壇と芝生　關倫三郎　昭和三（造園叢書第二〇巻）　一　五六六　三八
火中の書　荻原井泉水　昭和一〇　二八二頁　一　六八一　一八
華頂聚寶　知恩院編　昭和一〇　特一　三〇〇　四八
括要算法　卷元、享、利、貞　關孝和編　大高由昌校訂　四　二一五　三一八
昭和九　謄寫版
畫圖醉芙蓉　鈴木芙蓉畫　文化六　三　八四一　四八
濶葉樹材の利用　大日本山林會發行　昭和五至八　三　五六三　三三
（「葉樹材利用調査書」ニ同ジ）
第一輯　ぶな類篇（吉田義孝調）
第二輯　落葉かし類篇（同調）
第四編　とち及しやくなげ類篇（吉田義孝調　中原正虎補）
第五編　ほほのき及かつら類篇（東京營林局編）
濶葉樹材利用調査書　東京營林局發行　昭和四、八　一　五六三　三三イ
第一輯　ぶな類篇（吉田義孝調）
第二輯　落葉かし類篇（同調）

第三輯　くり類篇（同調）
第四輯　とちのき類及しやくなげ科篇（吉田義孝調、中原正虎補）
第五輯　ほゝのき類及かつら篇（同局編）

豁如軒詩集　初編　舟橋晴潭（澹）　一〇　八三八　七
活性炭素　荒木鶴雄　改版　昭和七　一　五四三　九七イ
活動寫眞の實際知識　各務忠方　昭和四　一　五九七　一〇八
活動寫眞の知識　小路玉一　昭和二　一　五三七　一八〇
活動寫眞の保護と取締　柳井義男　昭和四　一　五五八　一六七
活動寫眞「フイルム」檢閲年報　昭和四、八、九年内務省警保局編　昭和和五至一〇　三　一四四　一〇二〇
活版印刷術講義　川村市兵衛　昭和七　一　六一七　一九三
活版經籍考　吉田堇撰（漢官）　昭和八（狩谷掖齋手寫本ノ複製）　一〇　二一五　一八三
活版總覽　森川龍文堂編　昭和八　一　六四二　二五二
活躍の新天地　招く滿蒙　新天地社編　昭和七　一　六三九　一一
活躍の秘史　滿蒙夜話　西岡士郎　再版　大正一五　一　五五六　一八三
活用さるべき經濟知識　小西悳三　昭和二　一　五七五　四五
活用メンタルテスト　兒童精神科學研究會編　昭和七　一　二五二五　二〇一
課程中心綴方學習指導書　尋二、四、六　秋田喜三郎　昭和六至一〇　三　二六三二　三三〇
過庭餘聞　楠本士敬編（佐佐碩水ノ口述ヲ楠本士敬ノ錄セルモノ）　一〇　二三三　四三七
花鳥　富岡犀川（朝太）　昭和九　一　六六五　七

クワツ―クワト

花鳥畫集（新古畫）　鈴木四郎編　昭和三　一　五七六　九〇
花鳥畫の本質　榊原紫峰　昭和一〇　一　六七五　一五七
花鳥畫法　アトリエ社編（日本畫新技法講座第二）　昭和八　一　六四一　一四八
花鳥草紙　新村出　昭和一〇　三七五頁　一　六〇九　四一九
花鳥寫眞圖鑑　第一至六輯　岡本東洋編　昭和五　六　六〇五　一一
同　第一輯　一　六〇五　一一イ
花鳥小品　荻原井泉水　昭和一〇　二九八頁　一　六七九　九一
花鳥百譜詳釋（花鳥蟲魚）　志田義秀　明治四五　一　二九　四〇六
花鳥圖案模様集　卷一　日本工藝學會編（意匠圖案資料叢書第一輯）　昭和五　一　六〇一　一七
花鳥風月　宮川曼魚　昭和一〇　三一二頁　一　六八一　一〇
〔畫帖〕　方子易畫　昭和三　一〇　二三〇　二五
花傳書　世阿彌著　野上豐一郎校　昭和二（岩波文庫一七一）　一　五六九　一四
同　訂　昭和一〇（岩波文庫一七一）　一　五六九　一四イ
花傳第六花修　解說付　能樂研究室編（能樂資料第一編）　昭和六　複製　二〇　二四九　二一七
過渡期國際法　コローヴイン著　米村正一譯　昭和八　一　六三四　一〇四
過渡現象　アーノルド編　春名由已譯　昭和三（アーノルド電氣工學叢書ノ内）　一　五七六　五
過渡現象論（ルユーデー）　第一至三卷　ルユーデンベルヒ著　コロナ會譯編　昭和二至四（電氣工學最新名著第九、三四、三六、四六回）　二　五七二　三七
化度寺邕禪師塔銘　歐陽詢書　昭和二　一〇　四二一　二二

		冊	函	號
桑原博士還暦記念 東洋史論叢	桑原博士還暦記念祝賀會編 昭和六	一	五六七	八三
畫譜一千一夜物語	上卷 マルドリュウス編 源一等解説 昭和四 矢野目	一	五五三	一〇〇
華府海軍軍備制限條約一九三〇年「ロンドン」海軍條約	其ノ他 海軍軍事普及部編 昭和九	一	六六六	四四
華府會議と列國の權略	蜷川新 昭和二	一	五四九	三三六
寡婦 マルタ	オルゼシュコ著 清見陸郎譯 昭和二	一	五二九	二三九
同	昭和四 （改造文庫第二部第八八篇）	一	五六九	一四三
貨幣	巖松堂發行 昭和九	一	六七八	一三
貨幣	第一册 貨幣の基礎概念 （友岡久雄） 西村眞次 昭和八 （日本古代經濟交換篇第四册）	一	六三八	一一八
貨幣及銀行原理	服部文四郎 昭和四 謄寫版	一	五九一	三五
貨幣及び外國爲替論（カツセル）	笠井正範譯 昭和二	一	五六一	一五七
貨幣及信用理論	河野重弘譯 昭和六	一	五九九	三三九
貨幣概論	山崎覺次郎 昭和四	一	五九一	八七
貨幣學說研究	不換紙幣、本位制度篇 春日井薫 昭和四五	二	五九一	一三三
貨幣學の實證的研究	牧野輝智 昭和四	一	五九一	一四〇
貨幣價値の研究	正井敬次 昭和一〇 三三七頁	一	六八六	八一
貨幣價値變動と生命保險	富永義孝 昭和七	一	六三四	八
貨幣銀行及爲替論	服部文四郎 昭和四	一	五六七	八三
「貨幣銀行外國爲替」特殊問題研究	改造社發行 昭和二	二	五七五	六五
第一	金貨本位制の興廢（堀江歸一）			
第二	英國預金銀行論（同）			
貨幣金融及物價の史的研究	春日井薫 昭和二	一	五六一	一五四
貨幣原理	服部文四郎 昭和八 謄寫版	一	六三七	五八
貨幣原論	エルスター著 入澤民政譯 昭和三	一	五八〇	一一四
貨幣錯覺	フイシヤー著 山本米治譯 昭和五	一	六〇七	一〇三
貨幣・信用及インフレーションの理論	猪俣津南雄 昭和八 （經濟學全集第五一卷）	一	五八七	三三
貨幣信用及商業	マーシャル著 松本金次郎譯 昭和二	一	五六一	一〇三
貨幣・信用及び物價	レヴインスキー著 大越貞一譯 昭和八	一	六三一	一七三
貨幣製造の話	泉友會編 訂補三版 昭和九	一	三九三	五〇三（ロ）
貨幣政策と景氣變動	平尾彌五郎 昭和九	一	六七八	一六
貨幣制度概說	荒木光太郎 昭和八	一	六三七	四三
貨幣條例備考	〔明治初年〕 造幣寮編	一〇	八四二	二
貨幣哲學	分析篇 ジムメル著 堀井貫譯 昭和八	一	六四九	九四
貨幣と價値	（論理的一研究） 左右田喜一郎著 川村豐郎譯 昭和三	一	五七三	一九六
貨幣と爲替	正井敬次 昭和六	一	五九一	二六九
貨幣讀本	山崎覺次郎 昭和八	一	六三七	一五一
貨幣と景氣變動	ハイエク著 豐崎稔譯 昭和九	一	六六〇	二〇
貨幣と信用	（資本主義篇） 所編 米村正一譯 コムアカデミア經濟學研究 昭和八	一	六四九	九八
貨幣と物價	荒木光太郎 昭和九 （基礎經濟學全集第四卷）	一	六五四	五四
貨幣ト物價	フイシヤー著 高城仙次郎譯 大正二 五一五頁	一	三三六	一八一（イ）
貨幣の意義	ウキザース著 岩田百合治譯 昭和五	一	五八六	三三六
貨幣の經濟學	宮田保郎 再版 昭和一〇 四三六頁 〔「貨幣の實際知識」ノ改題〕	一	六六〇	一八四（イ）
貨幣の幻覺	フイシヤー著 森川太郎譯 昭和五	一	六〇七	九六
同		一	六〇七	九六（イ）
貨幣の實際知識	宮田保郎 昭和九	一	六六〇	一八四
貨幣の知識	服部文四郎 昭和九 （萬有知識文庫第四）	一	六六四	一
貨幣のない社會	林要 昭和八	一	六四四	一七三
貨幣の理論	高垣寅次郎 大正一五、昭和二、三	三	五六一	一二八
第一	貨幣の生成			
第二	貨幣の職能			
第三	貨幣の本質			
貨幣便覽	昭和五年版 林勇 昭和五 〔扉等ニハ冠稱ニ「明治大正昭和」トアリ〕	一	五六九	二〇三
貨幣ブロックに關する諸問題	金原賢之助 昭和一〇 （銀行叢書第二二編）	一	五〇八	三〇
貨幣問題雜觀	山崎覺次郎 昭和八	一	六四九	六六
貨幣理論	ワーゲマン著 青木孝義譯 昭和四	一	五九一	一七五
貨幣論	青木得三 訂六版 昭和四	一	三五三	九四（ロ）
貨幣論	堀江歸一 改二六版 昭和二	一	四五	三九七（ヘ）
貨幣論	カウツキー著 向坂逸郎等譯 昭和九	一	六四九	二一一
貨幣論（ケインズ）	ケインズ著 昭和七至九 鬼頭仁三郎譯	一	六〇〇	八八
第一分冊	貨幣の性質、貨幣の價値	五	六二四	八四
第二分冊	貨幣の基本方程式			
第三分冊	價格水準の動態			
第四分冊	貨幣的諸因子とその變			
	投資率とその變動			
第五分冊	貨幣の統制			
貨幣論講義	春日井薫 昭和四	一	六〇〇	一三
貨幣論上に於ける限界效用說の再吟味	三宅喜二郎 昭和六	一	六〇四	五四八
貨幣論叢	大藏省理財局發行 昭和三	三	一四五	四五
第九號	貨幣價値安定問題（カツセル著 同局譯）			
第一〇號	外國爲替に關する最近の諸學說 （コーランニー著 同局譯）			
第一一號	貨幣論の實證的研究（ヤンコウイツチ著 同局譯）			
華北中日經濟提携問題之我見	李榮廷 民國二四 一四頁	一	六八四	一五九

		冊	函	號
華北農產研究改進社工作報告 第一年	外務省調査部譯編 昭和一〇	一	六八四	二五二
火保研究	井口武三郎 昭和八、九、	二	六四九	四七
第一卷 火保研究(總論)				
第二卷 現行火災保險料率の解剖				
火保助成金を免除す可し	關島信濟 昭和一〇 一五〇頁	一	六七二	二〇三
同		一	六七二	二〇三イ
火保助成金の眞相と善後處置	井口武三郎 昭和七	一	六二四	九四
科目別 遞試標準解答	電機學校編 昭和二至四	五	五七一	三七
機械の部(初等)				
機械の部(高等)				
Ⅲノ A 電燈之部(初等)				
Ⅳノ A 配電之部(初等)				
Ⅳノ A 發電之部(初等)				
貨物運送要覽	南海合同株式會社編 昭和五	一	六〇四	一二四
貨物運送規則	附 等級表、賃率表、料金表 鐵道圖書刊行會編 昭和五	一	五九七	二四七
貨物運送規則解說	板井一二 昭和五	一	六〇六	七八
貨物運送規則、同補則	門司鐵道局運輸課編 昭和八	一	六四一	八四
貨物運送に關する判例集	井上房太郎編 昭和二	一	五七三	一五七
貨物運送寶典	小林良朗 昭和九	一	六五七	二三六
貨物關係一覽表	第一至九 圖付 昭和三 (東京鐵道局運輸課編) 調書第五編) 經濟	一	五八八	六八
貨物積載法	沖津金一郎 大正一五	一	六八四	二五二
貨物知識と運送保管の實際	橋本武昭 昭和七	一	六三三	八七
貨物積卸機械利用の栞	鐵道省運輸局編 昭和六	一	六〇七	二四〇
貨物引換證常識二百題	後屋敷保啓 昭和九	一	六五七	八五
貨物引換證の話	箱崎正吉 昭和八	一	六三二	二七二
華陽集	華陽會編 昭和四	一	五九六	一〇三
火藥學	西松唯一 昭和七	一	六一七	三一〇
火藥術語集	火兵學會編 昭和五	一	五九〇	四二〇
火藥類關係法規集	日本火藥製造株式會社編 昭和五	一	一四七	五二
花洛往古圖	九六・〇〇×八〇・五〇	一枚	八四一	一九一
花柳行狀記	平山蘆江 昭和九	一	五六八	五二
花柳古鑑	(未刊隨筆百種第二〇ノ內 昭和三)	一	五六〇	二九
火力發電(新一編)	電機學校編 昭和二 (電機學校標準叢書第二卷)	一	五五五	三九
瓦礫雜考	(圖入) 上、下 喜多村節信 (文化頃)	二〇	八四一	一二
花蓮港廳管內概況及事務概要	昭和二至九年 同廳編 昭和三至一〇	八	五七九	二三七
花蓮港廳警察法規	花蓮港廳警務課編 昭和九	一〇	一四七	六四三
勸誘と處世	吉田義輝 昭和五	一	五八六	三六五
寬永江戶圖	稀書複製會編 昭和五 複製	一枚	一五	四七二
寬永寺年行事雜簿	(維新日乘纂輯第五ノ內 昭和三)		六四	三三三
寬永錢記	泾行館編 昭和二	一	五三四	六〇六
寬永錢研究會報告	第一—二〇、二八—三六四〇— (四五號(四二、四四號缺) 明治二九至三三)	一〇	八四三	一一
寬永泉志	第一卷 榎本文城編 明治三〇	一〇	八四一	一〇三
同	明治三四	一〇	八四一イ	一〇三イ
寬永錢之研究	今泉忠左衞門編 昭和三 謄寫版	一〇	一八三	六〇〇
寬永錢譜	中川近禮編 (藤譜、芳川譜、稻垣譜、參譜ヲ比較シ考證ス)	一〇	八四一	八九
寬永錢譜	藤井貞幹 寫	一〇	八四一	八八
同		一〇	八四一イ	八八イ
寬永立華屛風の研究	重森三玲 昭和七 (插花藝術研究叢書第一輯)	一	三七二	五四一
寬延雜秘錄	(未刊隨筆百種第一〇ノ內 昭和三)		五六〇	二九
灌園集	宋、呂南公 民國二三 影印 二〇卷 (四庫全書珍本初集ノ內)	特 八〇	八四四	二二三
觀音岩	前、後篇 川上眉山 昭和三 (岩波文庫三八七—三九〇)	二	五六九	一四
觀音經	岡本かの子 昭和九 (佛教聖典を語る叢書第七卷)	一	六六八	三
觀音經禮讃(聖典講義一)	玉置韜晃 昭和九	一	六六二	六八
觀音古典籍浮世繪版畫展覽會目錄及解說	尾崎久彌編			
觀音示現	淺草名靈抄 樂只軒主人編 磯ヶ谷紫江校 昭和八	一〇	一五六	一一九
觀音巡禮	荻原井泉水 昭和四	一〇	一八〇	一二九
觀音信仰の體驗	小瀧淳 昭和二	一	五七八	三〇九
觀音信仰の念力(思ふことが自在になる)	深谷瑞輔 昭和六	一	六〇九	二七六
觀音に關する文獻に就いて	上村眞肇 昭和八	一	六三五	三八一
觀音靈驗記	歌川豐國、歌川廣重畫	特	二	二六一
灌漑工事設計資料	松下博俊 昭和三	一	五七二	一八四
觀海詩鈔	第五集 池谷盈進 昭和三	一〇	一八〇	一四五
官界の表裏	川村貞四郎 昭和八	一	六四九	一八
瀝漑、排水、干拓設計施工	菊地嘉美、永沼綱雄 昭和六	一	六〇六	三九六
溜池、水路、埋立設計施工				
還幸日誌	(維新日誌第二期第二卷ノ內 昭和九)		二三四	二七一
勸學院物語	上、下 稀書複製會編 昭和五	二〇	一九九	四四二
勸學花田凌雲和上著	「最近異解異安心問題の檢討」の檢尋 安孫子義邇 昭和八			
官衙公署	執務便覽 小副川猛編 昭和四	一	六五三	一
觀艦式記念	海港博覽會誌 神戶博覽會協會編 昭和六	一	五六九	一九五
觀艦式の栞	海軍省編 昭和八	一	五八一	三〇一
歡喜	後藤靜香 昭和七	一	六六六	八五
管窺弧度捷法	卷一至卷五 阪部廣胖 昭和一〇 謄寫版	一	六二九	七八
換氣煖房の計算必携	中村達太郎 昭和五	一	六〇六	二九
歡喜天尊の御由來と祭式	山下定澄 昭和七	一	六一九	二九
觀經四帖疏弘深抄	實導 (西山全書別卷第一ノ內 昭和一〇)	三	七九	一

		冊	函	號
觀經序分義私考	石黑觀道 昭和五	一	六一三	一七
換杏新話	小川通雄(樫齋) 天保一五 四八丁	一〇	二一三	五七九
觀經疏弘深抄	天台宗典刊行會編 昭和一〇 (天台宗全集第四)	一	六一五	四七
環境と生活	バース著 岡村周諦、猪原安譯 昭和五	一	五六三	三五二
環境と血(長篇小說上)	第一部 荒木精之 昭和一〇	一	六三一	一八二
環境による教育の實際的新研究	小林巖 昭和九	一	二五三	七三六
環境の心理	久保良英 昭和九 (精神科學叢書第一〇)	一	六〇三	二
觀經秘決集	澄空(善惠) 昭和八 (西山全書第一卷)	一	六三五	二八
玩具	第一至一二 村尾節三編 (大正六) (日本兒童研究資料第二六)	特一〇三	二五三五	二四
玩具工藝(研究と製作上)	西川友武 昭和六	一	五八一	二六八
同		一	五八一	二六八イ
玩具叢書	雄山閣發行 昭和九至一〇	七	六五八	六一
第一	人形圖篇 (西澤笛畝)			
第二	日本玩具史篇 (有坂與太郎)			
第三	世界玩具圖篇 (西澤笛畝)			
第四	玩具工業篇 (永澤謙三)			
第五	世界玩具史篇 (有坂與太郎)			
第六	日本玩具圖篇 (西澤笛畝)			
第七	玩具教育篇 (倉橋惣三)			
玩具叢書	新泉社發行 昭和八	一	六二九	三一
第二篇	光のおもちやの作り方 (山根省三)			
玩具と緣起	佐藤潔 昭和一〇 四五六頁	一	六一三	一七
玩具と子供の教育	關寬之 訂再版 昭和五	一	二五二五	一一八イ
卷懷食鏡	卷懷灸鏡付 香月啓益(牛山) (正德六)	一〇	一五六	一三〇
觀貨一箋	中村善兵衞編 嘉永七	一帖	八三九	一九二
觀光經濟學講義	マリオッテイ著 國際觀光局譯編	一	六六七	三六
觀光船殺人事件	ビガース著 露下弦(大江專一)譯 昭和一〇 三四九頁	一	六九六	二一〇
觀光の日本と將來	新井堯爾 昭和六	一	五九九	三〇七
玩貨名物記	寫	一〇	八四一	一三一
關係法規類聚	昭和四、一〇年六月現在 日本勸業銀行調査課編 昭和四、一〇	二	一四七	四五一
菅家後集	菅原道眞(群書類從第九輯文筆部ノ內 昭和四)	五八三	一四	
同	(新校群書類從第六卷文筆部ノ內 昭和六)	五八四	五	
菅家御傳記	菅原陳經(群書類從第一輯神祇部ノ內 昭和六)	五六六	六一	
同	(新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七)	五八四	五	
勸業債券の話	大門富之助 昭和八	一	六三四	一一二
勸業債券利殖の仕方	大門富之助 昭和一〇	一	六三二	二四二
勸業債券利殖の祕訣	園史郎 昭和九	一	六三一	四九四
菅家文草	菅原道眞 (元祿一三)	六	八三七	七六
管絃音義	(群書類從第一九輯管絃部ノ內 昭和八)		五八三	一四

		冊	函	號
同	(新校群書類從第一五卷管絃部ノ內 昭和四)		五八四	五
管絃樂	マリピエロ著 梅津勝男譯 昭和二	一	五七一	二一
管絃樂器論	マイエルホツフ著 信時潔、片山韻太郎譯 再版 昭和四	一	六五〇	一四三
寬元御讓位記	葉室定嗣 (群書類從第七輯公事部ノ內 昭和四)		五八三	一四
同	(新校群書類從第五卷公事部二ノ內 昭和七)		五八四	五
還元作用より見たる株式天底の新觀測法	白石專太郎 昭和七	一	六二一	二四一
菅公一千二十五年祭萬燈茶會記	佐々木三味編 昭和三	一〇	四二三	三一三
菅公一千年祭紀念飛梅餘薰	金子晉編 明治三五 (菅原道眞ニ關スル諸家ノ詩文集)	一〇	八三八	六七
菅公御傳記	菅原恒覽編 昭和四	一〇	一五七	一〇一
元興寺大鏡	東京美術學校編 昭和九 (南都十大寺大鏡第一八輯)	特一	四三五	六〇
菅公實錄	兒島櫻蔭 昭和八	一	六三九	一二九
同		一	六三九	一二九イ
官公吏・教職員必携	宮越卓 昭和九 (教育職員必携ニ同ジ)	一	二六四	六五イ
官國幣社に關する京都府例規類纂	京都府神職會京都支部編 昭和八	一	六三四	二一六
觀古雜帖	第一 穗井田忠友 天保一二	一帖	八四一	六六
觀古雜帖	穗井田忠友著 正宗敦夫校 (日本古典全集第三期第一ノ內) 複製 昭和三)		五六九	九四
觀古圖說	陶器之部 第一至四 蜷川式胤 昭和七至一〇 (陶器全集第一二)	四	三二六	三七
同	第一、二 昭和八、一〇	二	二三六	三七イ
觀古播磨	姬路高等學校編 昭和八	一〇	六三二	三八
關西學院一覽	(昭和一〇年三月) 關西學院大學編 昭和一〇	一	二八二	五四
[關西學院高等商業學部調査部]調査及資料	同調査部發行 昭和九		一四五	三四三
第六輯	外國爲替管理考 (中澤慶之助)		一四五	三四三
[關西學院大學]法文學部研究年誌	同大學法文學會編 昭和一〇	一	四五	四九二
第一輯	國家社會の再構成への努力 (田村德治) 哲學的人間學の理念 (大江精志郎) 產業社會と國家及び法 (中島重) 兒童の手指作業力の發達 (今田惠) 法律解釋學に於ける限界性と無限性 (石本雅男) 社會變動の過程 (小松堅太郎) 「古今優劣論」と進歩の概念 (飛澤謙一) 政治學的國家論 (大石兵太郎) 行政法に於けるフランス的とドイツ的 (高橋貞三) マックス・ウエバーの文化科學觀について (福島守雄)		一四五	四九二
關西學生山岳聯盟報告	第一至二一號 昭和五、六 同聯盟編	三	五六七	七三
關西昆蟲學會々報	第一、二號 昭和五、七 同會編	二	一四五	二六五
關西四國地方風水害復舊一等水準測量記事	陸地測量部編 昭和一〇	一	六三八	一九三

		冊	函	號
關西道路研究會橋面鋪裝調查報告書	關西道路研究會編 昭和一〇 六〇頁	一	五六七	一五五
關西地方送電系統圖	（雷雨警報用） 陸地測量部製 昭和七	一枚	六二八	五八
關西地方風水害ニ於ケル職業紹介所ノ活動狀況	大阪地方職業紹介事務局編 昭和一〇 一三四頁	一	六七二	三三八
關西の颱風禍と今後の建築	三浦元秀 昭和九	一	六二八	一〇〇
關西風水禍罹災者就職斡旋本部事業誌	同本部編 昭和一〇	一	六八〇	一三
關西模範產業大鑑	昭和一〇年版 關西產業宣揚會編 昭和九	一	六二八	一二四
觀相學奥祕傳全集	上卷 中司哲巖 昭和三	一	五三六	四二一
觀相學講義錄	第一編 中司哲巖編 昭和三	一	五五八	一二〇
觀相學大意	上、下卷 石龍子 昭和一〇	二〇	三〇一	一〇三
觀相科學	吉村觀水 昭和八	一	六四五	一〇三
觀想の玩具	板垣鷹穗 昭和八	一	六四五	一三〇
貫山畫史畫鰍魚譜	坂東貫山 昭和五	一〇	四三三	三八七
關山國師と高梨家	關山國師慶讃會編 昭和九	一〇	六三二	四三
勸修寺緣起	（群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一八卷釋家部ノ內 昭和七）		五八四	五
冠辭考	續紹付 賀茂眞淵 寬政七	一〇	八三七	四九
冠辭考	賀茂眞淵 一〇卷 （增訂賀茂眞淵全集卷五ノ內 昭和三）	一七	四四	三一イ

		冊	函	號
冠辭考 上	賀茂眞淵著 尾山篤二郎校 昭和二 （萬葉學叢書第四編）	一	五六六	二五
款識彙例	上、下 久米邦武 昭和三	二〇	一七三	一四一
觀爾草花墨影帖	小林觀爾 昭和九	一〇	四三五	一〇〇
管子國字解	上、下 菊池三九郎 昭和二 （漢籍國字解全書第一五、一六卷）	二	五五五	一
同	昭和七、八	二	五五五	一イ
慣習と權利	ヴイノグラドフ著 青山道夫譯 昭和九 （岩波文庫一〇六七）	一	五九九	一四
環狀石籬について	高原美忠 昭和一〇 六頁	一	六八四	一七〇
官省會社銀行新聞社就職試驗問題集	昭和六年版 半澤成二編 昭和五	一	五六六	三四四
關城書裏書	（新校群書類從第一九卷雜部ノ內 昭和七）	一	五四四	五
貫珠院遺稿	木津祐謙著 木津無庵編 昭和八	一	六四八	三三
貫首祕抄	藤原俊憲 （群書類從第七輯公事部ノ內 昭和四）	一	五八三	一四
同	（新校群書類從第五卷公事部二ノ內 昭和七）	一	六四五	五
官職難儀	吉田兼右 （新校群書類從第四卷官職部ノ內 昭和六）	一	五八四	五
官職祕抄	上、下 平基親 （新校群書類從第四卷官職部ノ內 昭和六）	一	五八四	五
冠辭例（增補）	松山貞主 天保五	一〇	八四二	一〇三
皖志列傳稿	第一至八 金松岑 民國二五	八	三〇一	一五二
桓仁	滿鐵地質調查所製 昭和三 一・二五×一・四〇	一	三二六	三九三
觀心覺夢鈔解義	稻葉榮壽 昭和九	一	二二五	三〇九

		冊	函	號
觀心寺緣起實錄帳	眞雅等 （群書類從第二四輯釋家部ノ內 昭和三）		五八三	一四
同	（新校群書類從第一九卷釋家部ノ內 昭和七）		五八四	五
觀心寺史要	富貴鹿藏編 昭和六	一	六〇四	四九七
勸進帳考	伊坂國太郎（梅雪）編 補四版 昭和二	一	三六四	三一イ
桓仁圖幅地質說明書	目錄付 昭和二 滿鐵地質調查所編	一	一二	五六六
菅神入宋授衣記	（新校群書類從第一卷神祇部ノ內 昭和七）		五八四	五
觀心本尊鈔	大正九 （佛教大系第九）	一	六二五	一五
觀心本尊鈔鑽仰	清水龍山 昭和九	一	六三六	一八〇
觀心本尊抄四十五字法體段正義	山川知廳 昭和九	一	六三六	二八
勸隱通用小折紙	普通部第一至八結、秘法部 上、下 內田信教等編 昭和二	一〇	一五七	七九
寬政改革と柳樽の改版	岡田朝太郎 昭和二	一	五六八	五二
關稅改正に關する意見書	大阪自由通商協會編 昭和六	一	三七二	四四七
關稅改正に關する意見書參考資料	大阪自由通商協會編 昭和六	一	三七二	四四八
完成漢和大字典	新井無二郎編 昭和六	一	五八二	三二九
寬政紀行	小林一茶 （一茶叢書第五編ノ內 昭和二）		五四八	五九
寬政紀行	小林一茶 複製 （一茶叢書別編第二ノ內 昭和二）		一六三	一三〇
寬政期京坂仇討狂言集	春陽堂編 昭和六 （日本戲曲全集第八卷）	一	五六六	四七

		冊	函	號
寬政期京坂時代狂言集	春陽堂編 昭和五 （日本戲曲全集第七卷）	一	五八六	四七
寬政期京坂世話狂言集	春陽堂編 昭和四 （日本戲曲全集第九卷）	一	五六六	四七
寬政紀聞	（未刊隨筆百種第四ノ內 昭和二）		五六〇	二九
關稅行政法論	板垣只二 昭和六	一	六〇〇	二三九
關稅行政論	太田正孝 昭和二	一	五六一	一四一
寬政句帖	小林一茶 （一茶叢書第五編ノ內 昭和二）		五四八	五九
寬政九年學問御試私記	寫 二〇丁 （聖堂ノ日記）	一〇	八二九	三三
寬政九年公事私記	寫 一八丁 （聖堂ノ日記）	一〇	八二九	三
官制關係資料	伊藤博文等 校昭和一〇 （秘書類纂ノ內）	二	六八五	七三
寬政五年十一月學問御吟味御用扣帳	寫	一〇	八二九	一七
寬政三博士の學勳	內田周平 昭和六	一〇	八二九	一八
寬政七年十月素讀御吟味私記	寫 二七丁 （聖堂ノ日記）	一	三七二	一六〇イ
關稅政策論	ビヴアリッヂ著 藤井茂譯 昭和八	一〇	八二九	二〇
關稅戰上の日本	英米の卷 新田直藏 昭和六	一	六四九	一二六
關稅と物價	小林行昌 昭和五	一	五九一	二一二
關稅法講義	藤崎銳樹 昭和八 （關稅定率法講義（谷口恒二）ト合綴）	一	六〇八	二
關稅法規集	棟居俊一編 昭和四	一	六三七	一八三
		一	一四七	四三八

	册	函	號
寛政八年公事私記　寫　六七丁〔聖堂ノ日記〕	一〇	八二九	二一
寛政版記錄　附信夫顯祖事蹟　わんや書店編　昭和四	一〇	一四一	二四〇
關稅法大意　野村次夫　昭和九	一	六四九	二三六
寛政祕策　（未刊隨筆百種第二〇ノ内　昭和三）		五六〇	二九
關稅問題叢書　商務印書館發行　昭和二	一	三三二	四八五
第一　關稅與國權　（賈士毅）			
關稅率沿革　昭和三年度　大藏省主稅局編　昭和三	一	五七六	六七
觀世音寺大鏡　東京美術學校編　昭和九　特	一	四二六	六三
觀世音寺大鏡　第一至四、六、七册　東京美術學校編　昭和四、五（南都七大寺大鏡續輯第一集）　特	二	四一五	六
同	二	四一五	六イ
觀世音寺資財帳　（群書類從第二四輯釋家部ノ内　昭和三）		五八三	一四
同　（新校群書類從第一九卷釋家部ノ内　昭和七）		五八四	五
觀世音百態　鶴清氣　昭和八	一〇	一五三	九九
觀世音菩薩　大谷光瑞　昭和四	一	五九五	一六二
觀世音菩薩之研究　後藤大用　昭和三	一	五七〇	二三六
頑石句集　鈴木頑石　昭和一〇（曲水叢書第三篇）	一	六六六	一九一
觀世叢書　能樂書院發行　昭和四	一	五八六	二七三
第二編　謠の實際　（齋藤香村編）			

	册	函	號
關雪詩稿　同續並南船集　橋本貫一　昭和三	二〇	一一三	一六三
關節測角器ニ關スル一考察　本橋平一郎　昭和二	一	三三七	四七一
觀世流謠曲　續百番集　觀世元滋訂　大正一五	一	五五〇	一五五
觀世流謠曲階梯　田崎延次郎　昭和六	一	六一七	二二
觀世流謠曲位と緩急　觀世流謠曲研究會編　昭和八	一	六二五	三三五
觀世流謠曲地拍子附獨吟集　田崎延次郎　昭和二	一〇	一五七	七二
觀世流謠曲節の解說　小澤良輔　昭和七　一四二頁	一	六二七	一五六
同	一	六二七	一五六イ
觀世流參考謠本　丸岡明訂　昭和二至四	七〇	一七〇	一一七
完全營養の玄米食　二木謙三　昭和七	一	六〇	一三〇
頑仙子能婦美　寫	一〇	二一五	二二六
完全なる榮養食　田中泰助　昭和九（篤農協會叢書第五）	一	六五三	八五
觀測通信學生生地測地及標定演習記事　昭和四年度陸軍野戰砲兵學校將校集會所編　昭和五	一	五六三	四二七
冠註傳光錄　孤峰智璨校註　昭和九	一	六三六	二三六
寬治二年記　（新校群書類從第一九卷雜部ノ内　昭和七）		五八四	五
灌頂が瀧　花田鐵太郎　昭和一〇　一七二頁〔表紙ニハ「王昭君」トアリ〕	一	六八八	七七
官廳會計　花田七五三　昭和一〇（會計學全集第二〇卷）	一	六五四	二〇
官廳公衙銀行會社工場商店從業員待遇法大鑑　昭和六、一〇年版　井上信明編　昭和六、一〇	二	六〇〇	二一三

官廳事務能率增進法の研究　石原通　昭和二（マネジメント研究資料第七輯）	一	五四九	一二八
官廳簿記法精義　藤塚鏡岳　昭和三	一	五八一	九四
罐詰要覽　日本罐詰協會編　昭和九	一	六六三	三
罐詰及壜詰簡易製法　木村金太郎　昭和五	一	六〇八	一三三
罐詰叢書　日本罐詰協會發行　昭和八	一	六五九	三
第一　米國罐詰業の發達　（コリンズ著　星四郎譯）			
觀潮集　永井義侚　昭和七	一	六一二	二三〇
關東鹽業試驗場報告　同場編　昭和一〇〔「關東廳鹽業試驗場報告」ノ改題〕	二	一四、二イ	七七八
第三號　凍結採鹹に關する試驗報告　第一報			
第四號　コンクリートブロック耐鹹及耐寒持久試驗　第一報			
關東學生登山聯盟報告　第三號　同聯盟編　昭和六	一	六一四	七八
關東艦の想出　福井縣南條郡教育會編　昭和一〇　二九四頁	一	六九〇	二七
關東局要覽　昭和一〇年　關東局官房文書課編　昭和一〇〔「關東廳要覽」ノ改題〕	一	五一八	一四二
關東局管內現住人口統計　昭和九年　同局編　昭和一〇〔「關東廳管內現人口統計」ノ改題〕	一	一四、四	九二〇
關東軍記　寫	一〇	八三九	一八
關東潔競傳　（未刊隨筆百種第一二ノ内　昭和三）		五六〇	二九
關東州及滿洲國鹽業統計　昭和七至九年（康德元年）度　滿鐵經濟調查會編　昭和八至一〇	三	一四、二ロ	二八七

關東州關稅制度改正方ニ關スル建議書　大連商工會議所編　昭和七	一	六三五	八四
關東州工業の現勢　大連商工會議所編　昭和三	一	五七九	一〇八
關東州特惠關稅法の實績　關東州廳殖產課編　昭和一〇　二四頁	一	六八四	一〇二
關東州特惠關稅品目及通關手續　昭和二、四年　大連商工會議所編　昭和二、四	二	五二四	六五〇
關東州に於ける會社業績　大連商業會議所編　昭和二	一	五二四	七三五
關東州の關稅制度　千本木正治　昭和一〇（東亞經濟事情叢刊第二輯）	一	一四、五	四六〇
關東州の水に就て　大連商工會議所編　昭和五	一	六〇四	九九
〔關東州普蘭店民政署〕管內支那人の農家經濟　關東州普蘭店民政署編　昭和七　二九一頁	一	七〇一	一九
關東州貿易統計　昭和三年至八年　關東廳編　昭和四至一〇	六	一四、四	八三八
關東州・滿洲國及北支（長蘆鹽）鹽業統計　昭和一〇年（康德二年）　滿鐵經濟調查會編	一	一四、二ロ	二八七
關東七國海岸全圖　寫　一〇六・五〇×一四八・五〇	一枚	八四二	一七七
關東商工會議所聯合會史　宇都宮商工會議所編　昭和四	一	五六三	三三一
關東震災地一等三角點移動要圖　陸地測量部製　昭和二　一・五×一・九	一枚	一四、六ニ	二六七
關東震災地一等水準點新舊比較變動圖　陸地測量部編　昭和五	一	六〇八	一五

クワン

		冊	函	號
關東震災地復舊測量記事	陸地測量部編 昭和五	一	五六三	三八〇
關東大震災と帝都復興事業	第九輯 大日本聯合火災保險協會編 昭和六	一	三七八	三〇〇
關東大地震(大正十二年)震害調査報告	第二、三卷 復興局編 昭和二、三	二	四一五	四一
關東地方送電系統圖	(雷雨警報用) 陸地測量部製 昭和七	一枚	六二八	五七
關東地方圖	北部 陸地測量部製 昭和五 一〇二・二五×六六・〇五	一枚	六〇四	一七八
關東廳要覽	昭和二、六至九年 昭和三至九	五	五一八	一四三
關東廳鹽業試驗場報告	同場編 昭和九	二	一四、二	七七八
第一號	海水・鹹水の蒸發に關する研究 第一報			
第二號	芒硝に關する試驗報告 第一報			
關東廳管內現住人口統計	昭和七、八年 關東廳編 昭和八、九 (「關東廳現住人口統計」ノ改題)	二	一四、四	九二〇
關東廳業態調查結果表	昭和二年 關東長官房文書課編 昭和四	一	一四、四	八二七
關東廳現住人口統計	昭和六年 關東廳編 昭和七	一	一四、四	九二〇
關東廳國勢調查	大正十四、昭和五年 關東長官官房調查課編 昭和二至九	八	一四、四	七七〇
同	昭和五年 第一、二卷 關東長官官房調查課編 昭和八	一	一四、四	七七〇イ
關東廳人口動態統計	大正一四至昭和八年 大正一五至昭和九 同廳編	九	一四、四	七一九
關東廳調查彙報	第二號 關東長官官房調查課編 昭和八	一	一四、五	六九六
關東廳電氣事業要覽	第五回 關東廳遞信局編 昭和八	一	一四、四	九五四
〔關東廳〕電氣事業要覽並瓦斯事業要覽			一四、四	九五四
第六回	關東廳遞信局編 昭和九	一	一四、四	九五四
〔「關東(遞信局)」電氣事業要覽並瓦斯事業要覽」ニ續ク〕		冊	函	號
關東廳統計要覽	昭和三至八年 昭和四至一〇 同廳編	六	一四、四	三一九イ
關東廳統計書	第二〇至二八 同廳編 大正一四至昭和八年 大正一五至昭和九	九	一四、四	三一九
〔關東廳博物館〕附屬圖書館一覽表	昭和二年度 同館編 昭和三	一枚	二七八	一三二
〔關東廳〕物價賃銀調查年報	昭和七年 昭和八 同廳編	一	一四、四	九一八
關東廳勞働統計書	昭和二、六年 昭和四、七 關東廳編	二	一四、四	八二五
關東中心登山旅行案內	橫井春野 昭和八	一	六三九	一二八
〔關東(遞信局)〕電氣事業要覽並瓦斯事業要覽				
第七回	關東遞信局編 昭和一〇	一	一四、四	九五四
〔「關東廳」電氣事業要覽並瓦斯事業要覽」ノ續キ〕				
關東名殘の袂	忍岡やつがれ (近代日本文學大系第四卷ノ內 昭和三)	五六〇		九
關東の地質	藤本治義編 昭和三	一	三三三	四九九
同	訂補四版 昭和七	一	三三三	四九九イ
關東防空演習記念	日本橋區防護團編 昭和八	一〇	六三二	二七
關東評定衆傳	(群書類從第四輯補任部ノ內 昭和四)		五六三	一四
關東評定傳	(新校群書類從第三卷補任部第二ノ內 昭和五)		五六四	五
關東北事業大觀	東北文化振興會編 昭和三	一	五五三	二五
〔關東勞働同盟會〕大會報告書	昭和三年八月至同四年九月 同會編 昭和四	一	一四、五	二五〇
〔「關東(遞信局)」電氣事業要覽並瓦斯事業要覽」ニ續ク〕		冊	函	號
關東往還記(校訂增補一)	關靖編 昭和九	一〇	六七二	六四
宦途必携(官版一)	東京府編 明治四、五	一四〇	八三八	四〇
觀念形態論	三木清 昭和六	一	六一二	一四七
觀念法門觀門義(假名書原本一)	西山專門學校出版部編 (西山全書別卷第一ノ內 昭和一〇)		三七九	一
觀念論から唯物論へ	船山信一 昭和九	一	六四五	一七九
觀念論と實在論との此岸	ハルトマン著 佐藤慶二譯 昭和三 (哲學名著叢書第二)		五八三	四七
勸農並村方取締頭書	(近世地方經濟史料第六卷ノ內 昭和七)		五九八	二四
願望(詩集)	中村忠二 昭和三	一	五六八	二六六
冠帽革制考	本居內遠著 本居豐穎校 (增補本居宣長全集第一二本居內遠全集ノ內 昭和二)		四一	九八イ
冠帽圖會	松岡辰方編 〔天保年間〕	一〇	八四一	六七
關白內大臣家歌合	(新校群書類從第八卷和歌部ノ內 昭和三)		五八四	五
官白年鑑	昭和五年度 藤堂太刀雄、劉灝章編 昭和六	一	五六九	三五四
關八州繫馬	近松門左衞門 (近代日本文學大系第七卷ノ內 昭和三)		五六〇	九
同	(近代日本文學大系第六卷ノ內 昭和八)		六二九	二八イ
關八州繫馬	近松門左衞門著 藤井乙男校註 (近松全集第一二卷ノ內 昭和二)		五二〇	四〇
同			五二〇	四〇イ
灌佛會	賽尾順敬 昭和四 (佛教風俗第一編)		五九〇	一三九
觀物篇解	附 皇極經世解起數譯 宋、邵雍 影印(四庫全書珍本初集ノ內) 民國二三	將	八四四	九五
寬文書籍目錄	禿氏祐祥編 (書目集覽第一ノ內 昭和三)		五五八	一五四
寬平菊合	(新校群書類從第一二卷雜部ノ內 昭和五)		五八四	五
寬平御遺誡	宇多天皇 (新校群書類從第一二卷雜部ノ內 昭和五)		五八四	五
官幣大社淺間神社史料	同社編 昭和九	一	六三六	二三七
官幣中社長田神社復舊御造營史	同社御造營奉贊會編 昭和四	二〇	一七九	二三五
寬平御時后宮歌合	(新校群書類從第八卷和歌部ノ內 昭和三)		五八四	五
冠峯古稀壽詩	小菅弘編 昭和九	一〇	三〇三	四四
公私日錄	寬保寶曆 寫		二五	二三九
館本十七帖(臨書一)	手本付 田代秋鶴臨書 昭和八 (法帖臨書手本集成第三)	二〇	二一六	七八
生命保險北陸大會報告	遠藤隆司編 昭和三	一	五七五	二三八
業界監查錄	附職員別記 帝國秘密探偵社編 昭和七		六六八	三
經無量壽經	佐藤春夫 昭和一〇 (佛教聖典を語る叢書第四卷)	一	六三八	五一
冠名病名及冠名症狀解	富士山編 昭和八	一	六〇	一二六三
冠名臨牀用語集	上田春治郎 昭和八	一	五三	三三三
關門地方經濟調查	第一、二、六至九輯 市立下關商業學校編 昭和三至一〇	六	一四、五	二三三
關門隧道	(計畫說明書) 柳生義郎 昭和八	一	六四八	八七
同		一	五六八	四七四
灌佛會	賽尾順敬 昭和四 (佛教風俗第一編)	一	五九〇	一三九
完譯西廂記	深澤遹譯 昭和九	一	五六八	四七四

クワン

	冊	函	號
官約日本移民布哇渡航五十年記念誌　日布時事社編　昭和一〇	一	四二七	二
完譯我が子の惡德　ザルツマン著　田制佐重譯　昭和六	一	六〇三	三四一
管理工學能率生活の實踐と作業合理化　井上好一　昭和八	一	六四一	四三
管理通貨論　高島佐一郎　昭和九（新經濟全集第一三）	一	六五九	三三
管理通貨論　武田泰次郎　昭和八	一	六三七	一一六
官立高等學校高等科入學者選拔試驗ニ關スル調査　大正一五、昭和二、三　文部省專門學務局編　昭和二、三	二	二八三	二三
〔「官立高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調査」ニ續ク〕			
官立高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調査　昭和五年　文部省專門學務局編　昭和五	一	二八三	二三
〔「官立高等學校高等科入學者選拔試驗ニ關スル調査」ノ續キ、以下「高等學校高等科入學者選拔ニ關スル調査」ニ續ク			
官立大學入學指針　松江武夫、小島競　昭和六	一	二八一	三三
官立大學傍系者・獨學者入學受驗法　附　最近施行問題集　野口絢齋編　昭和一〇　二八一頁	一	二五九	六七六
官吏提要　小椋泰彌編　昭和八	一	六四四	三三
還曆小記　相馬半治　昭和四	一	五九四	一四三
還曆小記餘錄　相馬半治　昭和五	一	四二七	二
訓育及保育の基礎たる宗教　關寬之　昭和九	一	二八五	四五
軍醫としての鷗外先生　山田弘倫　昭和九	一	六四〇	二一〇
軍醫の觀たる日露戰爭　西村文雄〔彈雨をくゞる擔架〕（清水秀夫）ト合綴〕　昭和九	一	六七五	三三
捺印補正　細合離　享和二	二〇	八四二	一〇〇
群を拔く道　增田義一　昭和九	一	六四五	二一七
軍擴景氣の發展と投資法　齋藤恒之助　昭和九	一	六六〇	一六五
軍擴の經濟戰　アインチツヒ著　伊地知軍司譯　昭和九	一	六六〇	一一五
軍艦寫眞帖　海軍協會編　訂四版　昭和五	一	四三三	三八〇
軍艦讀本　福永恭助　昭和八	一	六五〇	九一
軍艦物語　福永恭助　昭和五	一	五九七	二六三
同　增補　昭和九	一	五九七	二六三イ
軍紀の研究　廣瀨豐　昭和三	一	五八六	一七九
軍紀は嚴く　委文健郎　昭和五	一	六〇九	七一
軍記物語研究　五十嵐力　昭和六	一	六二一	七九
軍犬點描　田島庄太郎（寸臺）　昭和九	一	六五七	一三八
軍犬ノ訓練及用法　陸軍歩兵學校軍犬育成所編　昭和一〇　一四一頁	一	六八六	七三
軍事講話世界大戰　伊藤政之助　昭和五	一	六〇六	七
軍事救護法ト武藤山治　金太仁作　昭和一〇	一	六六一	二一七
群師紀要　群馬縣師範學校編　昭和九	一	二五九	一三一五
第一輯　鄉土研究			
軍事行政　池田純久　昭和九（自治行政叢書第一二卷）	一	六五四	二三
軍事科學概論　R・G・I社會經濟部編　山田俊一郎譯訂　昭和七	一	六〇六	四六一
軍事科學講座　文藝春秋社發行　昭和七	八	六二五	三九
序篇　戰鬪の實相　（志岐守治）			
第一篇　戰略・戰術論　（西田恒夫）			
第二篇　軍事政策　（岡田銘太郎）			
第三篇　戰爭史　（伊藤政之助）			
第四篇　列强現在の軍勢　（西垣新七）			
第五篇　兵器篇　（藤堂高象）			
第六篇　空中戰　（大場彌平）			
第七篇　陸軍法規　（太田公秀）			
軍事科學叢書　勞農書房發行　昭和七	一	六二九	一四
第一輯　クラウゼウイツツ戰爭概論　（土井三郎編）			
郡市町村便覽（いろは別索引）　寺井豐藏編　昭和三	一	五七八	二三六
軍事年鑑　昭和六年版　國際軍事研究會編　昭和六	一	六一三	六三
軍事法規　柴田義彦　昭和一〇（特別法規判例學說全集第一四卷）	一	一四七	五八九
群集社會學　新明正道　昭和四（ロゴス叢書第三編）	一	五八三	三五
群集の處女（國吉眞善第一詩集）　國吉眞善　昭和四	一	五六八	四一六
薰集類抄　藤原範兼（群書類從第一九輯遊戲部ノ內　昭和八）	五八三	一四	
同　（新校群書類從第一五卷遊戲部ノ內　昭和四）	五八四	五	
群衆心理學　大石兵太郎　昭和五	一	六二一	七
群衆と教化　加藤熊一郎（嘯堂）　昭和八	一	六四五	五五
軍縮？　伊藤正德　昭和四	一	五九七	一八六
軍縮を繞る日・英・米　橋川暨　昭和九	一	六七五	八七
軍縮會議と海軍問題　海軍省編　昭和七	一	三七三	五九三
軍縮會議と軍備平等權の强調　原田爲五郎　昭和九	一	六五七	一九九
軍縮會議と國民の覺悟　加藤寬治　昭和一〇	一	六六六	二三三
軍縮會議と日本　本多熊太郎　昭和五	一	五六三	三一一
軍縮會議に對する我主張の根據　海軍有終會編　昭和九	一	六六六	一六三
軍縮會議の前途と國民の覺悟　南鄉次郎　昭和九	一	六六六	一七八
軍縮研究海軍會議への警鐘　報知新聞社政治部編　昭和九	一	六七五	三九
軍縮國難に善處せよ　附　斷乎として均等兵力を主張せよ　國粹大衆黨編　昭和九	一	六六六	一七七
軍縮條約草案とその解說　國際聯盟事務局東京支局編　昭和七	一	六一七	五三
軍縮讀本　伊藤正德　昭和九	一	六七五	一〇五
軍縮讀本（軍縮會議は果してどうなる？我が國民の覺悟）　海軍省海軍事普及部編　昭和九	一	六六六	一一五
軍縮に目醒る　石丸藤太　昭和五	一	六〇六	八三
軍縮の脅威　大島高精　昭和六	一	六〇七	二五一
軍縮の不安と太平洋戰爭　平田晉策　昭和五	一	六〇六	九九

	冊	函	號
軍縮比率の崩壊　貴島桃塵編　昭和九	一	六七五	一五
同　再版　昭和九	一	六七五	一五ノ一
軍縮問題に就て　海軍省海軍軍事普及部編　昭和九	一	六六六	一七九
軍縮問題 倫敦會議となるまで　海軍軍事普及委員會編　昭和四	一	五九〇	二一一
軍需工業動員ニ關スル常識的說明　吉田豐彥　昭和二	一	五七二	二八
軍需工業論　車田千春　昭和一〇（新經濟全集第二五）	一	六五九	三三
軍需工業論　シュペクトロフ著　國際政治經濟研究會譯編　昭和一〇	一	六七五	二〇〇
君主論　マキアヴェルリ著　黒田正利譯　昭和一〇（岩波文庫一二〇六―一二〇七）	一	五六九	一四
群書一覽　尾崎雅嘉	一	六〇 八三九	一三三
群書類從　塙保己一編　續群書類從完成會發行　昭和三至九	二四	五八三	一四

第一輯
神祇部
皇太神宮儀式帳
止由氣宮儀式帳
太神宮諸雜事記
神宮雜例集
二所太神宮例文
內宮長曆送官符
外宮嘉祿三年山口祭記
貞和御彷記
內宮臨時假殿遷宮記
治承元年公卿勅使記
正應六年七月十三日公卿勅使御參宮次第
神鳳鈔
古老口實傳
詔刀師沙汰文
元亨元年十一月廿二日高宮假殿日記
高宮御裝束奉彷日記
小朝熊社神鏡沙汰文
八幡愚童訓
石清水八幡宮護國寺略記
宮寺緣事抄
石清水放生會記
石清水別當宗清法印立願文
權別當宗清法印立願文
石清水宮御願書
賀茂皇太神宮記
文永十一年賀茂祭繪詞
賀茂社御願書
第四輯
補任部
齋宮記
賀茂齋院記
攝關補任次第
辨官補任
職事補任
藏人補任
樂所補任
將軍執權次第
足利家官位記
關東評定衆傳
若狹國守護職次第
若狹國稅所今富名領主代々次第
類聚大補任
豐受太神宮禰宜補任次第
鶴岡八幡宮寺社務職次第
八幡宮御殿司職次第
御殿司職一方系圖
當社執行次第
當社學頭職次第
社家執事職次第
僧綱補任抄出
僧官補任
東大寺別當次第
天台座主記
東寺長者補任
仁和寺諸院家記
第六輯
律令部
律
金玉掌中抄
裁判至要抄
法曹至要抄
令抄
公事部
內裏式
新儀式
本朝月令
雲圖抄
九條年中行事
小野宮年中行事
建武年中行事
年中行事秘抄
年中行事歌合
神祇官年中行事
東宮年中行事
第七輯
公事部
三節會次第
釋奠次第
建久九年五節記
綾小路俊量卿記
朔旦冬至部類記
後鳥羽院御踐祚次第
後光嚴院御踐祚記
後三條院御卽位記
正親町院御卽位略次第
永仁御卽位用途記
文安御卽位調度圖
大嘗會御禊節下次第
延慶二年大嘗會御禊記
大嘗會御禊日例
大嘗會御禊事
康治元年大嘗會記
正安三年大嘗會記
永和大嘗會記
永享大嘗會記
大嘗會延引勘例并諸卿申詞
長元大嘗會御屏風本文
御讓位部類記
寬元御讓位記
永德御讓位記
天皇冠禮部類記
天子冠禮部類記惣錄
天皇元服部類

主上御元服上壽作法抄
立坊部類記
東宮御書始部類記
上卿故實
作法故實
四節八座抄
參議要抄
羽林要祕抄
新任辨官抄
結政初參記
眞首祕抄
蓬萊抄　一名非職事雲客所役祕抄
夕拜備急至要抄
柱史抄
內局柱礎抄
清獅眼抄
大夫尉義經畏申記
除目抄
蟬冕翼抄
大間書
傳宣草
第九輯
文筆部
本朝無題詩
都氏文集
田氏家集
菅家後集
江吏部集
法性寺關白御集
雜言奉和
栗田左府尙齒會詩
賦光源氏物語詩
天德三年八月十六日閤詩行事略記
善秀才宅詩合
侍臣詩合
殿上詩合
資實長兼兩卿百番詩合
泥之草再新
續千字文
富士山記
狐媚記
源府君所藏銅雀硏記
暮年記
遊女記
傀儡子記
浦嶋子傳
續浦嶋子傳記
玉造小町子壯衰書
新猿樂記
作文大體
童蒙頌韻
消息部
雲州消息
貴嶺問答
十二月往來
新十二月往來
異制庭訓往來
雜筆往來
尺素往來
釋氏往來

山密往來
後花園院御消息
贈定家卿文
定家卿消息
越部禪尼消息
東野州消息
東素山消息
消息耳底祕抄
書札禮
書札作法抄
細川家書札抄
大館常興書札抄
第一一輯
和歌部
爲尹卿千首和歌
千首和歌太神宮法樂
白河殿七百首
龜山殿七百首
堀河院御時百首和歌
永久四年百首
久安六年御百首
正治二年第二度百首和歌
內裏名所百首
弘長百首　一名　七玉集
丹後守爲忠朝臣家百首
木工權頭爲忠朝臣家百首
句題百首　一名　五玉集
權中納言定嗣卿集
權中納言俊忠卿集
中納言雅兼卿集
成通卿集
前大納言實國卿集
入道大納言資賢卿集
按納言集
權中納言爲重卿集
亞槐集
爲和卿集
權大納言言繼卿集
明日香井和歌集
隣女和歌集
祭主輔親卿集
大藏卿行宗卿集
六條修理大夫集
左京大夫顯輔卿集
從三位顯政卿集
紀貫之集
業平朝臣集
敏行朝臣集
宗于朝臣集
公忠朝臣集
賴基朝臣集
猿丸大夫集
紀友則集
坂上是則集
藤原清正集
藤原元眞集
信明集
藤原義孝集
藤原仲文集
源順集

能宣朝臣集
爲頼朝臣集
元輔集
兼盛集
實方朝臣集
高光集
相如集
重之集
藤原長能集
朗詠百首
俊成卿文治六年五社百首
秋日陪社壇同詠所雨百首和歌
爲兼卿鹿百首
南都百首
道助法親王家五十首和歌
新古今和歌集竟宴倭歌
續古今和歌集竟宴倭歌
文治六年女御入内御屏風和歌
昭慶門院御屏風押色紙和歌
最勝四天王院障子和歌
句題和歌
三月三日紀師近曲水宴
三百首和歌
七夕七十首

第一四輯
和歌部　家集

土御門院御集
砂玉和歌集
元良親王御集
瓊玉和歌集
李花集
西宮左大臣御集
金槐和歌集
常徳院殿御集
夏日陪多田院廟前詠五十首和歌
柿本集
家持集
權中納言兼輔卿集
權中納言敦忠卿集
權中納言朝忠卿集
海人手子良集
閑院左大將朝光卿集
前大納言公任卿集
源兼澄集
源道濟集
橘爲仲朝臣集
讃岐入道集
故侍中左金吾家集
津守國基集

第一六輯
和歌部　七

中殿御會部類記
晴御會部類記
貞治六年中殿御會記　一名　雲井の花
柿本朝臣人麻呂勘文
柿本影供記
柿本講式
柿本像繪色勸進狀
新撰萬葉集　一名　菅家萬葉集
古今和歌集目錄
古今集序注

古今集童蒙抄
俳案抄
三代集之間事
拾遺抄註
散木集注
藏玉和謌集
悦目抄
後鳥羽院御口傳
近代秀歌
詠歌一躰
よるのつる　一名　阿佛口傳
九品和歌
歌仙落書
續歌仙落書
正治奏狀
定爲法印申文
延慶兩卿訴陳狀
無名秘抄
水蛙眼目
今川了俊和歌所え不審條々　一名　三言抄
了俊辨要抄
落書露顯
徹書記物語
東野州聞書
兼載雜談
西公談抄
桐火桶
愚秘抄
三五記

第一七輯

連歌部
筑波問答
吾妻問答
さゝめごと
老のくりごと
若草山
連歌本式
連歌新式追加幷新式今案等
漢和法式

物語部
伊勢物語
大和物語
竹とりの翁物語
住吉物語
秋の夜の長物語
鳥部山物語
松帆浦物語
兒教訓
無名草子
拾遺百番歌合
百番歌合　一名　源氏狹衣歌合
源氏物語願文
伊勢源氏十二番女合
源氏人々の心くらへ
源氏物語奥入
原中最秘抄
弘安源氏論議
仙源抄
源語祕訣

源氏物語竟宴記
第一八輯
日記部
和泉式部日記
紫式部日記
讃岐典侍日記
辨内侍日記
中務内侍日記
堯孝法印日記
玄與日記
宗長手記
紀行部
土左日記
いほぬし
さらしな日記
高倉院嚴嶋御幸記
後鳥羽院熊野御幸記
海道記
南海流浪記
東關紀行
うたゝねの記
いさよひの日記
都のつと
小島のくちすさみ
住吉詣
道ゆきぶり
鹿苑院嚴嶋詣記
なくさめ草
伊勢紀行
富士紀行
覽富士記
富士御覽日記
富士歷覽記
善光寺紀行
ふち河の記
正廣日記
平安紀行
筑紫道記
北國紀行
廻國雜記
高野參詣日記
吉野詣記
九州道の記
九州のみちの記
あつまの道の記
むさし野の記行
東國陣道記
蒲生氏鄉紀行
東路の津登
紹巴富士見道記
東國紀行
第一九輯
管絃部
管絃音義
五重十操記
龍鳴抄
懷竹抄
胡琴教錄
舞樂要錄
雜秘別錄

舞曲口傳
夜鶴庭訓抄
殘夜抄　一名　迷路抄
絲竹口傳
木師抄
秦箏相承血脈
琵琶血脈
順德院御琵琶合
八音抄
東遊歌圖
風俗
郢曲抄
新撰朗詠集
梁塵秘抄口傳集　卷第一〇
蹴鞠部
承元御鞠記
貞治二年御鞠記　一名　衣かつきの日記
享德二年晴之御鞠記　一名　雲井の春
後鳥羽院御記
成通卿口傳日記
蹴鞠略記
蹴鞠簡要抄
遊庭秘鈔
鷹部
新修鷹經
嵯峨野物語
白鷹記
養鷹記
後京極殿鷹三百首
鷹三百首和歌
鷹百首
鷹百首
小鷹部
禰津松鴎軒記
遊戲部
薰集類抄
後伏見院宸翰薰物方
むくさのたね
五月雨日記
名香合
名香目錄
圍碁口傳
圍碁式
仙傳抄
君臺觀左右帳記
御飾記
作庭記
洛陽田樂記
文安田樂能記
糺河原勸進猿樂日記
異本糺河原勸進申樂記
粟田口猿樂記
飲食部
厨事類記
世俗立要集
四條流庖丁書
武家調味故實
大草家料理書
庖丁聞書
大草殿より相傳之聞書

喫茶養生記
喫茶往來
酒茶論
亭子院賜酒記
酒食論
北野大茶湯之記
第二〇輯
合戰部
將門記
純友追討記
陸奥話記　一名　陸奥物語
奥州後三年記
承久軍物語
梅松論
伯耆之卷
明德記
應永記　一名　大內義弘退治記
嘉吉記
新撰長祿寬正記
文正記
應仁記
應仁略記
應仁別記
永祿記
豐鑑
細川兩家記　一名　二川分流記　又　正祿間記
勢州四家記
內外兩宮兵亂記
鎌倉大草紙
結城戰場物語

第二二輯
武家部
御成敗式條　一名　貞永式目
御成敗式目追加
建武式目條々
建武以來追加
侍所沙汰篇
大內家壁書
政所壁書
早雲寺殿廿一箇條
信玄家法
長曾我部元親百箇條
朝倉敏景十七箇條
鹿苑院殿御元服記
普廣院殿御元服記
光源院殿御元服記
常德院殿樣御馬召初らるゝ事　一名　御乘馬始記
寶篋院殿將軍宣下記
普廣院殿任大臣節會次第
普廣院殿左大臣御拜賀記
普廣院殿大將御拜賀雜事
鹿苑院殿御直衣始記
長祿二年以來申次記
殿中申次記
年中定例記
公方樣正月御事始之記
殿中以下年中行事　一名　成氏年中行事　又　鎌倉年中行事
飯尾宅御成記
畠山亭御成記
祇園會御見物御成記
伊勢守貞忠亭御成記

三好筑前守義長朝臣亭江御成之記
朝倉亭御成記
文祿三年卯月八日加賀之中納言殿江御成之事
文祿四年御成記
諸大名衆御成被申入記
供立之日記
御供古實
走衆故實
大內問答
奉公覺悟之事
今川大双帋　京極大双紙
宗五大艸紙
第二三輯
武家部
籠中書記
大上萬御名之事
歟入記
よめむかへの事
法量物
射禮私記
大的躰拜記
流鏑馬次第
笠掛記
鹿足之次第
目安
騎射秘抄
八廻之日記　一名　矢沙汰すべき次第
出法師落書
犬追物手組日記
就弓馬儀大概聞書　一名　高忠聞書

家中竹馬記
土岐家聞書
矢開之事　一名　矢開之記
就狩詞少々覺悟之事　一名　狩詞記
空穗之次第
隨兵日記
隨兵之次第事
中原高忠軍陣聞書
築城記
御產所日記
產所之記
建治三年丁丑日記
文明十一年記
六波羅御下知
攝津親秀讓狀
齊藤親基日記
御隨身三上記
見聞諸家紋
義貞記
武具要說
馬具寸法記
第二四輯
釋家部
初例抄
釋家官班記
大神宮御相傳袈裟記
石清水不斷念佛緣起
賀茂社櫻會緣起
春日社三十講最初御願文
太上法皇御受戒記

後宇多院御灌頂記
七佛藥師御修法記
宸筆御八講記
後嵯峨院宸筆御八講之記
延德御八講記
和久良半の御法
雲井の御法
よろづの御のり
魚山の御のり
後光嚴院三十三回聖忌記
後土御門院十三回聖忌記
陽祿門院三十三回忌の記
仁和寺諸堂記
山城州葛野郡楓野大堰鄉廣隆寺由來記
清水寺緣起
醍醐寺緣起
安樂光院行事
楞伽寺記
勸修寺緣起
般舟三昧院記
天下南禪寺記
天龍寺供養記
東福紀年錄
京城萬壽禪寺記
覺雄山大福田寶幢寺鹿王院記
法勝寺供養記
尊勝寺供養記
無量壽院供養記
法成寺金堂供養記
藥師堂供養記
東北院供養記
東寺塔供養記　應德三年
東寺塔供養記　建武元年
相國寺供養記
相國寺塔供養記
大安寺伽藍緣起流記資財帳
大安寺緣起
藥師寺緣起
東大寺大佛記
東大寺造立供養記
東大寺金銅碑文
興福寺緣起
多武峯緣起
多武峯略記
長谷寺緣起文
當麻曼陀羅緣起
觀心寺緣起實錄帳
山門堂舍　一名　山門堂舍記
叡岳要記
九院佛閣抄
天元三年中堂供養願文
永正十五年中堂供養記
弘安八年大講堂供養記
木下川藥師佛像緣起
中禪寺私記
白峯寺緣起
聖福寺佛殿記
高野山燒失記
近江國栗本郡金勝寺官符
佛牙舍利記

鹿王禪院如意寶珠記
二荒山千部會緣起
日光山三月會緣起
慈惠大僧正御遺告
阿彌陀院寶物目錄
觀世音寺資財帳
左記
右記
追記
發心和歌集
法門百首
第二六輯
雜部
保曆間記
花營三代記
如是院年代記
編御記
革命勘文
諸道勘文
長寬勘文
法曹類林
鑑觴抄
代始和抄
日中行事
禁秘鈔
禁腋秘抄
名目鈔
世俗淺深秘抄
類聚雜要抄
第二八輯

雜部
大槐秘抄
おもひのまゝの日記
眞俗交談記
驢驢嘶餘
門室有職抄
海人藻芥
駿牛繪詞
國牛十圖
夜鶴庭訓抄
才葉抄　一名　筆躰抄
入木抄
本朝書籍目錄
仙洞御文書目錄
倭片假字反切義解
通憲入道藏書目錄
諸家點圖
桂林遺芳抄
新撰字鏡
中正子
常陸國風土記
豐後國風土記
對馬國貢銀記
伊勢國風土記
駿河國風土記
安東郡專當沙汰文
康正二年造內裏段錢並國役引付
東北院職人歌合
鶴岡放生會職人歌合
三十二番職人歌合